

田 原 市  
市 民 意 識 調 査  
報 告 書

令和元年 1 2 月

田 原 市

# 目 次

<b>I 調査の概要</b> .....	<b>1</b>
1. 調査の目的 .....	1
2. 調査対象 .....	1
3. 調査期間 .....	1
4. 調査方法 .....	1
5. 回収状況 .....	1
6. 注意事項 .....	2
<b>II 田原市市民意識調査</b> .....	<b>3</b>
1. 回答者属性 .....	3
2. あなたの幸福感について .....	5
3. 田原市の住みやすさについて .....	16
4. 各分野での市の取り組みについて .....	33
<市民環境分野> .....	35
<健康福祉分野> .....	38
<産業経済分野> .....	41
<都市整備分野> .....	44
<教育文化分野> .....	47
<消防防災分野> .....	50
<行財政分野> .....	52
<満足度と重要度の関連性（全 40 項目）> .....	55
<施策別満足度> .....	56
<施策別重要度> .....	58
5. 個別の取り組みについて .....	66
<市の行政サービスについて> .....	66
<市内の公共施設について> .....	71
<サンテパークたはらについて> .....	103
<スポーツに関する取り組みについて> .....	108
<受動喫煙について ※20 歳以上の方にお聞きします。> .....	115
6. 自由意見 .....	118
<b>III 市内事業者</b> .....	<b>126</b>
1. 回答者属性 .....	126
2. 田原市での事業環境について .....	129

3. あなたの事業所の事業について.....	132
4. 市の施策について.....	135
5. 従業員の雇用環境について.....	141
6. 従業員の市内定住対策について.....	143
7. 農業分野での事業展開について.....	144
8. 環境共生について.....	144
9. 男女共同参画について.....	144
10. 地域社会への貢献活動について.....	145
11. 市政に対するご意見.....	148
<b>IV 市内農業者 .....</b>	<b>149</b>
1. 回答者属性.....	149
2. 田原市の農業全般について.....	153
3. あなたの農業経営について.....	155
4. 農地の保全・活用について.....	158
5. 農業基盤の整備について.....	159
6. 交流・食育の推進について.....	160
7. 農業経営について.....	161
8. 担い手づくりの推進について.....	162
9. 環境保全型農業の推進について.....	163
10. 市政に対するご意見.....	166
<b>V 市内漁業者 .....</b>	<b>168</b>
1. 回答者属性.....	168
2. 田原市の漁業全般について.....	171
3. あなたの漁業経営について.....	172
4. 水産資源の確保について.....	175
5. 漁業経営について.....	177
6. 水産施設の充実について.....	180
7. 市政に対するご意見.....	182
<b>VI 市内団体 .....</b>	<b>183</b>
1. 回答者属性.....	183
2. 団体の活動について.....	191
3. 市との連携・協力について.....	194
4. 市政に対するご意見.....	201
<b>VII 中学生 .....</b>	<b>203</b>
1. 回答者属性.....	203
2. あなたにとっての『幸せ』について.....	203
3. あなたの学校生活について.....	206
4. あなたの普段の生活・家族との関係について.....	207
5. 自由意見.....	209

付録 調査票 .....	210
--------------	-----

## I 調査の概要



# I 調査の概要

---

## 1. 調査の目的

市の行う取り組みに対する満足度や重要度、市民意識の把握を行い、調査項目の多角的な分析を行うことで、市政への市民意識の反映と総合計画の着実な推進を図ることを目的とする。

## 2. 調査対象

市民意識調査：田原市に居住する満 18 歳以上の 3,500 人  
市内事業者調査：田原市内の事業者 100 社  
農業者調査：田原市内の農業従事者 100 人  
漁業者調査：田原市内の漁業従事者 100 人  
市内団体調査：田原市内の団体 100 団体  
中学生アンケート：田原市内の中学 2 年生 515 人

## 3. 調査期間

令和元年 7 月 1 日から同 7 月 26 日まで

## 4. 調査方法

郵送による配付・回収

## 5. 回収状況

調査対象	配付件数	有効回答件数	有効回答率
一般市民	3,500 通	1,372 件	39.2%
事業者	100 通	40 件	40.0%
農業者	100 通	49 件	49.0%
漁業者	100 通	31 件	31.0%
市内団体	100 通	60 件	60.0%
中学生	515 通	501 件	97.3%

## 6. 注意事項

- 無回答（回答がない、もしくは回答の判別が困難なもの）を含めて集計しています。
- 図表中の構成比率は、小数点第2位以下を四捨五入しています。
- 図表中の「N」（Number of samples の略）は、設問に対する回答者の総数を示しており、回答者の構成比（%）を算出するための基数となっています。
- 回答が2つ以上ありうる設問（複数回答）の場合、合計が100%を超えることがあります。また、報告書内の表では、区分ごとに上位3位までの項目に着色しています。
- クロス集計については、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数の合計が一致しないことがあります。

なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにする集計方法です。



## Ⅱ 田原市市民意識調査



## II 田原市市民意識調査

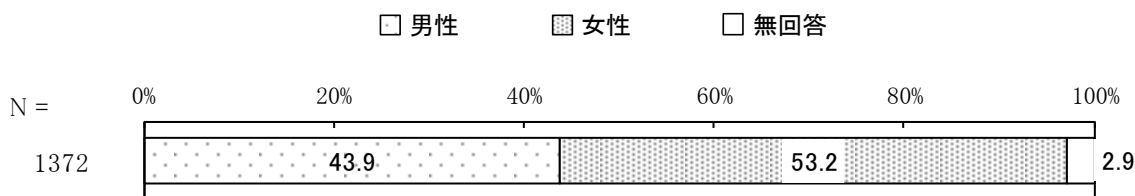
田原市に居住する満18歳以上の3,500人

### 1. 回答者属性

問1 あなた自身の令和元年7月1日現在の状況についてうかがいます。(あてはまるもの1つに○)

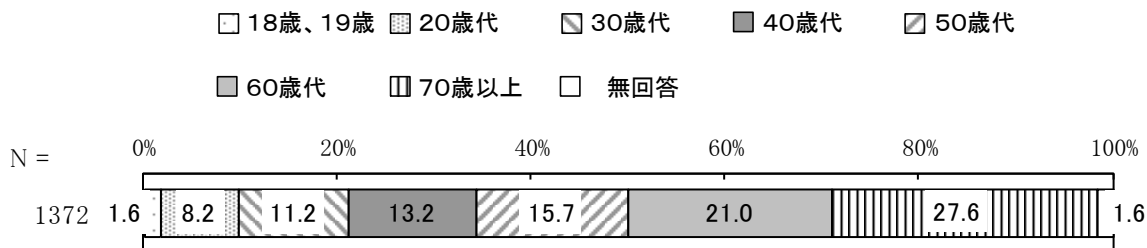
#### ① 性別

「男性」の割合が43.9%、「女性」の割合が53.2%となっています。



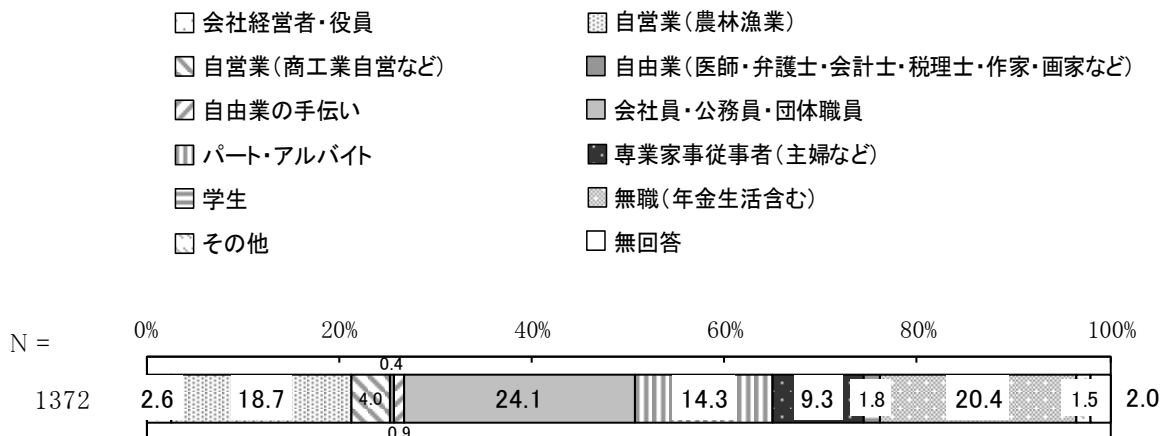
#### ② 年齢

「70歳以上」の割合が27.6%と最も高く、次いで「60歳代」が21.0%、「50歳代」が15.7%となっています。



#### ③ 職種など

「会社員・公務員・団体職員」の割合が24.1%と最も高く、次いで「無職(年金生活含む)」の割合が20.4%、「自営業(農林漁業)」の割合が18.7%となっています。



④ 小学校区

「神戸」の割合が9.8%、「田原中部」の割合が9.4%となっています。

単位：%

有効回答件数	六連	神戸	大草	田原東部	田原南部	童浦	田原中部	衣笠	野田	高松	赤羽根	若戸	伊良湖岬（和地）	伊良湖岬（堀切）	伊良湖岬（伊良湖）	龜山	中山	福江	清田	泉	無回答
1372	3.1	9.8	1.8	7.4	3.6	9.2	9.4	8.3	6.1	2.8	3.0	2.7	2.6	2.4	1.5	2.0	7.6	5.9	4.0	5.0	1.6

⑤ お住まいの住宅の種類

「一戸建持家」の割合が88.7%と最も高くなっています。

単位：%

有効回答件数	一戸建持家	分譲マンション	一戸建借家	民間賃貸住宅（マンション・アパート）	社宅・寮・官公舎	公団・公営住宅	その他	無回答
1372	88.7	0.3	0.9	4.4	1.8	2.3	0.4	1.2

⑥ 田原市での居住年数

「20年以上」の割合が81.8%と最も高くなっています。

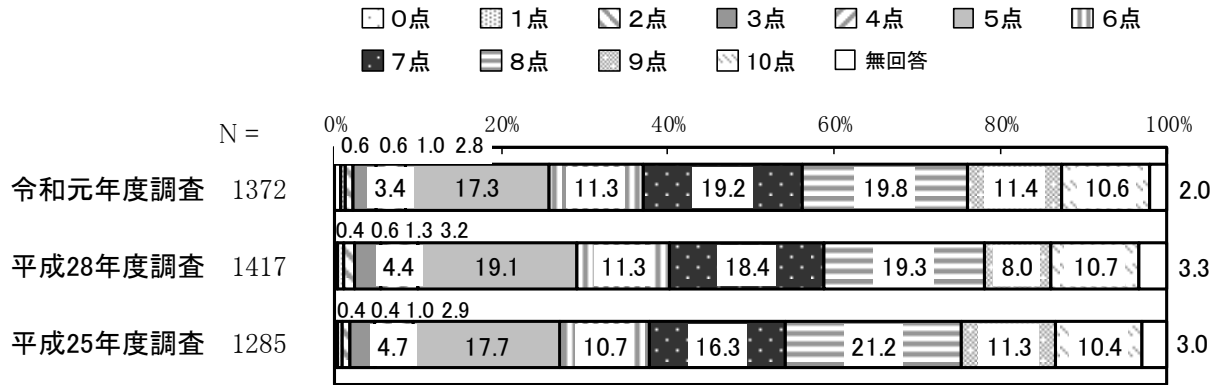
単位：%

有効回答件数	1年未満	1年以上～3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～20年未満	20年以上	無回答
1372	0.7	2.1	1.4	3.3	9.3	81.8	1.4

## 2. あなたの幸福感について

問 2 あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになりますか。(いずれかの数字を1つだけ○)

平均点は 6.95 点であり、平成 28 年度調査 (6.84 点) に比べ 0.11 ポイント高くなっています。

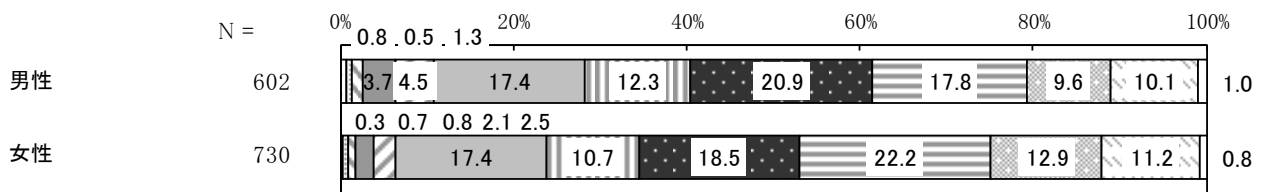


単位: %

	全体	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
令和元年度調査	1372	0.6	0.6	1.0	2.8	3.4	17.3	11.3	19.2	19.8	11.4	10.6	2.0
平成28年度調査	1417	0.4	0.6	1.3	3.2	4.4	19.1	11.3	18.4	19.3	8.0	10.7	3.3
平成25年度調査	1285	0.4	0.4	1.0	2.9	4.7	17.7	10.7	16.3	21.2	11.3	10.4	3.0

### 【性別】

性別でみると、《女性》で“8点以上”の割合が高く、4割を超えています。

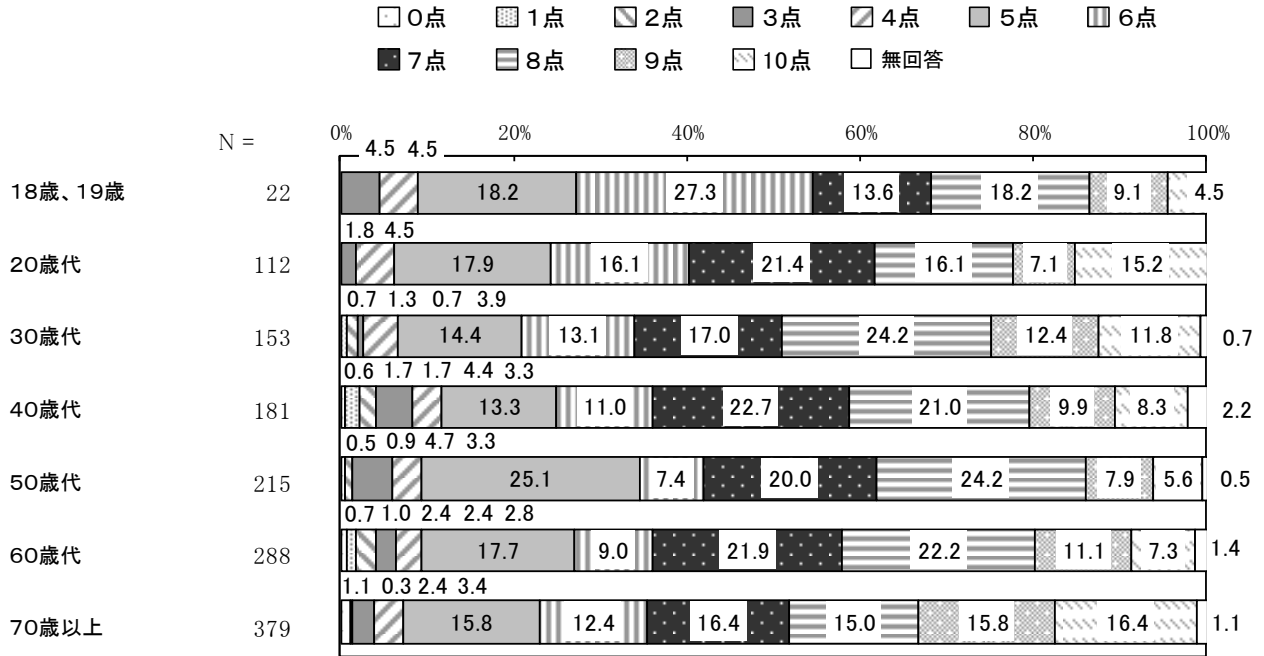


単位: %

	全体	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
男性	602	0.8	0.5	1.3	3.7	4.5	17.4	12.3	20.9	17.8	9.6	10.1	1.0
女性	730	0.3	0.7	0.8	2.1	2.5	17.4	10.7	18.5	22.2	12.9	11.2	0.8

【年齢別】

年齢別でみると、《30歳代》と《70歳以上》で“8点以上”の割合が高く、5割弱となっています。

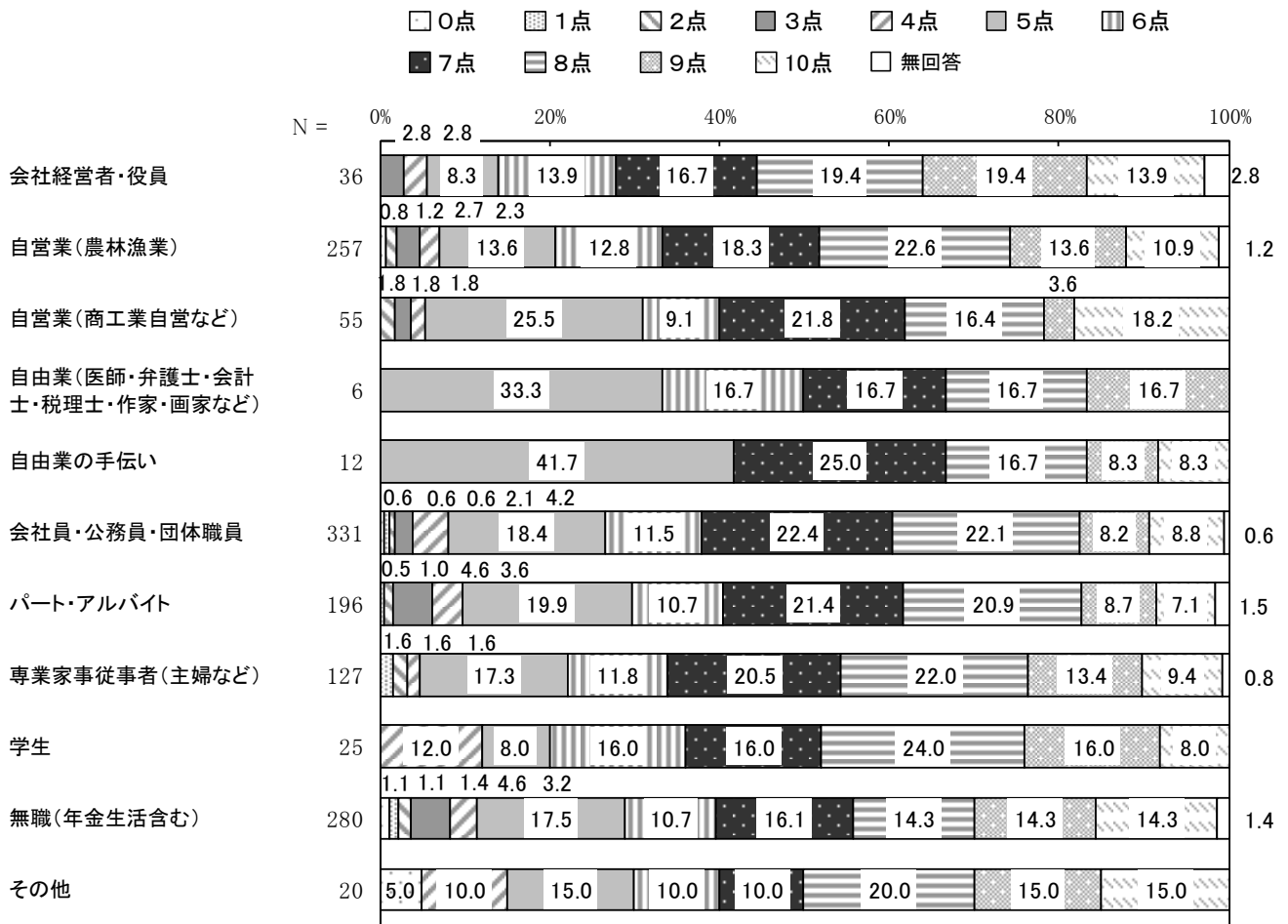


単位: %

	全体	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
18歳、19歳	22	0.0	0.0	0.0	4.5	4.5	18.2	27.3	13.6	18.2	9.1	4.5	0.0
20歳代	112	0.0	0.0	0.0	1.8	4.5	17.9	16.1	21.4	16.1	7.1	15.2	0.0
30歳代	153	0.0	0.7	1.3	0.7	3.9	14.4	13.1	17.0	24.2	12.4	11.8	0.7
40歳代	181	0.6	1.7	1.7	4.4	3.3	13.3	11.0	22.7	21.0	9.9	8.3	2.2
50歳代	215	0.5	0.9	4.7	3.3	25.1	7.4	20.0	24.2	7.9	5.6	0.5	
60歳代	288	0.7	1.0	2.4	2.4	2.8	17.7	9.0	21.9	22.2	11.1	7.3	1.4
70歳以上	379	1.1	0.3	2.4	3.4	15.8	12.4	16.4	15.0	15.8	16.4	1.1	

【職業別】

職業別でみると、《会社経営者・役員》で“8点以上”の割合が高く、5割を超えています。

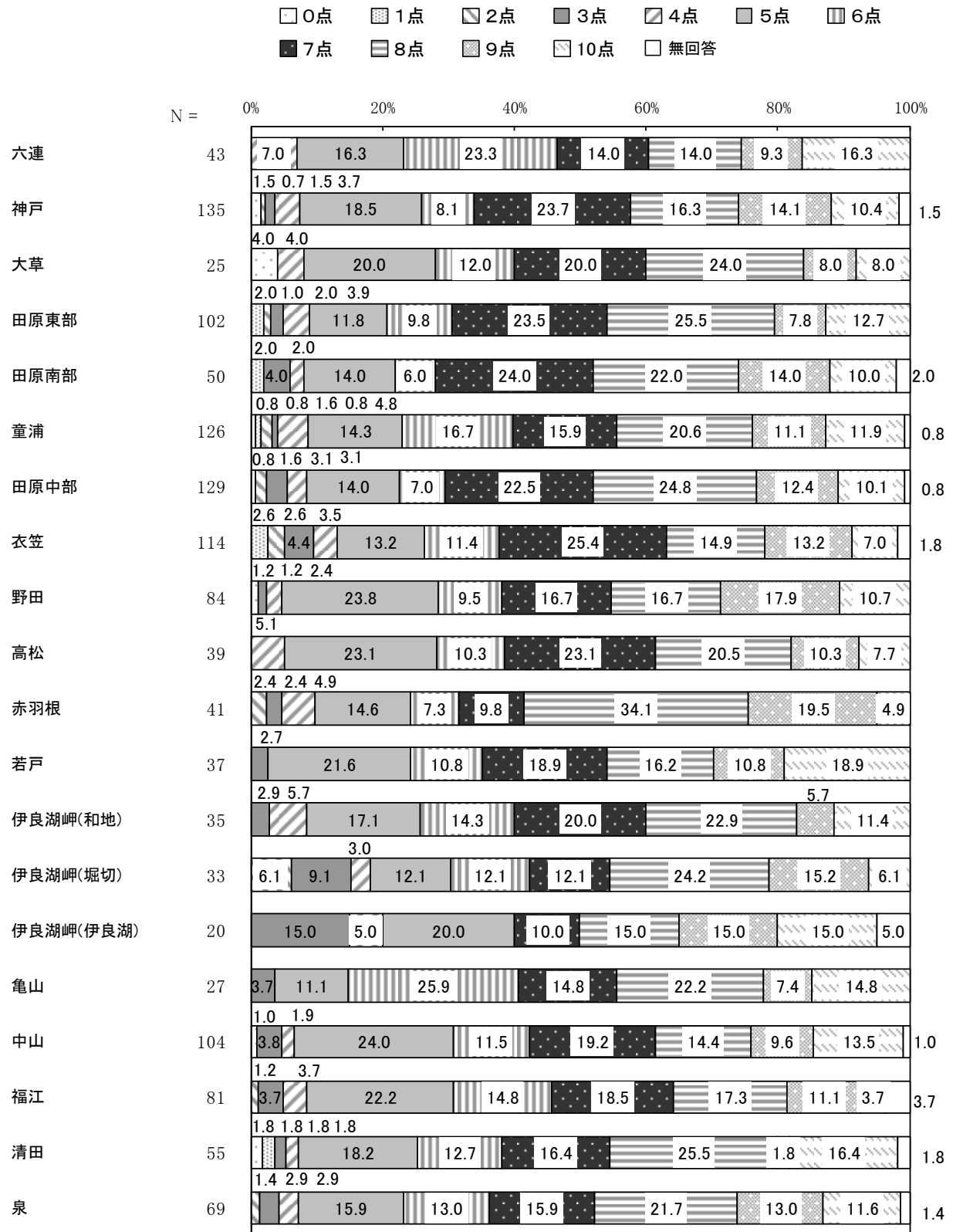


単位：%

	全体	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
会社経営者・役員	36	0.0	0.0	0.0	2.8	2.8	8.3	13.9	16.7	19.4	19.4	13.9	2.8
自営業(農林漁業)	257	0.8	0.0	1.2	2.7	2.3	13.6	12.8	18.3	22.6	13.6	10.9	1.2
自営業(商工業自営など)	55	0.0	0.0	1.8	1.8	1.8	25.5	9.1	21.8	16.4	3.6	18.2	0.0
自由業(医師・弁護士・会計士・税理士・作家・画家など)	6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0
自由業の手伝い	12	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	41.7	0.0	25.0	16.7	8.3	8.3	0.0
会社員・公務員・団体職員	331	0.6	0.6	0.6	2.1	4.2	18.4	11.5	22.4	22.1	8.2	8.8	0.6
パート・アルバイト	196	0.0	0.5	1.0	4.6	3.6	19.9	10.7	21.4	20.9	8.7	7.1	1.5
専業家事従事者(主婦など)	127	0.0	1.6	1.6	0.0	1.6	17.3	11.8	20.5	22.0	13.4	9.4	0.8
学生	25	0.0	0.0	0.0	0.0	12.0	8.0	16.0	16.0	24.0	16.0	8.0	0.0
無職(年金生活含む)	280	1.1	1.1	1.4	4.6	3.2	17.5	10.7	16.1	14.3	14.3	14.3	1.4
その他	20	5.0	0.0	0.0	0.0	10.0	15.0	10.0	10.0	20.0	15.0	15.0	0.0

【地区別】

地区別でみると、《赤羽根》で“8点以上”の割合が最も高く、5割を超えています。





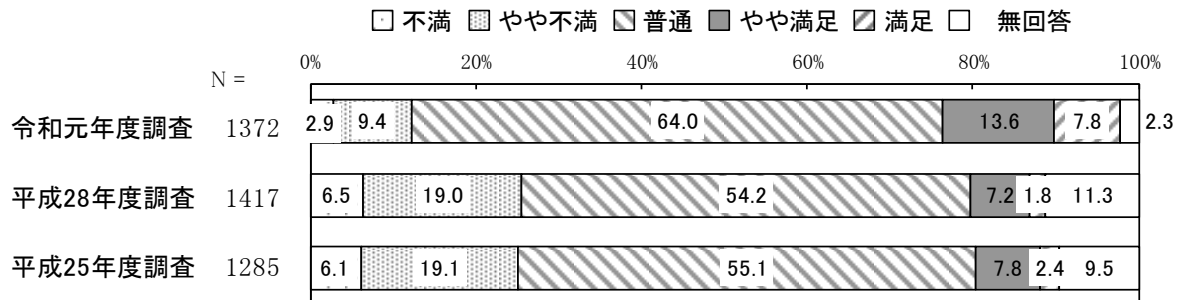
単位：%

	全体	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
六連	43	0.0	0.0	0.0	0.0	7.0	16.3	23.3	14.0	14.0	9.3	16.3	0.0
神戸	135	1.5	0.0	0.7	1.5	3.7	18.5	8.1	23.7	16.3	14.1	10.4	1.5
大草	25	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	20.0	12.0	20.0	24.0	8.0	8.0	0.0
田原東部	102	0.0	2.0	1.0	2.0	3.9	11.8	9.8	23.5	25.5	7.8	12.7	0.0
田原南部	50	0.0	2.0	0.0	4.0	2.0	14.0	6.0	24.0	22.0	14.0	10.0	2.0
童浦	126	0.8	0.8	1.6	0.8	4.8	14.3	16.7	15.9	20.6	11.1	11.9	0.8
田原中部	129	0.8	0.0	1.6	3.1	3.1	14.0	7.0	22.5	24.8	12.4	10.1	0.8
衣笠	114	0.0	2.6	2.6	4.4	3.5	13.2	11.4	25.4	14.9	13.2	7.0	1.8
野田	84	1.2	0.0	0.0	1.2	2.4	23.8	9.5	16.7	16.7	17.9	10.7	0.0
高松	39	0.0	0.0	0.0	0.0	5.1	23.1	10.3	23.1	20.5	10.3	7.7	0.0
赤羽根	41	0.0	0.0	2.4	2.4	4.9	14.6	7.3	9.8	34.1	19.5	4.9	0.0
若戸	37	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	21.6	10.8	18.9	16.2	10.8	18.9	0.0
伊良湖岬(旧和地)	35	0.0	0.0	0.0	2.9	5.7	17.1	14.3	20.0	22.9	5.7	11.4	0.0
伊良湖岬(旧堀切)	33	0.0	0.0	6.1	9.1	3.0	12.1	12.1	12.1	24.2	15.2	6.1	0.0
伊良湖岬(旧伊良湖)	20	0.0	0.0	0.0	15.0	5.0	20.0	0.0	10.0	15.0	15.0	15.0	5.0
亀山	27	0.0	0.0	0.0	3.7	0.0	11.1	25.9	14.8	22.2	7.4	14.8	0.0
中山	104	1.0	0.0	0.0	3.8	1.9	24.0	11.5	19.2	14.4	9.6	13.5	1.0
福江	81	0.0	0.0	1.2	3.7	3.7	22.2	14.8	18.5	17.3	11.1	3.7	3.7
清田	55	1.8	1.8	0.0	1.8	1.8	18.2	12.7	16.4	25.5	1.8	16.4	1.8
泉	69	0.0	0.0	1.4	2.9	2.9	15.9	13.0	15.9	21.7	13.0	11.6	1.4

**問 3 現在、あなたは社会貢献・生涯学習活動に対する自分自身の取り組み状況に満足していますか。  
(いずれかの数字を1つだけ○)**

「満足」「やや満足」を合わせた“満足”の割合が 21.4%、「不満」「やや不満」を合わせた“不満”の割合が 12.3%となっています。

平成 28 年度調査と比べると、“満足”は 12.4 ポイント増加、“不満”は 13.2 ポイント減少しています。

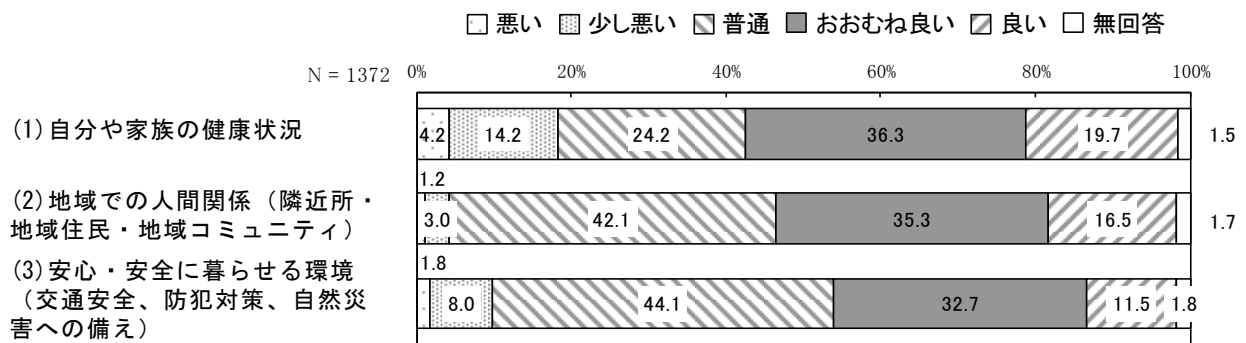


**問 4 あなたの状況について伺います。(下表の欄に、項目ごとに評価し、該当する数字を1つだけ○)**

「良い」「おおむね良い」を合わせた“良い”の割合は、『(1) 自分や家族の健康状況』『(2) 地域での人間関係』で 5 割を超えています。

「悪い」「少し悪い」を合わせた“悪い”の割合は、『(1) 自分や家族の健康状況』で 18.4%と比較的高くなっています。

平成 28 年度調査と比べると、『(3) 安心・安全に暮らせる環境』で“良い”が 19.4 ポイント高くなっています。



**【経年比較】**

状況	調査年度	N	評価					
			悪い	少し悪い	普通	おおむね良い	良い	無回答
(1) 自分や家族の健康状況	R1	1372	4.2	14.2	24.2	36.3	19.7	1.5
	H28	1417	5.2	19.6	29.9	31.6	10.6	3.0
	H25	1285	3.7	17.3	30.0	35.3	12.1	1.6
(2) 地域での人間関係 (隣近所・地域住民・地域コミュニティ)	R1	1372	1.2	3.0	42.1	35.3	16.5	1.7
	H28	1417	1.8	5.9	57.4	24.2	5.8	4.8
	H25	1285	2.4	5.7	57.7	22.7	7.2	4.2
(3) 安心・安全に暮らせる環境 (交通安全、防犯対策、自然災害への備え)	R1	1372	1.8	8.0	44.1	32.7	11.5	1.8
	H28	1417	2.9	15.7	51.7	20.6	4.2	4.9
	H25	1285	3.6	15.1	50.8	21.8	4.8	3.9

問5 あなたは、あなた自身の「幸せ」や、あなたの周囲の人などの「幸せ」を高めることについて、どの程度意識し、どの程度取り組みを行っていますか。

(下表の欄に、項目ごとに評価し、該当する数字を1つだけ○)

「している」「ややしている」を合わせた“している”(以下同じ)の割合は、全ての項目で過半数を占め、そのうち『(4) あなたは、あなたが行う仕事や活動、普段の生活などを通じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行なっていますか。』が61.8%と最も高く、平成28年度調査に比べ10.0ポイント増加しています。

「あまりしていない」「していない」を合わせた“していない”(以下同じ)の割合は、平成28年度調査に比べると全ての項目で減少しています。

□ している      ■ ややしている      ▨ あまりしていない  
 ■ していない      ▩ わからない      □ 無回答

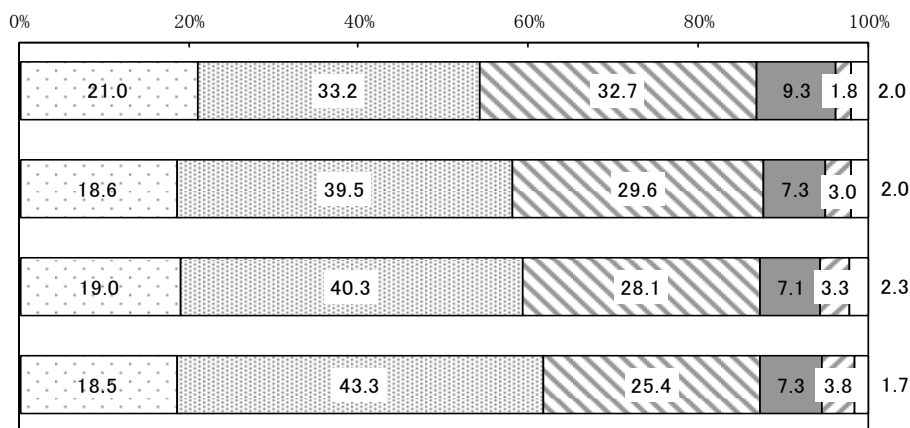
N = 1372

(1) あなたは、普段から自分にとっての「幸せ」とは何かを考えることを意識していますか。

(2) あなたは、普段から自分が「幸せ」になるための努力をしていますか。

(3) あなたは、普段から自分だけでなく周囲が「幸せ」になるよう意識していますか。

(4) あなたは、あなたが行なう仕事や活動、普段の生活などを通じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行なっていますか。



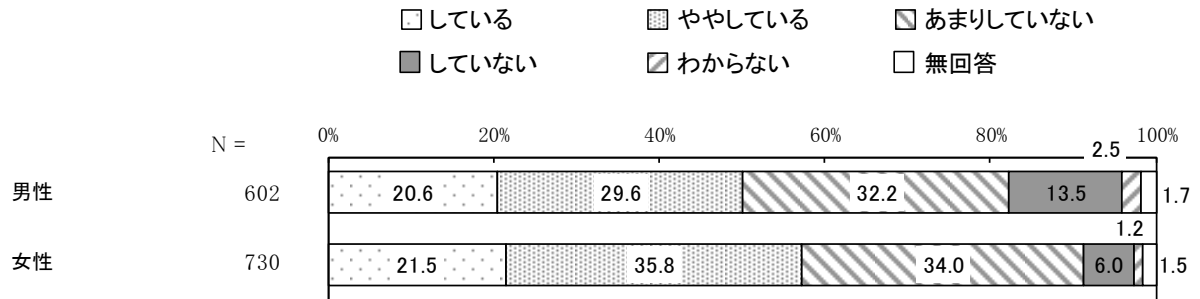
### 【経年比較】

状況	調査年度	N	評価					
			している	ややしている	あまりしていない	していない	わからない	無回答
(1) あなたは、普段から自分にとっての「幸せ」とは何かを考えることを意識していますか。	R1	1372	21.0	33.2	32.7	9.3	1.8	2.0
	H28	1417	17.0	31.5	31.9	12.6	3.8	3.2
	H25	1285	20.3	32.4	31.5	10.0	1.8	4.0
(2) あなたは、普段から自分が「幸せ」になるための努力をしていますか。	R1	1372	18.6	39.5	29.6	7.3	3.0	2.0
	H28	1417	14.1	36.8	32.9	10.0	3.5	2.8
	H25	1285	17.1	40.2	30.3	7.4	2.6	2.4
(3) あなたは、普段から自分だけでなく周囲が「幸せ」になるよう意識していますか。	R1	1372	19.0	40.3	28.1	7.1	3.3	2.3
	H28	1417	14.6	37.0	31.0	9.2	4.7	3.6
	H25	1285	16.8	46.0	24.2	8.3	2.3	2.4
(4) あなたは、あなたが行なう仕事や活動、普段の生活などを通じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行なっていますか。	R1	1372	18.5	43.3	25.4	7.3	3.8	1.7
	H28	1417	13.3	38.5	28.9	11.0	4.8	3.6
	H25	1285	10.8	35.5	33.3	12.2	5.0	3.2

(1) あなたは、普段から自分にとっての「幸せ」とは何かを考えることを意識していますか。

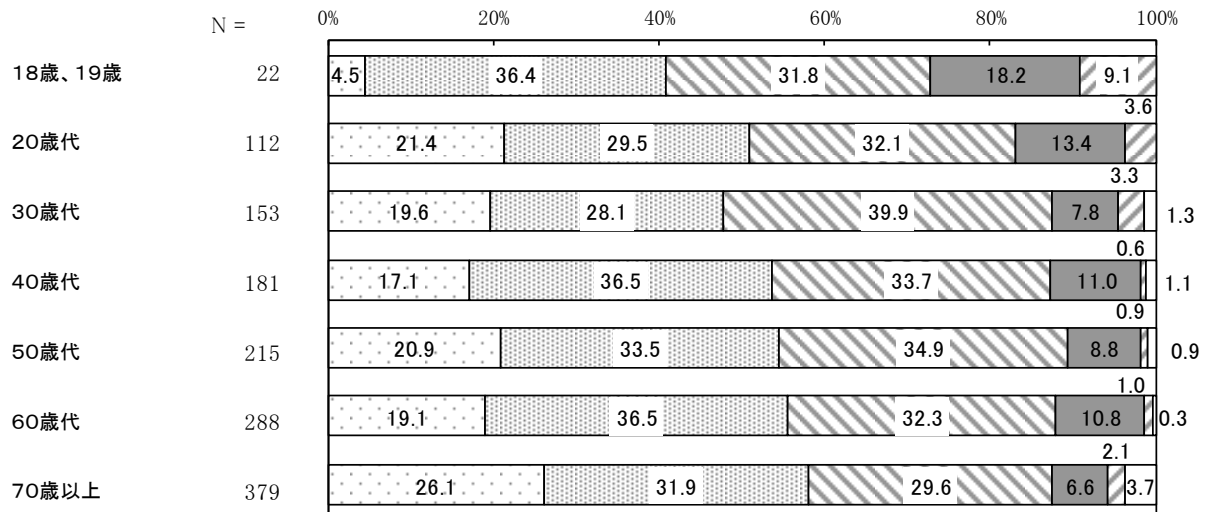
【性別】

性別でみると、《女性》で“している”の割合が高く、6割弱となっています。



【年齢別】

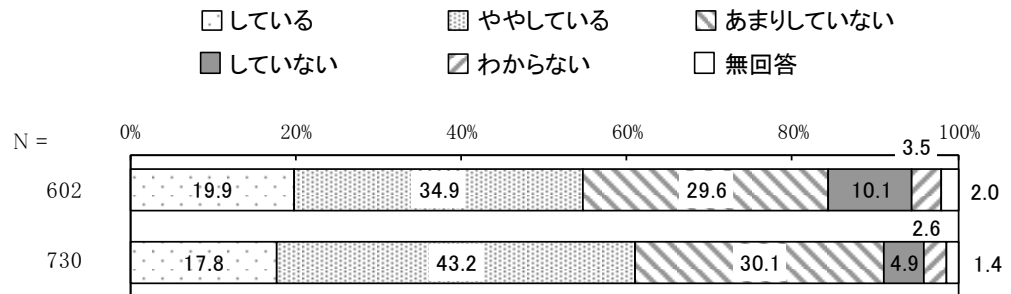
年齢別でみると、《18歳、19歳》で“していない”の割合が高く、半数を占めています。



(2) あなたは、普段から自分が「幸せ」になるための努力をしていますか。

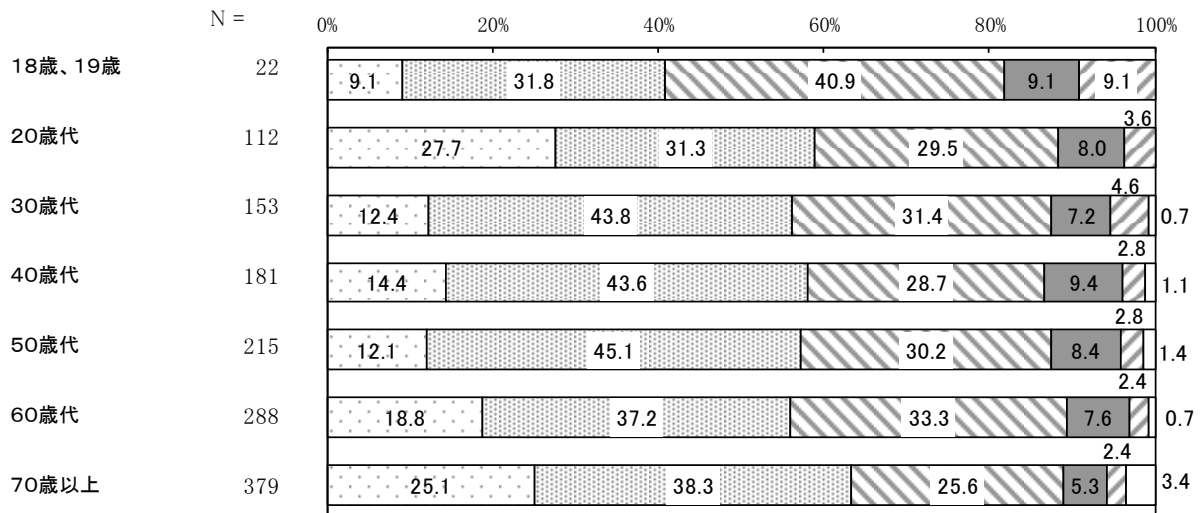
【性別】

性別で見ると、《女性》で“している”の割合が高く、6割強となっています。



【年齢別】

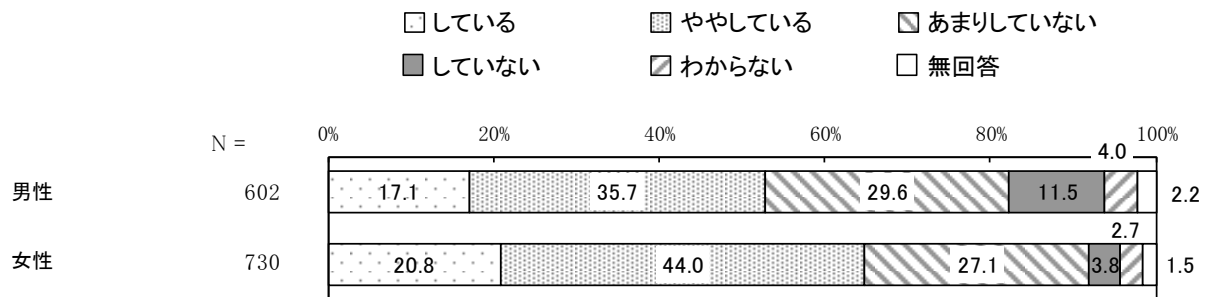
年齢別で見ると、《18歳、19歳》で“していない”の割合が高く、半数を占めています。



(3) あなたは、普段から自分だけでなく周囲が「幸せ」になるよう意識していますか。

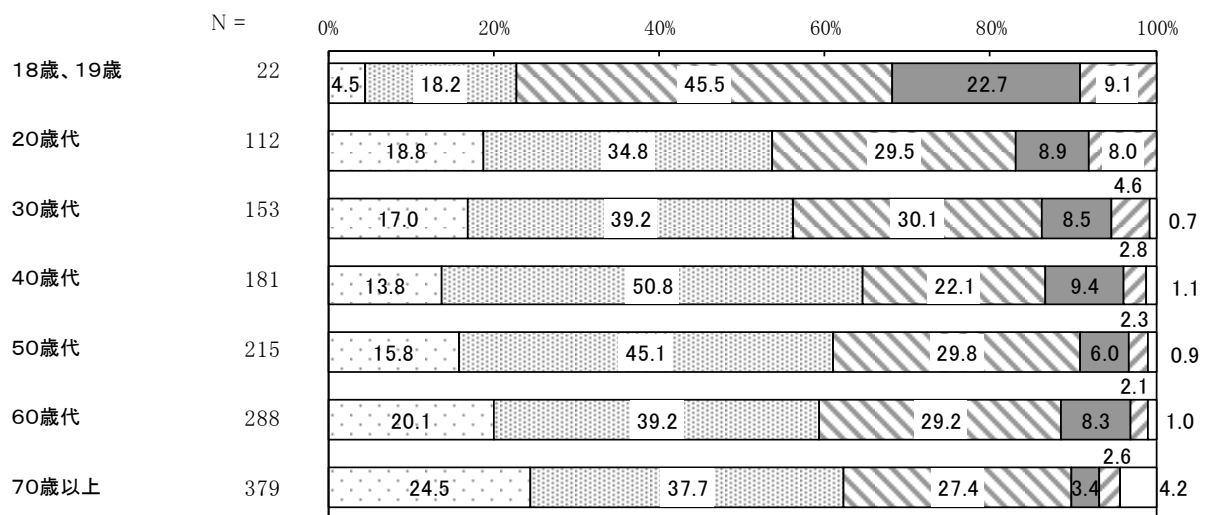
【性別】

性別でみると、《女性》で“している”の割合が高く、6割を超えています。



【年齢別】

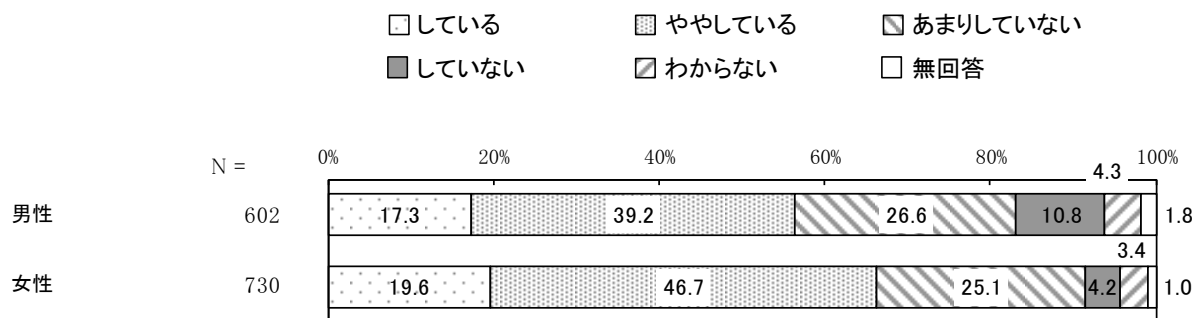
年齢別でみると、《18歳、19歳》で“していない”の割合が高く、7割弱を占めています。



(4) あなたは、あなたが行う仕事や活動、普段の生活等を通じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行なっていますか。

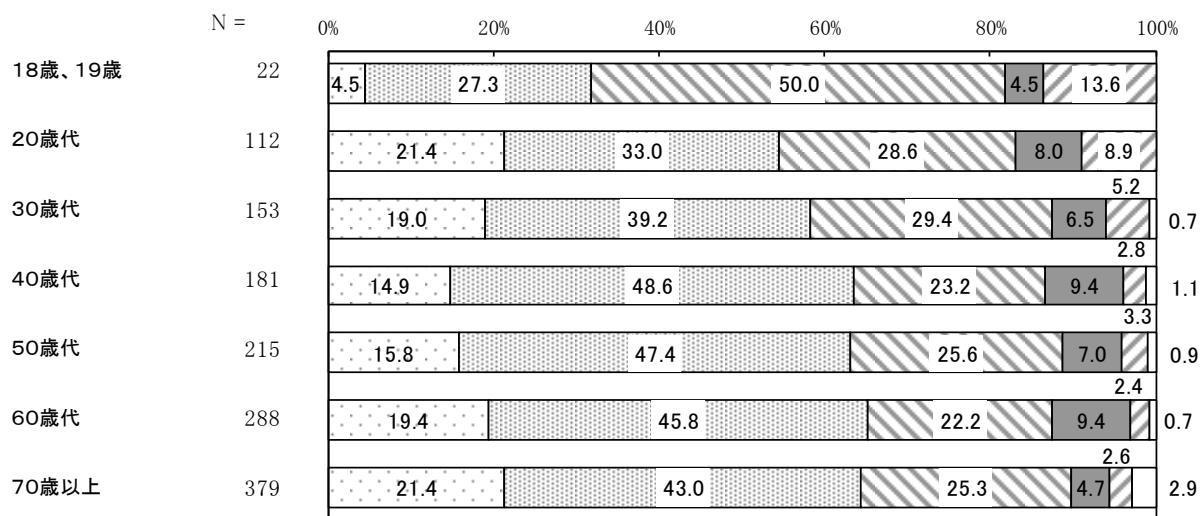
【性別】

性別でみると、《女性》で“している”の割合が高く、6割を超えています。



【年齢別】

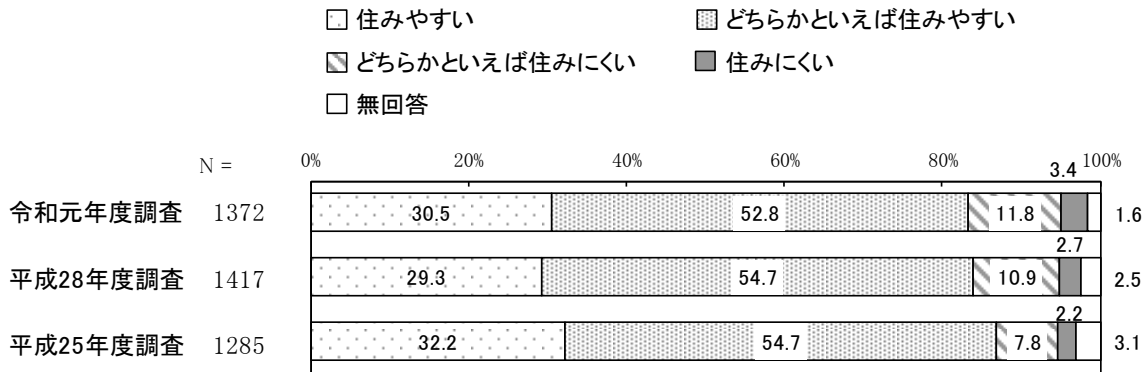
年齢別でみると、《18歳、19歳》で“していない”の割合が高く、5割を超えています。



### 3. 田原市の住みやすさについて

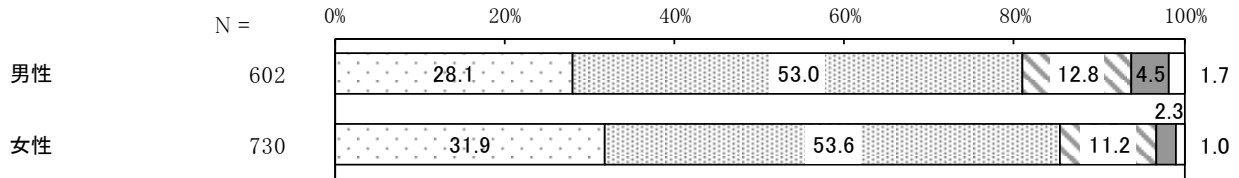
問 6 田原市は住みよいまちだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」を合わせた“住みやすい”(以下同じ)の割合が83.3%となっており、平成28年度調査に比べ0.7ポイント減少しています。



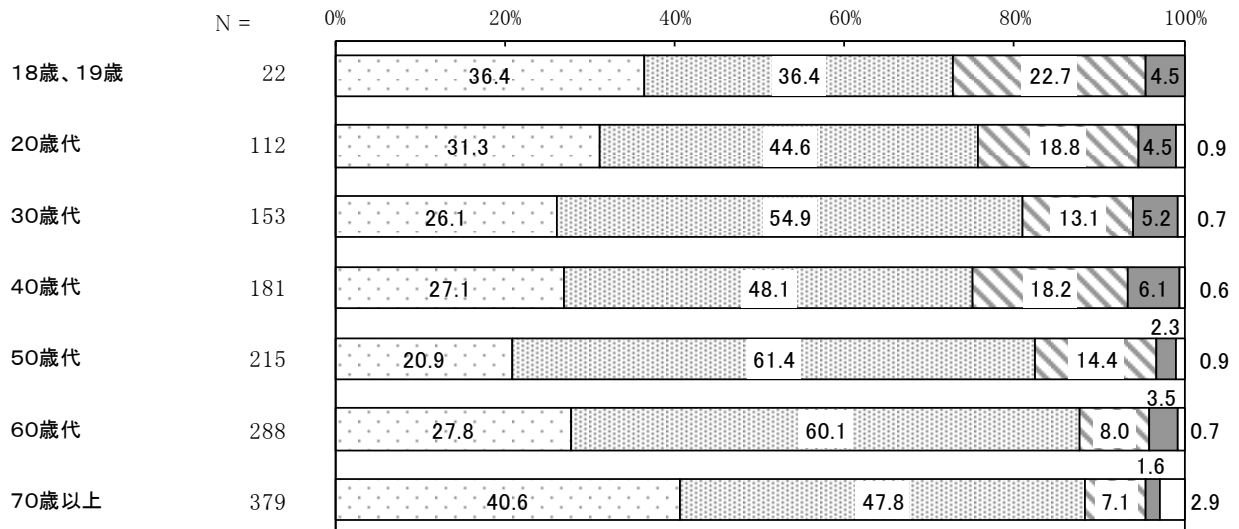
#### 【性別】

性別でみると、《男性》に比べ《女性》で“住みやすい”の割合がやや高く、4.4ポイント上回っています。



#### 【年齢別】

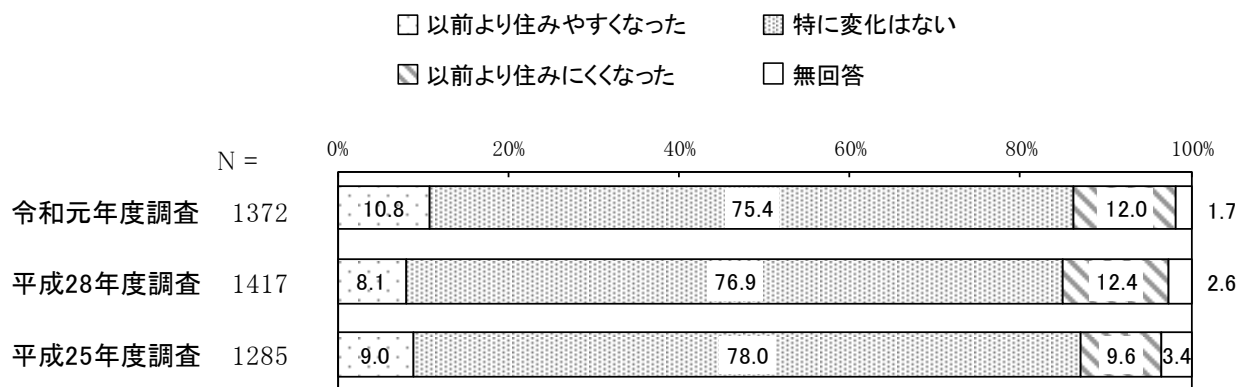
年齢別でみると、20歳代以下及び《40歳代》で“住みやすい”の割合が8割を下回っています。





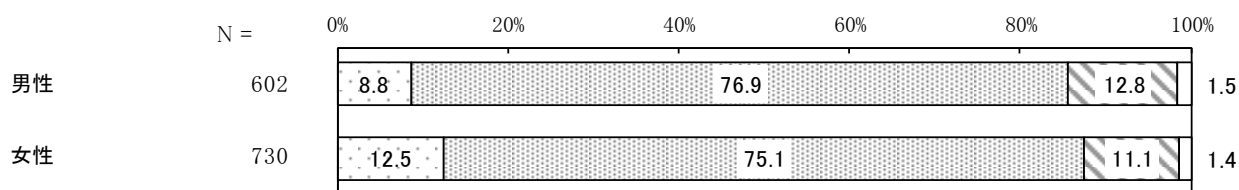
問 7 ここ数年の間に、住みごころに変化がありましたか。(あてはまるもの1つに○)

「以前より住みやすくなった」の割合が 10.8%となっており、平成 28 年度調査に比べ 2.7 ポイント増加しています。



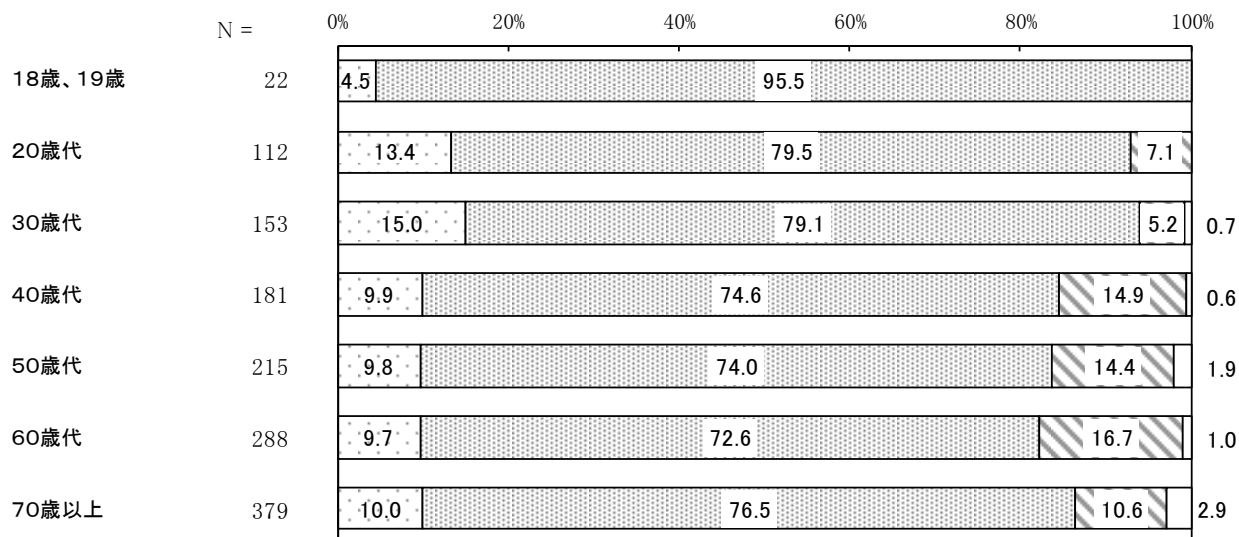
【性別】

性別でみると、《男性》に比べ《女性》で「以前より住みやすくなった」の割合が 3.7 ポイント高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、《20 歳代》《30 歳代》で「以前より住みやすくなった」の割合が 1 割を超えています。また、40 歳代以上で「以前より住みにくくなった」が 1 割を超えています。



問 8 田原市が優れていると感じることは何ですか。(あてはまるもの3つに○)

「海・山などの自然環境」(71.7%) が最も高く、次いで「農業の発達」(49.6%)、「人の温かさ」(26.2%) となっており、平成 25 年度、同 28 年度と同様の順位となりました。

単位: %

項目	平成25年度 N=1285	平成28年度 N=1417	令和元年度 N=1372
海・山などの自然環境	72.5	75.4	71.7
街並みなどの都市景観	4.1	4.0	4.4
農業の発達	49.5	51.6	49.6
工業の発達	13.5	11.0	10.2
買い物などの生活の利便性	15.5	14.7	12.8
雇用機会の充実	2.4	2.4	2.3
各種公共施設の整備状況	9.3	5.6	5.6
交通の利便性	5.0	5.7	3.4
住宅確保のしやすさ	4.3	4.2	4.9
住環境の快適さ	9.3	9.5	11.3
余暇を楽しむ機会や場所	4.9	5.3	4.8
歴史や文化	5.8	5.4	5.5
学校など教育環境	3.4	3.4	4.4
医療・福祉の充実	14.5	12.4	9.5
環境共生への取り組み	3.3	2.3	2.2
消防・防災の充実	4.0	4.7	4.6
子育てのしやすさ	5.9	7.3	9.4
人の温かさ	24.7	26.0	26.2
隣近所の助け合い	14.3	16.9	17.4
その他	2.5	1.8	3.0
無回答	4.3	2.6	5.1

【性別】

性別でみると、《男性》《女性》とも「海・山などの自然環境」が7割以上で最も高く、次いで「農業の発達」「人の温かさ」となっています。

また、「工業の発達」「子育てのしやすさ」で、男女間に5ポイント以上の差が見られます。

単位：%

区分	有効回答数（件）	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
男性	602	73.4	4.3	50.0	13.5	11.5	3.7	4.7	2.8	5.5	14.0
女性	730	71.2	4.5	49.7	7.8	14.0	1.1	6.6	3.8	4.5	9.3

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
男性	5.3	6.6	3.2	7.8	1.3	4.5	6.5	24.1	17.6	3.8	4.5
女性	4.5	4.5	5.8	10.7	2.9	4.9	11.9	28.2	17.1	2.3	4.8

### 【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代で「海・山などの自然環境」が最も高く、次いで「農業の発達」が続いています。《20歳代》では「工業の発達」、《30歳代》では「子育てのしやすさ」が比較的高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
18歳、19歳	22	72.7	0.0	50.0	13.6	0.0	0.0	4.5	0.0	4.5	4.5
20歳代	112	74.1	7.1	50.0	22.3	7.1	7.1	8.0	3.6	3.6	8.0
30歳代	153	73.9	2.0	53.6	13.7	5.2	3.9	7.2	0.0	6.5	8.5
40歳代	181	71.3	3.3	53.6	11.6	4.4	1.1	3.9	0.6	5.5	13.8
50歳代	215	79.1	3.3	53.0	11.6	10.7	0.9	5.6	1.9	2.8	11.2
60歳代	288	72.2	7.6	50.3	6.9	15.6	2.8	5.6	4.5	4.9	13.5
70歳以上	379	67.0	3.4	43.3	5.8	21.4	1.6	5.5	6.6	5.5	10.8

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
18歳、19歳	0.0	4.5	18.2	9.1	4.5	0.0	9.1	31.8	13.6	4.5	9.1
20歳代	6.3	7.1	1.8	4.5	4.5	2.7	7.1	22.3	12.5	1.8	6.3
30歳代	3.9	7.2	3.9	6.5	1.3	2.0	23.5	23.5	11.1	3.9	3.9
40歳代	1.1	4.4	9.4	8.3	1.1	4.4	17.7	22.7	17.7	2.8	4.4
50歳代	2.8	6.0	2.3	3.7	1.9	3.3	9.3	26.0	22.3	4.7	4.7
60歳代	5.6	5.2	3.8	10.4	2.1	5.9	5.9	28.8	16.3	3.5	3.5
70歳以上	7.4	4.5	4.2	15.6	2.1	6.6	3.4	28.2	20.6	1.8	5.8

## 【地区別】

地区別でみると、全ての地区で「海・山などの自然環境」が最も高く、これに次いで、《高松》では「人の温かさ」、それ以外の地区では「農業の発達」が続いています。《神戸》《大草》《衣笠》では「買い物などの生活の利便性」が2割を超え、比較的高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
六連	43	69.8	2.3	53.5	4.7	7.0	4.7	7.0	2.3	7.0	16.3
神戸	135	65.2	7.4	46.7	9.6	22.2	3.0	9.6	11.9	4.4	8.9
大草	25	72.0	8.0	40.0	8.0	28.0	4.0	4.0	0.0	0.0	8.0
田原東部	102	75.5	5.9	50.0	14.7	8.8	2.0	3.9	2.9	5.9	12.7
田原南部	50	72.0	12.0	48.0	14.0	12.0	2.0	6.0	4.0	2.0	18.0
童浦	126	72.2	3.2	39.7	23.0	11.1	4.8	8.7	2.4	9.5	7.1
田原中部	129	67.4	6.2	44.2	14.0	19.4	2.3	8.5	4.7	6.2	14.0
衣笠	114	79.8	7.0	43.9	17.5	23.7	4.4	8.8	7.9	4.4	11.4
野田	84	76.2	4.8	46.4	8.3	8.3	6.0	4.8	0.0	3.6	10.7
高松	39	66.7	0.0	38.5	2.6	5.1	0.0	5.1	0.0	5.1	7.7
赤羽根	41	73.2	0.0	53.7	14.6	17.1	0.0	4.9	0.0	4.9	12.2
若戸	37	67.6	0.0	64.9	10.8	5.4	0.0	2.7	2.7	5.4	10.8
伊良湖岬(和地)	35	71.4	0.0	40.0	0.0	8.6	0.0	11.4	2.9	5.7	8.6
伊良湖岬(堀切)	33	69.7	6.1	60.6	0.0	0.0	0.0	6.1	0.0	3.0	9.1
伊良湖岬(伊良湖)	20	80.0	10.0	65.0	5.0	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0	5.0
亀山	27	81.5	0.0	70.4	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	3.7	3.7
中山	104	66.3	0.0	63.5	1.0	7.7	1.9	1.0	1.0	4.8	7.7
福江	81	74.1	1.2	61.7	3.7	14.8	0.0	1.2	1.2	2.5	17.3
清田	55	72.7	1.8	56.4	3.6	9.1	0.0	0.0	1.8	3.6	16.4
泉	69	78.3	5.8	44.9	8.7	7.2	1.4	4.3	2.9	2.9	11.6

単位：%

区分	有効回答数（件）	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
六連	43	2.3	2.3	7.0	9.3	2.3	7.0	11.6	16.3	16.3	0.0	9.3
神戸	135	8.1	5.9	3.7	12.6	1.5	4.4	6.7	21.5	14.1	2.2	3.7
大草	25	4.0	4.0	4.0	20.0	4.0	4.0	12.0	20.0	16.0	4.0	4.0
田原東部	102	6.9	8.8	3.9	8.8	2.0	5.9	7.8	20.6	14.7	0.0	6.9
田原南部	50	2.0	6.0	6.0	10.0	2.0	2.0	12.0	20.0	10.0	2.0	6.0
童浦	126	2.4	6.3	2.4	11.9	1.6	6.3	11.9	27.0	15.9	2.4	2.4
田原中部	129	3.9	7.8	6.2	12.4	0.8	3.9	8.5	22.5	13.2	3.1	3.9
衣笠	114	6.1	4.4	2.6	8.8	4.4	3.5	10.5	14.9	7.9	3.5	2.6
野田	84	6.0	7.1	2.4	9.5	2.4	2.4	6.0	27.4	19.0	3.6	8.3
高松	39	5.1	2.6	0.0	5.1	0.0	7.7	20.5	43.6	30.8	2.6	10.3
赤羽根	41	7.3	7.3	12.2	4.9	4.9	0.0	4.9	24.4	12.2	2.4	4.9
若戸	37	5.4	2.7	13.5	5.4	2.7	10.8	2.7	32.4	18.9	0.0	2.7
伊良湖岬(和地)	35	11.4	2.9	2.9	5.7	2.9	2.9	5.7	34.3	34.3	5.7	5.7
伊良湖岬(堀切)	33	0.0	3.0	0.0	6.1	0.0	3.0	24.2	36.4	12.1	6.1	9.1
伊良湖岬(伊良湖)	20	5.0	10.0	5.0	5.0	5.0	0.0	0.0	25.0	25.0	5.0	5.0
亀山	27	3.7	3.7	14.8	7.4	3.7	0.0	7.4	29.6	29.6	3.7	3.7
中山	104	4.8	3.8	6.7	8.7	1.9	3.8	10.6	35.6	20.2	4.8	8.7
福江	81	1.2	6.2	2.5	9.9	2.5	8.6	7.4	32.1	22.2	4.9	1.2
清田	55	3.6	1.8	3.6	7.3	0.0	5.5	7.3	40.0	32.7	3.6	3.6
泉	69	1.4	5.8	2.9	8.7	2.9	5.8	13.0	30.4	24.6	0.0	1.4

問 9 田原市に欠けていると感じることは何ですか。(あてはまるもの3つに○)

「交通の利便性」(63.5%)が最も高く、次いで「買い物などの生活の利便性」(39.1%)、「福祉・医療の充実」(32.9%)と続いています。

平成28年度調査と比べると「交通の利便性」が6.3ポイント増加しています。

単位：%

項目	平成25年度 N=1285	平成28年度 N=1417	令和元年度 N=1372
海・山などの自然環境	2.5	2.1	2.1
街並みなどの都市景観	11.4	10.2	10.5
農業の発達	3.0	2.6	2.4
工業の発達	5.7	6.3	5.8
買い物などの生活の利便性	37.7	43.5	39.1
雇用機会の充実	20.4	17.4	19.4
各種公共施設の整備状況	11.3	14.7	10.7
交通の利便性	53.2	57.2	63.5
住宅確保のしやすさ	4.0	3.7	3.4
住環境の快適さ	4.7	3.9	5.7
余暇を楽しむ機会や場所	34.7	31.0	31.0
歴史や文化	1.7	2.1	2.6
学校など教育環境	6.7	10.4	5.5
医療・福祉の充実	28.0	33.3	32.9
環境共生への取り組み	7.6	7.4	5.8
消防・防災の充実	4.3	3.6	3.3
子育てのしやすさ	4.0	3.5	4.2
人の温かさ	3.0	3.0	3.7
隣近所の助け合い	4.4	4.3	4.7
その他	4.5	3.8	3.2
無回答	9.3	6.1	7.1

【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「交通の利便性」が最も高く、次いで「買い物などの生活の利便性」「医療・福祉の充実」「余暇を楽しむ機会や場所」が続いています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
男性	602	2.0	11.3	2.5	7.0	38.9	17.9	11.5	69.3	3.7	7.0
女性	730	2.2	9.7	2.2	4.8	39.7	21.2	9.7	59.2	3.0	4.8

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
男性	30.7	2.7	7.3	32.2	5.5	3.3	4.5	4.5	4.8	3.0	4.5
女性	32.3	2.7	4.0	33.2	6.3	3.4	4.0	2.9	4.8	3.4	8.4



### 【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代で「交通の利便性」が最も高くなっています。

これに次いで、《18歳、19歳》《20歳代》では「余暇を楽しむ機会や場所」が、30歳代～50歳代及び《70歳以上》では「買い物などの生活の利便性」が高くなっています。

30歳代～60歳代では「医療・福祉の充実」が3割を超え、50歳代では4割となっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
18歳、19歳	22	0.0	22.7	4.5	0.0	54.5	13.6	13.6	63.6	0.0	0.0
20歳代	112	1.8	12.5	1.8	2.7	47.3	13.4	4.5	64.3	5.4	8.0
30歳代	153	0.7	13.1	0.7	0.0	51.6	17.6	9.2	65.4	4.6	3.3
40歳代	181	1.1	8.8	3.3	4.4	41.4	22.1	16.0	65.7	2.2	6.1
50歳代	215	0.9	9.8	1.9	5.1	45.1	22.8	9.8	73.0	5.1	5.1
60歳代	288	4.2	8.7	2.8	7.6	35.4	26.0	11.1	63.9	2.4	7.3
70歳以上	379	2.6	10.8	2.6	9.2	29.6	14.2	9.5	56.5	2.9	5.3

区分	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
18歳、19歳	63.6	0.0	4.5	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.5	9.1
20歳代	48.2	1.8	6.3	23.2	1.8	2.7	5.4	2.7	3.6	2.7	6.3
30歳代	31.4	2.0	5.9	37.3	3.3	2.0	7.2	1.3	3.3	3.9	7.8
40歳代	29.3	0.6	7.7	35.4	2.8	2.2	4.4	3.3	1.1	4.4	8.3
50歳代	27.4	2.3	5.6	40.0	3.7	4.7	4.2	2.8	3.3	2.3	2.3
60歳代	29.9	2.8	6.6	38.5	7.6	4.9	3.8	2.8	2.8	3.1	4.2
70歳以上	28.8	4.5	3.4	25.1	10.0	2.9	3.2	6.9	10.0	3.2	9.8

## 【地区別】

地区別でみると、全ての地区で「交通の利便性」が最も高くなっています。

《亀山》《福江》では、「雇用機会の充実」が3割を超え、比較的高くなっています。

単位: %

区分	有効回答数 (件)	海・山などの自然環境	街並みなどの都市景観	農業の発達	工業の発達	買い物などの生活の利便性	雇用機会の充実	各種公共施設の整備状況	交通の利便性	住宅確保のしやすさ	住環境の快適さ
六連	43	4.7	11.6	7.0	7.0	48.8	14.0	14.0	60.5	9.3	7.0
神戸	135	1.5	9.6	3.7	5.2	29.6	24.4	11.1	53.3	3.7	8.9
大草	25	0.0	4.0	0.0	0.0	32.0	20.0	16.0	72.0	4.0	12.0
田原東部	102	2.0	11.8	2.9	2.9	46.1	18.6	11.8	55.9	1.0	4.9
田原南部	50	0.0	12.0	2.0	0.0	42.0	16.0	14.0	56.0	2.0	10.0
童浦	126	3.2	13.5	0.8	4.0	49.2	11.9	6.3	66.7	1.6	6.3
田原中部	129	1.6	17.1	0.8	4.7	29.5	18.6	11.6	57.4	9.3	2.3
衣笠	114	1.8	8.8	0.9	8.8	35.1	24.6	13.2	55.3	4.4	7.0
野田	84	0.0	3.6	1.2	7.1	38.1	16.7	9.5	72.6	3.6	2.4
高松	39	5.1	7.7	7.7	5.1	38.5	20.5	15.4	61.5	2.6	2.6
赤羽根	41	4.9	2.4	4.9	2.4	39.0	14.6	7.3	78.0	4.9	9.8
若戸	37	0.0	8.1	8.1	2.7	48.6	13.5	5.4	83.8	5.4	2.7
伊良湖岬(和地)	35	2.9	11.4	2.9	2.9	54.3	17.1	5.7	80.0	0.0	0.0
伊良湖岬(堀切)	33	3.0	6.1	6.1	0.0	45.5	24.2	12.1	78.8	0.0	9.1
伊良湖岬(伊良湖)	20	0.0	15.0	0.0	0.0	50.0	5.0	15.0	80.0	0.0	10.0
亀山	27	3.7	11.1	0.0	3.7	33.3	33.3	7.4	88.9	0.0	3.7
中山	104	2.9	3.8	1.0	11.5	38.5	17.3	10.6	68.3	0.0	5.8
福江	81	2.5	11.1	1.2	12.3	38.3	30.9	6.2	65.4	3.7	6.2
清田	55	5.5	18.2	1.8	10.9	41.8	25.5	9.1	67.3	1.8	3.6
泉	69	0.0	13.0	4.3	5.8	40.6	15.9	13.0	55.1	4.3	2.9

単位:%

区分	有効回答数 (件)	余暇を楽しむ機会や場所	歴史や文化	学校など教育環境	医療・福祉の充実	環境共生への取り組み	消防・防災の充実	子育てのしやすさ	人の温かさ	隣近所の助け合い	その他	無回答
六連	43	34.9	2.3	4.7	30.2	4.7	0.0	0.0	7.0	2.3	2.3	4.7
神戸	135	31.1	2.2	4.4	35.6	8.1	3.0	3.0	4.4	6.7	5.2	5.9
大草	25	24.0	0.0	0.0	28.0	8.0	4.0	12.0	4.0	4.0	0.0	8.0
田原東部	102	36.3	1.0	8.8	32.4	7.8	2.0	3.9	2.0	2.9	2.0	5.9
田原南部	50	36.0	4.0	10.0	38.0	6.0	2.0	4.0	6.0	6.0	4.0	6.0
童浦	126	31.7	1.6	8.7	36.5	5.6	2.4	4.0	4.0	6.3	0.8	6.3
田原中部	129	34.9	5.4	3.9	31.8	6.2	4.7	3.9	0.0	5.4	3.1	7.8
衣笠	114	38.6	3.5	3.5	34.2	5.3	3.5	2.6	7.9	4.4	4.4	4.4
野田	84	23.8	2.4	4.8	40.5	7.1	3.6	6.0	3.6	3.6	3.6	8.3
高松	39	20.5	0.0	5.1	30.8	7.7	5.1	7.7	0.0	2.6	0.0	10.3
赤羽根	41	26.8	7.3	4.9	26.8	4.9	2.4	7.3	0.0	9.8	2.4	7.3
若戸	37	27.0	2.7	5.4	43.2	8.1	2.7	2.7	5.4	2.7	2.7	0.0
伊良湖岬(和地)	35	25.7	0.0	5.7	37.1	0.0	5.7	8.6	0.0	0.0	0.0	8.6
伊良湖岬(堀切)	33	21.2	0.0	15.2	36.4	0.0	0.0	0.0	9.1	15.2	6.1	0.0
伊良湖岬(伊良湖)	20	30.0	0.0	10.0	25.0	0.0	5.0	10.0	0.0	0.0	5.0	10.0
亀山	27	25.9	7.4	3.7	29.6	7.4	0.0	3.7	0.0	3.7	3.7	7.4
中山	104	33.7	2.9	2.9	22.1	4.8	4.8	7.7	3.8	4.8	1.9	10.6
福江	81	30.9	4.9	2.5	29.6	7.4	3.7	1.2	1.2	2.5	2.5	7.4
清田	55	34.5	0.0	3.6	29.1	3.6	3.6	3.6	1.8	0.0	7.3	3.6
泉	69	27.5	1.4	7.2	37.7	5.8	5.8	1.4	10.1	7.2	4.3	7.2

問 10 あなたは、友人や知人などが訪ねてきたとき、田原市のどこを案内してあげたいですか。  
(あてはまるもの3つに○)

「伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺」(73.4%)が最も高く、次いで「蔵王山展望台・権現の森」(45.0%)、「サンテパークたはら」(37.9%)となっています。

平成28年度調査と比べると、「道の駅田原めっくんはうす」が10.6ポイント増加しているのに対し「サンテパークたはら」が5.7ポイント減少しています。

単位：%

項目	平成25年度 N=1285	平成28年度 N=1417	令和元年度 N=1372
伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	76.0	75.7	73.4
伊良湖海水浴場	4.1	5.3	2.7
一色の磯・太平洋ロングビーチ	11.7	10.9	10.3
セントファーレ・はなとき通り商店街	1.9	2.2	1.6
白谷海浜公園	3.0	4.3	3.3
仁崎海水浴場・キャンプ場	0.4	0.6	0.7
汐川干潟	0.2	0.3	0.2
初立池公園	2.8	5.1	5.4
赤羽根文化広場・文化の森	0.2	0.6	0.3
サンテパークたはら	45.4	43.6	37.9
蔵王山展望台・権現の森	44.4	46.9	45.0
滝頭公園	8.9	7.8	8.2
緑が浜公園	0.4	0.8	0.8
池ノ原公園・つばき公園	2.0	1.8	0.8
田原市博物館・田原城跡周辺	11.9	9.3	8.9
田原まつり会館	3.3	3.0	2.2
藤七原・黒河・柁のシデコブシ	2.0	2.3	0.9
吉胡貝塚・シェルマよしご	0.9	1.0	1.0
菜の花畑	13.8	17.2	15.0
道の駅伊良湖クリスタルポルト	7.9	7.3	5.0
道の駅田原めっくんはうす	9.1	10.9	21.5
道の駅あかばねロコステーション、ロコパーク	10.1	11.5	11.6
風力発電	2.4	1.3	1.2
臨海工業地帯	1.4	1.6	1.3
図書館	4.6	3.2	3.6
親子交流館(すくっと)	-	-	3.1
LaLaGran(ララグラン)	-	-	4.5
その他	3.1	3.3	3.2
無回答	5.1	3.2	3.6

## 【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺」が7割を超え、最も高くなっています。《女性》では「サンテパークたはら」が《男性》に比べ17.0ポイント高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	伊良湖海水浴場	一色の磯・太平洋ロングビーチ	セントファール・はなとき通り商店街	白谷海浜公園	仁崎海水浴場・キャンプ場	汐川干潟	初立池公園	赤羽根文化広場・文化の森	サンテパークたはら	蔵王山展望台・権現の森	滝頭公園	緑が浜公園	池ノ原公園・つばき公園
男性	602	75.1	3.8	13.6	1.5	3.8	1.2	0.2	5.8	0.3	28.6	49.8	5.1	1.7	0.3
女性	730	72.2	1.8	7.5	1.8	2.7	0.4	0.3	4.9	0.3	45.6	41.4	10.4	0.1	1.1

区分	辺田原市博物館・田原城跡周	田原まつり会館	藤七原・黒河・椀のシデコブシ	吉胡貝塚・シエルマよしご	菜の花畑	道の駅伊良湖クリスタルポルト	道の駅田原めつくんはうす	道の駅あかばねロコステーション	風力発電	臨海工業地帯	図書館	親子交流館（すくっと）	ラン）LaLaGran（ララグ	その他	無回答
男性	9.5	2.5	1.3	1.3	13.6	5.8	17.6	12.5	2.2	2.2	2.2	1.7	3.3	5.0	2.7
女性	8.4	2.1	0.7	0.8	16.7	4.2	24.9	11.0	0.5	0.7	4.9	4.2	5.8	1.9	3.7

### 【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代で「伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺」が最も高く、次いで《30歳代》では「サンテパークたはら」が、その他の年代では「蔵王山展望台・権現の森」が続いています。《20歳代》では「菜の花畑」、《40歳代》では「道の駅田原めっくんはうす」がそれぞれ約3割と、比較的高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	伊良湖海水浴場	一色の磯・太平洋ロングビーチ	セントファール・はなとき通り商店街	白谷海浜公園	仁崎海水浴場・キャンプ場	汐川干潟	初立池公園	赤羽根文化広場・文化の森	サンテパークたはら	蔵王山展望台・権現の森	滝頭公園	緑が浜公園	池ノ原公園・つばき公園
18歳、19歳	22	63.6	9.1	13.6	13.6	4.5	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	50.0	4.5	0.0	0.0
20歳代	112	70.5	7.1	11.6	4.5	9.8	1.8	0.0	4.5	0.0	24.1	42.0	7.1	3.6	0.0
30歳代	153	69.9	0.7	11.1	0.0	5.2	0.0	0.0	0.7	0.0	42.5	38.6	2.6	1.3	0.0
40歳代	181	75.1	5.5	11.6	2.8	3.9	0.6	0.0	1.1	0.6	39.2	40.3	7.2	1.1	0.0
50歳代	215	77.7	2.8	13.0	0.9	1.4	0.9	0.0	5.1	0.5	38.6	47.9	2.8	0.9	0.5
60歳代	288	76.7	1.4	8.0	1.0	2.8	1.4	0.3	5.9	0.3	42.4	44.1	9.4	0.0	1.0
70歳以上	379	71.5	1.6	8.7	1.1	1.8	0.0	0.5	9.2	0.3	37.2	50.4	13.5	0.3	1.8

区分	田原市博物館・田原城跡周	田原まつり会館	藤七原・黒河・椀のシデコブシ	吉胡貝塚・シエルマよしご	菜の花畑	道の駅伊良湖クリスタルポルト	道の駅田原めっくんはうす	道の駅あかねロコステーション、ロコパーク	風力発電	臨海工業地帯	図書館	親子交流館(すくっと)	LaLaGran(ララグラン)	その他	無回答
18歳、19歳	0.0	0.0	0.0	0.0	22.7	0.0	13.6	4.5	0.0	0.0	9.1	0.0	4.5	4.5	9.1
20歳代	2.7	0.0	0.9	1.8	30.4	8.0	17.9	9.8	0.9	0.9	1.8	3.6	6.3	1.8	5.4
30歳代	2.0	0.0	1.3	0.0	23.5	2.0	18.3	8.5	0.7	0.7	7.2	14.4	15.7	4.6	3.9
40歳代	3.9	1.7	0.6	1.1	16.0	2.8	31.5	16.0	1.1	0.6	2.2	2.2	5.0	3.3	1.1
50歳代	4.7	3.3	0.5	0.5	14.0	6.5	23.3	16.3	0.9	0.9	4.2	1.9	5.6	2.8	2.8
60歳代	10.1	3.8	1.0	0.3	12.2	4.9	24.0	10.8	1.4	1.7	3.5	1.7	1.7	4.2	2.4
70歳以上	17.9	2.1	1.3	2.1	9.8	6.1	16.4	10.0	1.8	2.1	2.4	0.8	1.1	2.6	3.7

## 【地区別】

地区別でみると、《六連》を除く全ての地区で「伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺」が最も高く、そのうち《伊良湖岬（堀切）》《伊良湖岬（伊良湖）》《亀山》《福江》では9割以上となっています。

《亀山》では「菜の花畑」が、《若戸》《赤羽根》では「道の駅あかばねロコステーション、ロコパーク」がそれぞれ4割を超え、比較的高くなっています。

区分	有効回答数（件）	単位：%													
		伊良湖岬・恋路ヶ浜周辺	伊良湖海水浴場	一色の磯・太平洋ロングビーチ	通り商店街	セントファール・はなとき	白谷海浜公園	仁崎海水浴場・キャンプ場	夕川干潟	初立池公園	赤羽根文化広場・文化の森	サンテパルクたはら	蔵王山展望台・権現の森	滝頭公園	緑が浜公園
六連	43	62.8	0.0	11.6	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	37.2	67.4	9.3	0.0	0.0
神戸	135	64.4	2.2	11.9	3.7	4.4	0.0	0.7	0.7	0.7	32.6	54.1	11.9	0.0	0.7
大草	25	60.0	0.0	16.0	8.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	32.0	52.0	16.0	0.0	0.0
田原東部	102	76.5	2.0	10.8	1.0	2.9	1.0	0.0	1.0	0.0	32.4	56.9	11.8	1.0	3.9
田原南部	50	60.0	2.0	10.0	0.0	4.0	2.0	0.0	4.0	0.0	50.0	34.0	10.0	0.0	0.0
童浦	126	69.0	2.4	4.8	0.8	7.9	0.0	0.8	0.8	0.0	35.7	54.0	4.8	4.8	0.0
田原中部	129	70.5	0.0	4.7	4.7	7.0	1.6	0.0	0.0	0.0	34.1	56.6	10.1	0.0	0.8
衣笠	114	66.7	0.0	10.5	2.6	5.3	0.9	0.0	1.8	0.0	32.5	53.5	15.8	0.0	0.9
野田	84	63.1	2.4	9.5	1.2	1.2	4.8	0.0	1.2	0.0	56.0	53.6	8.3	1.2	1.2
高松	39	74.4	0.0	33.3	0.0	2.6	0.0	0.0	2.6	0.0	46.2	35.9	10.3	0.0	0.0
赤羽根	41	63.4	0.0	34.1	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	4.9	46.3	34.1	4.9	2.4	0.0
若戸	37	64.9	2.7	13.5	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	40.5	35.1	8.1	0.0	0.0
伊良湖岬(和地)	35	88.6	5.7	11.4	0.0	0.0	0.0	0.0	17.1	0.0	54.3	8.6	0.0	0.0	0.0
伊良湖岬(堀切)	33	93.9	12.1	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	36.4	21.2	6.1	0.0	0.0
伊良湖岬(伊良湖)	20	90.0	15.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	0.0	30.0	20.0	0.0	0.0	0.0
亀山	27	92.6	11.1	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	22.2	0.0	22.2	29.6	3.7	0.0	0.0
中山	104	87.5	3.8	4.8	0.0	1.0	0.0	1.0	16.3	0.0	47.1	29.8	0.0	0.0	1.0
福江	81	90.1	6.2	9.9	0.0	1.2	0.0	0.0	11.1	0.0	25.9	34.6	6.2	1.2	0.0
清田	55	85.5	3.6	7.3	3.6	0.0	0.0	0.0	12.7	0.0	34.5	30.9	7.3	1.8	1.8
泉	69	79.7	1.4	11.6	0.0	0.0	0.0	0.0	7.2	1.4	47.8	49.3	7.2	0.0	1.4

単位:%

区分	辺 田 原 市 博 物 館 ・ 田 原 城 跡 周	田 原 ま つ り 会 館	藤 七 原 ・ 黒 河 ・ 柁 の シ デ コ ブ シ	吉 胡 貝 塚 ・ シ ェ ル マ よ し ご	菜 の 花 畑	ル ト 道 の 駅 伊 良 湖 ク リ ス タ ル ポ	道 の 駅 田 原 め つ く ん は う す	道 の 駅 あ か ば ね ロ コ ス テ ー シ ョ ン 、 ロ コ バ ー ク	風 力 発 電	臨 海 工 業 地 帯	図 書 館	親 子 交 流 館 (す く つ と)	ラ ン L a L a G r a n (ラ ラ グ)	そ の 他	無 回 答
六連	20.9	0.0	0.0	4.7	14.0	2.3	18.6	2.3	0.0	0.0	2.3	4.7	4.7	9.3	2.3
神戸	14.1	3.0	2.2	1.5	10.4	0.7	31.1	7.4	0.7	5.2	2.2	3.7	5.2	5.9	2.2
大草	8.0	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	36.0	12.0	0.0	0.0	4.0	0.0	8.0	4.0	4.0
田原東部	15.7	2.0	0.0	0.0	13.7	0.0	21.6	9.8	0.0	0.0	2.9	4.9	3.9	0.0	4.9
田原南部	6.0	4.0	2.0	0.0	18.0	4.0	28.0	10.0	0.0	2.0	6.0	10.0	14.0	2.0	4.0
童浦	7.1	1.6	0.8	3.2	13.5	3.2	18.3	8.7	4.8	3.2	7.1	1.6	9.5	2.4	4.0
田原中部	14.0	8.5	0.8	0.8	12.4	0.8	23.3	7.0	2.3	0.8	5.4	5.4	3.9	1.6	3.1
衣笠	9.6	3.5	0.9	0.0	14.0	4.4	27.2	7.0	0.9	2.6	4.4	3.5	5.3	4.4	3.5
野田	8.3	3.6	2.4	1.2	8.3	4.8	21.4	13.1	0.0	0.0	3.6	3.6	3.6	2.4	2.4
高松	0.0	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	20.5	25.6	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	7.7
赤羽根	4.9	0.0	0.0	0.0	12.2	4.9	9.8	41.5	0.0	2.4	2.4	0.0	2.4	4.9	2.4
若戸	10.8	2.7	0.0	0.0	10.8	2.7	21.6	48.6	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0	2.7	0.0
伊良湖岬(和地)	0.0	0.0	0.0	0.0	31.4	5.7	25.7	11.4	0.0	0.0	5.7	5.7	5.7	2.9	2.9
伊良湖岬(堀切)	0.0	0.0	6.1	0.0	30.3	6.1	6.1	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	9.1	3.0
伊良湖岬(伊良湖)	0.0	5.0	0.0	5.0	20.0	35.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	5.0
亀山	11.1	0.0	0.0	0.0	40.7	14.8	14.8	7.4	0.0	0.0	3.7	0.0	11.1	0.0	0.0
中山	1.9	0.0	1.0	0.0	14.4	14.4	17.3	11.5	1.9	0.0	1.9	2.9	2.9	2.9	4.8
福江	7.4	0.0	1.2	0.0	29.6	11.1	16.0	7.4	3.7	1.2	2.5	1.2	1.2	1.2	2.5
清田	7.3	0.0	0.0	3.6	18.2	9.1	29.1	14.5	0.0	0.0	3.6	3.6	3.6	1.8	1.8
泉	7.2	0.0	0.0	1.4	8.7	4.3	13.0	17.4	1.4	0.0	2.9	1.4	0.0	2.9	1.4



## 4. 各分野での市の取り組みについて

問 11 あなたは、現状の田原市の取り組みに対しどの程度満足していますか。

(下表の「満足度」の欄に、項目ごとに評価し、該当する番号に○をつけてください。)

また、それぞれの取り組みについて、重要度はどの程度だと思いますか。

(下表の「重要度」の欄に、項目ごとに評価し、該当する番号に○をつけてください。)

### 【ポートフォリオによる分析の考え方】

満足度と重要度を下表のような配分で点数化し、その点数の合計値を、無回答を除いた各設問の回答総数で割り、満足度・重要度を得点化しました。

さらに、各項目の満足度と重要度の得点の関係について分布図を作成し、ポートフォリオ分析により、今後の方向性を分析しました。

### 【満足度・重要度の得点化の手順】

満足度	得点
満足	2点
やや満足	1点
普通	0点
やや不満	-1点
不満	-2点
無回答	計算対象外

重要度	得点
非常に重要	2点
重要	1点
普通	0点
あまり重要ではない	-1点
重要ではない	-2点
無回答	計算対象外

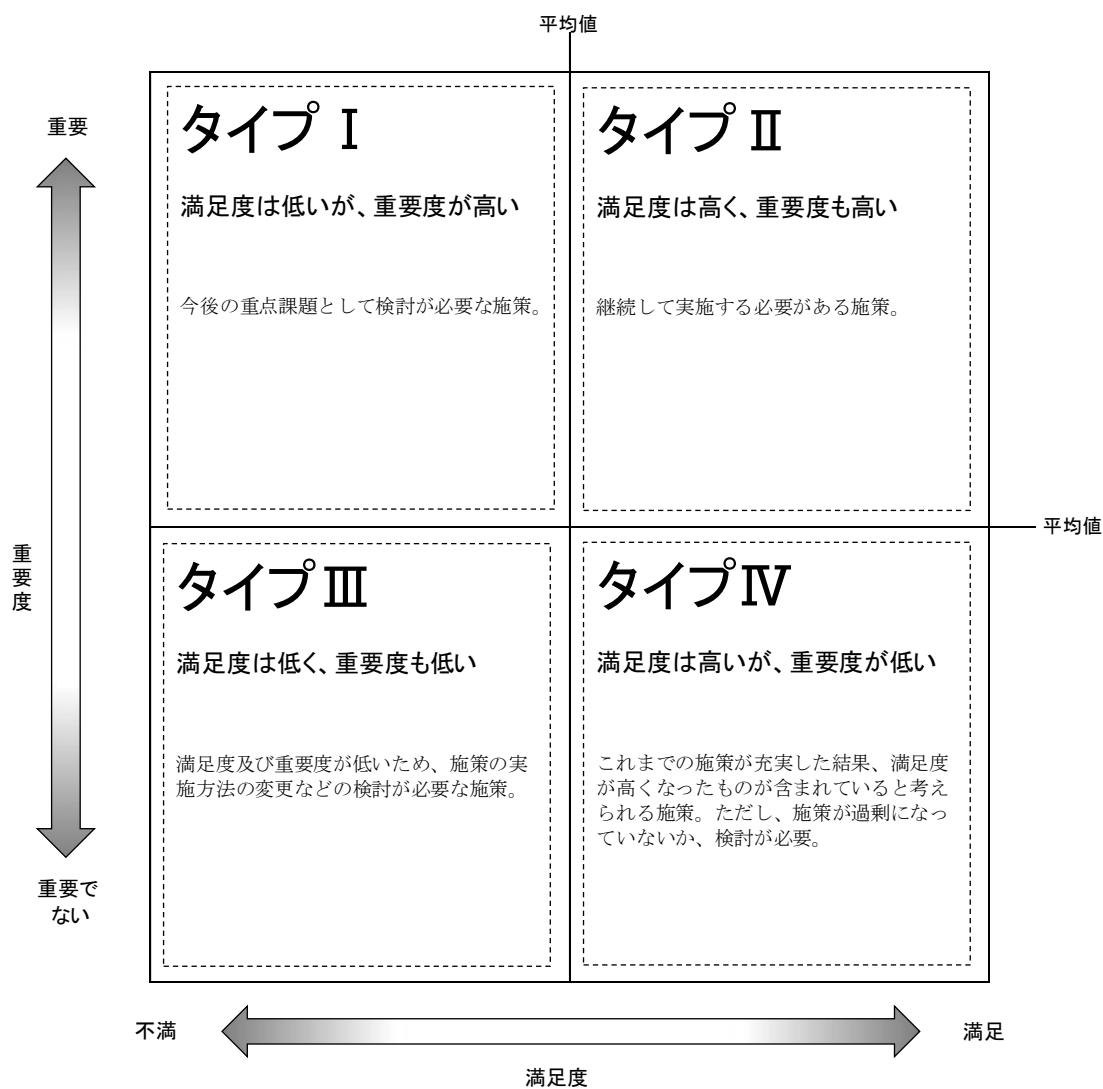
### 【得点の算出式】

$$\begin{aligned}
 & 2点 \times \text{「満足（非常に重要）」の回答数} \\
 & 1点 \times \text{「やや満足（重要）」の回答数} \\
 & 0点 \times \text{「普通」の回答数} \\
 & -1点 \times \text{「やや不満（あまり重要でない）」の回答数} \\
 & -2点 \times \text{「不満（重要ではない）」の回答数}
 \end{aligned}
 \left. \vphantom{\begin{aligned} & 2点 \times \text{「満足（非常に重要）」の回答数} \\ & 1点 \times \text{「やや満足（重要）」の回答数} \\ & 0点 \times \text{「普通」の回答数} \\ & -1点 \times \text{「やや不満（あまり重要でない）」の回答数} \\ & -2点 \times \text{「不満（重要ではない）」の回答数} \end{aligned}} \right\} \text{これらの数値の和}$$

---

無回答を除いた設問の回答総数

※得点については、小数点以下第3位を四捨五入して表示しています。

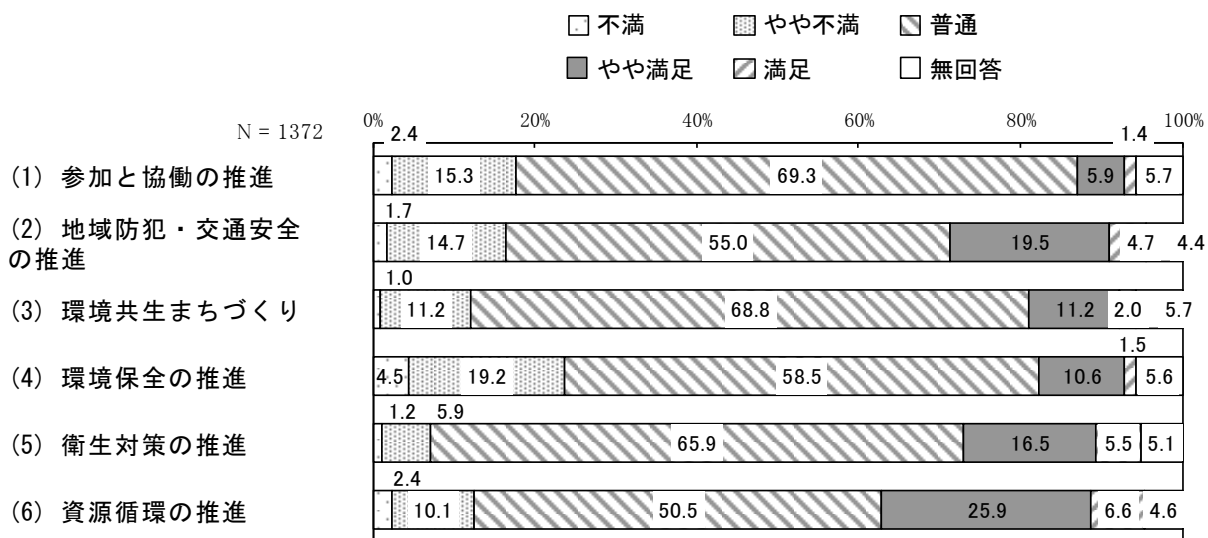


※ポートフォリオとは、各属性についての満足度と総合満足度への影響度を2次元にプロットした図です。それぞれの選択肢を5段階評価で聞き、X軸に各属性の平均満足度、Y軸に重要度（期待度）として総合満足度と各満足度の偏相関係数を表しています。なお、図は4象限に分けられ、象限を分ける境界線は、満足度、重要度の各平均値を使用しています。

## <市民環境分野>

### 【満足度】

満足度について、平成 28 年度調査と比べると「やや満足」「満足」を合わせた“満足”（以下同じ）は、全ての項目で 2 ポイント以上減少し、「やや不満」「不満」を合わせた“不満”（以下同じ）は、全ての項目で 2 ポイント以上増加しています。



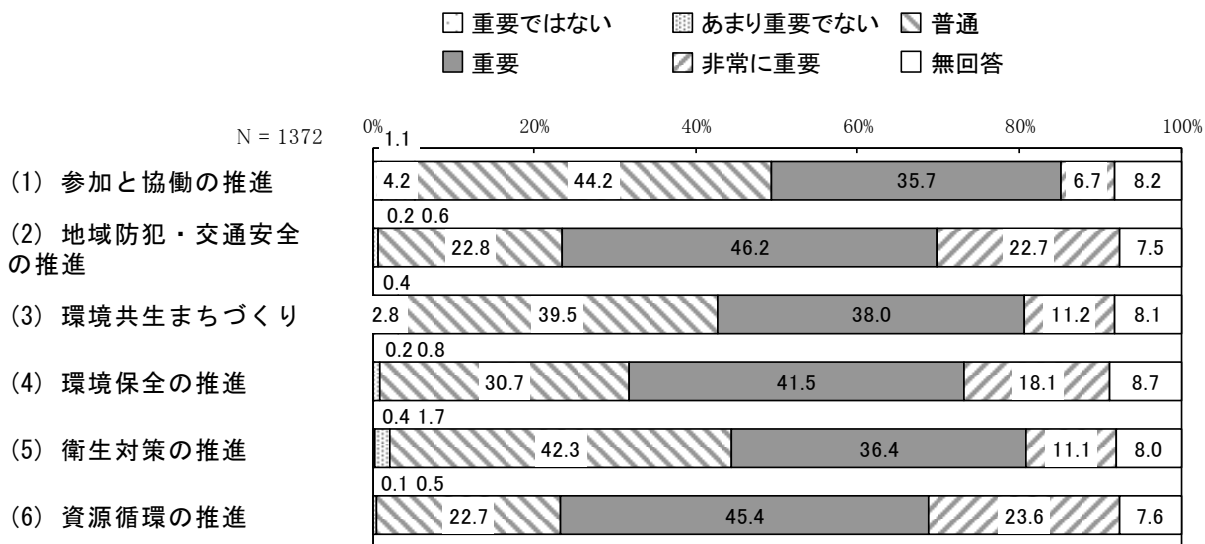
### 【経年比較—満足度】

施策	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
(1) 参加と協働の推進	R1	1372	2.4	15.3	69.3	5.9	1.4	5.7
	H28	1417	1.8	8.3	67.7	10.7	2.8	8.8
	H25	1285	2.3	11.9	70.9	5.5	1.1	8.2
(2) 地域防犯・交通安全の推進	R1	1372	1.7	14.7	55.0	19.5	4.7	4.4
	H28	1417	2.1	11.8	50.7	21.7	6.9	6.7
	H25	1285	2.9	12.6	55.8	18.0	3.9	6.8
(3) 環境共生まちづくり	R1	1372	1.0	11.2	68.8	11.2	2.0	5.7
	H28	1417	1.3	7.9	62.7	15.6	3.9	8.5
	H25	1285	2.2	11.4	61.7	14.6	2.2	7.9
(4) 環境保全の推進	R1	1372	4.5	19.2	58.5	10.6	1.5	5.6
	H28	1417	5.2	16.0	56.5	10.8	3.5	8.0
	H25	1285	6.6	15.5	57.3	9.8	3.0	7.9
(5) 衛生対策の推進	R1	1372	1.2	5.9	65.9	16.5	5.5	5.1
	H28	1417	1.1	3.6	62.6	16.4	8.4	7.9
	H25	1285	1.2	3.5	66.1	15.4	6.8	6.8
(6) 資源循環の推進	R1	1372	2.4	10.1	50.5	25.9	6.6	4.6
	H28	1417	1.1	7.1	47.6	26.6	10.4	7.1
	H25	1285	1.4	7.2	51.8	23.7	8.8	7.2

## 【重要度】

重要度について、平成 28 年度調査と比べると、「非常に重要」「重要」を合わせた“重要”（以下同じ）は、全ての項目で 2 ポイント以上増加しています。

「重要ではない」「あまり重要でない」を合わせた“重要ではない”（以下同じ）は、いずれも 2 ポイント未満の減少となっています。

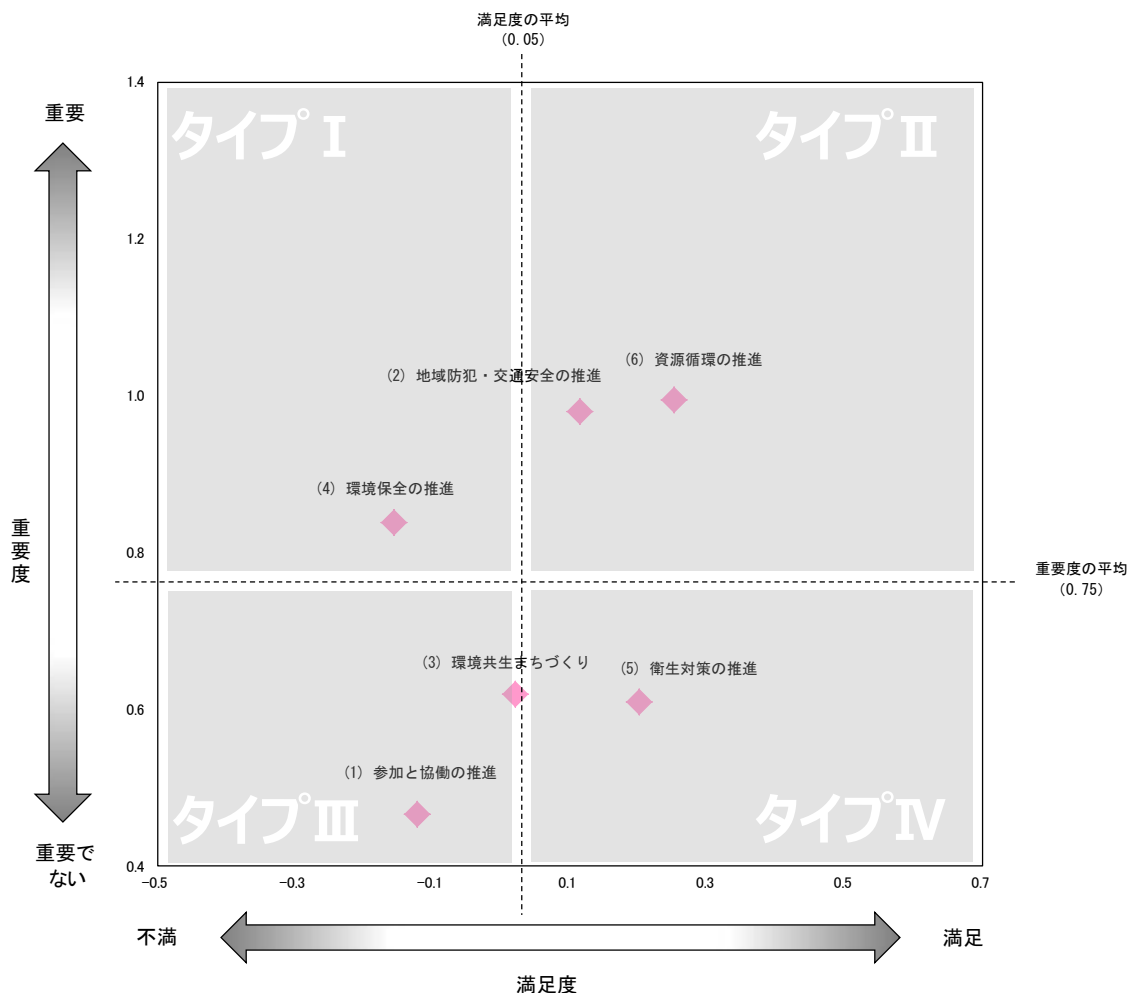


## 【経年比較—重要度】

施策	調査年度	N	評価					無回答
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	
(1) 参加と協働の推進	R1	1372	1.1	4.2	44.2	35.7	6.7	8.2
	H28	1417	1.2	4.7	46.0	31.3	5.4	11.4
	H25	1285	1.9	4.9	43.3	30.2	8.7	11.0
(2) 地域防犯・交通安全の推進	R1	1372	0.2	0.6	22.8	46.2	22.7	7.5
	H28	1417	0.3	1.0	22.4	43.5	23.0	9.8
	H25	1285	0.4	0.3	20.9	42.3	27.2	8.9
(3) 環境共生まちづくり	R1	1372	0.4	2.8	39.5	38.0	11.2	8.1
	H28	1417	1.1	3.7	41.6	33.3	9.2	11.2
	H25	1285	0.5	1.9	31.7	37.7	18.0	10.1
(4) 環境保全の推進	R1	1372	0.2	0.8	30.7	41.5	18.1	8.7
	H28	1417	0.3	1.1	30.6	39.0	18.3	10.7
	H25	1285	0.1	0.9	26.7	40.7	21.8	9.9
(5) 衛生対策の推進	R1	1372	0.4	1.7	42.3	36.4	11.1	8.0
	H28	1417	0.4	2.2	46.3	29.2	10.6	11.3
	H25	1285	0.5	1.9	42.7	32.9	12.5	9.4
(6) 資源循環の推進	R1	1372	0.1	0.5	22.7	45.4	23.6	7.6
	H28	1417	0.4	0.6	26.2	41.6	20.7	10.6
	H25	1285	0.4	0.6	25.4	41.2	23.3	9.0

ポートフォリオ分析による市民環境分野の評価については、『(4) 環境保全の推進』が、重要度が高いものの満足度が低くなっており、改善が求められます。

『(2) 地域防犯・交通安全の推進』『(6) 資源循環の推進』は、満足度、重要度ともに高く、今後も継続して実施することが求められています。



施策	満足度				重要度			
	H22	H25	H28	R1	H22	H25	H28	R1
(1) 参加と協働の推進	0.02	-0.10	0.05	-0.12	0.24	0.44	0.39	0.47
(2) 地域防犯・交通安全の推進	-	0.08	0.21	0.12	-	1.05	0.98	0.98
(3) 環境共生まちづくり	0.03	0.03	0.14	0.02	0.88	0.79	0.52	0.62
(4) 環境保全の推進	-0.02	-0.14	-0.09	-0.16	0.38	0.92	0.83	0.84
(5) 衛生対策の推進	0.05	0.25	0.30	0.20	0.53	0.61	0.53	0.61
(6) 資源循環の推進	0.18	0.34	0.41	0.25	0.79	0.95	0.91	0.99

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

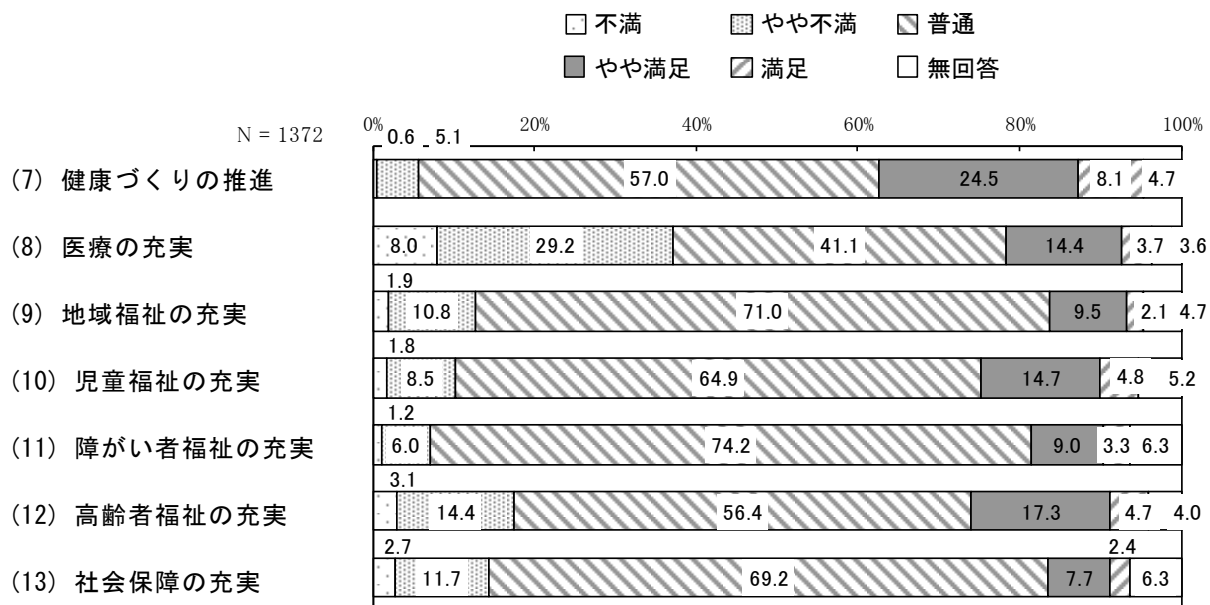
**(4) 環境保全の推進**

## <健康福祉分野>

### 【満足度】

満足度について、平成 28 年度調査と比べると、“満足”の割合は、『(9) 地域福祉の充実』で 2.2 ポイント減少、それ以外の項目は 2 ポイント未満の増減となっています。

“不満”の割合は、『(12) 高齢者福祉の充実』で 4.4 ポイント、『(9) 地域福祉の充実』で 2.7 ポイント増加し、それ以外の項目は 2 ポイント未満の増減となっています。



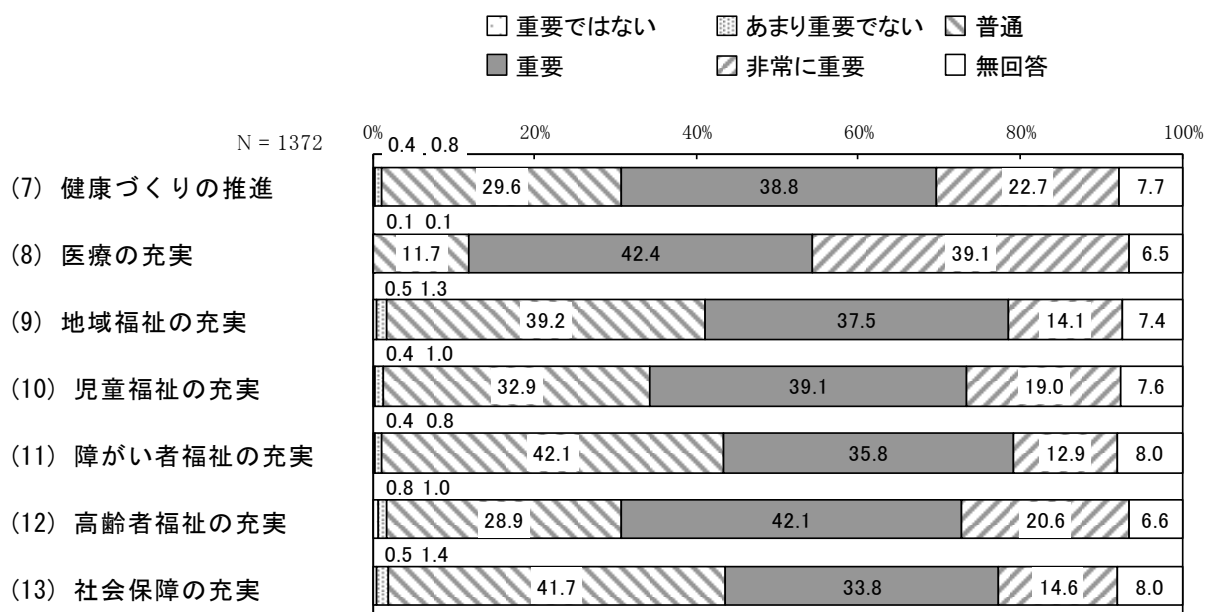
### 【経年比較—満足度】

施策	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
(7) 健康づくりの推進	R1	1372	0.6	5.1	57.0	24.5	8.1	4.7
	H28	1417	0.7	3.6	54.3	23.4	10.9	7.1
	H25	1285	0.8	5.1	58.0	21.0	7.5	7.5
(8) 医療の充実	R1	1372	8.0	29.2	41.1	14.4	3.7	3.6
	H28	1417	9.0	26.8	40.0	14.6	4.0	5.6
	H25	1285	8.1	20.5	44.0	17.4	4.3	5.8
(9) 地域福祉の充実	R1	1372	1.9	10.8	71.0	9.5	2.1	4.7
	H28	1417	2.0	8.0	68.9	10.1	3.7	7.2
	H25	1285	1.6	7.9	70.6	9.3	3.2	7.3
(10) 児童福祉の充実	R1	1372	1.8	8.5	64.9	14.7	4.8	5.2
	H28	1417	1.8	9.1	61.4	14.5	4.7	8.5
	H25	1285	1.4	8.9	64.2	13.0	3.7	8.8
(11) 障がい者福祉の充実	R1	1372	1.2	6.0	74.2	9.0	3.3	6.3
	H28	1417	1.4	5.6	70.4	9.5	3.7	9.4
	H25	1285	1.6	6.9	71.1	8.7	2.6	8.9
(12) 高齢者福祉の充実	R1	1372	3.1	14.4	56.4	17.3	4.7	4.0
	H28	1417	2.7	10.4	58.5	17.1	5.6	5.6
	H25	1285	2.0	9.6	59.8	16.4	5.9	6.3
(13) 社会保障の充実	R1	1372	2.7	11.7	69.2	7.7	2.4	6.3
	H28	1417	3.6	9.7	68.0	8.6	2.3	7.8
	H25	1285	2.5	8.9	70.3	7.6	1.9	8.8

## 【重要度】

重要度について、平成 28 年度調査と比べると、“重要”は、『(7)健康づくりの推進』『(11)障がい者福祉の充実』『(13)社会保障の充実』を除く全ての項目で3ポイント以上増加しています。

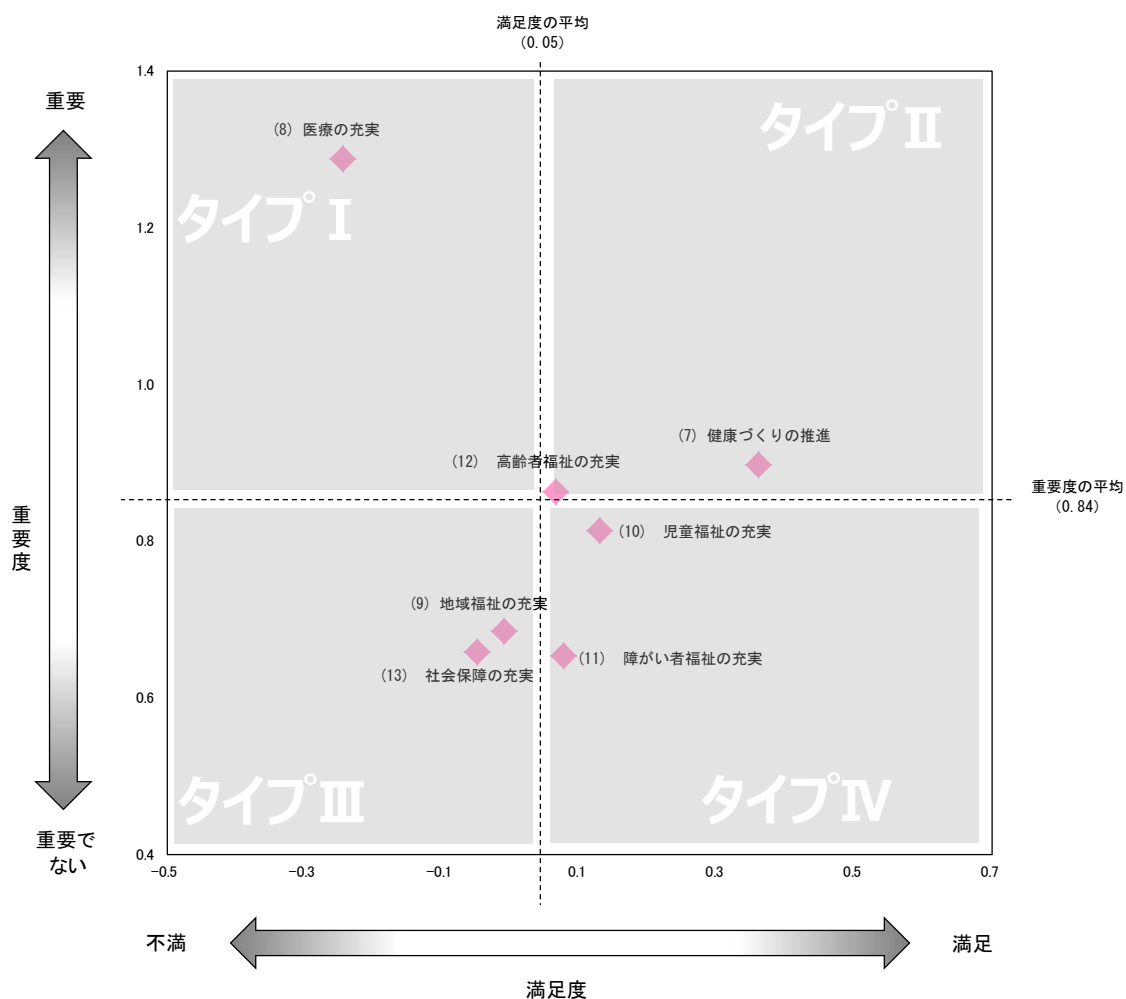
“重要ではない”は、いずれも2ポイント未満の増減となっています。



## 【経年比較—重要度】

施策	調査年度	N	評価					無回答
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	
(7) 健康づくりの推進	R1	1372	0.4	0.8	29.6	38.8	22.7	7.7
	H28	1417	0.3	0.6	28.1	38.9	21.9	10.2
	H25	1285	0.2	0.2	23.8	39.4	26.1	10.2
(8) 医療の充実	R1	1372	0.1	0.1	11.7	42.4	39.1	6.5
	H28	1417	0.1	0.3	15.0	37.8	38.0	8.8
	H25	1285	0.2	0.3	15.3	32.6	43.5	8.1
(9) 地域福祉の充実	R1	1372	0.5	1.3	39.2	37.5	14.1	7.4
	H28	1417	0.8	1.9	39.9	34.7	12.5	10.2
	H25	1285	0.2	1.4	38.0	37.5	13.6	9.3
(10) 児童福祉の充実	R1	1372	0.4	1.0	32.9	39.1	19.0	7.6
	H28	1417	0.4	1.2	33.2	35.6	19.0	10.6
	H25	1285	0.1	1.4	33.6	36.7	18.2	10.0
(11) 障がい者福祉の充実	R1	1372	0.4	0.8	42.1	35.8	12.9	8.0
	H28	1417	0.4	0.8	41.4	32.5	13.8	11.1
	H25	1285	0.5	0.9	38.5	34.2	15.6	10.4
(12) 高齢者福祉の充実	R1	1372	0.8	1.0	28.9	42.1	20.6	6.6
	H28	1417	0.8	2.0	29.1	35.7	23.1	9.3
	H25	1285	0.7	2.5	31.4	36.5	20.7	8.2
(13) 社会保障の充実	R1	1372	0.5	1.4	41.7	33.8	14.6	8.0
	H28	1417	0.8	2.2	39.0	33.2	14.5	10.4
	H25	1285	0.9	2.6	40.2	31.4	14.8	10.3

ポートフォリオ分析による健康福祉分野の評価については、『(8) 医療の充実』が、重要度が最も高いと同時に満足度が最も低く、改善が求められます。



施策	満足度				重要度			
	H22	H25	H28	R1	H22	H25	H28	R1
(7) 健康づくりの推進	0.20	0.32	0.43	0.36	0.81	1.01	0.91	0.90
(8) 医療の充実	-0.19	-0.11	-0.24	-0.24	1.24	1.29	1.24	1.29
(9) 地域福祉の充実	-0.03	0.05	0.06	-0.01	0.84	0.70	0.62	0.68
(10) 児童福祉の充実	0.06	0.09	0.12	0.13	0.89	0.80	0.80	0.81
(11) 障がい者福祉の充実	-0.04	0.04	0.09	0.08	0.73	0.71	0.66	0.65
(12) 高齢者福祉の充実	-0.04	0.16	0.13	0.07	0.97	0.81	0.86	0.86
(13) 社会保障の充実	-0.11	-0.03	-0.04	-0.05	0.80	0.63	0.65	0.66

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

(8) 医療の充実

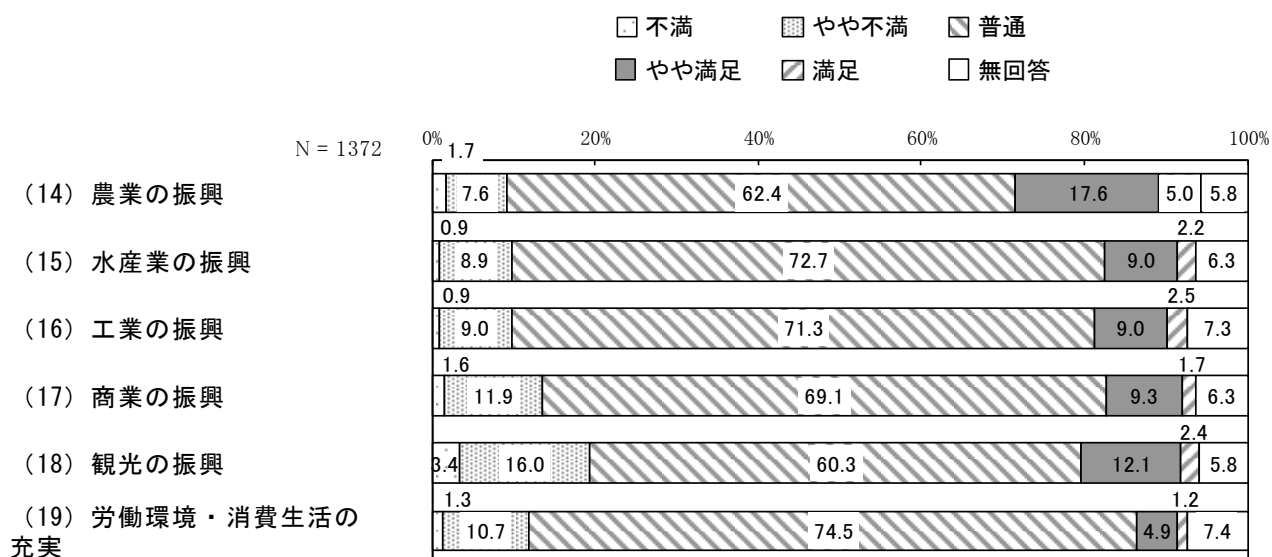


## <産業経済分野>

### 【満足度】

満足度について、平成 28 年度調査と比べると、“満足”の割合は『(18) 観光の振興』で 2.8 ポイント増加、『(16) 工業の振興』で 2.4 ポイント減少し、それ以外の項目は 2 ポイント未満の増減となっています。

“不満”の割合は、全ての項目で 2 ポイント未満の増減となっています。



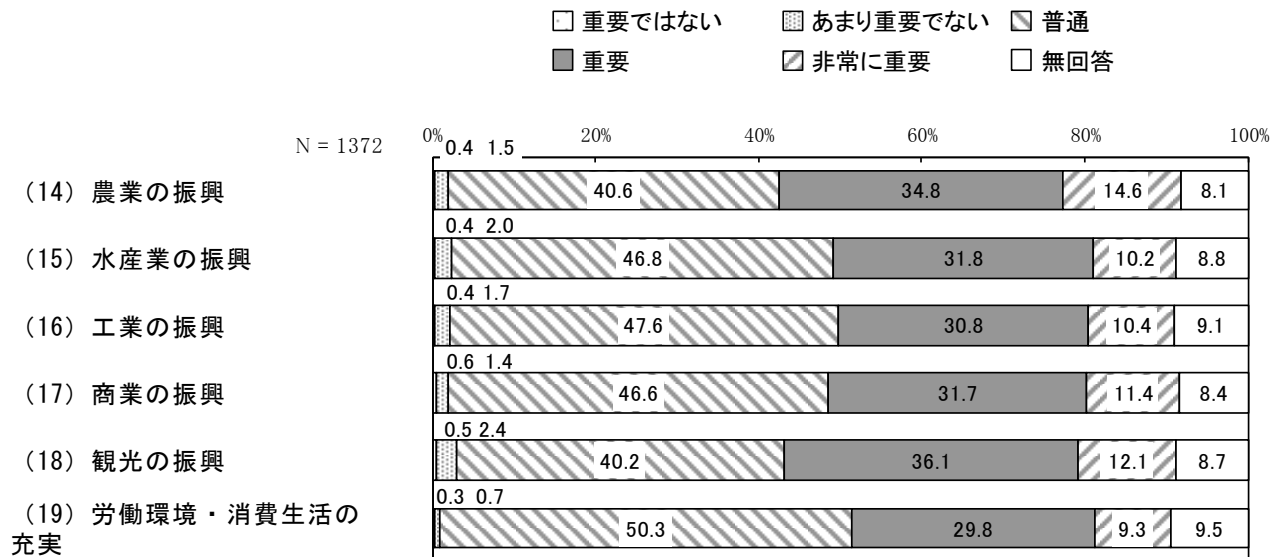
### 【経年比較—満足度】

施策	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
(14) 農業の振興	R1	1372	1.7	7.6	62.4	17.6	5.0	5.8
	H28	1417	1.8	7.4	59.8	19.3	3.5	8.1
	H25	1285	1.4	6.7	62.6	16.0	4.2	9.1
(15) 水産業の振興	R1	1372	0.9	8.9	72.7	9.0	2.2	6.3
	H28	1417	2.1	7.3	69.2	9.5	1.7	10.2
	H25	1285	2.3	8.2	71.6	7.1	1.3	9.6
(16) 工業の振興	R1	1372	0.9	9.0	71.3	9.0	2.5	7.3
	H28	1417	1.6	6.6	68.0	11.4	2.5	10.0
	H25	1285	1.2	8.7	67.2	10.0	2.3	10.6
(17) 商業の振興	R1	1372	1.6	11.9	69.1	9.3	1.7	6.3
	H28	1417	2.5	11.6	65.0	9.2	2.0	9.7
	H25	1285	2.3	12.8	66.4	7.2	1.0	10.3
(18) 観光の振興	R1	1372	3.4	16.0	60.3	12.1	2.4	5.8
	H28	1417	4.7	16.6	58.6	10.4	1.3	8.5
	H25	1285	3.3	16.0	61.5	8.3	1.6	9.3
(19) 労働環境・消費生活の充実	R1	1372	1.3	10.7	74.5	4.9	1.2	7.4
	H28	1417	2.2	10.7	70.1	5.4	0.9	10.7
	H25	1285	2.5	10.9	70.9	4.3	0.6	10.8

## 【重要度】

重要度について、平成 28 年度調査と比べると、“重要”は、『(18)観光の振興』で 3.5 ポイント増加、『(15)水産業の振興』で 3.0 ポイント増加となっています。

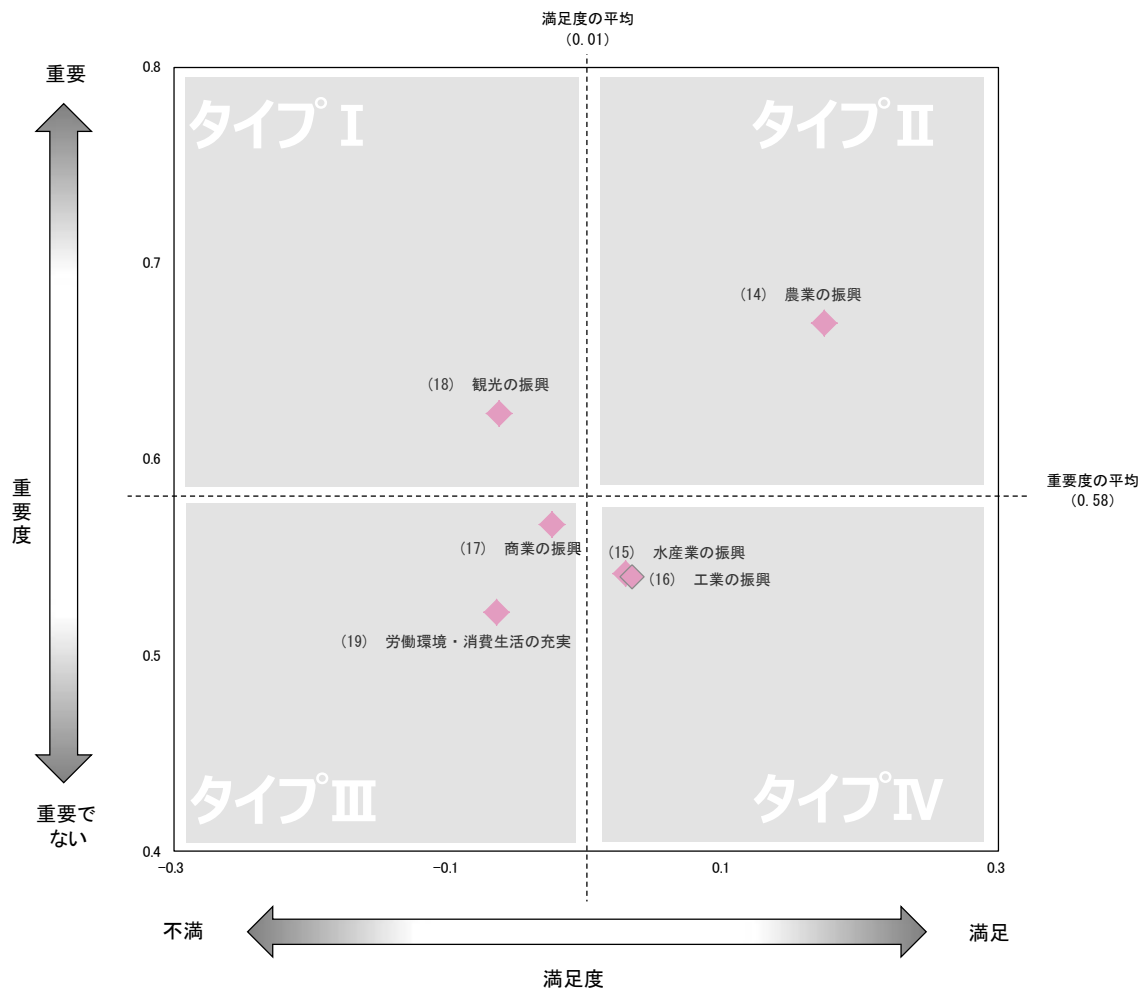
“重要ではない”は、いずれも 2 ポイント未満の増減となっています。



## 【経年比較—重要度】

施策	調査年度	N	評価					
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	無回答
(14) 農業の振興	R1	1372	0.4	1.5	40.6	34.8	14.6	8.1
	H28	1417	0.5	2.5	39.6	34.6	12.6	10.2
	H25	1285	0.8	2.6	37.7	34.5	14.2	10.4
(15) 水産業の振興	R1	1372	0.4	2.0	46.8	31.8	10.2	8.8
	H28	1417	0.4	2.6	46.3	30.0	9.0	11.8
	H25	1285	0.6	3.2	47.9	27.0	10.2	11.1
(16) 工業の振興	R1	1372	0.4	1.7	47.6	30.8	10.4	9.1
	H28	1417	0.6	2.3	45.4	28.8	11.4	11.5
	H25	1285	0.3	2.6	43.2	31.1	10.6	12.1
(17) 商業の振興	R1	1372	0.6	1.4	46.6	31.7	11.4	8.4
	H28	1417	0.4	1.8	40.8	33.9	11.9	11.3
	H25	1285	0.2	2.7	43.0	32.5	9.7	11.9
(18) 観光の振興	R1	1372	0.5	2.4	40.2	36.1	12.1	8.7
	H28	1417	0.9	3.1	40.6	32.8	11.9	10.7
	H25	1285	0.5	3.4	39.5	33.9	12.1	10.7
(19) 労働環境・消費生活の充実	R1	1372	0.3	0.7	50.3	29.8	9.3	9.5
	H28	1417	0.4	2.2	47.2	30.0	7.9	12.3
	H25	1285	0.4	1.5	46.1	29.7	10.4	11.9

ポートフォリオ分析による産業経済分野の評価については、『(18) 観光の振興』が、重要度が最も高いと同時に満足度が最も低く、改善が求められます。



施策	満足度				重要度			
	H22	H25	H28	R1	H22	H25	H28	R1
(14) 農業の振興	-0.03	0.16	0.17	0.17	0.75	0.65	0.63	0.67
(15) 水産業の振興	-0.07	-0.03	0.01	0.03	0.47	0.48	0.51	0.54
(16) 工業の振興	0.01	0.04	0.07	0.03	0.51	0.56	0.54	0.54
(17) 商業の振興	-0.22	-0.09	-0.04	-0.02	0.62	0.55	0.62	0.57
(18) 観光の振興	-0.22	-0.12	-0.14	-0.06	0.64	0.60	0.58	0.62
(19) 労働環境・消費生活の充実	-	-0.12	-0.09	-0.06	-	0.55	0.49	0.52

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

(18) 観光の振興

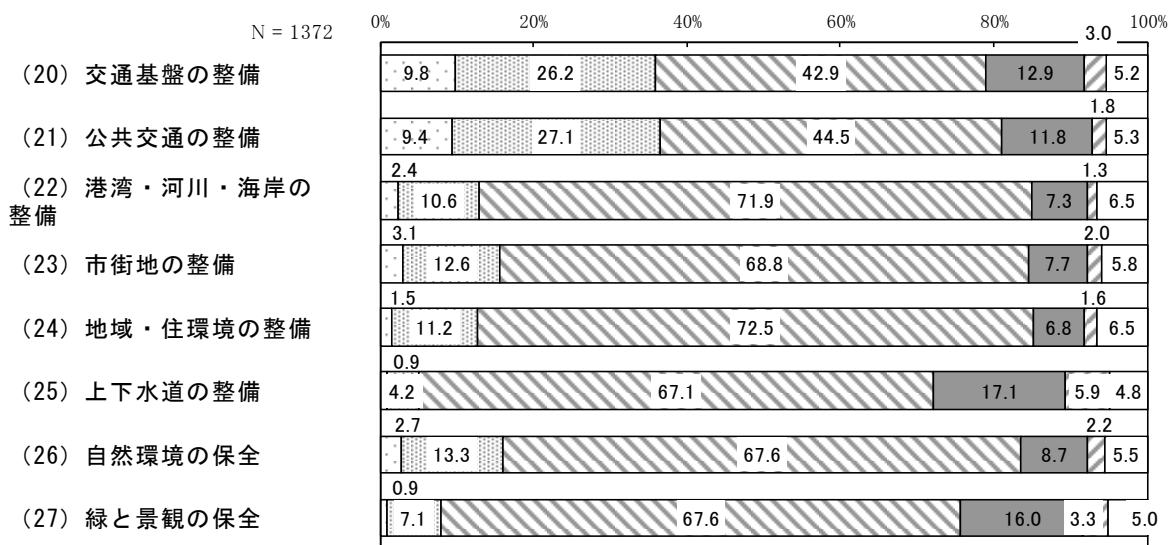
## ＜都市整備分野＞

### 【満足度】

満足度について、平成 28 年度調査と比べると、“満足”の割合は『(27) 緑と景観の保全』で 2.6 ポイント増加しています。

“不満”の割合は、『(20) 交通基盤の整備』で 4.2 ポイント増加、『(21) 公共交通の整備』で 3.4 ポイント増加となっています。

□ 不満      ■ やや不満      ▨ 普通  
■ やや満足      ▩ 満足      □ 無回答



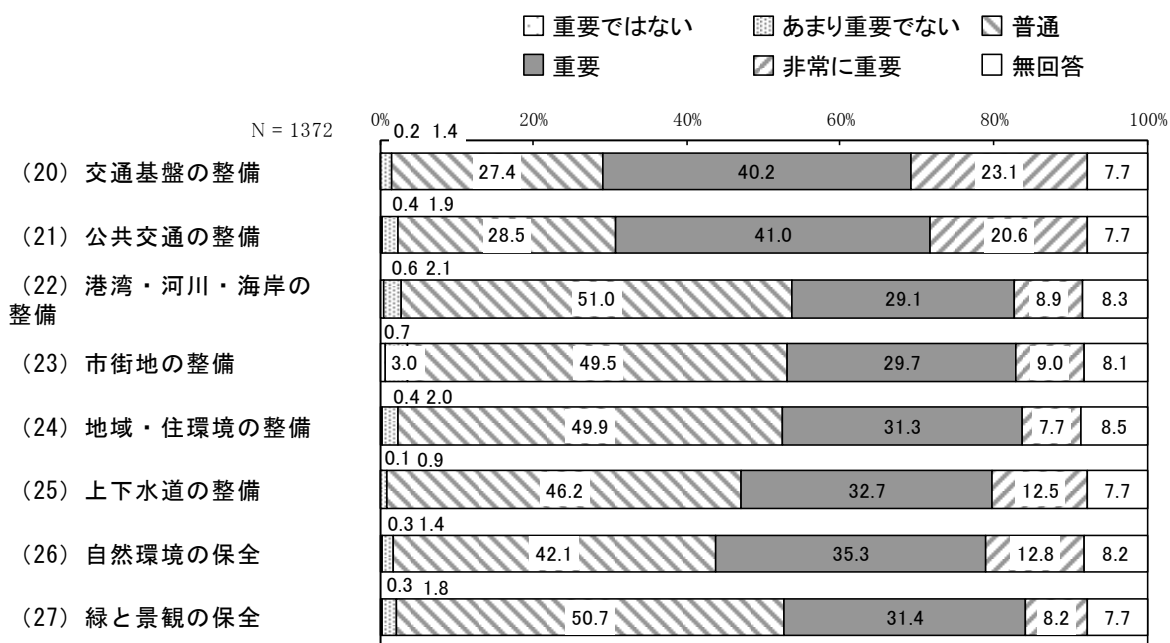
### 【経年比較—満足度】

施策	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
(20) 交通基盤の整備	R1	1372	9.8	26.2	42.9	12.9	3.0	5.2
	H28	1417	10.6	21.2	45.4	12.7	2.5	7.6
	H25	1285	9.7	20.5	48.1	11.7	2.4	7.6
(21) 公共交通の整備	R1	1372	9.4	27.1	44.5	11.8	1.8	5.3
	H28	1417	10.9	22.2	46.4	10.0	3.0	7.4
	H25	1285	6.4	21.9	47.5	14.2	4.4	5.6
(22) 港湾・河川・海岸の整備	R1	1372	2.4	10.6	71.9	7.3	1.3	6.5
	H28	1417	3.2	9.8	71.3	5.9	1.5	8.3
	H25	1285	3.3	11.0	69.3	6.7	1.2	8.5
(23) 市街地の整備	R1	1372	3.1	12.6	68.8	7.7	2.0	5.8
	H28	1417	3.3	12.1	67.0	6.8	2.0	8.8
	H25	1285	3.2	12.0	68.7	6.3	1.3	8.5
(24) 地域・住環境の整備	R1	1372	1.5	11.2	72.5	6.8	1.6	6.5
	H28	1417	2.3	11.3	70.1	6.4	1.4	8.5
	H25	1285	2.3	8.9	73.1	5.3	1.2	9.1
(25) 上下水道の整備	R1	1372	0.9	4.2	67.1	17.1	5.9	4.8
	H28	1417	1.1	5.4	62.1	17.6	6.6	7.3
	H25	1285	1.9	6.6	62.3	15.3	6.6	7.4
(26) 自然環境の保全	R1	1372	2.7	13.3	67.6	8.7	2.2	5.5
	H28	1417	2.6	10.9	67.4	8.8	2.0	8.3
	H25	1285	2.8	11.8	67.9	7.5	1.9	8.1
(27) 緑と景観の保全	R1	1372	0.9	7.1	67.6	16.0	3.3	5.0
	H28	1417	1.4	8.2	66.2	12.9	3.8	7.5
	H25	1285	2.1	7.4	66.8	12.8	3.0	7.9

## 【重要度】

重要度について、平成 28 年度調査と比べると、“重要”は、『(21)公共交通の整備』で 8.1 ポイント増加、『(20)交通基盤の整備』で 5.0 ポイント増加、『(26)自然環境の保全』で 4.6 ポイント増加となっています。

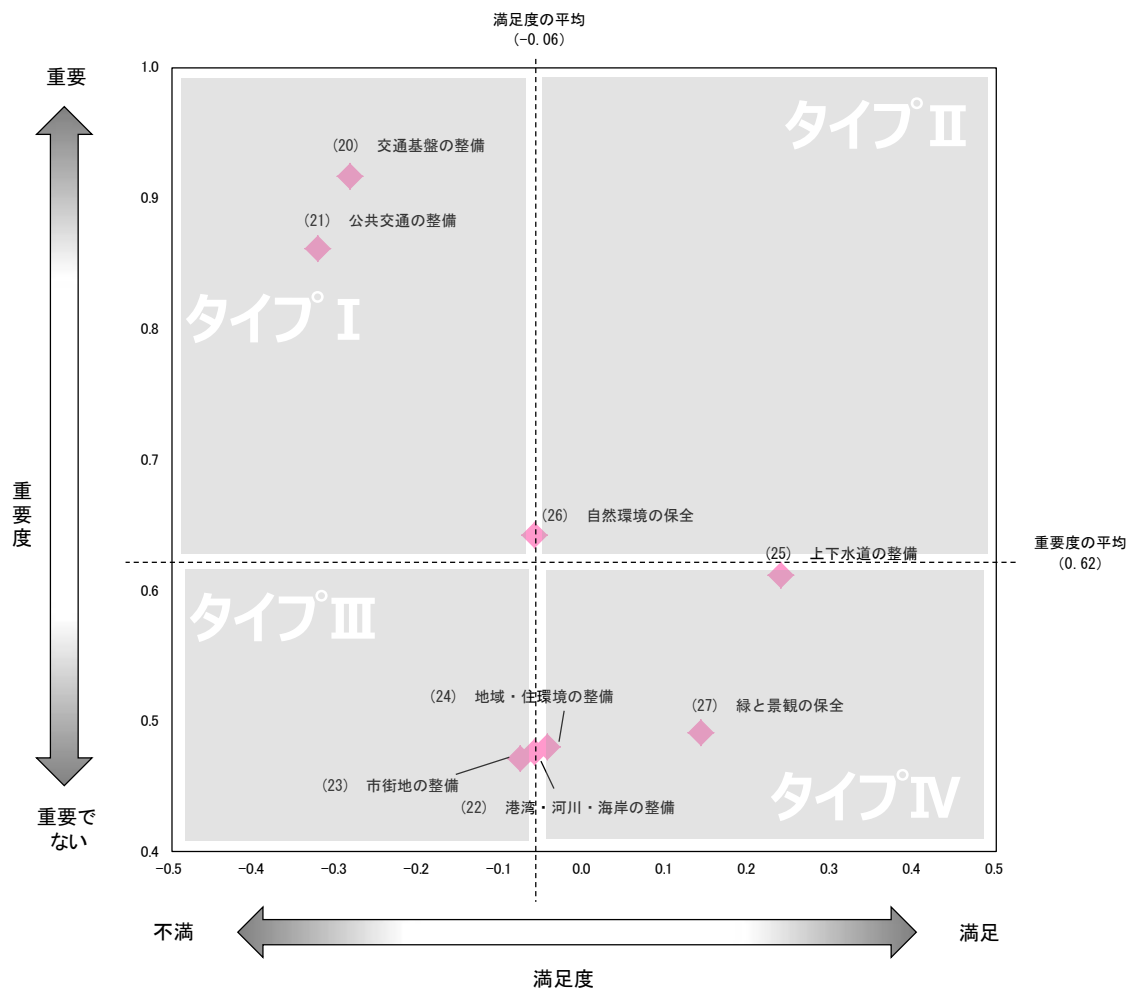
“重要ではない”は、いずれも 2 ポイント未満の増減となっています。



## 【経年比較—重要度】

施策	調査年度	N	評価					
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	無回答
(20) 交通基盤の整備	R1	1372	0.2	1.4	27.4	40.2	23.1	7.7
	H28	1417	0.3	1.8	29.5	38.0	20.3	10.1
	H25	1285	0.8	2.3	28.2	37.4	22.3	9.0
(21) 公共交通の整備	R1	1372	0.4	1.9	28.5	41.0	20.6	7.7
	H28	1417	0.4	2.6	33.7	36.8	16.7	9.7
	H25	1285	1.2	3.5	33.4	40.2	13.5	8.2
(22) 港湾・河川・海岸の整備	R1	1372	0.6	2.1	51.0	29.1	8.9	8.3
	H28	1417	0.8	3.4	49.5	26.6	9.0	10.7
	H25	1285	0.5	3.2	49.0	28.4	8.8	10.0
(23) 市街地の整備	R1	1372	0.7	3.0	49.5	29.7	9.0	8.1
	H28	1417	1.1	4.2	48.3	27.0	8.8	10.6
	H25	1285	1.1	5.2	51.0	24.7	7.9	10.0
(24) 地域・住環境の整備	R1	1372	0.4	2.0	49.9	31.3	7.7	8.5
	H28	1417	0.6	2.8	48.0	29.3	8.9	10.4
	H25	1285	0.8	3.8	53.9	24.2	6.6	10.7
(25) 上下水道の整備	R1	1372	0.1	0.9	46.2	32.7	12.5	7.7
	H28	1417	0.1	1.3	43.7	33.5	11.0	10.3
	H25	1285	0.2	0.6	42.7	34.9	12.4	9.1
(26) 自然環境の保全	R1	1372	0.3	1.4	42.1	35.3	12.8	8.2
	H28	1417	0.5	2.0	43.5	32.8	10.7	10.5
	H25	1285	0.3	2.4	43.0	33.2	11.4	9.6
(27) 緑と景観の保全	R1	1372	0.3	1.8	50.7	31.4	8.2	7.7
	H28	1417	0.6	2.9	48.8	29.4	8.3	10.1
	H25	1285	0.5	3.6	49.6	28.6	8.2	9.6

ポートフォリオ分析による都市整備分野の評価については、『(20) 交通基盤の整備』『(21) 公共交通の整備』が、ともに重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度				重要度			
	H22	H25	H28	R1	H22	H25	H28	R1
(20) 交通基盤の整備	-0.32	-0.25	-0.27	-0.28	0.80	0.86	0.85	0.92
(21) 公共交通の整備	-	-0.12	-0.30	-0.32	-	0.67	0.74	0.86
(22) 港湾・河川・海岸の整備	-	-0.09	-0.08	-0.06	-	0.46	0.44	0.48
(23) 市街地の整備	-0.13	-0.10	-0.09	-0.08	0.44	0.37	0.43	0.47
(24) 地域・住環境の整備	-	-0.06	-0.07	-0.04	-	0.36	0.48	0.48
(25) 上下水道の整備	0.14	0.20	0.25	0.24	0.62	0.64	0.60	0.61
(26) 自然環境の保全	-0.02	-0.07	-0.03	-0.06	0.54	0.59	0.57	0.64
(27) 緑と景観の保全	0.04	0.08	0.10	0.14	0.50	0.45	0.47	0.49

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

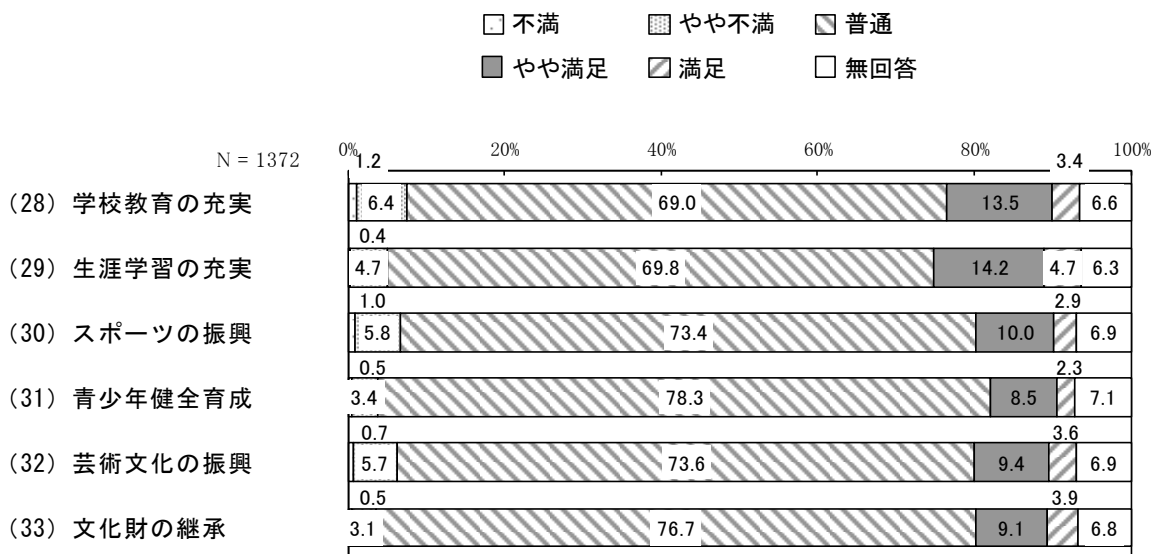
(20) 交通基盤の整備 (21) 公共交通の整備

## <教育文化分野>

### 【満足度】

満足度について、平成 28 年度調査と比べると、“満足”の割合は『(32)芸術文化の振興』で 2.4 ポイント増加、『(28)学校教育の充実』で 2.1 ポイント増加しています。

“不満”の割合は『(28) 学校教育の充実』で 4.4 ポイント減少、それ以外の項目では 2 ポイント未満の増減となっています。



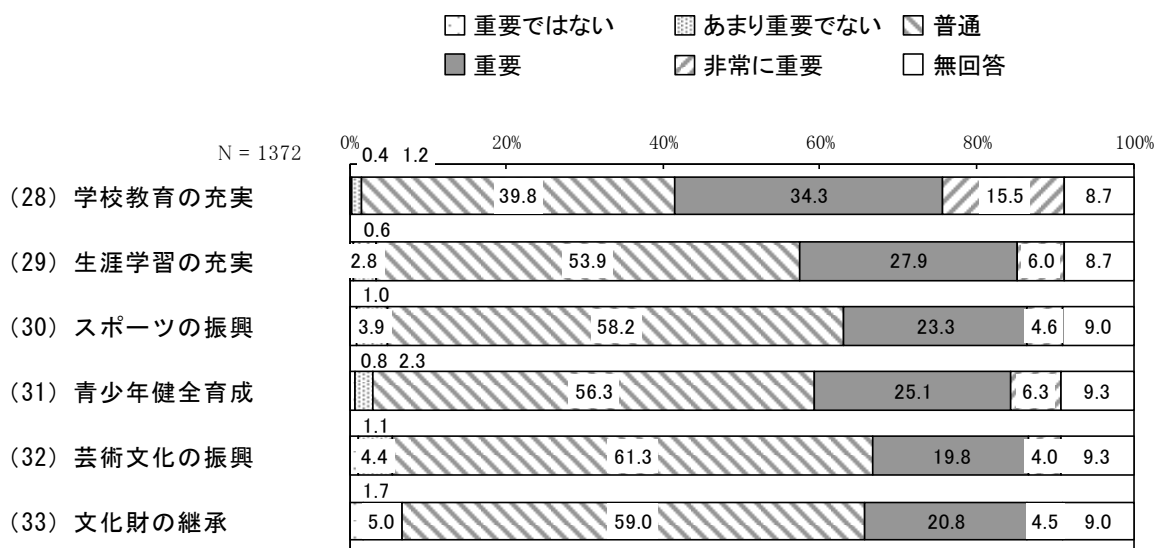
### 【経年比較—満足度】

施策	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
(28) 学校教育の充実	R1	1372	1.2	6.4	69.0	13.5	3.4	6.6
	H28	1417	2.8	9.2	63.6	12.3	2.5	9.6
	H25	1285	2.2	6.8	66.8	11.9	3.0	9.3
(29) 生涯学習の充実	R1	1372	0.4	4.7	69.8	14.2	4.7	6.3
	H28	1417	0.8	4.9	68.0	12.7	4.7	8.9
	H25	1285	1.1	5.1	67.3	13.9	3.9	8.7
(30) スポーツの振興	R1	1372	1.0	5.8	73.4	10.0	2.9	6.9
	H28	1417	1.9	5.7	69.3	10.4	3.4	9.2
	H25	1285	1.5	4.6	70.0	11.6	3.3	9.0
(31) 青少年健全育成	R1	1372	0.5	3.4	78.3	8.5	2.3	7.1
	H28	1417	0.9	4.3	74.5	7.9	2.0	10.4
	H25	1285	0.7	3.9	75.6	8.2	2.4	9.3
(32) 芸術文化の振興	R1	1372	0.7	5.7	73.6	9.4	3.6	6.9
	H28	1417	1.0	5.2	73.8	8.0	2.6	9.5
	H25	1285	1.0	8.6	68.5	9.3	4.2	8.4
(33) 文化財の継承	R1	1372	0.5	3.1	76.7	9.1	3.9	6.8
	H28	1417	0.8	4.2	74.5	8.5	3.0	9.0
	H25	1285	0.6	4.3	72.9	10.0	3.4	8.7

## 【重要度】

重要度について、平成 28 年度調査と比べると、“重要”は、『(29)生涯学習の充実』で 3.3 ポイント増加、『(33)文化財の継承』で 3.1 ポイント減少となっています。

“重要ではない”は、『(32)芸術文化の振興』で 2.1 ポイント減少、それ以外の項目はいずれも 2 ポイント未満の増減となっています。

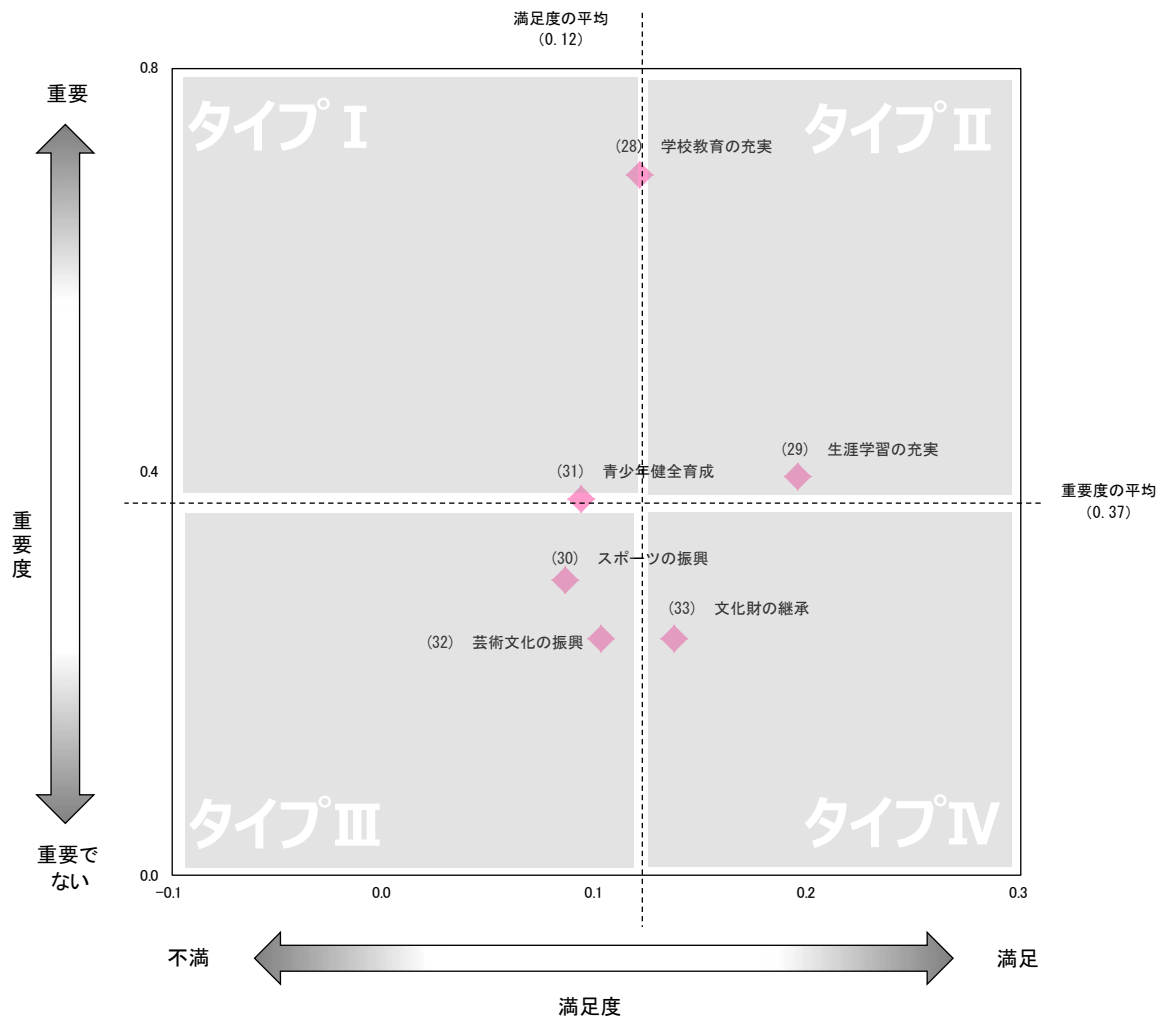


## 【経年比較—重要度】

施策	調査年度	N	評価					無回答
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	
(28) 学校教育の充実	<b>R1</b>	1372	<b>0.4</b>	<b>1.2</b>	<b>39.8</b>	<b>34.3</b>	<b>15.5</b>	<b>8.7</b>
	H28	1417	0.5	1.7	38.2	34.1	14.1	11.4
	H25	1285	0.3	0.9	39.9	33.1	15.3	10.5
(29) 生涯学習の充実	<b>R1</b>	1372	<b>0.6</b>	<b>2.8</b>	<b>53.9</b>	<b>27.9</b>	<b>6.0</b>	<b>8.7</b>
	H28	1417	0.7	3.7	54.2	24.3	6.3	10.8
	H25	1285	1.0	4.6	51.3	25.7	7.5	10.0
(30) スポーツの振興	<b>R1</b>	1372	<b>1.0</b>	<b>3.9</b>	<b>58.2</b>	<b>23.3</b>	<b>4.6</b>	<b>9.0</b>
	H28	1417	1.4	5.3	54.2	22.2	5.6	11.3
	H25	1285	1.1	3.4	56.4	22.0	6.6	10.4
(31) 青少年健全育成	<b>R1</b>	1372	<b>0.8</b>	<b>2.3</b>	<b>56.3</b>	<b>25.1</b>	<b>6.3</b>	<b>9.3</b>
	H28	1417	1.2	3.4	53.5	24.0	5.9	12.0
	H25	1285	0.9	3.1	56.7	21.6	7.1	10.6
(32) 芸術文化の振興	<b>R1</b>	1372	<b>1.1</b>	<b>4.4</b>	<b>61.3</b>	<b>19.8</b>	<b>4.0</b>	<b>9.3</b>
	H28	1417	1.5	6.1	57.2	20.0	3.7	11.4
	H25	1285	1.2	6.8	58.8	19.1	3.5	10.6
(33) 文化財の継承	<b>R1</b>	1372	<b>1.7</b>	<b>5.0</b>	<b>59.0</b>	<b>20.8</b>	<b>4.5</b>	<b>9.0</b>
	H28	1417	1.7	6.2	53.0	22.9	5.5	10.7
	H25	1285	1.6	6.8	56.7	20.5	4.0	10.5



ポートフォリオ分析による教育文化分野の評価については、『(28) 学校教育の充実』『(31) 青少年健全育成』が、重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度				重要度			
	H22	H25	H28	R1	H22	H25	H28	R1
(28) 学校教育の充実	-0.04	0.08	0.03	0.12	0.86	0.69	0.67	0.69
(29) 生涯学習の充実	0.18	0.16	0.17	0.20	0.39	0.38	0.36	0.39
(30) スポーツの振興	0.08	0.12	0.08	0.09	0.27	0.33	0.28	0.29
(31) 青少年健全育成	-0.09	0.08	0.06	0.09	0.67	0.35	0.34	0.37
(32) 芸術文化の振興	0.05	0.08	0.07	0.10	0.15	0.19	0.21	0.23
(33) 文化財の継承	0.13	0.12	0.10	0.14	0.29	0.21	0.27	0.23

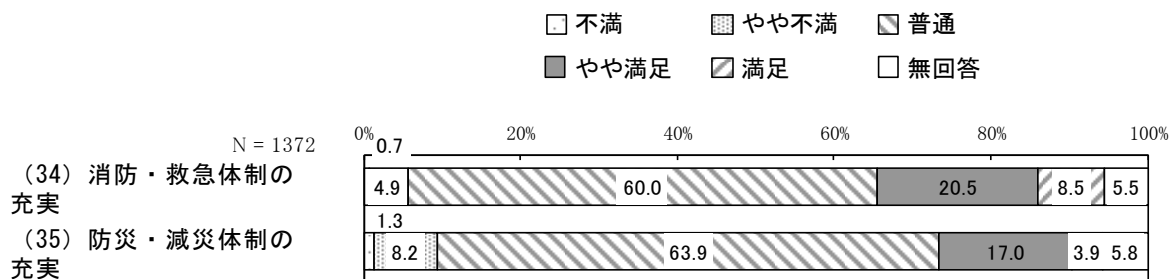
◆上図から分析判断できる最優先課題◆

(28) 学校教育の充実  
(31) 青少年健全育成

## <消防防災分野>

### 【満足度】

満足度について、平成 28 年度調査と比べると、“満足”、“不満”の割合はどちらの項目も 2 ポイント未満の増減となっています。

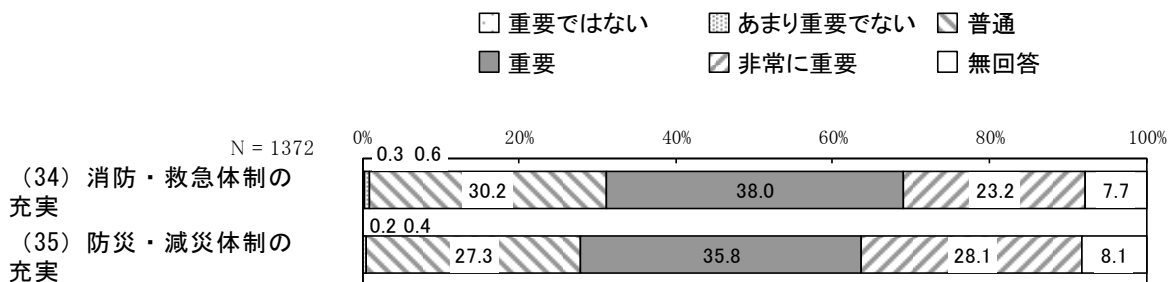


### 【経年比較—満足度】

施策	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
(34) 消防・救急体制の充実	R1	1372	0.7	4.9	60.0	20.5	8.5	5.5
	H28	1417	0.8	4.9	57.0	23.2	6.8	7.3
	H25	1285	0.9	3.3	59.6	21.2	7.3	7.6
(35) 防災・減災体制の充実	R1	1372	1.3	8.2	63.9	17.0	3.9	5.8
	H28	1417	1.8	6.8	61.5	17.6	4.4	7.8
	H25	1285	2.5	6.5	63.0	14.6	4.7	8.6

### 【重要度】

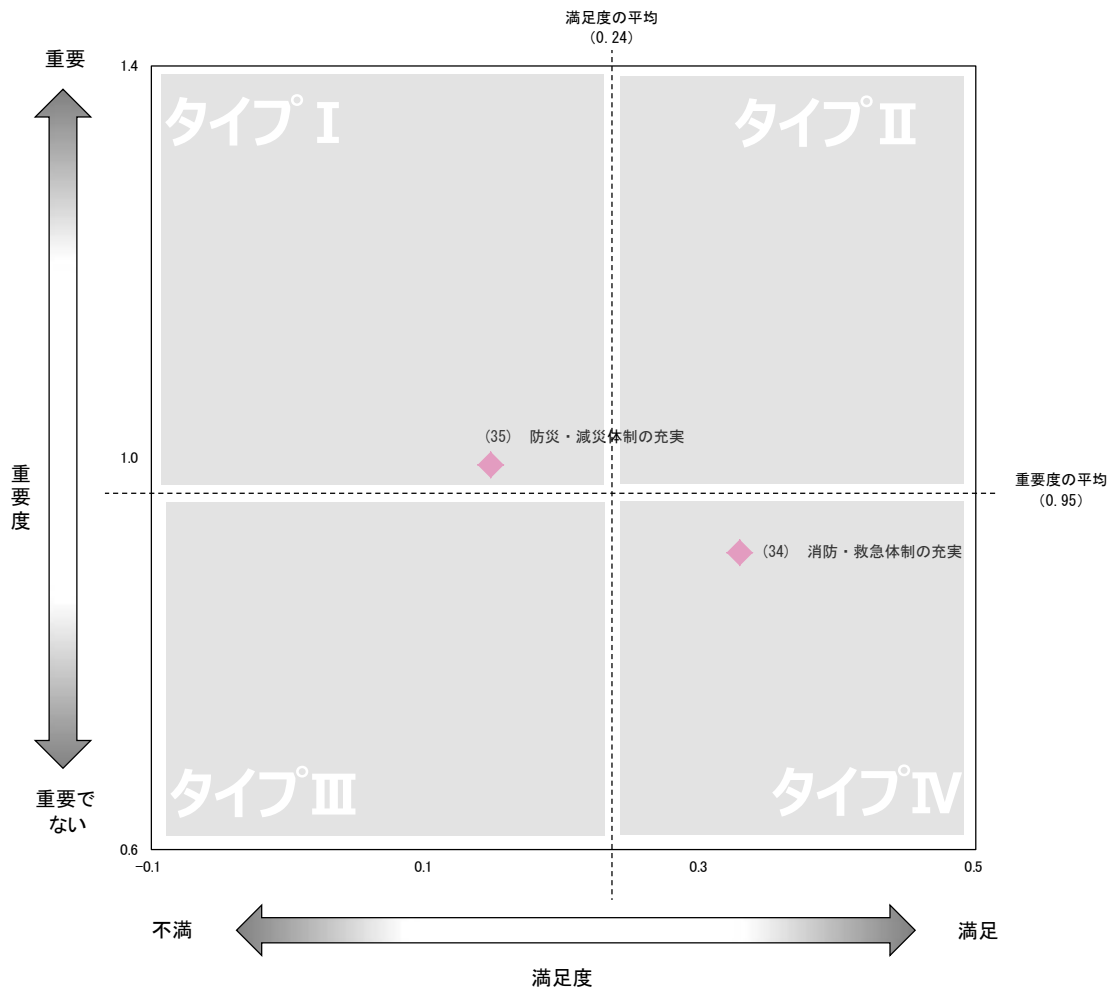
重要度について、平成 28 年度調査と比べると、“重要”は、『(34)消防・救急体制の充実』で 2.5 ポイント減少となっています。“重要ではない”は、どちらの項目も 1 ポイント未満の増減となっています。



### 【経年比較—重要度】

施策	調査年度	N	評価					
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	無回答
(34) 消防・救急体制の充実	R1	1372	0.3	0.6	30.2	38.0	23.2	7.7
	H28	1417	0.0	0.6	26.0	40.1	23.6	9.7
	H25	1285	0.4	0.5	27.1	37.7	25.0	9.4
(35) 防災・減災体制の充実	R1	1372	0.2	0.4	27.3	35.8	28.1	8.1
	H28	1417	0.1	0.5	25.6	35.8	28.2	9.9
	H25	1285	0.2	0.5	24.8	36.0	28.4	10.0

ポートフォリオ分析による消防防災分野の評価については、『(35) 防災・減災体制の充実』が、重要度が高いものの満足度が低く、改善が求められます。



施策	満足度				重要度			
	H22	H25	H28	R1	H22	H25	H28	R1
(34) 消防・救急体制の充実	0.39	0.33	0.33	0.33	1.22	0.95	0.96	0.90
(35) 防災・減災体制の充実	0.08	0.14	0.17	0.15	1.17	1.02	1.01	0.99

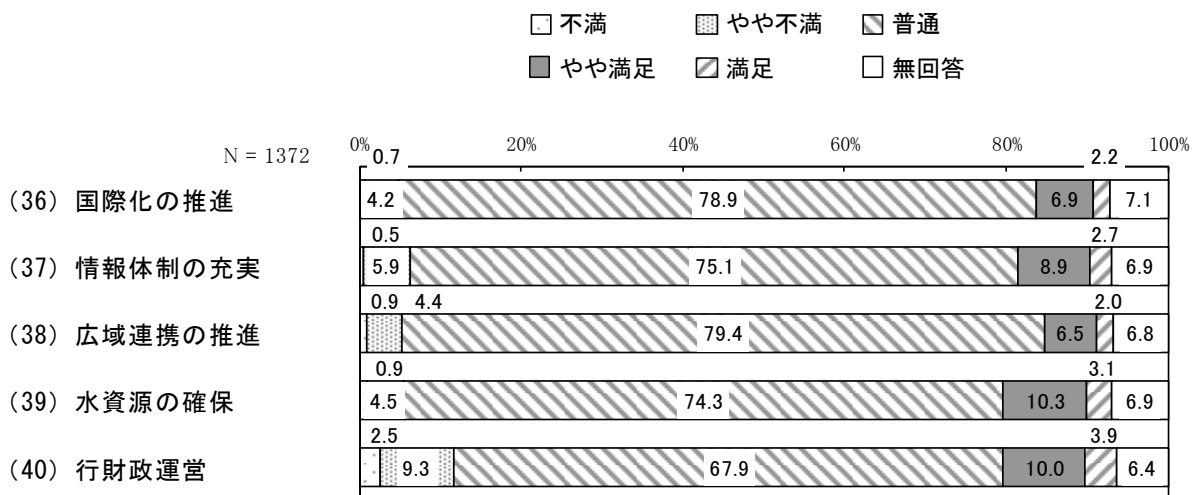
◆上図から分析判断できる最優先課題◆

(35) 防災・減災体制の充実

## <行財政分野>

### 【満足度】

満足度について、平成 28 年度調査と比べると、“満足”、“不満”の割合は全ての項目で 2 ポイント未満の増減となっています。



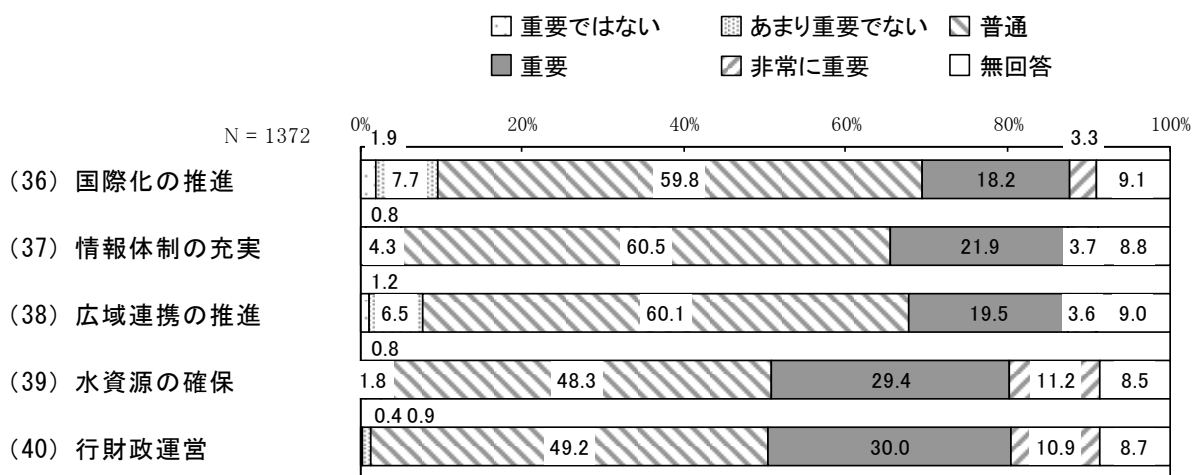
### 【経年比較—満足度】

施策	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
(36) 国際化の推進	R1	1372	0.7	4.2	78.9	6.9	2.2	7.1
	H28	1417	1.1	3.7	75.7	6.9	2.2	10.5
	H25	1285	0.6	3.4	77.6	5.9	2.4	10.0
(37) 情報体制の充実	R1	1372	0.5	5.9	75.1	8.9	2.7	6.9
	H28	1417	1.1	5.0	71.2	9.7	2.9	10.0
	H25	1285	0.6	3.6	74.2	8.7	2.4	10.4
(38) 広域連携の推進	R1	1372	0.9	4.4	79.4	6.5	2.0	6.8
	H28	1417	1.3	3.6	76.1	7.0	1.6	10.4
	H25	1285	1.0	3.6	78.1	5.3	1.7	10.3
(39) 水資源の確保	R1	1372	0.9	4.5	74.3	10.3	3.1	6.9
	H28	1417	0.6	3.8	72.2	10.8	2.3	10.4
	H25	1285	1.5	4.0	72.2	10.7	1.8	9.9
(40) 行財政運営	R1	1372	2.5	9.3	67.9	10.0	3.9	6.4
	H28	1417	3.5	8.3	66.1	9.5	2.5	10.2
	H25	1285	3.3	7.5	67.2	8.5	2.8	10.7

## 【重要度】

重要度について、平成 28 年度調査と比べると、“重要”は、『(39)水資源の確保』で 4.2 ポイント増加、『(40)行財政運営』で 3.2 ポイント増加となっています。

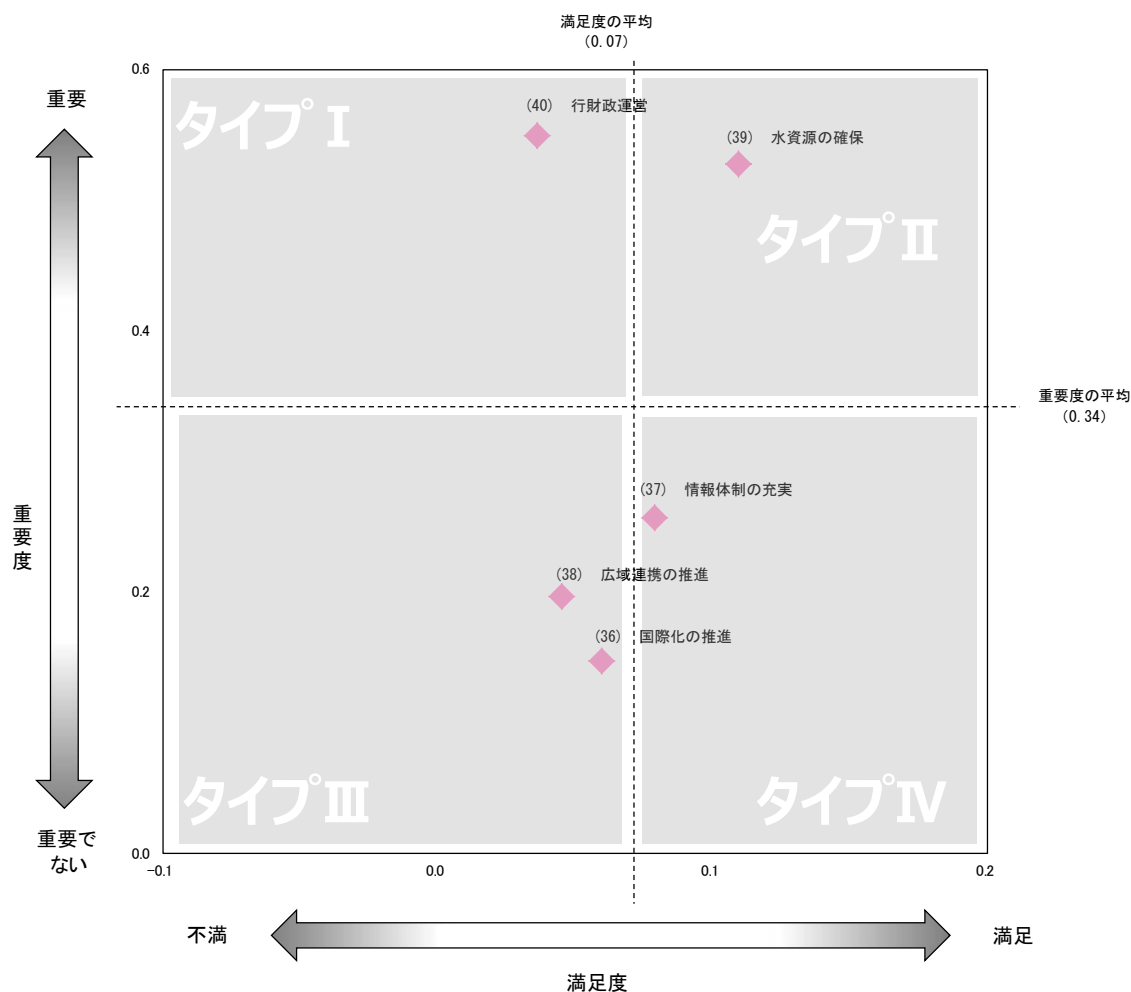
“重要ではない”は、『(36)国際化の推進』で 3.1 ポイント減少となっています。



## 【経年比較—重要度】

施策	調査年度	N	評価					無回答
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	
(36) 国際化の推進	R1	1372	1.9	7.7	59.8	18.2	3.3	9.1
	H28	1417	2.8	9.9	55.3	17.0	2.7	12.4
	H25	1285	2.4	10.1	57.8	14.9	3.2	11.5
(37) 情報体制の充実	R1	1372	0.8	4.3	60.5	21.9	3.7	8.8
	H28	1417	1.8	5.9	57.0	18.8	4.1	12.4
	H25	1285	1.0	5.1	60.5	17.7	3.7	12.1
(38) 広域連携の推進	R1	1372	1.2	6.5	60.1	19.5	3.6	9.0
	H28	1417	2.3	6.6	55.8	19.0	4.0	12.4
	H25	1285	1.5	7.2	59.8	16.0	3.7	11.8
(39) 水資源の確保	R1	1372	0.8	1.8	48.3	29.4	11.2	8.5
	H28	1417	1.3	3.8	46.3	27.2	9.2	12.2
	H25	1285	1.6	4.4	49.0	24.1	9.6	11.2
(40) 行財政運営	R1	1372	0.4	0.9	49.2	30.0	10.9	8.7
	H28	1417	0.6	2.1	47.3	28.4	9.3	12.2
	H25	1285	0.5	1.9	50.7	24.4	10.0	12.4

ポートフォリオ分析による行財政分野の評価については、『(40) 行財政運営』が、重要度が最も高いと同時に満足度が最も低く、改善が求められます。

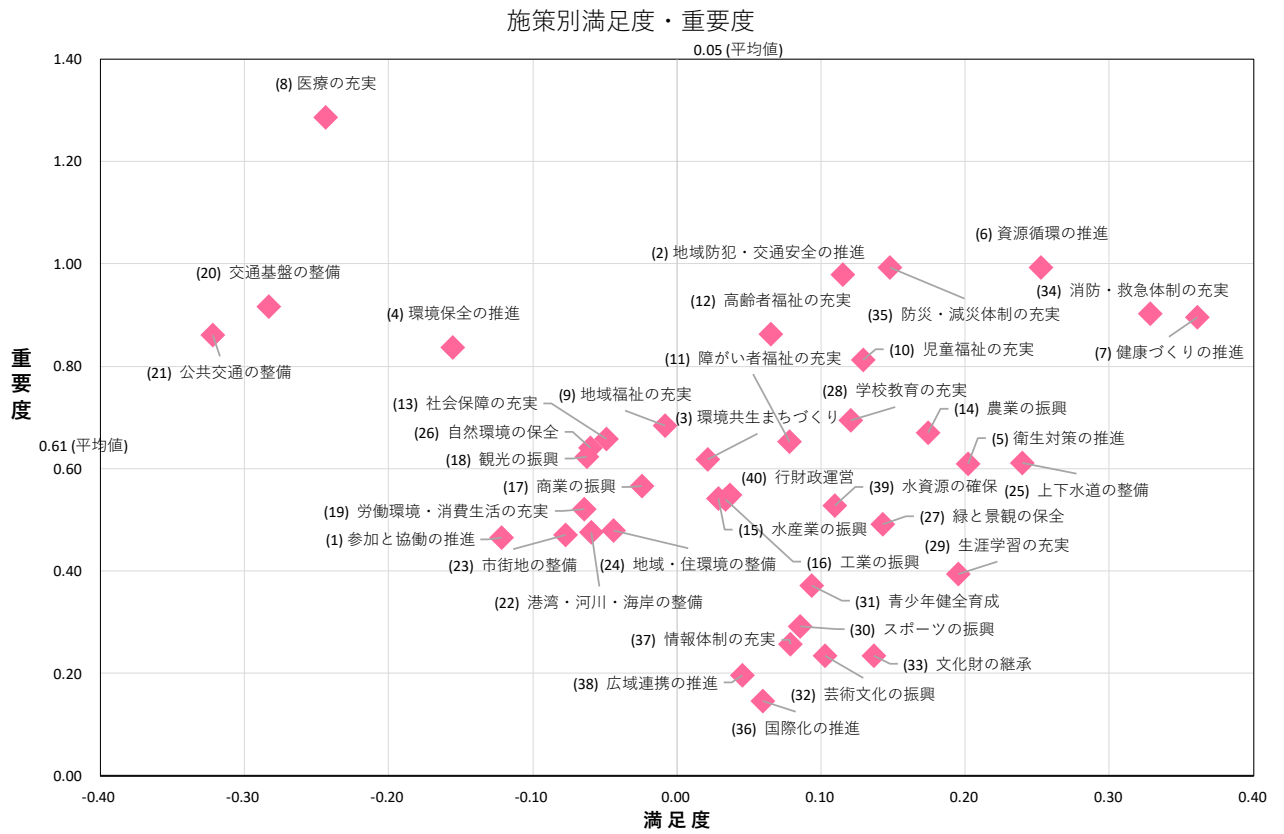


施策	満足度				重要度			
	H22	H25	H28	R1	H22	H25	H28	R1
(36) 国際化の推進	-0.04	0.07	0.06	0.06	0.09	0.07	0.08	0.15
(37) 情報体制の充実	-0.06	0.10	0.09	0.08	0.48	0.20	0.20	0.26
(38) 広域連携の推進	-0.07	0.03	0.05	0.05	0.19	0.15	0.18	0.20
(39) 水資源の確保	0.30	0.08	0.12	0.11	0.88	0.40	0.44	0.53
(40) 行財政運営	-0.14	0.00	-0.01	0.04	0.74	0.47	0.50	0.55

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

(40) 行財政運営

# <満足度と重要度の関連性（全 40 項目）>



## <施策別満足度>

### ■施策別満足度(1)

上段:件数 下段:%

分野	施策名	件数	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	平均
市民環境	(1) 参加と協働の推進 【地域コミュニティ・NPO・ボランティア団体などと連携・役割分担による協働のまちづくりの推進、男女が良きパートナーとして共に活動できる環境づくりの推進(男女共同参画)】	1372	19	81	951	210	33	78	-0.12
		100	1.4	5.9	69.3	15.3	2.4	5.7	
	(2) 地域防犯・交通安全の推進 【地域防犯パトロールの推進、地区防犯灯の設置補助・維持管理、交通指導員の配置・交通安全施設の設置・防犯意識の高揚に関する啓発活動】	1372	65	268	755	201	23	60	0.12
		100	4.7	19.5	55.0	14.7	1.7	4.4	
	(3) 環境共生まちづくり 【節電や省エネルギーに関する意識啓発、再生可能エネルギーの導入】	1372	28	154	944	154	14	78	0.02
		100	2.0	11.2	68.8	11.2	1.0	5.7	
市民環境	(4) 環境保全の推進 【大気・水質・騒音・振動や悪臭防止等の環境保全に向けた取り組み】	1372	21	145	803	264	62	77	-0.16
		100	1.5	10.6	58.5	19.2	4.5	5.6	
	(5) 衛生対策の推進 【斎場・ペット火葬場の運営、食中毒予防や狂犬病予防接種等感染症対策】	1372	75	226	904	81	16	70	0.20
		100	5.5	16.5	65.9	5.9	1.2	5.1	
	(6) 資源循環の推進 【ごみの減量化・資源化促進の取り組み、炭生館・処分場等ごみ処理施設の運営】	1372	90	355	693	138	33	63	0.25
		100	6.6	25.9	50.5	10.1	2.4	4.6	
健康福祉	(7) 健康づくりの推進 【健康づくりに向けた取り組み、乳幼児健診等母子保健の推進、予防接種等感染症予防への取り組み】	1372	111	336	782	70	8	65	0.36
		100	8.1	24.5	57.0	5.1	0.6	4.7	
	(8) 医療の充実 【休日や平日夜間の医療体制の充実、医師確保に向けた取り組み、公的病院への支援、国民健康保険の運営や福祉医療の給付】	1372	51	197	564	401	110	49	-0.24
		100	3.7	14.4	41.1	29.2	8.0	3.6	
	(9) 地域福祉の充実 【福祉センターの運営、地域福祉活動の推進、結婚相談や児童虐待防止等の取り組み】	1372	29	131	974	148	26	64	-0.01
		100	2.1	9.5	71.0	10.8	1.9	4.7	
	(10) 児童福祉の充実 【保育園の運営、耐震化や機能拡充等保育所施設の環境整備、児童手当の支給、児童館・児童クラブの運営】	1372	66	202	891	116	25	72	0.13
	100	4.8	14.7	64.9	8.5	1.8	5.2		
健康福祉	(11) 障がい者福祉の充実 【障害者手当の支給、身体障害者補装具の給付等各種支援】	1372	45	124	1018	82	16	87	0.08
		100	3.3	9.0	74.2	6.0	1.2	6.3	
	(12) 高齢者福祉の充実 【介護保険の運営、介護予防の推進、高齢者福祉タクシー・バス料金の助成、高齢者施設の充実、老人クラブ活動等の支援】	1372	65	238	774	198	42	55	0.07
		100	4.7	17.3	56.4	14.4	3.1	4.0	
	(13) 社会保障の充実 【国民年金制度の普及・啓発等、生活保護費の支給、被保護世帯の自立促進】	1372	33	105	950	160	37	87	-0.05
		100	2.4	7.7	69.2	11.7	2.7	6.3	
産業経済	(14) 農業の振興 【農地の保全・活用への取り組み、営農支援センターの運営、サンテパルクの運営、農畜産物のブランド化に向けた取り組み、環境保全型農業の推進】	1372	68	241	856	104	24	79	0.17
		100	5.0	17.6	62.4	7.6	1.7	5.8	
	(15) 水産業の振興 【稚魚・稚魚の放流による水産資源の確保、水産物のPR・ブランド化の支援、漁港の管理】	1372	30	123	998	122	12	87	0.03
		100	2.2	9.0	72.7	8.9	0.9	6.3	
	(16) 工業の振興 【企業誘致活動や立地企業へのサポート活動、三河港の振興に向けた利用促進の取り組み】	1372	34	124	978	123	13	100	0.03
		100	2.5	9.0	71.3	9.0	0.9	7.3	
	(17) 商業の振興 【中小企業の活性化支援、農商工連携の促進、まちなか賑わいづくり、商工会活動の支援】	1372	24	128	948	163	22	87	-0.02
	100	1.7	9.3	69.1	11.9	1.6	6.3		
産業経済	(18) 観光の振興 【観光振興、各種観光施設の運営・整備、観光イベント開催支援、観光ビューローへの支援】	1372	33	166	828	219	47	79	-0.06
		100	2.4	12.1	60.3	16.0	3.4	5.8	
	(19) 労働環境・消費生活の充実 【勤労者支援、雇用推進に向けた取り組み、消費者トラブルの予防啓発や相談支援】	1372	17	67	1022	147	18	101	-0.06
	100	1.2	4.9	74.5	10.7	1.3	7.4		



■施策別満足度(2)

上段:件数 下段:%

分野	施策名	件数	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	無回答	平均
都市整備	(20) 交通基盤の整備 【広域幹線道路・幹線道路・橋梁等の整備、生活道路の改良、道路舗装や清掃・草刈等の維持管理、三河田原駅周辺の整備】	1372 100	41 3.0	177 12.9	589 42.9	359 26.2	134 9.8	72 5.2	-0.28
	(21) 公共交通の整備 【地方バス路線支援、公共交通の充実に向けた取り組み、田原市コミュニティバスの運行】	1372 100	25 1.8	162 11.8	611 44.5	372 27.1	129 9.4	73 5.3	-0.32
	(22) 港湾・河川・海岸の整備 【泉港・馬草港の整備・管理、河川・排水路の整備・管理、海岸施設の保全】	1372 100	18 1.3	100 7.3	986 71.9	146 10.6	33 2.4	89 6.5	-0.06
	(23) 市街地の整備 【市街地整備の取り組み、田原・赤羽根・福江地区のまちづくりの推進、土地区画整理事業の支援】	1372 100	27 2.0	105 7.7	944 68.8	173 12.6	43 3.1	80 5.8	-0.08
	(24) 地域・住環境の整備 【農村集落の整備、表浜地域の整備促進、居住環境の整備、市営住宅の管理、定住促進、パリアフリー化の促進】	1372 100	22 1.6	93 6.8	995 72.5	153 11.2	20 1.5	89 6.5	-0.04
	(25) 上下水道の整備 【水道施設の整備・管理運営、公共下水道・農業集落排水、し尿処理施設の整備・管理運営】	1372 100	81 5.9	234 17.1	921 67.1	57 4.2	13 0.9	66 4.8	0.24
	(26) 自然環境の保全 【里山の保全、森林病害虫防除、有害鳥獣・有害植物・特定外来生物の駆除】	1372 100	30 2.2	119 8.7	927 67.6	183 13.3	37 2.7	76 5.5	-0.06
	(27) 緑と景観の保全 【良好な街並み景観の形成、緑化推進、緑花センターの運営、公園・緑地の整備・管理】	1372 100	45 3.3	220 16.0	927 67.6	98 7.1	13 0.9	69 5.0	0.14
教育文化	(28) 学校教育の充実 【教育環境向上に向けた取り組み、小中学校整備・管理運営や給食センターの運営、中学生の海外交流、田原福祉専門学校への支援】	1372 100	46 3.4	185 13.5	946 69.0	88 6.4	17 1.2	90 6.6	0.12
	(29) 生涯学習の充実 【市民館、図書館の運営、江比間野外活動センター運営、生涯学習講座等の開催】	1372 100	65 4.7	195 14.2	957 69.8	64 4.7	5 0.4	86 6.3	0.20
	(30) スポーツの振興 【スポーツの機会の充実、スポーツ組織・人材の充実、スポーツ施設の整備・充実、スポーツによる地域活性化】	1372 100	40 2.9	137 10.0	1007 73.4	80 5.8	14 1.0	94 6.9	0.09
	(31) 青少年健全育成 【青少年健全育成活動の推進、子ども会活動の支援】	1372 100	31 2.3	117 8.5	1074 78.3	46 3.4	7 0.5	97 7.1	0.09
	(32) 芸術文化の振興 【田原文化広場・赤羽根・渥美文化会館の運営、文化ホール事業の実施、池ノ原会館の運営】	1372 100	50 3.6	129 9.4	1010 73.6	78 5.7	10 0.7	95 6.9	0.10
	(33) 文化財の継承 【文化財の保護・活用、文化の継承、博物館・吉胡貝塚公園の運営、渥美郷土資料館の管理】	1372 100	53 3.9	125 9.1	1052 76.7	42 3.1	7 0.5	93 6.8	0.14
消防防災	(34) 消防・救急体制の充実 【消防活動、救急活動、消防団の活動支援、消防車両・消火栓・防火水槽等設置・管理、救命講習等の開催】	1372 100	116 8.5	281 20.5	823 60.0	67 4.9	10 0.7	75 5.5	0.33
	(35) 防災・減災体制の充実 【災害対策の取り組み、自主防災活動支援、防災設備等整備・管理、建築物耐震化補助】	1372 100	53 3.9	233 17.0	877 63.9	112 8.2	18 1.3	79 5.8	0.15
行財政	(36) 国際化の推進 【姉妹・友好都市との国際交流、多文化共生に向けた環境整備、ボランティア団体支援】	1372 100	30 2.2	94 6.9	1082 78.9	58 4.2	10 0.7	98 7.1	0.06
	(37) 情報体制の充実 【広報等発行、ホームページの管理、シティセールスの取り組み、地域情報化の推進】	1372 100	37 2.7	122 8.9	1031 75.1	81 5.9	7 0.5	94 6.9	0.08
	(38) 広域連携の推進 【東三河各市町村との連携、広域の取り組み、宮田村・阿南町との交流、大学等との連携】	1372 100	27 2.0	89 6.5	1090 79.4	61 4.4	12 0.9	93 6.8	0.05
	(39) 水資源の確保 【設楽ダム整備促進に向けた取り組み、設楽町との交流、グリーンメッセージの運営】	1372 100	42 3.1	142 10.3	1020 74.3	62 4.5	12 0.9	94 6.9	0.11
	(40) 行財政運営 【窓口サービス、行政改革、統計管理、職員管理、財政運営、庁舎・財産等管理、議会運営】	1372 100	53 3.9	137 10.0	932 67.9	128 9.3	34 2.5	88 6.4	0.04

## < 施策別重要度 >

### ■ 施策別重要度(1)

上段: 件数 下段: %

分野	施策名	件数	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要ではない	無回答	平均
市民環境	(1) 参加と協働の推進 【地域コミュニティ・NPO・ボランティア団体などと連携・役割分担による協働のまちづくりの推進、男女が良きパートナーとして共に活動できる環境づくりの推進(男女共同参画)】	1372 100	92 6.7	490 35.7	606 44.2	57 4.2	15 1.1	112 8.2	0.47
	(2) 地域防犯・交通安全の推進 【地域防犯/パトロールの推進、地区防犯灯の設置補助・維持管理、交通指導員の配置・交通安全施設の設置・防犯意識の高揚に関する啓発活動】	1372 100	311 22.7	634 46.2	313 22.8	8 0.6	3 0.2	103 7.5	0.98
	(3) 環境共生まちづくり 【節電や省エネルギーに関する意識啓発、再生可能エネルギーの導入】	1372 100	153 11.2	522 38.0	542 39.5	39 2.8	5 0.4	111 8.1	0.62
	(4) 環境保全の推進 【大気・水質・騒音・振動や悪臭防止等の環境保全に向けた取り組み】	1372 100	248 18.1	569 41.5	421 30.7	11 0.8	3 0.2	120 8.7	0.84
	(5) 衛生対策の推進 【斎場・ペット火葬場の運営、食中毒予防や狂犬病予防接種等感染症対策】	1372 100	152 11.1	500 36.4	580 42.3	24 1.7	6 0.4	110 8.0	0.61
	(6) 資源循環の推進 【ごみの減量化・資源化促進の取り組み、炭生館・処分場等ごみ処理施設の運営】	1372 100	324 23.6	623 45.4	312 22.7	7 0.5	2 0.1	104 7.6	0.99
健康福祉	(7) 健康づくりの推進 【健康づくりに向けた取り組み、乳幼児健診等母子保健の推進、予防接種等感染症予防への取り組み】	1372 100	312 22.7	533 38.8	406 29.6	11 0.8	5 0.4	105 7.7	0.90
	(8) 医療の充実 【休日や平日夜間の医療体制の充実、医師確保に向けた取り組み、公的病院への支援、国民健康保険の運営や福祉医療の給付】	1372 100	537 39.1	582 42.4	161 11.7	1 0.1	2 0.1	89 6.5	1.29
	(9) 地域福祉の充実 【福祉センターの運営、地域福祉活動の推進、結婚相談や児童虐待防止等の取り組み】	1372 100	193 14.1	515 37.5	538 39.2	18 1.3	7 0.5	101 7.4	0.68
	(10) 児童福祉の充実 【保育園の運営、耐震化や機能拡充等保育所施設の環境整備、児童手当の支給、児童館・児童クラブの運営】	1372 100	260 19.0	536 39.1	452 32.9	14 1.0	6 0.4	104 7.6	0.81
	(11) 障がい者福祉の充実 【障害者手当の支給、身体障害者補装具の給付等各種支援】	1372 100	177 12.9	491 35.8	578 42.1	11 0.8	5 0.4	110 8.0	0.65
	(12) 高齢者福祉の充実 【介護保険の運営、介護予防の推進、高齢者福祉タクシー・バス料金の助成、高齢者施設の充実、老人クラブ活動等の支援】	1372 100	282 20.6	577 42.1	397 28.9	14 1.0	11 0.8	91 6.6	0.86
	(13) 社会保障の充実 【国民年金制度の普及・啓発等、生活保護費の支給、被保護世帯の自立促進】	1372 100	200 14.6	464 33.8	572 41.7	19 1.4	7 0.5	110 8.0	0.66
産業経済	(14) 農業の振興 【農地の保全・活用への取り組み、営農支援センターの運営、サテバルクの運営、農畜産物のブランド化に向けた取り組み、環境保全型農業の推進】	1372 100	200 14.6	477 34.8	557 40.6	21 1.5	6 0.4	111 8.1	0.67
	(15) 水産業の振興 【稚貝・稚魚の放流による水産資源の確保、水産物のPR・ブランド化の支援、漁港の管理】	1372 100	140 10.2	436 31.8	642 46.8	27 2.0	6 0.4	121 8.8	0.54
	(16) 工業の振興 【企業誘致活動や立地企業へのサポート活動、三河港の振興に向けた利用促進の取り組み】	1372 100	143 10.4	422 30.8	653 47.6	23 1.7	6 0.4	125 9.1	0.54
	(17) 商業の振興 【中小企業の活性化支援、農商工連携の促進、まちなか賑わいづくり、商工会活動の支援】	1372 100	156 11.4	435 31.7	639 46.6	19 1.4	8 0.6	115 8.4	0.57
	(18) 観光の振興 【観光振興、各種観光施設の運営・整備、観光イベント開催支援、観光ビューローへの支援】	1372 100	166 12.1	495 36.1	551 40.2	33 2.4	7 0.5	120 8.7	0.62
	(19) 労働環境・消費生活の充実 【勤労者支援、雇用推進に向けた取り組み、消費者トラブルの予防啓発や相談支援】	1372 100	128 9.3	409 29.8	690 50.3	10 0.7	4 0.3	131 9.5	0.52

■施策別重要度(2)

上段:件数 下段:%

分野	施策名	件数	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要ではない	無回答	平均
都市整備	(20) 交通基盤の整備 【広域幹線道路・幹線道路・橋梁等の整備、生活道路の改良、道路舗装や清掃・草刈等の維持管理、三河田原駅周辺の整備】	1372 100	317 23.1	551 40.2	376 27.4	19 1.4	3 0.2	106 7.7	0.92
	(21) 公共交通の整備 【地方バス路線支援、公共交通の充実に向けた取り組み、田原市コミュニティバスの運行】	1372 100	282 20.6	562 41.0	391 28.5	26 1.9	5 0.4	106 7.7	0.86
	(22) 港湾・河川・海岸の整備 【泉港・馬草港の整備・管理、河川・排水路の整備・管理、海岸施設の保全】	1372 100	122 8.9	399 29.1	700 51.0	29 2.1	8 0.6	114 8.3	0.48
	(23) 市街地の整備 【市街地整備の取り組み、田原・赤羽根・福江地区のまちづくりの推進、土地区画整理事業の支援】	1372 100	124 9.0	407 29.7	679 49.5	41 3.0	10 0.7	111 8.1	0.47
	(24) 地域・住環境の整備 【農村集落の整備、表浜地域の整備促進、居住環境の整備、市営住宅の管理、定住促進、バリアフリー化の促進】	1372 100	106 7.7	430 31.3	685 49.9	28 2.0	6 0.4	117 8.5	0.48
	(25) 上下水道の整備 【水道施設の整備・管理運営、公共下水道・農業集落排水、し尿処理施設の整備・管理運営】	1372 100	171 12.5	448 32.7	634 46.2	12 0.9	2 0.1	105 7.7	0.61
	(26) 自然環境の保全 【里山の保全、森林病虫害防除、有害鳥獣・有害植物・特定外来生物の駆除】	1372 100	175 12.8	485 35.3	577 42.1	19 1.4	4 0.3	112 8.2	0.64
	(27) 緑と景観の保全 【良好な街並み景観の形成、緑化推進、緑花センターの運営、公園・緑地の整備・管理】	1372 100	112 8.2	431 31.4	695 50.7	25 1.8	4 0.3	105 7.7	0.49
教育文化	(28) 学校教育の充実 【教育環境向上に向けた取り組み、小中学校整備・管理運営や給食センターの運営、中学生の海外交流、田原福祉専門学校への支援】	1372 100	213 15.5	471 34.3	546 39.8	16 1.2	6 0.4	120 8.7	0.69
	(29) 生涯学習の充実 【市民館、図書館の運営、江比間野外活動センター運営、生涯学習講座等の開催】	1372 100	83 6.0	383 27.9	740 53.9	39 2.8	8 0.6	119 8.7	0.39
	(30) スポーツの振興 【スポーツの機会の充実、スポーツ組織・人材の充実、スポーツ施設の整備・充実、スポーツによる地域活性化】	1372 100	63 4.6	320 23.3	798 58.2	54 3.9	14 1.0	123 9.0	0.29
	(31) 青少年健全育成 【青少年健全育成活動の推進、子ども会活動の支援】	1372 100	86 6.3	344 25.1	772 56.3	31 2.3	11 0.8	128 9.3	0.37
	(32) 芸術文化の振興 【田原文化広場・赤羽根・渥美文化会館の運営、文化ホール事業の実施、池ノ原会館の運営】	1372 100	55 4.0	272 19.8	841 61.3	61 4.4	15 1.1	128 9.3	0.23
	(33) 文化財の継承 【文化財の保護・活用、文化の継承、博物館・吉胡貝塚公園の運営、渥美郷土資料館の管理】	1372 100	62 4.5	285 20.8	809 59.0	69 5.0	24 1.7	123 9.0	0.23
消防防災	(34) 消防・救急体制の充実 【消防活動、救急活動、消防団の活動支援、消防車両・消火栓・防火水槽等設置・管理、救命講習等の開催】	1372 100	318 23.2	522 38.0	414 30.2	8 0.6	4 0.3	106 7.7	0.90
	(35) 防災・減災体制の充実 【災害対策の取り組み、自主防災活動支援、防災設備等整備・管理、建築物耐震化補助】	1372 100	386 28.1	491 35.8	375 27.3	6 0.4	3 0.2	111 8.1	0.99
行財政	(36) 国際化の推進 【姉妹・友好都市との国際交流、多文化共生に向けた環境整備、ボランティア団体支援】	1372 100	45 3.3	250 18.2	821 59.8	105 7.7	26 1.9	125 9.1	0.15
	(37) 情報体制の充実 【広報等発行、ホームページの管理、シティセールスの取り組み、地域情報化の推進】	1372 100	51 3.7	300 21.9	830 60.5	59 4.3	11 0.8	121 8.8	0.26
	(38) 広域連携の推進 【東三河各市町村との連携、広域の取り組み、宮田村・阿南町との交流、大学等との連携】	1372 100	50 3.6	268 19.5	825 60.1	89 6.5	17 1.2	123 9.0	0.20
	(39) 水資源の確保 【設楽ダム整備促進に向けた取り組み、設楽町との交流、グリーンメッセージの運営】	1372 100	153 11.2	403 29.4	663 48.3	25 1.8	11 0.8	117 8.5	0.53
	(40) 行財政運営 【窓口サービス、行政改革、統計管理、職員管理、財政運営、庁舎・財産等管理、議会運営】	1372 100	149 10.9	411 30.0	675 49.2	12 0.9	5 0.4	120 8.7	0.55

問 12 問 11 の(1)～(40)の施策のうち、あなたが特に重要だと思う施策の番号を 3 つご記入ください。

「医療の充実」(43.0%)が最も高く、次いで「高齢者福祉の充実」(20.1%)、「交通基盤の整備」(19.2%)となっています。

平成 28 年度調査と比べると、「医療の充実」「交通基盤の整備」「公共交通の整備」で 3 ポイント以上増加しています。

項目	単位:%			項目	単位:%		
	平成25年度 N=1285	平成28年度 N=1417	令和元年度 N=1372		平成25年度 N=1285	平成28年度 N=1417	令和元年度 N=1372
参加と協働の推進	2.3	2.0	1.6	港湾・河川・海岸の整備	2.7	3.0	1.9
地域防犯・交通安全の推進	12.4	15.0	11.5	市街地の整備	3.2	2.5	3.6
環境共生まちづくり	4.5	2.3	2.0	地域・住環境の整備	2.1	2.8	2.3
環境保全の推進	5.3	7.0	6.0	上下水道の整備	2.8	2.3	2.0
衛生対策の推進	1.6	2.3	1.9	自然環境の保全	3.8	3.5	3.9
資源循環の推進	5.1	5.9	8.1	緑と景観の保全	1.5	1.6	1.5
健康づくりの推進	5.5	5.9	5.6	学校教育の充実	10.0	11.9	13.0
医療の充実	33.9	39.4	43.0	生涯学習の充実	1.6	1.8	2.0
地域福祉の充実	3.1	3.4	2.7	スポーツの振興	1.4	2.0	1.7
児童福祉の充実	7.7	7.6	8.7	青少年健全育成	0.6	0.8	1.5
障がい者福祉の充実	3.5	4.7	3.1	芸術文化の振興	1.6	0.4	0.7
高齢者福祉の充実	13.5	19.1	20.1	文化財の継承	0.8	0.8	0.7
社会保障の充実	3.8	4.7	4.3	消防・救急体制の充実	13.4	9.7	9.1
農業の振興	9.1	7.8	8.7	防災・減災体制の充実	19.0	17.1	18.1
水産業の振興	1.9	2.0	1.7	国際化の推進	0.9	1.1	0.9
工業の振興	3.7	2.2	2.5	情報体制の充実	0.8	0.4	0.7
商業の振興	2.9	3.6	2.6	広域連携の推進	0.5	1.1	1.1
観光の振興	5.9	7.4	7.4	水資源の確保	3.0	4.2	4.4
労働環境・消費生活の充実	2.9	3.7	3.0	行財政運営	4.7	5.4	6.3
交通基盤の整備	13.0	15.9	19.2	無回答	23.3	17.4	14.2
公共交通の整備	10.5	12.1	16.4				

【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「医療の充実」が最も高く、次いで、《男性》では「交通基盤の整備」、《女性》では「高齢者福祉の充実」が続いています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	参加と協働の推進	地域防犯・交通安全の推進	環境共生まちづくり	環境保全の推進	衛生対策の推進	資源循環の推進	健康づくりの推進	医療の充実	地域福祉の充実	児童福祉の充実	障がい者福祉の充実	高齢者福祉の充実	社会保障の充実
男性	602	2.2	11.0	1.5	7.0	2.5	7.0	4.2	39.4	2.7	7.6	2.2	15.6	4.0
女性	730	1.2	12.3	2.3	4.9	1.4	9.2	7.1	46.3	2.6	10.1	4.0	24.2	4.7

区分	農業の振興	水産業の振興	工業の振興	商業の振興	観光の振興	労働環境・消費生活の充実	交通基盤の整備	公共交通の整備	港湾・河川・海岸の整備	市街地の整備	地域・住環境の整備	上下水道の整備	自然環境の保全	緑と景観の保全
男性	9.8	2.3	3.5	4.0	9.8	3.2	26.6	17.1	2.5	4.3	2.7	2.3	3.3	1.5
女性	7.7	1.2	1.6	1.5	5.3	3.0	14.0	16.4	1.5	3.0	2.1	1.8	4.2	1.6

区分	学校教育の充実	生涯学習の充実	スポーツの振興	青少年健全育成	芸術文化の振興	文化財の継承	消防・救急体制の充実	防災・減災体制の充実	国際化の推進	情報体制の充実	広域連携の推進	水資源の確保	行財政運営	無回答
男性	11.6	1.5	2.3	1.3	0.3	0.7	10.3	17.4	0.8	1.0	1.5	5.5	7.6	12.3
女性	14.8	2.5	1.0	1.6	1.1	0.5	8.5	18.6	1.1	0.4	0.7	3.6	5.1	14.4

【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代で「医療の充実」が最も高くなっています。

「高齢者福祉の充実」は50歳代以上で、「交通基盤の整備」は30歳代以下で、「学校教育の充実」は≪30歳代≫≪40歳代≫で、それぞれ比較的高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数 (件)	参加と協働の 推進	地域防犯・交通 安全の 推進	環境共生まち づくり	環境保全の 推進	衛生対策の 推進	資源循環の 推進	健康づくりの 推進	医療の 充実	地域福祉の 充実	児童福祉の 充実	障がい者福祉 の充実	高齢者福祉 の充実	社会 保障の 充実
18歳、19歳	22	0.0	9.1	0.0	0.0	4.5	4.5	4.5	40.9	9.1	9.1	4.5	4.5	0.0
20歳代	112	5.4	11.6	0.9	5.4	0.9	3.6	4.5	38.4	3.6	20.5	2.7	10.7	5.4
30歳代	153	2.0	15.0	2.0	5.9	1.3	7.8	11.1	56.9	3.9	21.6	2.6	7.8	3.9
40歳代	181	1.7	11.6	1.1	6.1	2.8	9.9	5.0	47.5	3.3	8.3	3.9	17.1	4.4
50歳代	215	0.5	15.3	1.4	5.6	2.8	9.8	3.7	41.9	1.9	7.4	3.3	25.1	4.2
60歳代	288	2.1	9.0	3.8	5.6	2.4	8.3	5.2	49.7	2.4	5.9	3.1	22.2	5.6
70歳以上	379	0.8	10.6	1.8	6.6	1.1	8.2	5.5	32.5	1.8	3.4	2.9	26.4	3.7

区分	農業の 振興	水産業の 振興	工業の 振興	商業の 振興	観光の 振興	労働環境・ 消費生活の 充実	交通基盤の 整備	公共交通の 整備	港湾・河川・ 海岸の整 備	市街地の 整備	地域・住 環境の 整備	上下水道の 整備	自然環境の 保全	緑と景観の 保全
18歳、19歳	18.2	4.5	4.5	0.0	13.6	0.0	27.3	36.4	4.5	4.5	4.5	0.0	4.5	0.0
20歳代	11.6	2.7	5.4	2.7	13.4	4.5	29.5	21.4	1.8	6.3	1.8	0.9	1.8	2.7
30歳代	9.8	0.7	0.7	1.3	11.8	2.6	30.1	13.1	0.7	6.5	2.0	2.0	2.0	1.3
40歳代	8.8	0.0	5.5	3.9	9.9	5.0	18.8	21.0	0.6	3.9	1.1	2.2	2.2	2.2
50歳代	12.1	1.9	3.3	3.3	9.3	2.8	18.1	20.0	1.4	2.8	3.7	2.3	5.1	2.8
60歳代	7.6	1.4	0.7	2.1	3.8	3.5	19.8	14.9	2.4	2.1	3.1	2.4	3.8	1.0
70歳以上	5.3	2.6	1.6	2.6	4.2	1.6	12.7	12.1	2.9	3.2	1.8	1.8	5.3	0.8

区分	学校教育の 充実	生涯学習の 充実	スポーツの 振興	青少年健全 育成	芸術文化の 振興	文化財の 継承	消防・救急 体制の 充実	防災・減災 体制の 充実	国際化の 推進	情報体制の 充実	広域連携の 推進	水資源の 確保	行財政運 営	無回 答
18歳、19歳	9.1	4.5	9.1	0.0	0.0	0.0	4.5	18.2	0.0	0.0	0.0	4.5	9.1	9.1
20歳代	8.9	3.6	4.5	0.9	0.9	0.0	7.1	12.5	2.7	1.8	2.7	4.5	2.7	8.9
30歳代	21.6	3.9	2.0	2.6	1.3	0.7	9.2	16.3	1.3	0.7	2.0	2.0	2.0	2.0
40歳代	21.5	1.7	2.8	1.7	0.0	1.1	7.2	20.4	1.1	0.0	0.6	2.2	7.7	7.7
50歳代	10.7	0.9	1.4	0.0	0.5	0.5	11.6	24.7	0.9	1.4	0.9	2.3	7.0	7.9
60歳代	11.1	2.1	0.7	1.0	0.7	0.7	10.4	22.9	1.0	0.7	0.3	5.6	9.4	12.5
70歳以上	10.3	1.6	0.8	2.1	0.8	0.8	8.7	12.4	0.3	0.0	1.3	7.1	5.5	27.4

## 【地区別】

地区別でみると、《高松》《亀山》を除く全ての地区で「医療の充実」が最も高く、《伊良湖岬（堀切）》では「公共交通の整備」、《伊良湖岬（伊良湖）》では「高齢者福祉の充実」も、同率で最も高くなっています。

《高松》では「交通基盤の整備」が、《亀山》では「農業の振興」が、それぞれ最も高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	参加と協働の推進	進地域防犯・交通安全の推進	環境共生まちづくり	環境保全の推進	衛生対策の推進	資源循環の推進	健康づくりの推進	医療の充実	地域福祉の充実	児童福祉の充実	障がい者福祉の充実	高齢者福祉の充実	社会保障の充実
六連	43	2.3	23.3	2.3	2.3	0.0	9.3	11.6	44.2	2.3	9.3	0.0	14.0	4.7
神戸	135	1.5	11.9	2.2	8.1	2.2	8.9	6.7	44.4	3.7	5.9	5.9	27.4	8.1
大草	25	0.0	16.0	0.0	4.0	0.0	8.0	8.0	32.0	8.0	8.0	12.0	12.0	12.0
田原東部	102	1.0	15.7	1.0	5.9	2.9	7.8	6.9	45.1	2.0	9.8	4.9	18.6	3.9
田原南部	50	0.0	14.0	2.0	10.0	8.0	10.0	2.0	56.0	8.0	8.0	2.0	16.0	4.0
童浦	126	3.2	11.9	1.6	4.0	0.8	11.1	4.8	51.6	2.4	10.3	2.4	18.3	3.2
田原中部	129	0.0	11.6	2.3	4.7	1.6	9.3	3.9	41.1	2.3	10.9	3.9	23.3	7.0
衣笠	114	2.6	12.3	5.3	5.3	0.9	7.9	7.0	49.1	3.5	8.8	1.8	19.3	3.5
野田	84	1.2	8.3	2.4	8.3	0.0	10.7	3.6	46.4	1.2	8.3	2.4	20.2	2.4
高松	39	0.0	10.3	0.0	2.6	2.6	2.6	7.7	30.8	0.0	5.1	0.0	20.5	5.1
赤羽根	41	4.9	7.3	0.0	4.9	2.4	7.3	9.8	39.0	2.4	9.8	2.4	7.3	0.0
若戸	37	2.7	13.5	0.0	8.1	0.0	10.8	8.1	54.1	0.0	10.8	5.4	13.5	5.4
伊良湖岬(和地)	35	2.9	11.4	5.7	8.6	2.9	8.6	5.7	42.9	2.9	2.9	0.0	20.0	2.9
伊良湖岬(堀切)	33	0.0	3.0	3.0	0.0	3.0	3.0	3.0	45.5	3.0	6.1	0.0	36.4	0.0
伊良湖岬(伊良湖)	20	0.0	5.0	0.0	10.0	5.0	5.0	5.0	30.0	5.0	10.0	5.0	30.0	5.0
亀山	27	0.0	0.0	3.7	3.7	3.7	0.0	3.7	25.9	0.0	7.4	0.0	14.8	0.0
中山	104	1.9	12.5	0.0	7.7	1.0	6.7	3.8	36.5	1.0	7.7	3.8	14.4	3.8
福江	81	2.5	9.9	2.5	2.5	3.7	7.4	4.9	42.0	2.5	4.9	1.2	24.7	3.7
清田	55	1.8	7.3	0.0	3.6	0.0	3.6	3.6	40.0	3.6	10.9	3.6	23.6	1.8
泉	69	1.4	14.5	1.4	7.2	2.9	10.1	7.2	34.8	2.9	14.5	2.9	21.7	5.8

単位：%

区分	農業の振興	水産業の振興	工業の振興	商業の振興	観光の振興	実労働環境・消費生活の充	交通基盤の整備	公共交通の整備	港湾・河川・海岸の整備	市街地の整備	地域・住環境の整備	上下水道の整備	自然環境の保全	緑と景観の保全
六連	9.3	0.0	4.7	7.0	4.7	4.7	4.7	11.6	0.0	0.0	7.0	2.3	4.7	0.0
神戸	5.9	3.0	2.2	2.2	3.0	3.7	20.0	11.1	1.5	1.5	3.0	4.4	2.2	3.0
大草	0.0	0.0	0.0	0.0	4.0	4.0	12.0	8.0	12.0	8.0	0.0	8.0	4.0	0.0
田原東部	5.9	0.0	2.0	2.0	10.8	1.0	16.7	12.7	2.0	1.0	0.0	3.9	2.9	2.9
田原南部	8.0	2.0	0.0	2.0	6.0	0.0	22.0	12.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	2.0
童浦	7.1	0.8	1.6	1.6	6.3	0.8	19.0	15.9	0.8	3.2	0.0	0.8	2.4	3.2
田原中部	5.4	0.0	3.9	2.3	9.3	3.1	17.8	11.6	0.0	6.2	3.9	2.3	7.0	0.8
衣笠	7.0	1.8	1.8	4.4	7.9	3.5	21.1	14.0	3.5	5.3	2.6	0.9	2.6	1.8
野田	9.5	2.4	3.6	1.2	3.6	6.0	23.8	28.6	1.2	1.2	1.2	1.2	6.0	0.0
高松	10.3	7.7	2.6	0.0	5.1	2.6	33.3	20.5	0.0	7.7	5.1	2.6	7.7	7.7
赤羽根	17.1	0.0	0.0	0.0	9.8	2.4	19.5	34.1	0.0	2.4	4.9	0.0	7.3	0.0
若戸	16.2	0.0	2.7	2.7	10.8	0.0	10.8	24.3	0.0	0.0	0.0	2.7	5.4	0.0
伊良湖岬(和地)	14.3	0.0	5.7	0.0	5.7	2.9	31.4	22.9	0.0	2.9	5.7	0.0	0.0	0.0
伊良湖岬(堀切)	21.2	3.0	0.0	0.0	18.2	6.1	15.2	45.5	0.0	0.0	12.1	0.0	0.0	0.0
伊良湖岬(伊良湖)	10.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	10.0	25.0	10.0	0.0	10.0	0.0	10.0	0.0
亀山	33.3	0.0	0.0	7.4	14.8	3.7	25.9	18.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
中山	9.6	2.9	2.9	2.9	9.6	1.9	22.1	12.5	3.8	3.8	1.9	2.9	1.9	1.9
福江	8.6	2.5	4.9	4.9	4.9	2.5	23.5	17.3	3.7	4.9	1.2	1.2	3.7	1.2
清田	1.8	1.8	5.5	7.3	9.1	9.1	14.5	20.0	1.8	10.9	1.8	0.0	3.6	0.0
泉	8.7	4.3	0.0	1.4	8.7	4.3	17.4	5.8	4.3	7.2	0.0	2.9	4.3	0.0



単位：%

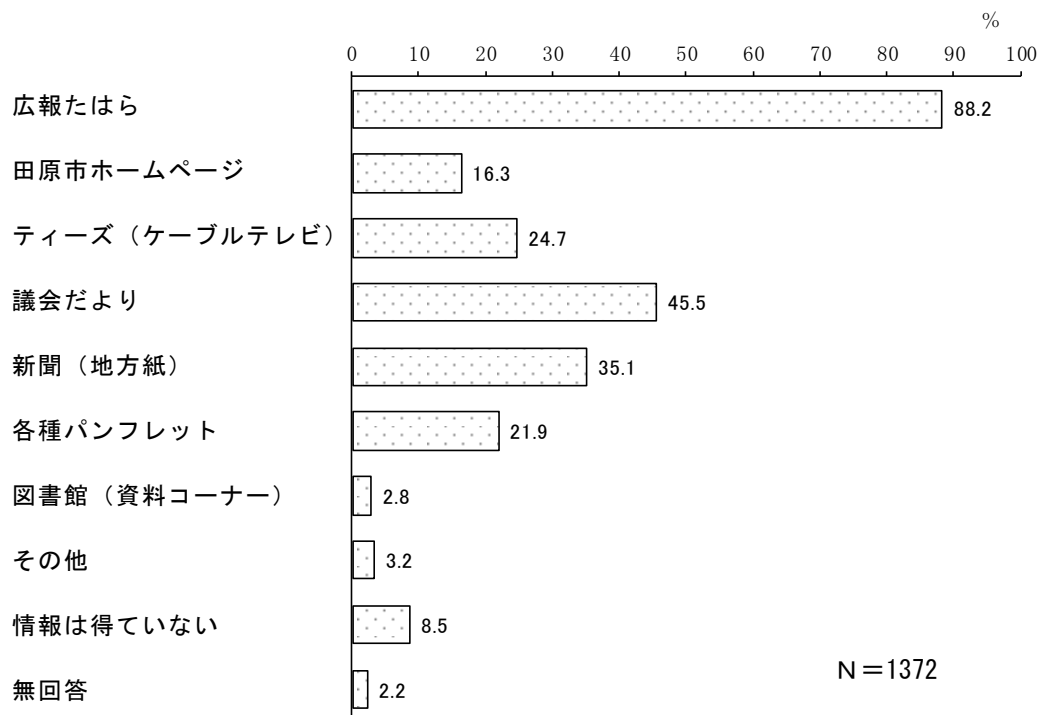
区分	学校教育の充実	生涯学習の充実	スポーツの振興	青少年健全育成	芸術文化の振興	文化財の継承	消防・救急体制の充実	防災・減災体制の充実	国際化の推進	情報体制の充実	広域連携の推進	水資源の確保	行財政運営	無回答
六連	4.7	4.7	4.7	2.3	0.0	0.0	4.7	18.6	0.0	0.0	0.0	9.3	7.0	18.6
神戸	6.7	0.0	0.0	1.5	0.7	1.5	10.4	18.5	1.5	1.5	0.7	5.2	8.9	12.6
大草	8.0	8.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	16.0	0.0	0.0	0.0	4.0	8.0	20.0
田原東部	17.6	3.9	3.9	2.0	1.0	1.0	13.7	18.6	2.0	1.0	3.9	3.9	5.9	9.8
田原南部	18.0	4.0	2.0	0.0	0.0	2.0	2.0	24.0	2.0	2.0	0.0	4.0	0.0	12.0
童浦	17.5	0.8	1.6	1.6	0.0	0.0	7.1	20.6	0.0	0.0	2.4	4.8	4.8	15.9
田原中部	15.5	2.3	0.8	0.8	0.8	0.8	9.3	18.6	0.0	0.8	1.6	2.3	10.1	13.2
衣笠	13.2	2.6	2.6	0.9	2.6	1.8	12.3	12.3	0.9	1.8	0.0	7.9	7.0	9.6
野田	11.9	4.8	2.4	1.2	0.0	0.0	7.1	15.5	2.4	0.0	1.2	3.6	8.3	11.9
高松	7.7	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	7.7	17.9	0.0	0.0	0.0	10.3	7.7	15.4
赤羽根	7.3	2.4	2.4	2.4	0.0	2.4	2.4	19.5	0.0	0.0	0.0	4.9	2.4	19.5
若戸	18.9	2.7	0.0	2.7	0.0	0.0	10.8	10.8	2.7	0.0	0.0	5.4	2.7	10.8
伊良湖岬(和地)	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.9	5.7	17.1	2.9	0.0	0.0	2.9	2.9	11.4
伊良湖岬(堀切)	15.2	3.0	0.0	3.0	0.0	0.0	0.0	33.3	3.0	0.0	3.0	0.0	3.0	3.0
伊良湖岬(伊良湖)	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	15.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	20.0
亀山	18.5	0.0	3.7	0.0	0.0	0.0	18.5	29.6	0.0	3.7	3.7	3.7	18.5	11.1
中山	7.7	0.0	2.9	1.9	1.0	0.0	8.7	14.4	1.0	1.0	0.0	1.9	4.8	24.0
福江	12.3	2.5	0.0	3.7	0.0	0.0	8.6	16.0	1.2	0.0	1.2	4.9	6.2	13.6
清田	9.1	1.8	0.0	3.6	3.6	0.0	9.1	27.3	0.0	0.0	0.0	1.8	3.6	16.4
泉	21.7	1.4	2.9	0.0	1.4	0.0	11.6	18.8	0.0	0.0	1.4	5.8	4.3	10.1

## 5. 個別の取り組みについて

### <市の行政サービスについて>

問 13 あなたは、市政に関する情報を主に何から得ていますか。(あてはまるもの3つに○)

「広報たはら」の割合が88.2%で最も高く、次いで「議会だより」の割合が45.5%、「新聞（地方紙）」の割合が35.1%となっています。



### 【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「広報たはら」が最も高く、次いで「議会だより」「新聞（地方紙）」となっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	広報たはら	田原市ホームページ	テレビズ（ケーブルテレビ）	議会だより	新聞（地方紙）	各種パンフレット	図書館（資料コーナー）	その他	情報は得ていない	無回答
男性	602	86.4	19.4	23.4	46.3	37.4	20.8	3.2	5.0	10.0	1.5
女性	730	90.1	13.8	25.5	44.2	33.0	22.7	2.6	1.8	7.8	2.5

### 【年齢別】

年齢別でみると、《18歳、19歳》を除く全ての年代で「広報たはら」が7割以上となっています。60歳代以上では「議会だより」が5割を超え、他の年代に比べて高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	広報たはら	田原市ホームページ	テレビズ（ケーブルテレビ）	議会だより	新聞（地方紙）	各種パンフレット	図書館（資料コーナー）	その他	情報は得ていない	無回答
18歳、19歳	22	45.5	13.6	18.2	4.5	31.8	27.3	4.5	4.5	31.8	4.5
20歳代	112	70.5	24.1	19.6	22.3	23.2	22.3	4.5	8.0	19.6	2.7
30歳代	153	86.9	20.3	28.8	35.3	21.6	19.0	3.9	2.6	11.1	1.3
40歳代	181	91.7	22.1	32.0	37.0	22.7	26.0	1.7	2.8	7.7	1.1
50歳代	215	90.7	24.7	27.0	43.7	34.4	15.3	4.2	3.7	9.8	0.0
60歳代	288	94.4	13.5	21.9	59.4	41.0	25.3	1.4	2.1	4.5	1.4
70歳以上	379	89.4	7.7	22.7	52.8	45.9	21.6	2.4	2.9	5.5	4.2

## 【地区別】

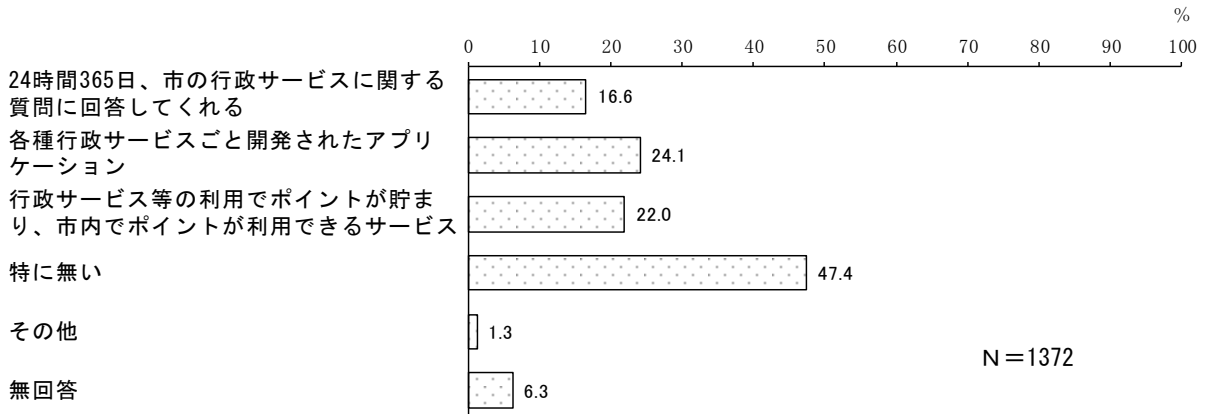
地区別でみると、全ての地区で「広報たはら」が最も高く、8割以上を占めています。《大草》《若戸》では「ティーズ（ケーブルテレビ）」が「議会だより」と同率で約4割と比較的高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	広報たはら	田原市ホームページ	ティーズ（ケーブルテレビ）	議会だより	新聞（地方紙）	各種パンフレット	図書館（資料コーナー）	その他	情報は得ていない	無回答
六連	43	81.4	14.0	34.9	44.2	23.3	20.9	2.3	4.7	9.3	7.0
神戸	135	89.6	17.0	14.1	45.9	42.2	24.4	2.2	2.2	8.9	1.5
大草	25	96.0	20.0	40.0	40.0	32.0	16.0	4.0	0.0	4.0	0.0
田原東部	102	86.3	14.7	23.5	44.1	39.2	22.5	4.9	4.9	9.8	3.9
田原南部	50	90.0	18.0	26.0	44.0	28.0	24.0	6.0	2.0	4.0	4.0
童浦	126	87.3	19.0	16.7	57.1	28.6	15.9	0.0	4.0	11.9	0.8
田原中部	129	87.6	19.4	17.1	44.2	32.6	30.2	5.4	2.3	6.2	2.3
衣笠	114	89.5	15.8	15.8	43.9	43.9	23.7	1.8	3.5	7.9	0.0
野田	84	94.0	19.0	27.4	51.2	41.7	16.7	2.4	1.2	2.4	1.2
高松	39	84.6	10.3	20.5	41.0	35.9	12.8	2.6	5.1	7.7	2.6
赤羽根	41	92.7	17.1	39.0	43.9	31.7	19.5	0.0	4.9	7.3	2.4
若戸	37	83.8	8.1	43.2	43.2	18.9	29.7	0.0	2.7	5.4	5.4
伊良湖岬(和地)	35	88.6	17.1	28.6	42.9	25.7	5.7	5.7	11.4	17.1	2.9
伊良湖岬(堀切)	33	97.0	27.3	36.4	51.5	24.2	27.3	9.1	0.0	9.1	0.0
伊良湖岬(伊良湖)	20	100.0	0.0	30.0	65.0	35.0	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0
亀山	27	81.5	7.4	29.6	44.4	37.0	44.4	3.7	7.4	7.4	0.0
中山	104	89.4	16.3	30.8	44.2	38.5	20.2	2.9	3.8	7.7	1.9
福江	81	88.9	17.3	27.2	42.0	34.6	21.0	2.5	0.0	11.1	1.2
清田	55	87.3	16.4	32.7	41.8	29.1	27.3	3.6	1.8	10.9	3.6
泉	69	82.6	11.6	31.9	33.3	40.6	13.0	0.0	4.3	13.0	2.9

問 14 以下の行政サービスについて、是非利用したいと思うサービスは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「各種行政サービスごと開発されたアプリケーション」が 24.1%と最も高く、次いで「行政サービス等の利用でポイントが貯まり、市内でポイントが利用できるサービス」が 22.0%となっています。なお、「特に無い」は 47.4%となっています。



### 【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「各種行政サービスごと開発されたアプリケーション」が最も高くなっています。《女性》では「行政サービス等の利用でポイントが貯まり、市内でポイントが利用できるサービス」が僅差で続き、《男性》を5.1ポイント上回っています。

単位: %

区分	有効回答数（件）	回答サ 2 4   時間 3   6 5   日 、 質   問 の   行	され 各 種   行 政   サ ー   ビ ス ご   と 開   発	ス イ   行 ン   政 ト   サ が   ー が   ビ 利   ス 用   等 ま   の り   利 可   用 さ   内 る   で サ   用 ー   可 サ   能 ー   な で   い ビ   る ポ   点	特 に 無 い	そ の 他	無 回 答
男性	602	18.4	23.9	19.6	49.5	1.7	4.8
女性	730	15.5	24.8	24.7	45.1	1.0	6.7

### 【年齢別】

年齢別でみると、《18歳、19歳》《30歳代》では「行政サービス等の利用でポイントが貯まり、市内でポイントが利用できるサービス」が「各種行政サービスごと開発されたアプリケーション」を上回り、3割を超えています。「特に無い」は60歳代以上で半数以上を占めています。

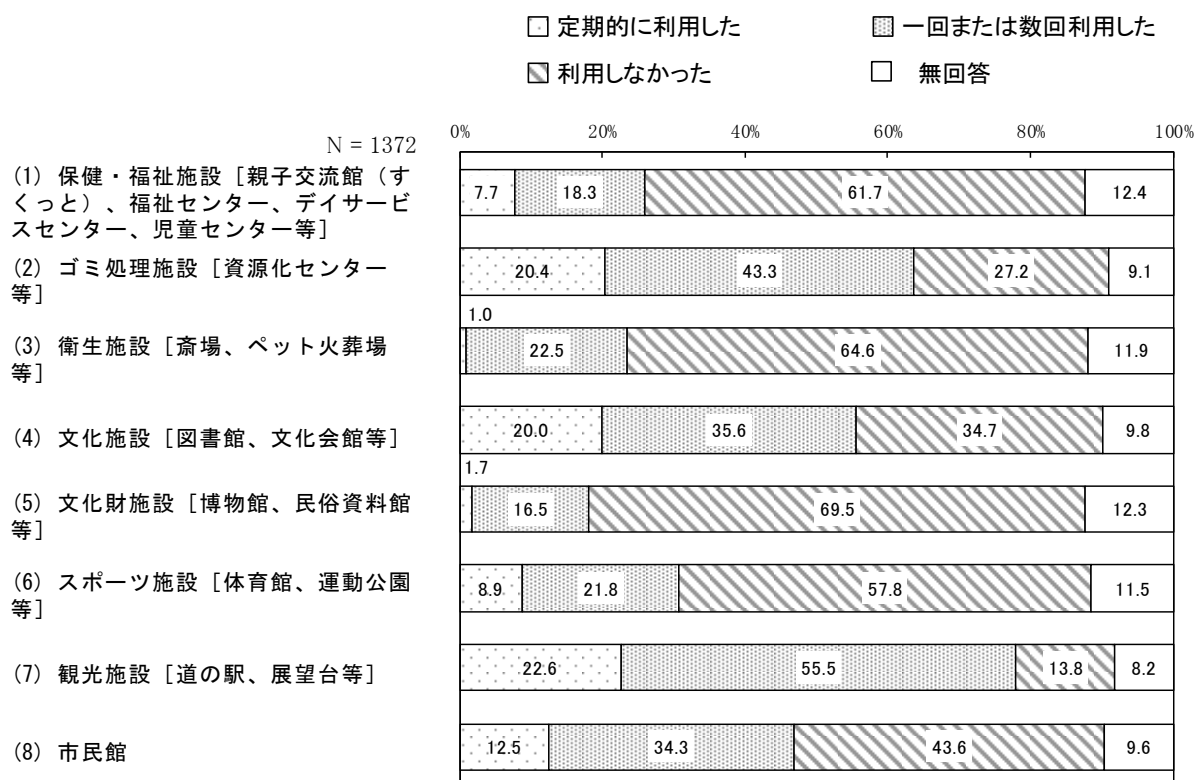
単位: %

区分	有効回答数（件）	回答サ 2 4   時間 3   6 5   日 、 質   問 の   行	され 各 種   行 政   サ ー   ビ ス ご   と 開   発	ス イ   行 ン   政 ト   サ が   ー が   ビ 利   ス 用   等 ま   の り   利 可 さ   内 る   で サ   用 ー   可 サ   能 ー   な で   い ビ   る ポ   点	特 に 無 い	そ の 他	無 回 答
18歳、19歳	22	4.5	27.3	36.4	45.5	0.0	9.1
20歳代	112	17.9	28.6	27.7	44.6	2.7	2.7
30歳代	153	17.6	31.4	39.2	34.6	0.0	2.0
40歳代	181	13.8	26.0	26.0	45.9	1.1	3.3
50歳代	215	18.1	28.8	22.3	46.5	0.9	2.8
60歳代	288	17.0	20.8	18.8	51.7	1.7	3.8
70歳以上	379	16.6	19.3	13.5	51.7	1.6	12.7

## <市内の公共施設について>

問 15 あなたは、過去1年間に以下の公共施設を利用されましたか。  
(1～8の施設全てについてあてはまるもの1つに○)

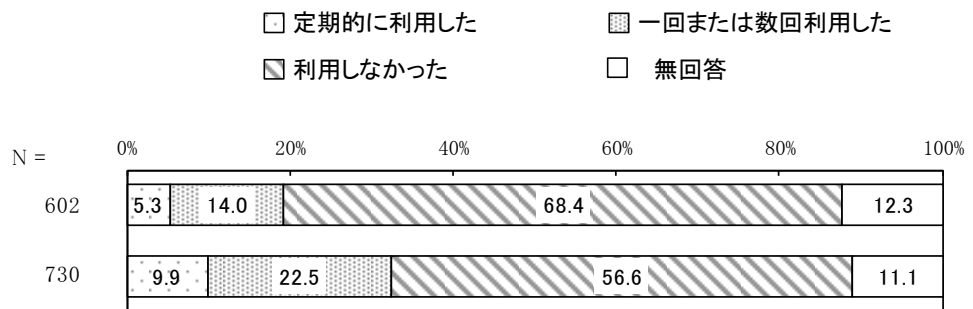
「定期的にご利用した」「一回または数回ご利用した」を合わせた“ご利用した”(以下同じ)は、「観光施設 [道の駅、展望台等]」の割合が78.1%と最も高くなっています。



(1) 保健・福祉施設 [親子交流館 (すくっと)、福祉センター、デイサービスセンター、児童センター等]

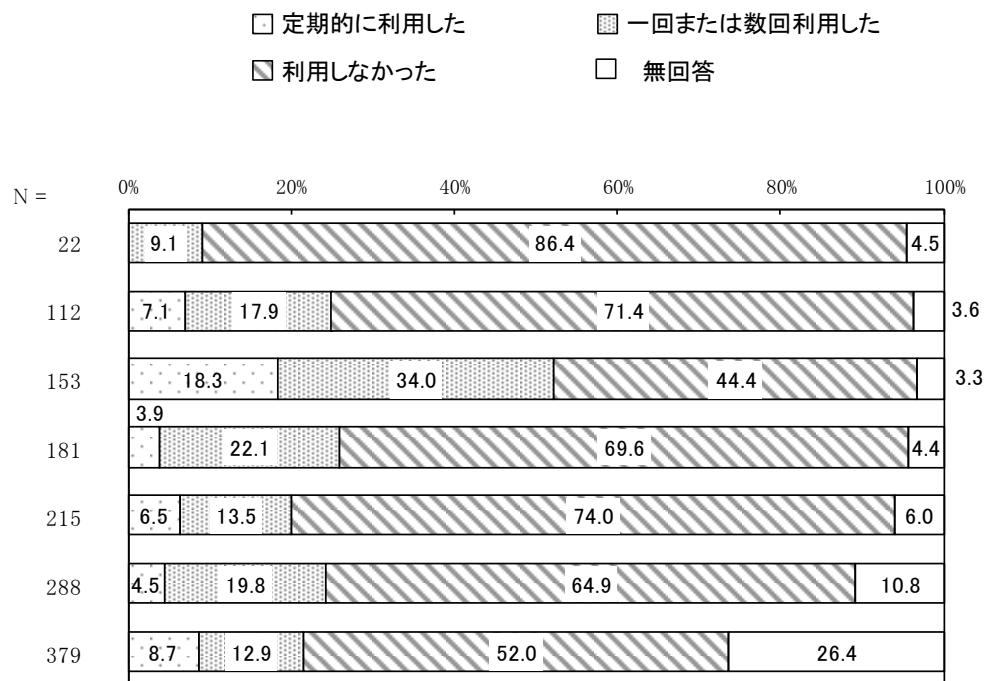
【性別】

性別でみると、《女性》では“利用した”の割合が 32.4%と、《男性》を 13.1 ポイント上回っています。



【年齢別】

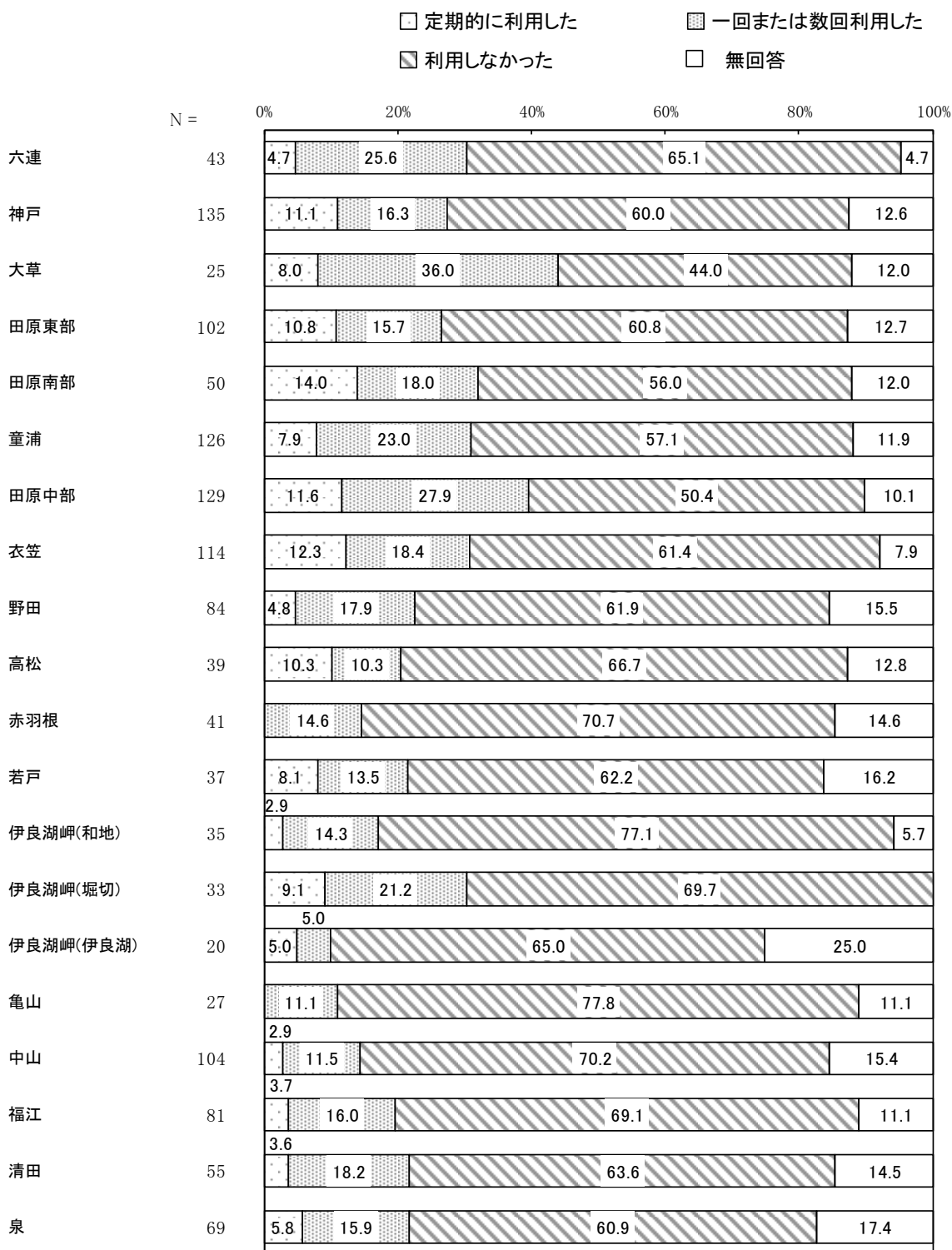
年齢別でみると、《30歳代》で“利用した”の割合が 52.3%と、最も高くなっています。





【地区別】

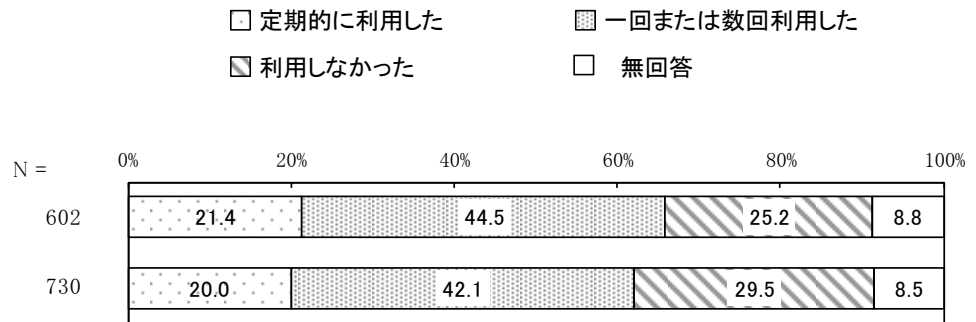
地区別でみると、《大草》で“利用した”の割合が44.0%と最も高く、次いで《田原中部》で39.5%となっています。



(2) ゴミ処理施設 [資源化センター等]

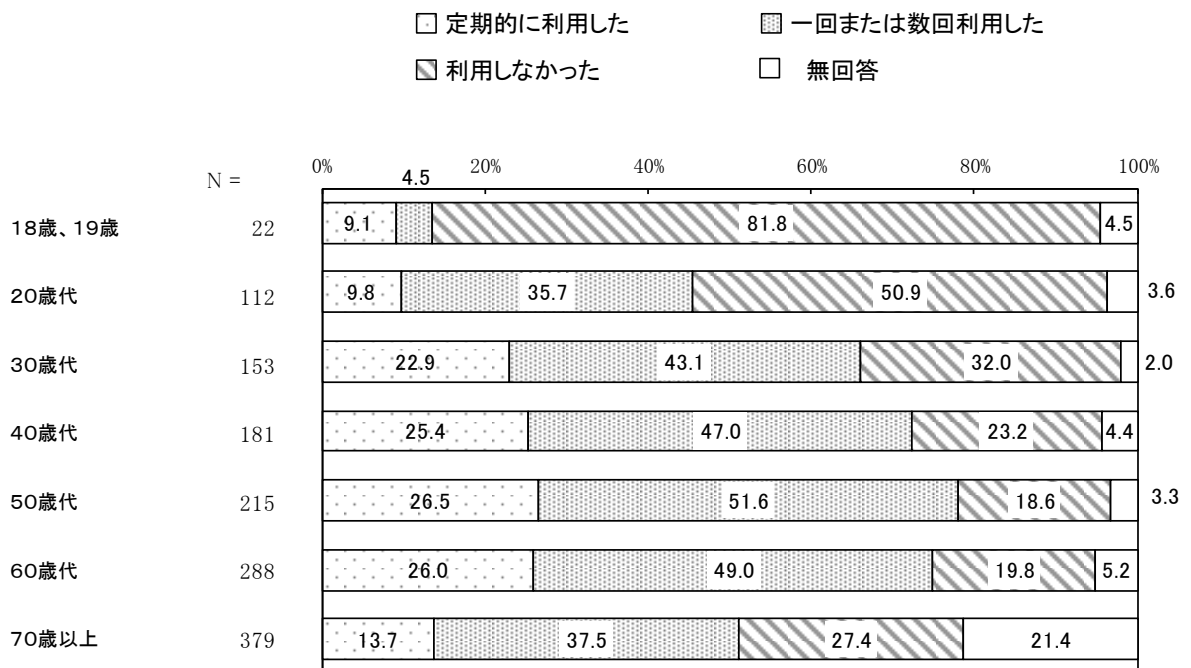
【性別】

性別で見ると、《男性》で“利用した”の割合が65.9%と、《女性》を3.8ポイント上回っています。



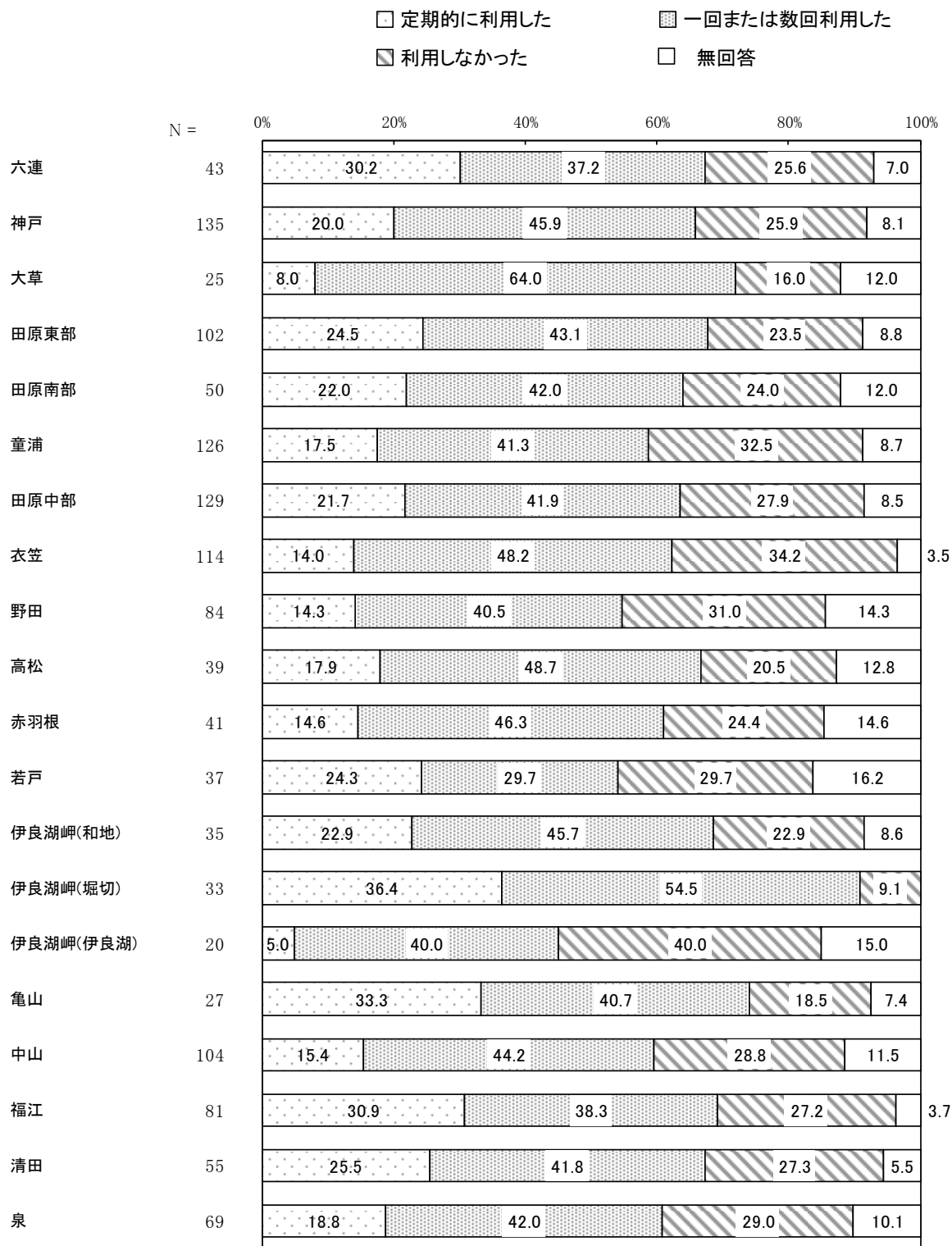
【年齢別】

年齢別で見ると、《30歳代》から《60歳代》で“利用した”の割合が6割を超え、《50歳代》で78.1%と最も高くなっています。



【地区別】

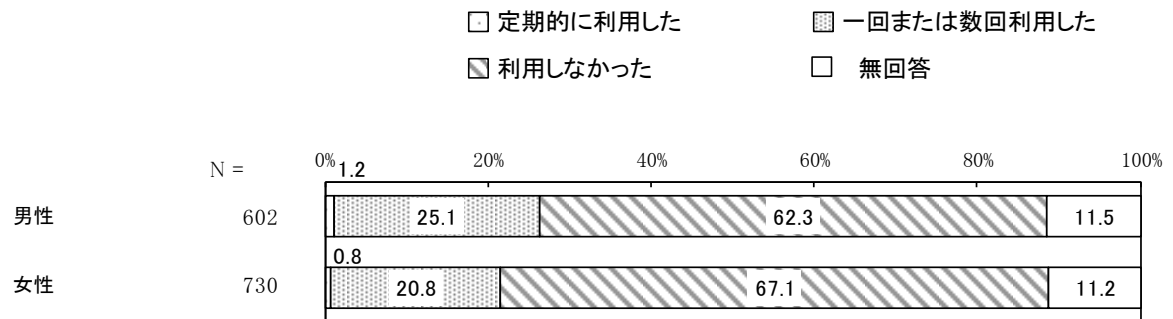
地区別でみると、《伊良湖岬(堀切)》で“利用した”の割合が90.9%と最も高いのに対し、《伊良湖岬(伊良湖)》では45.0%と最も低くなっています。



(3) 衛生施設 [斎場、ペット火葬場等]

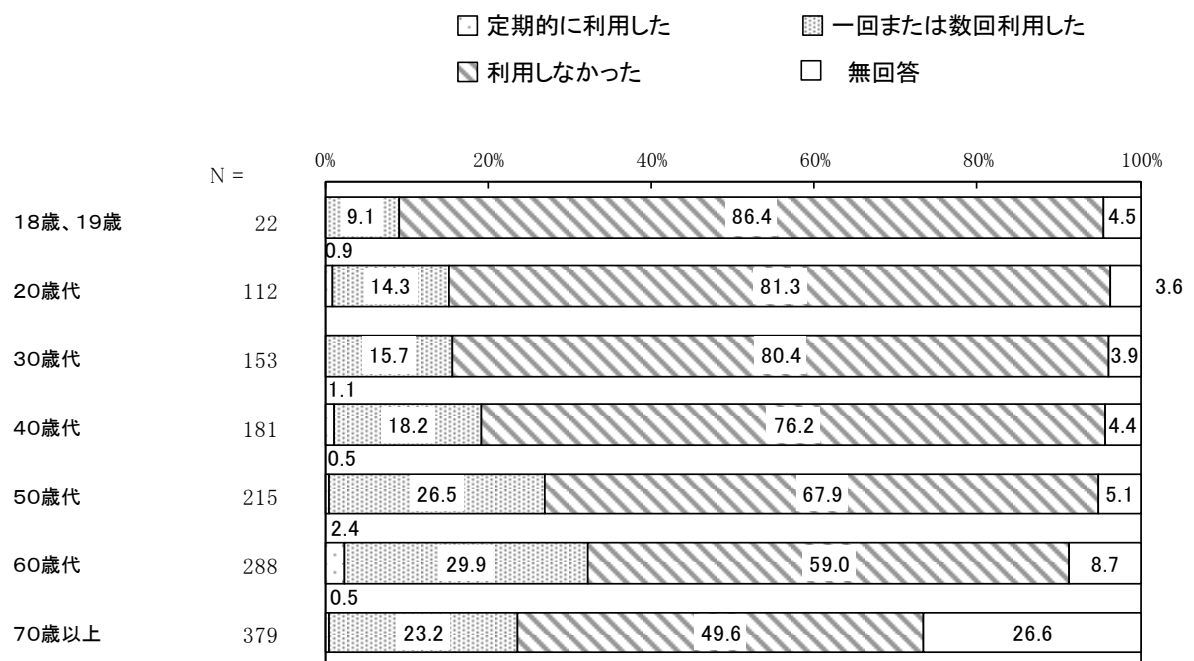
【性別】

性別でみると、《男性》で“利用した”が26.3%と、《女性》を4.7ポイント上回っています。



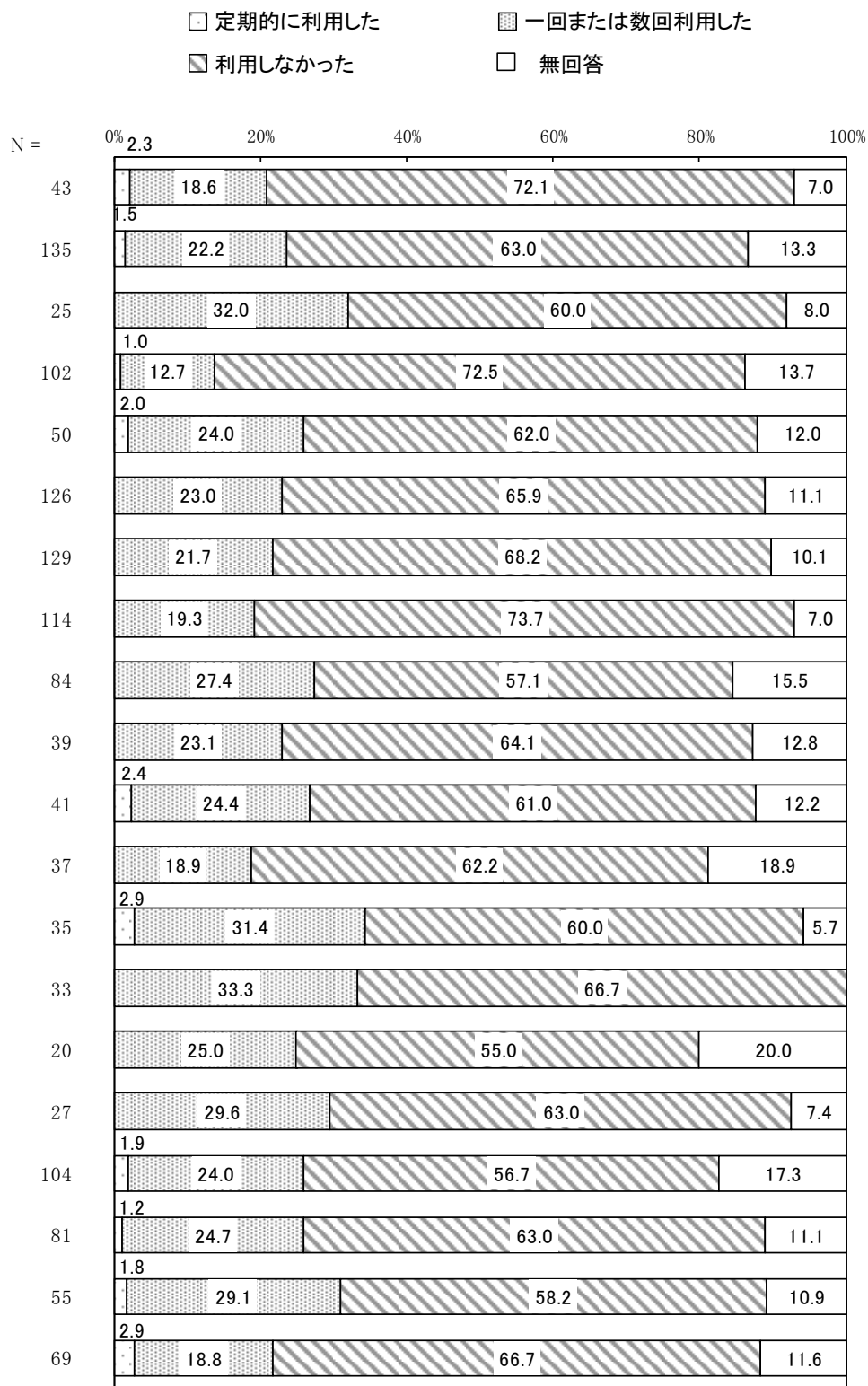
【年齢別】

年齢別でみると、《60歳代》で“利用した”が32.3%と最も高くなっています。



### 【地区別】

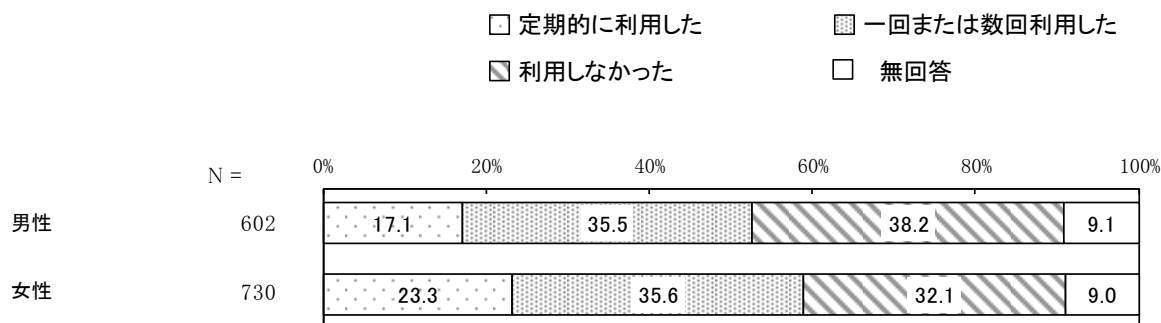
地区別でみると、《大草》《伊良湖岬（和地）》《伊良湖岬（堀切）》《清田》で“利用した”の割合が3割を超え、比較的高くなっています。



(4) 文化施設 [図書館、文化会館等]

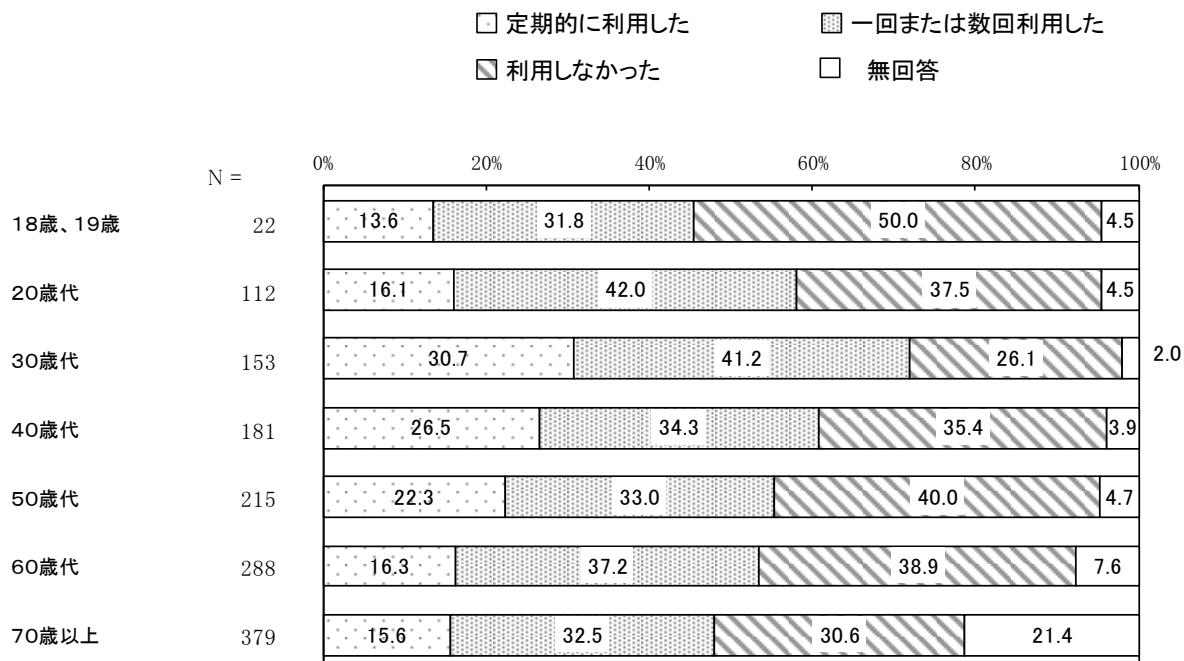
【性別】

性別で見ると、《女性》で“利用した”の割合が58.9%と、《男性》を6.3ポイント上回っています。



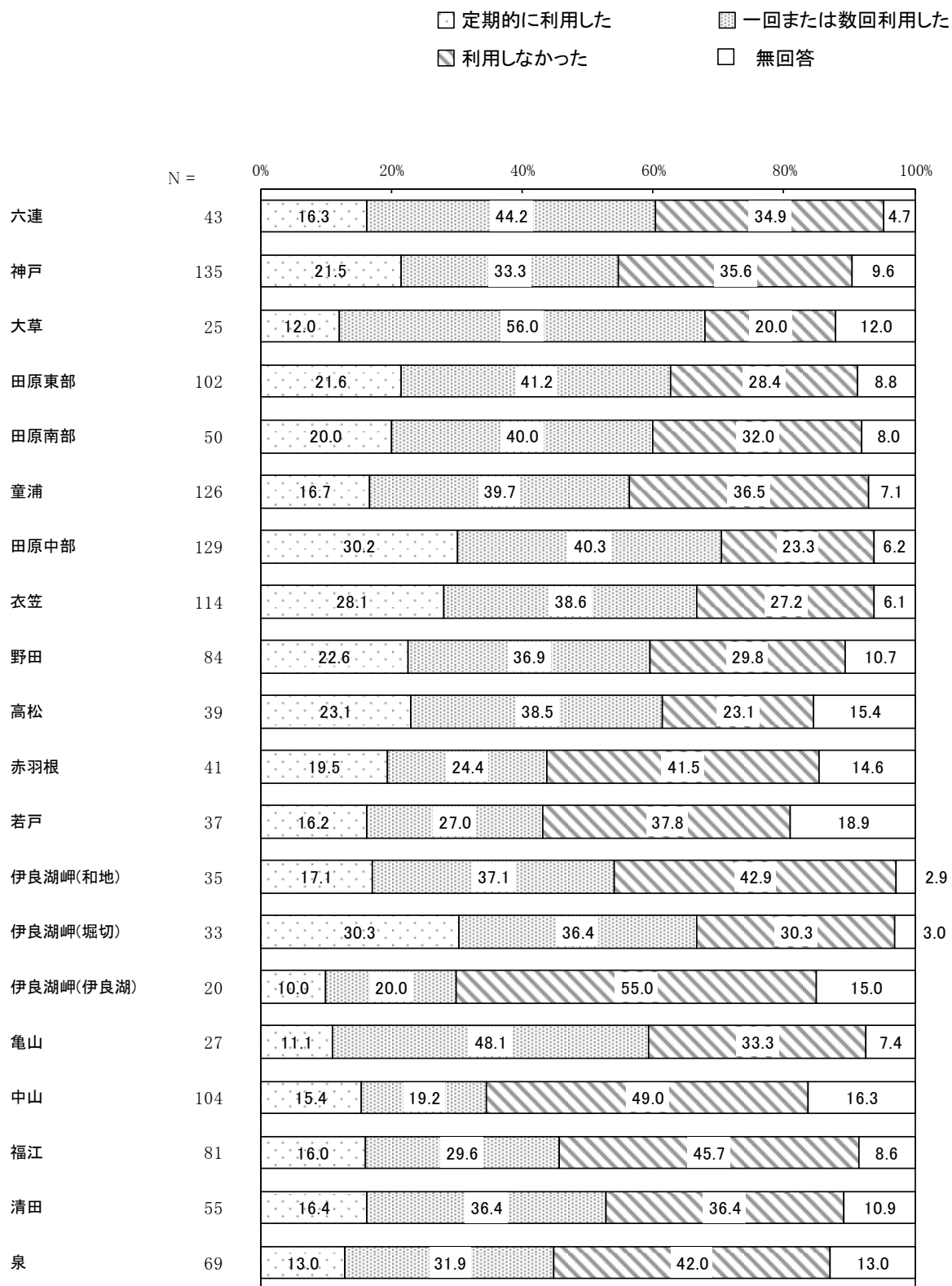
【年齢別】

年齢別で見ると、《30歳代》で“利用した”の割合が71.9%と最も高く、《18歳、19歳》と《70歳以上》で5割を下回っています。



### 【地区別】

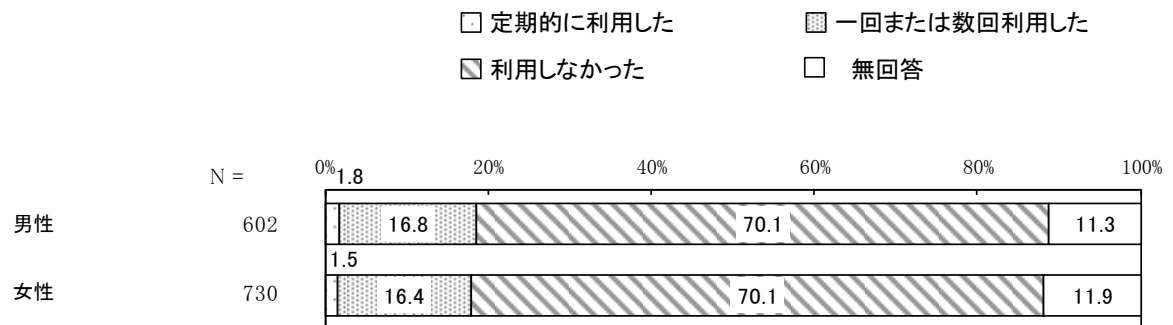
地区別でみると、《田原中部》で“利用した”の割合が70.5%と最も高いのに対し、《伊良湖岬（伊良湖）》では30.0%と最も低くなっています。



(5) 文化財施設 [博物館、民俗資料館等]

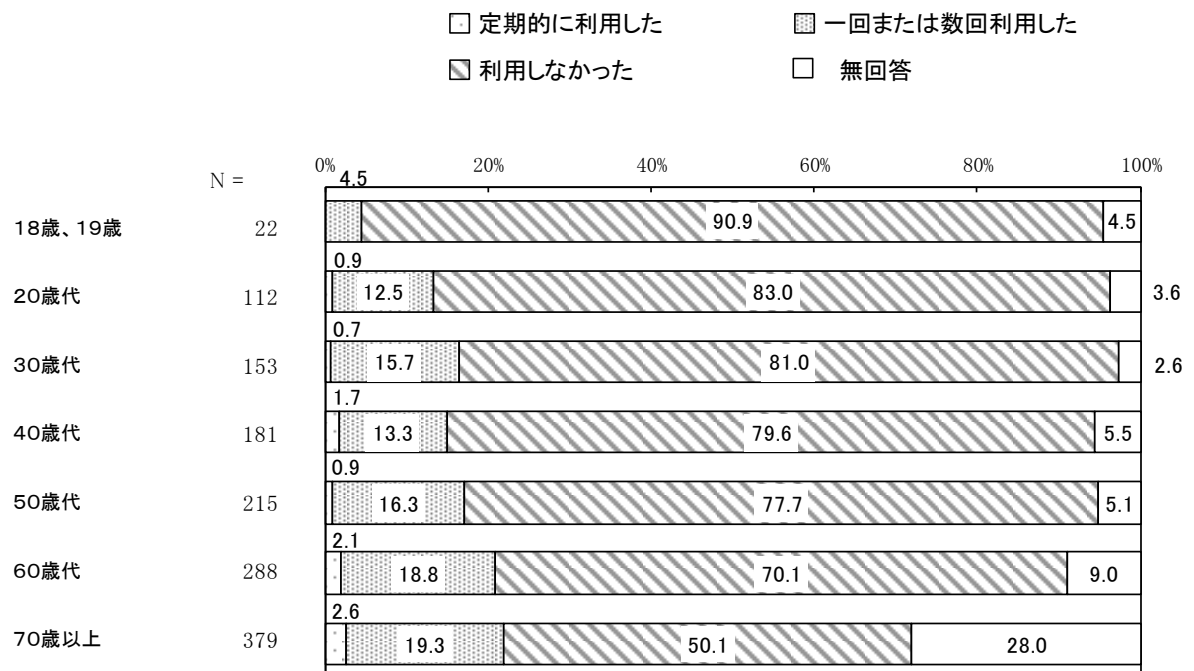
【性別】

性別でみると、“利用した”の割合が《男性》で18.6%、《女性》で17.9%となっています。



【年齢別】

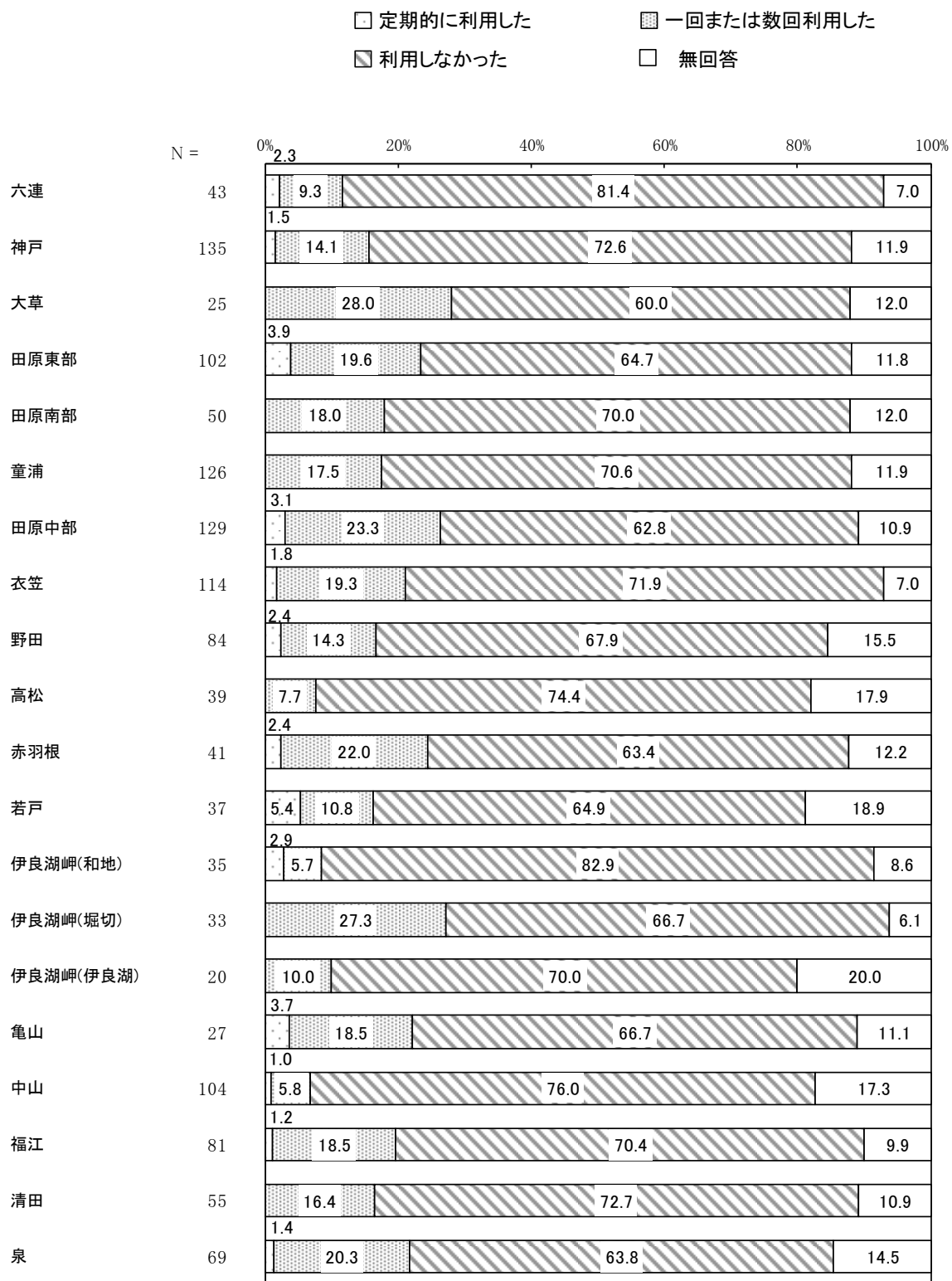
年齢別でみると、《70歳以上》で21.9%、《60歳代》で20.9%と2割を超え、比較的高くなっています。





### 【地区別】

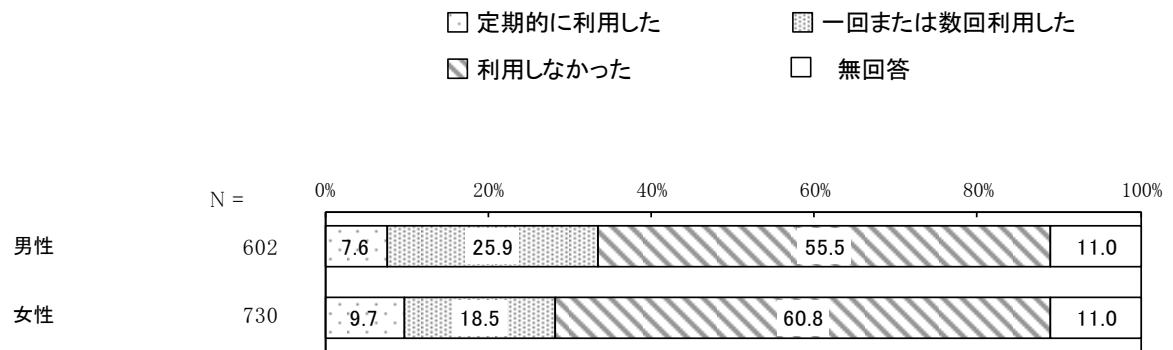
地区別でみると、“利用した”の割合が《大草》で28.0%、《伊良湖岬（堀切）》で27.3%とともに3割弱で、比較的高くなっています。



(6) スポーツ施設 [体育館、運動公園等]

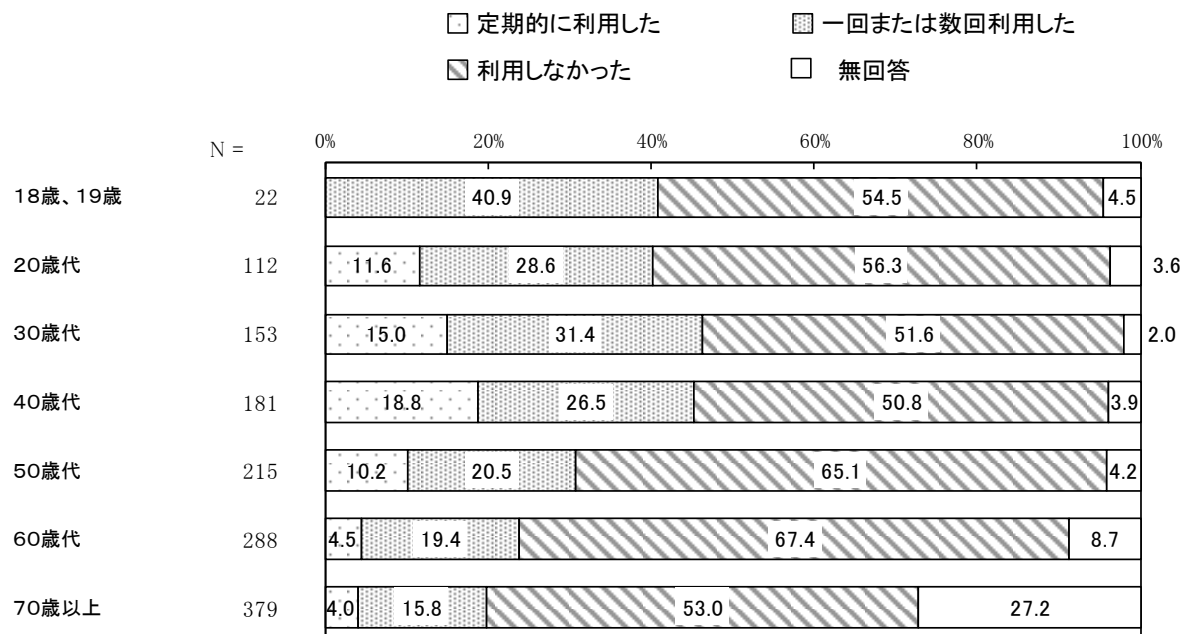
【性別】

性別でみると、《男性》で“利用した”の割合が 33.5%となっており、《女性》を 5.3 ポイント上回っています。



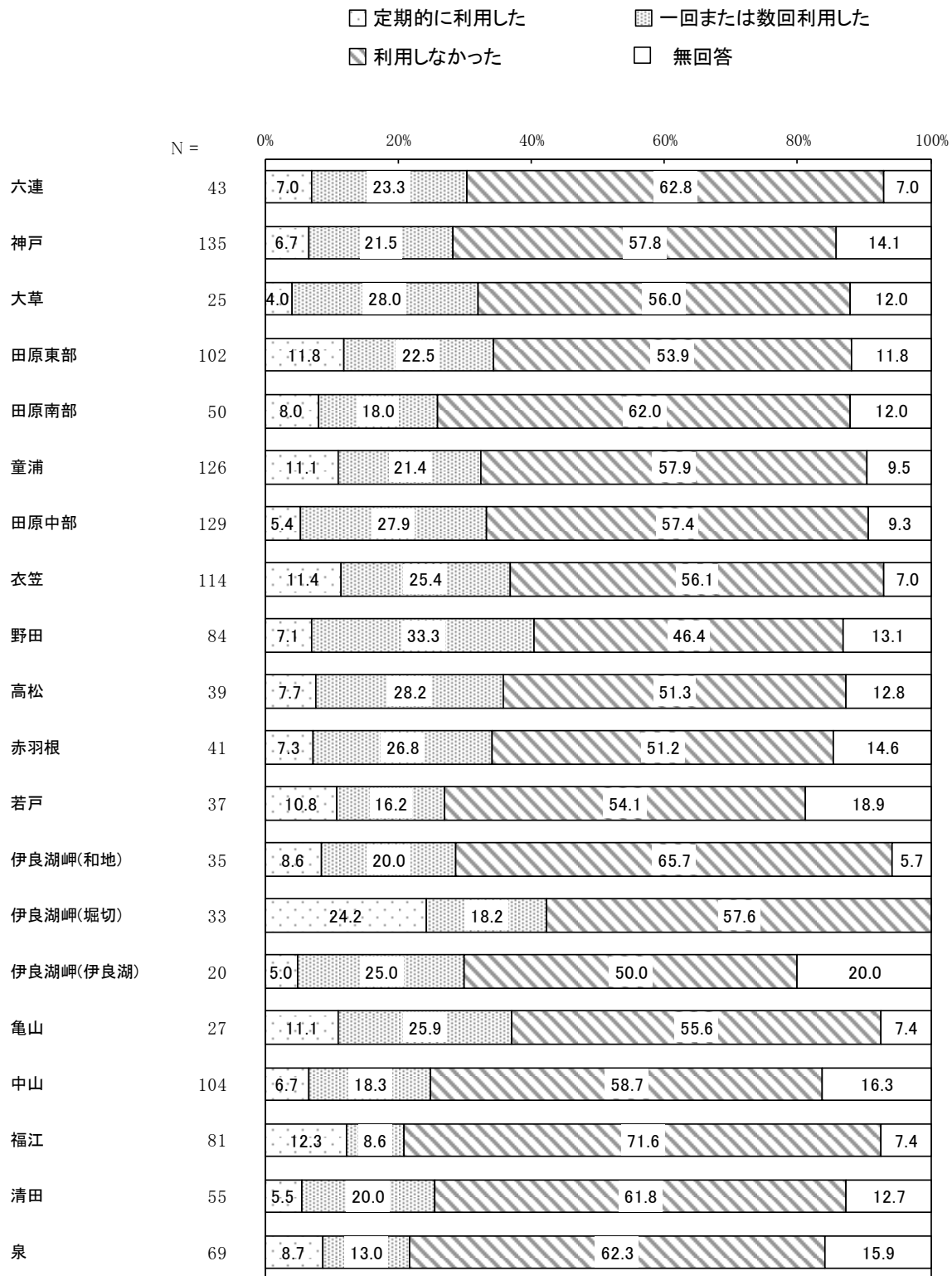
【年齢別】

年齢別でみると、“利用した”の割合が 40 歳代以下で 4 割以上を占め、《30 歳代》で 46.4%と最も高くなっています。《70 歳以上》では 19.8%と最も低くなっています。



### 【地区別】

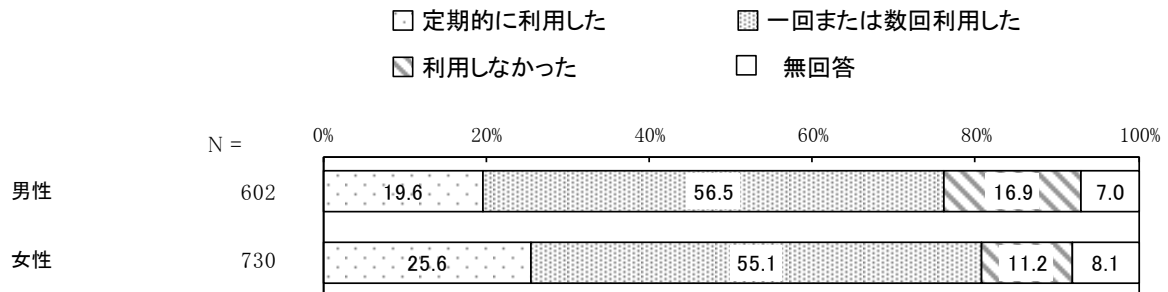
地区別でみると、“利用した”の割合が《野田》《伊良湖岬（堀切）》で4割を超え、比較的高くなっています。《福江》《泉》では2割前後にとどまっています。



(7) 観光施設 [道の駅、展望台等]

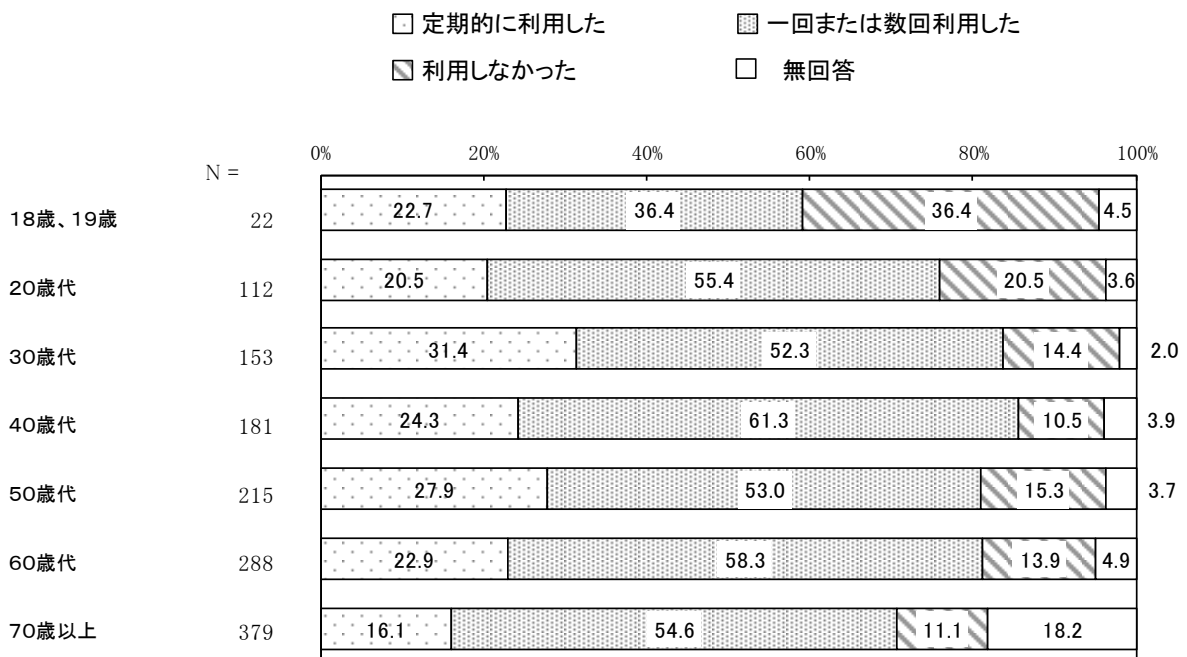
【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに“利用した”の割合が7割を超えています。



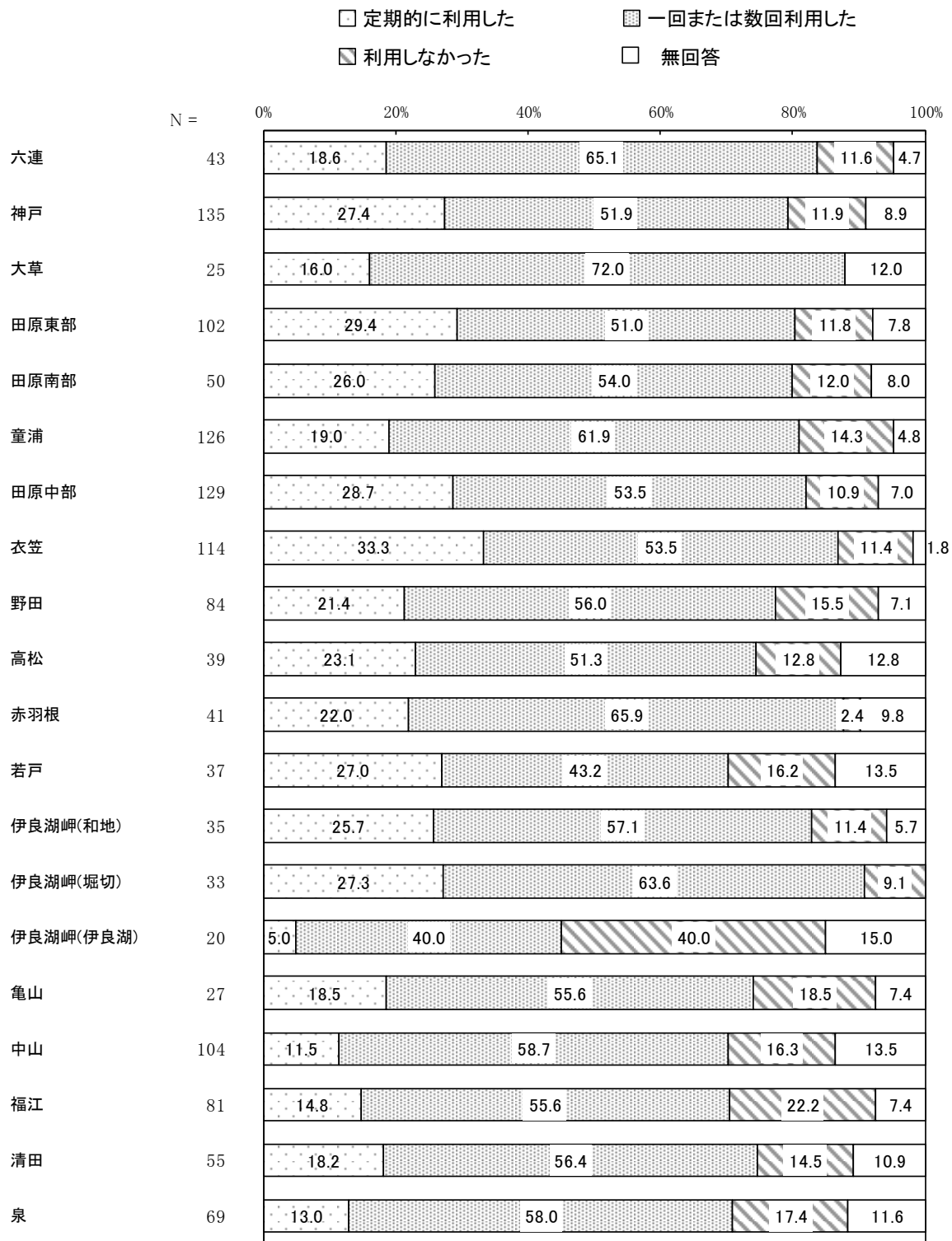
【年齢別】

年齢別でみると、《30歳代》から《60歳代》で“利用した”の割合が8割を超え、《40歳代》で85.6%と最も高くなっています。《18歳、19歳》では6割を下回っています。



### 【地区別】

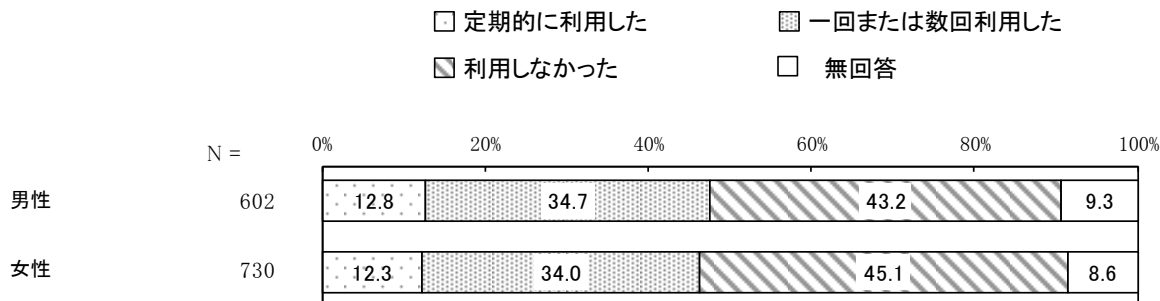
地区別でみると、“利用した”の割合が《大草》《赤羽根》《伊良湖岬（堀切）》で9割前後と比較的高くなっています。《伊良湖岬（伊良湖）》では5割を下回っています。



(8) 市民館

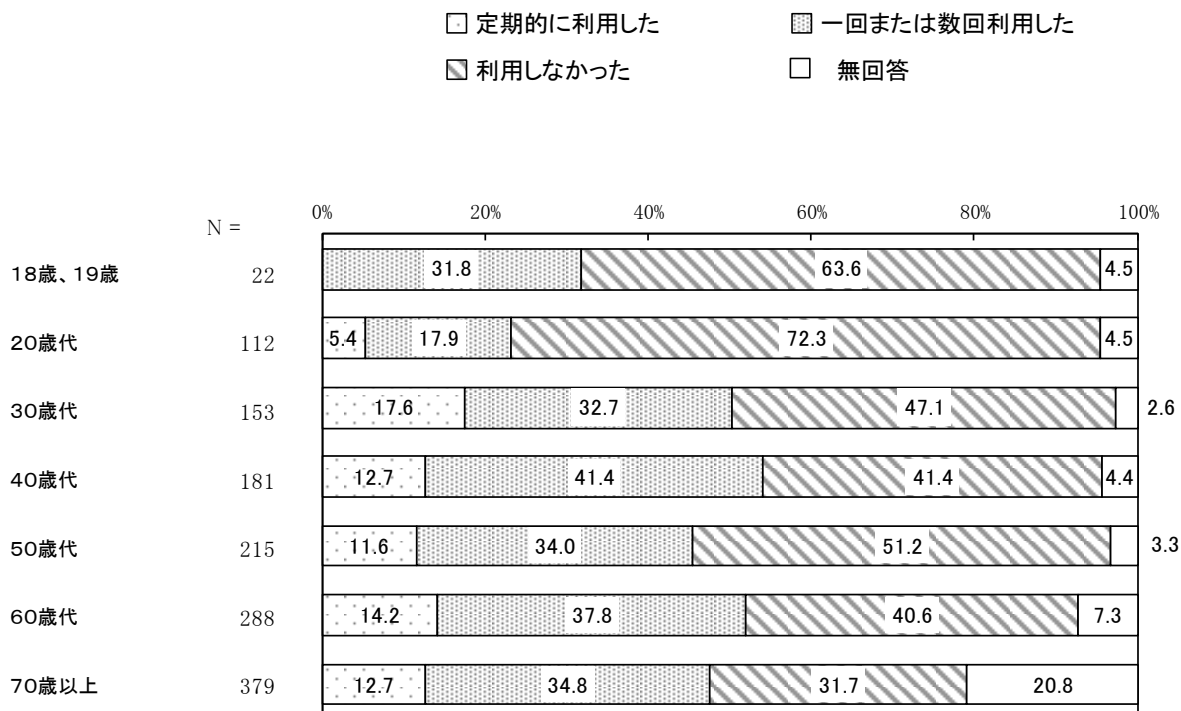
【性別】

性別で見ると、“利用した”の割合が《男性》で47.5%、《女性》で46.3%とほぼ同程度となっています。



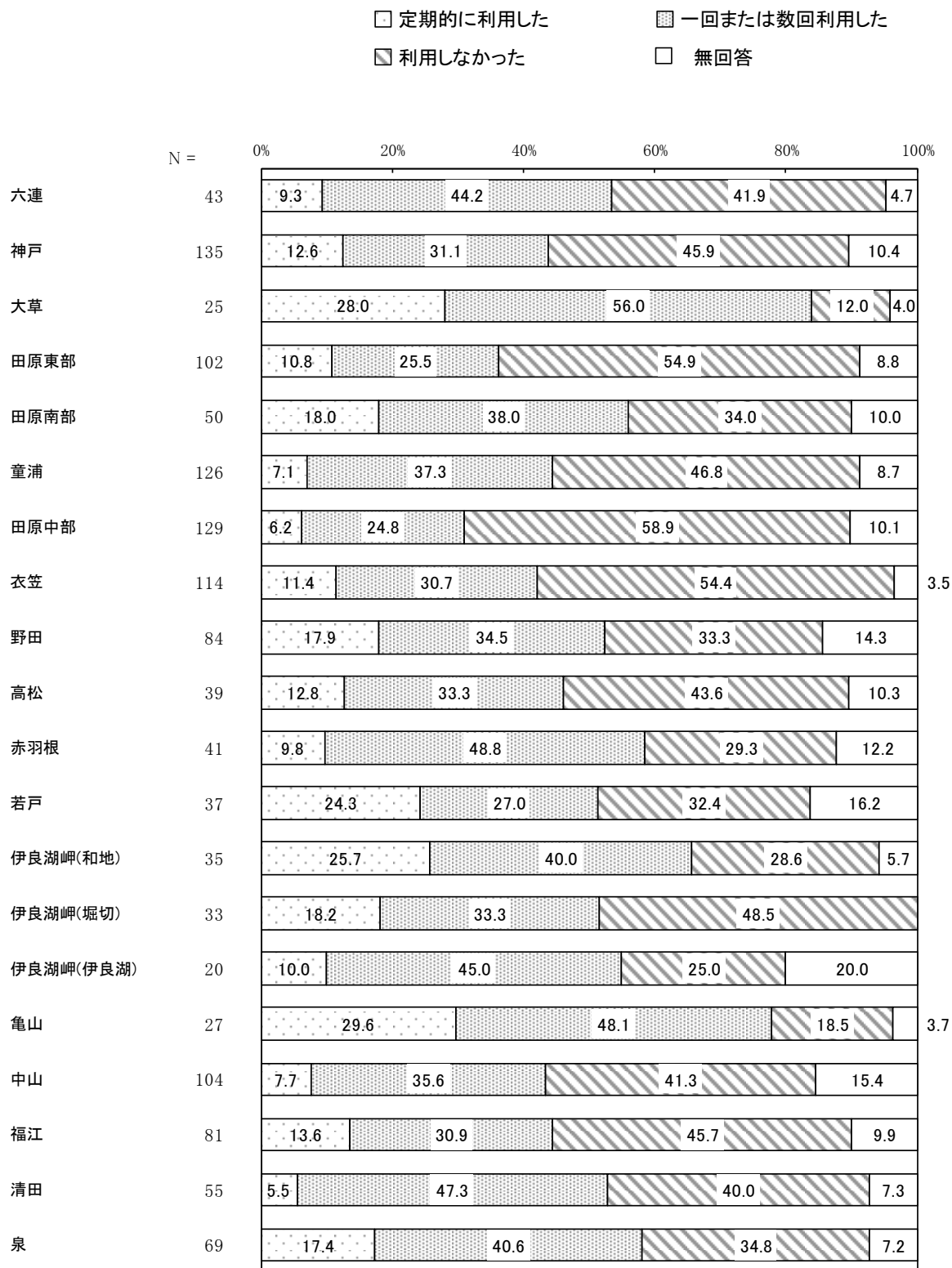
【年齢別】

年齢別で見ると、《40歳代》で“利用した”の割合が54.1%と最も高く、《30歳代》《60歳代》も5割を超えています。《20歳代》では23.3%と最も低くなっています。



【地区別】

地区別でみると、《大草》で“利用した”の割合が84.0%と最も高く、次いで《亀山》で77.7%となっています。一方、《田原中部》では31.0%と最も低くなっています。



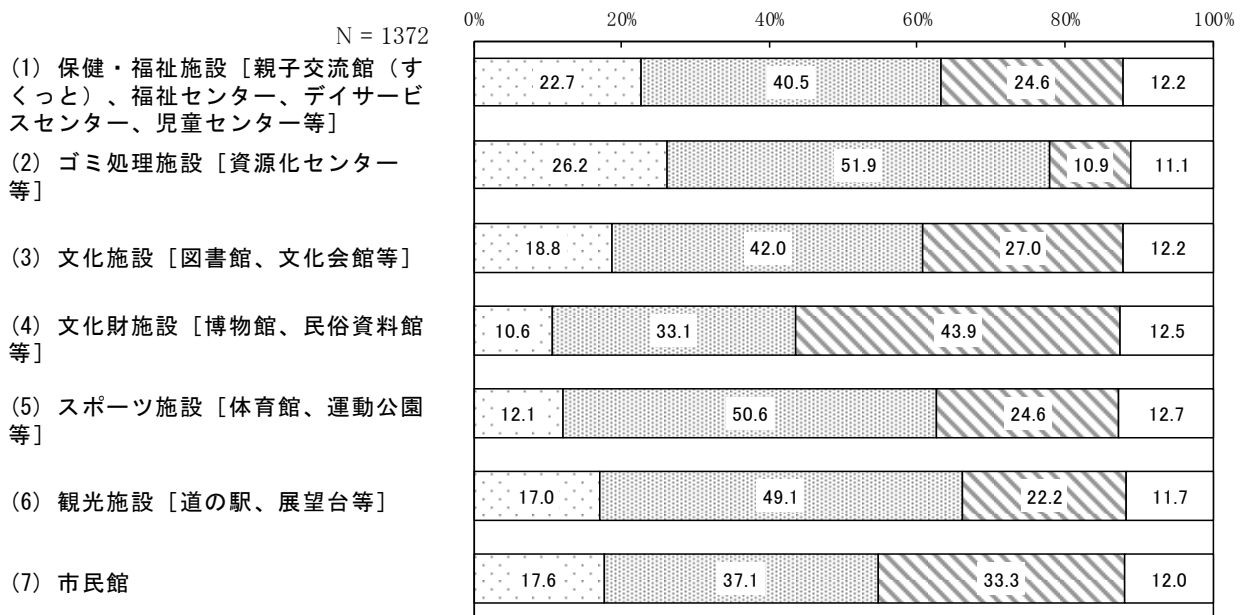
問 16 公共施設の老朽化により多額の建替費用や修繕費用が必要となっています。また、少子高齢化による税込減も予想され、全ての施設を維持することが難しくなります。あなたは、この問題に対し、今後どのように取り組むべきだと思いますか。

(1～7の施設全てについてあてはまるもの1つに○)

「文化財施設 [博物館、民俗資料館等]」を除く全ての施設で、「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」の割合が最も高く、「ゴミ処理施設 [資源化センター等]」「スポーツ施設」では過半数を占めています。

「文化財施設 [博物館、民俗資料館等]」では、「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」が最も高くなっています。

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- 施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき
- 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答

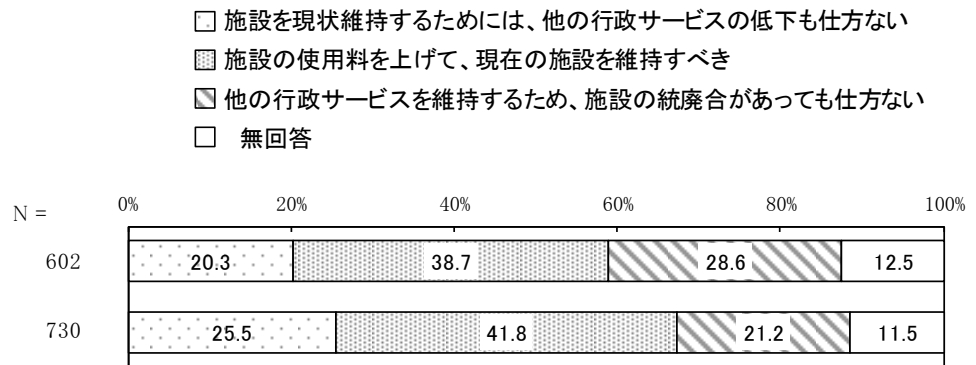




(1) 保健・福祉施設 [親子交流館 (すくっと)、福祉センター、デイサービスセンター、児童センター等]

【性別】

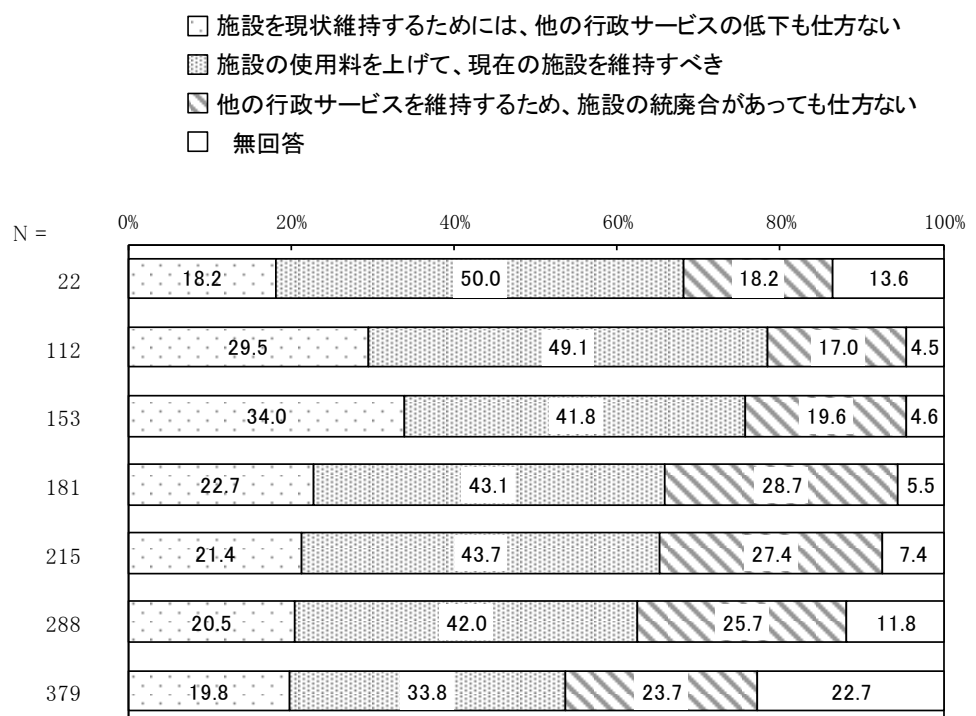
性別でみると、《男性》《女性》ともに「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が最も高く、4割前後を占めています。



【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代で「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が最も高くなっています。

これに次いで、《20歳代》《30歳代》では「施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない」が、40歳代以上では「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」が、それぞれ続いています。

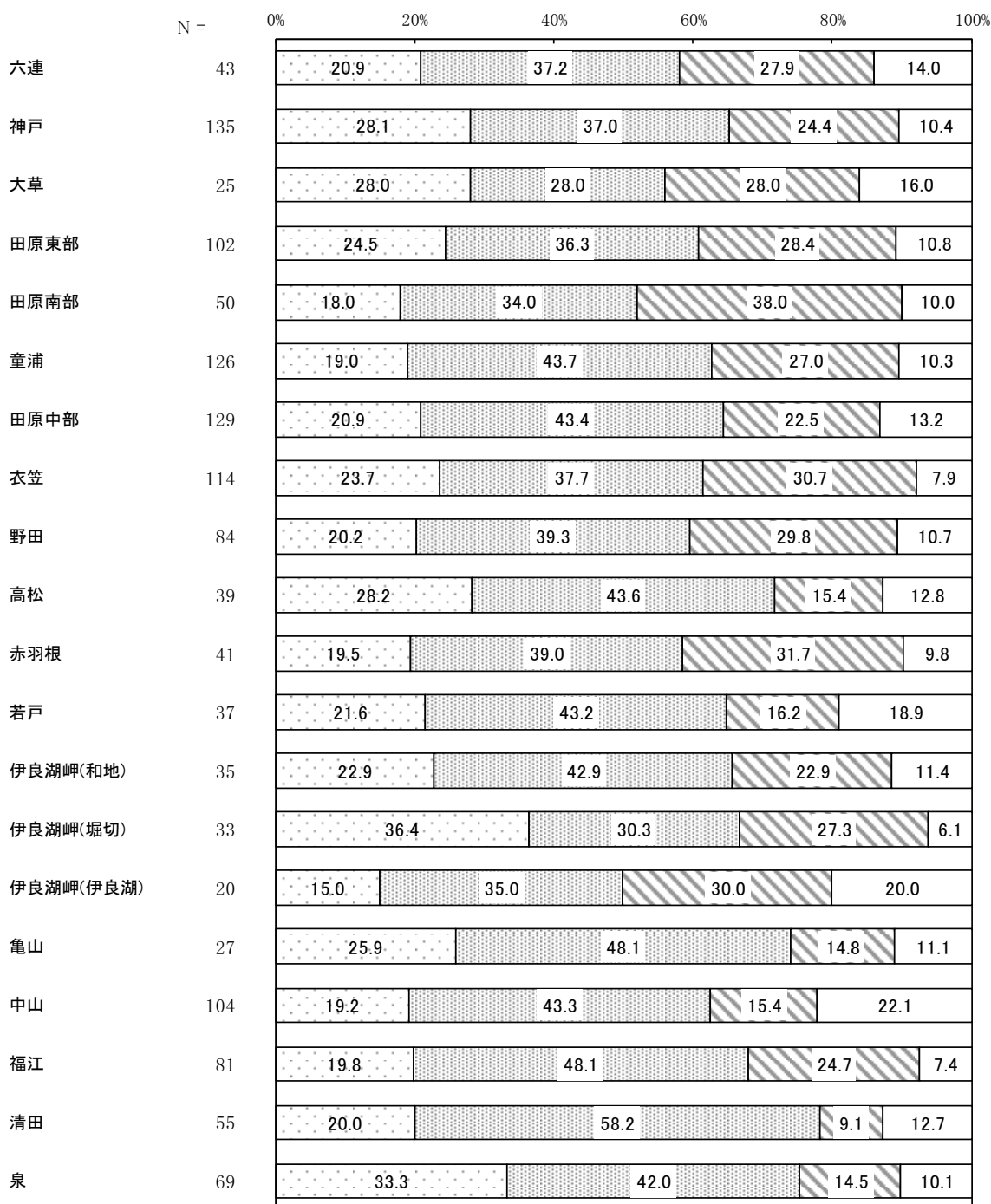


## 【地区別】

地区別でみると、《田原南部》では「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」が、《伊良湖岬（堀切）》では「施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない」が、それぞれ最も高くなっています。

それ以外の地区では、同率も含め「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が最も高くなっています。

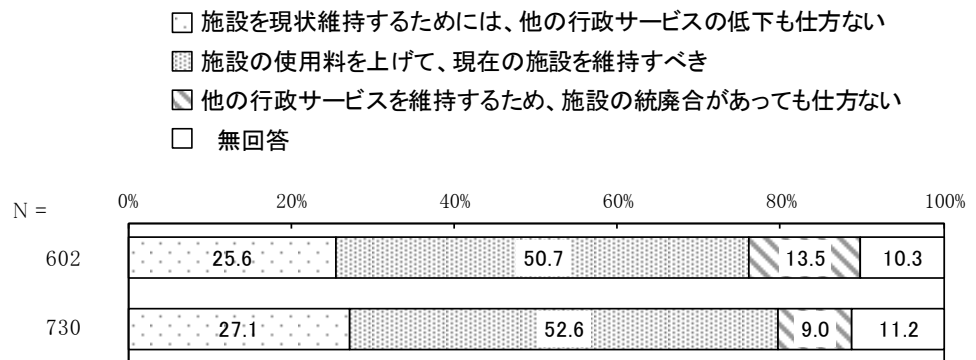
- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- 施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき
- 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答



(2) ゴミ処理施設 [資源化センター等]

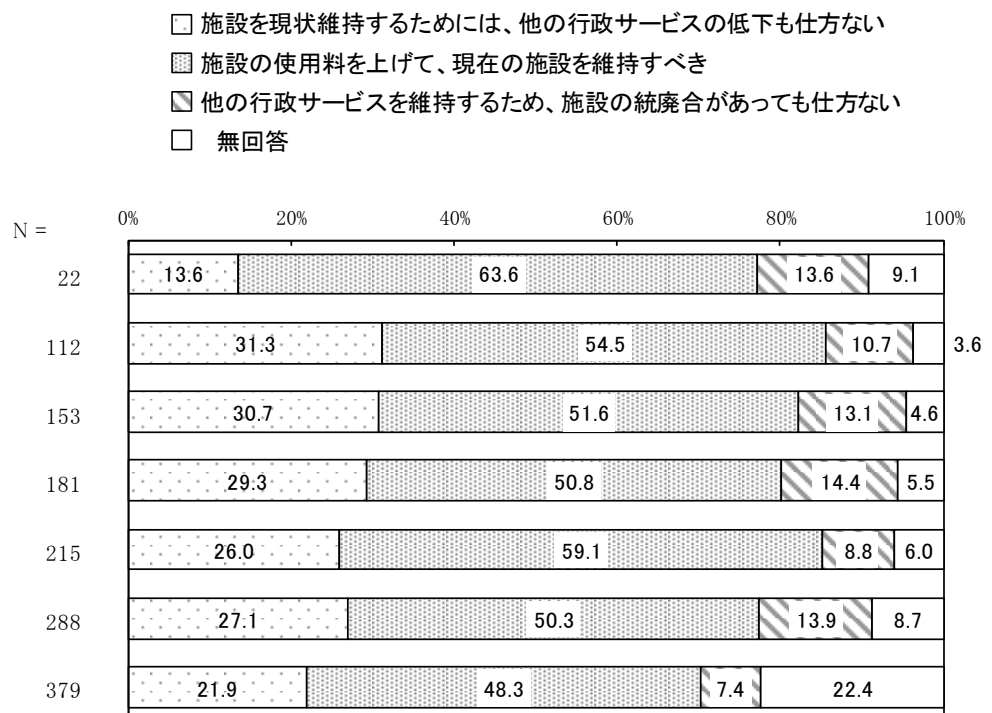
【性別】

性別で見ると、《男性》《女性》ともに「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が最も高く、5割以上を占めています。



【年齢別】

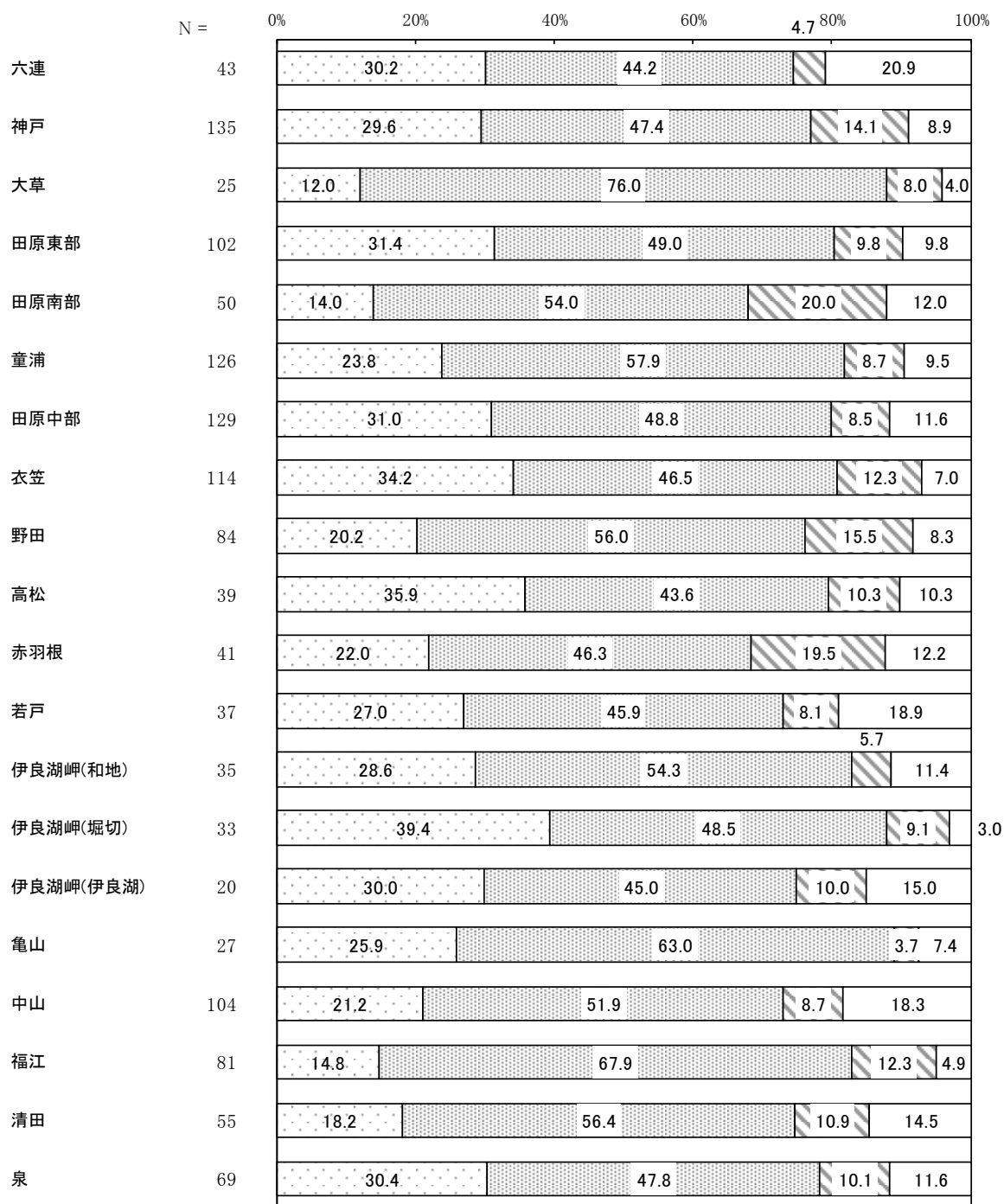
年齢別で見ると、全ての年代で「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が最も高く、5割弱から6割強を占めており、次いで、20歳代以上で「施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない」が続いています。



## 【地区別】

地区別でみると、全ての地区で「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が最も高く、《大草》では76.0%を占めています。

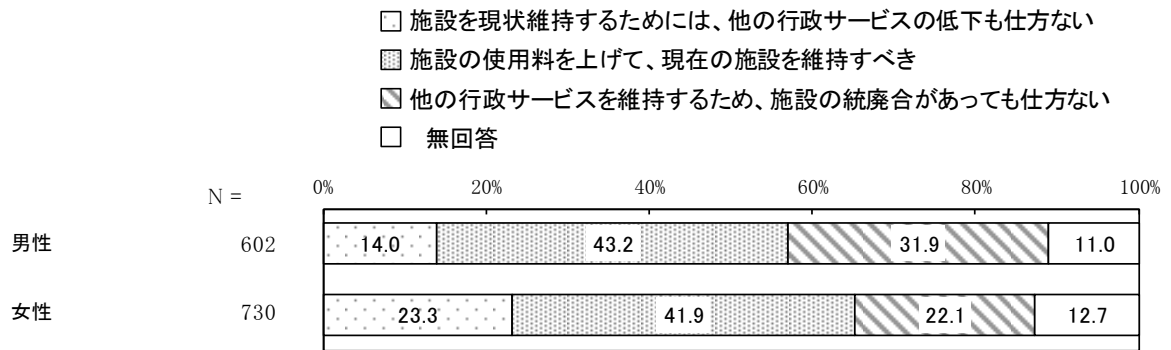
- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- 施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき
- 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答



(3) 文化施設 [図書館、文化会館等]

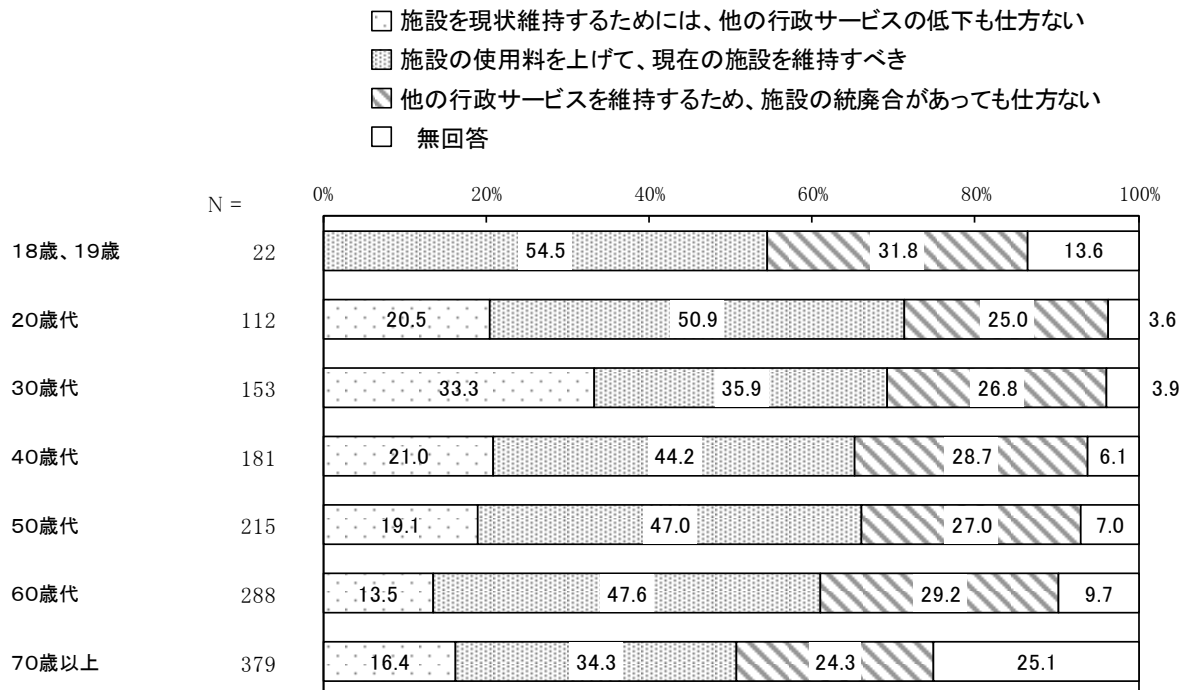
【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が4割を超えて最も高く、次いで、《男性》では「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」が、《女性》では「施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない」がそれぞれ続いています。



【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代で「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が最も高くなっています。これに次いで、《30歳代》では「施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない」が、それ以外の年代では「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」がそれぞれ続いています。

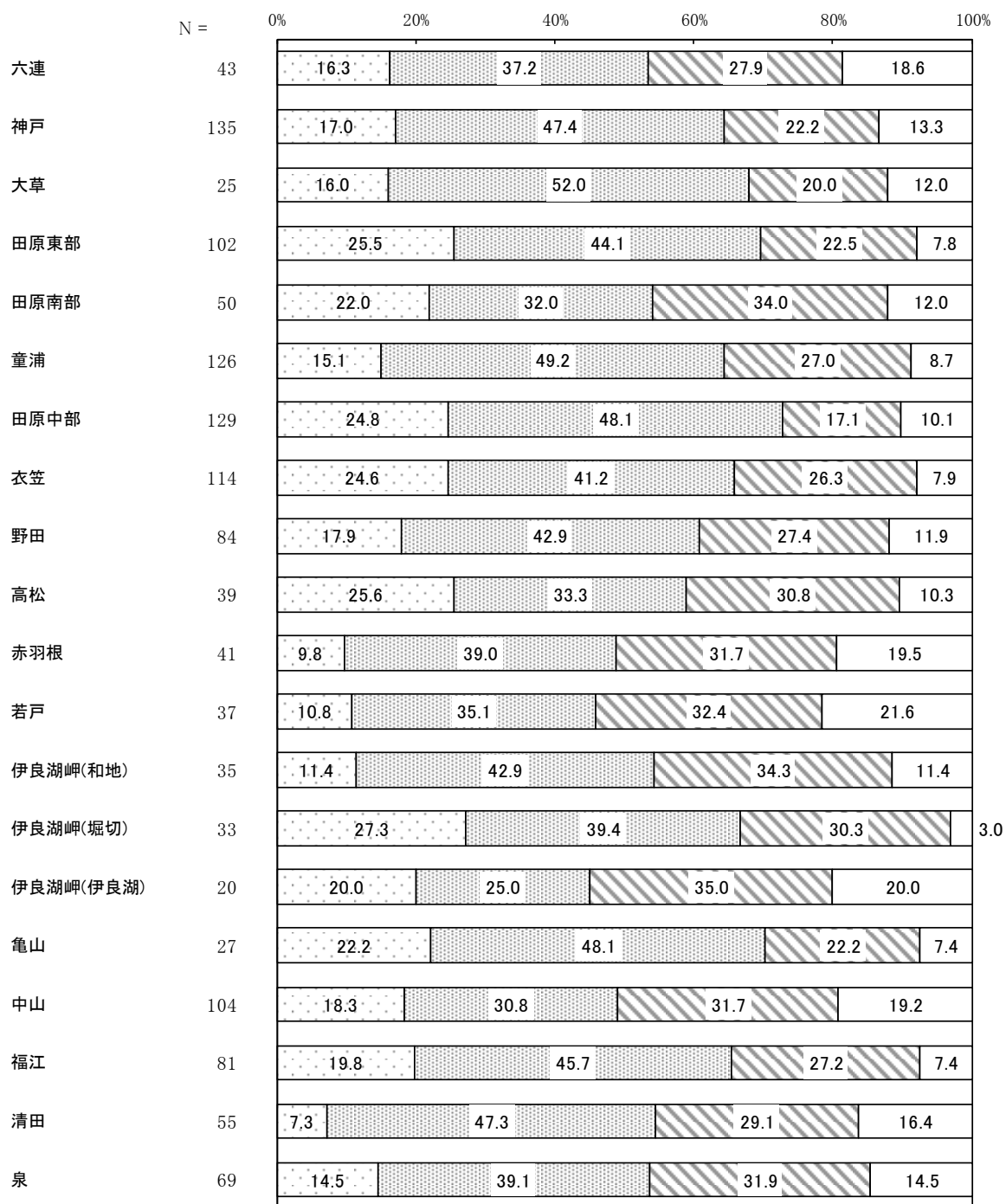


## 【地区別】

地区別でみると、《田原南部》《伊良湖岬（伊良湖）》《中山》では、「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」が最も高くなっています。

それ以外の地区では「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が最も高くなっています。

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- 施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき
- 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答

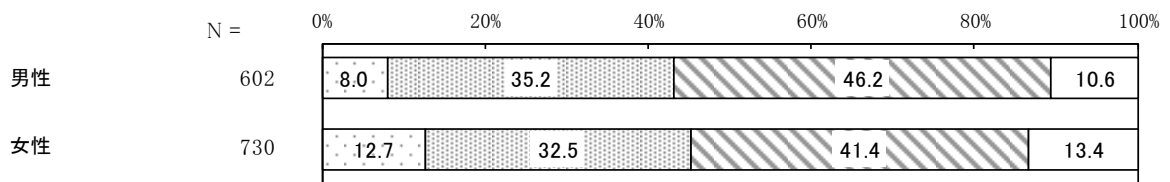


(4) 文化財施設 [博物館、民俗資料館等]

【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」が最も高く、次いで「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が続いています。

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- 施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき
- 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答

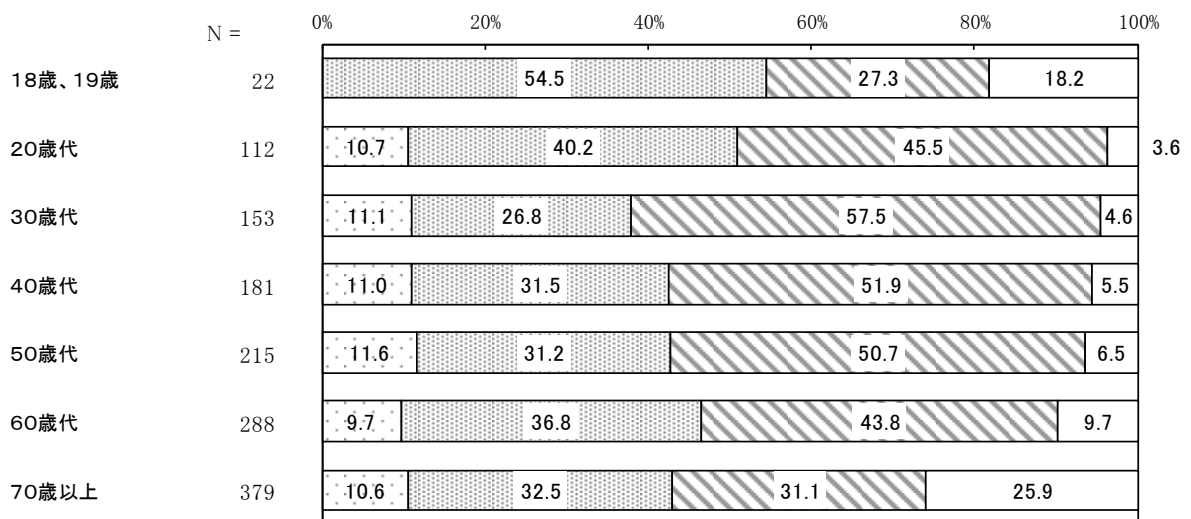


【年齢別】

年齢別でみると、《18歳、19歳》では「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が過半数を占め、《70歳以上》では「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」がほぼ同程度の割合となっています。

それ以外の年代では、「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」が最も高くなっています。

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- 施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき
- 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答

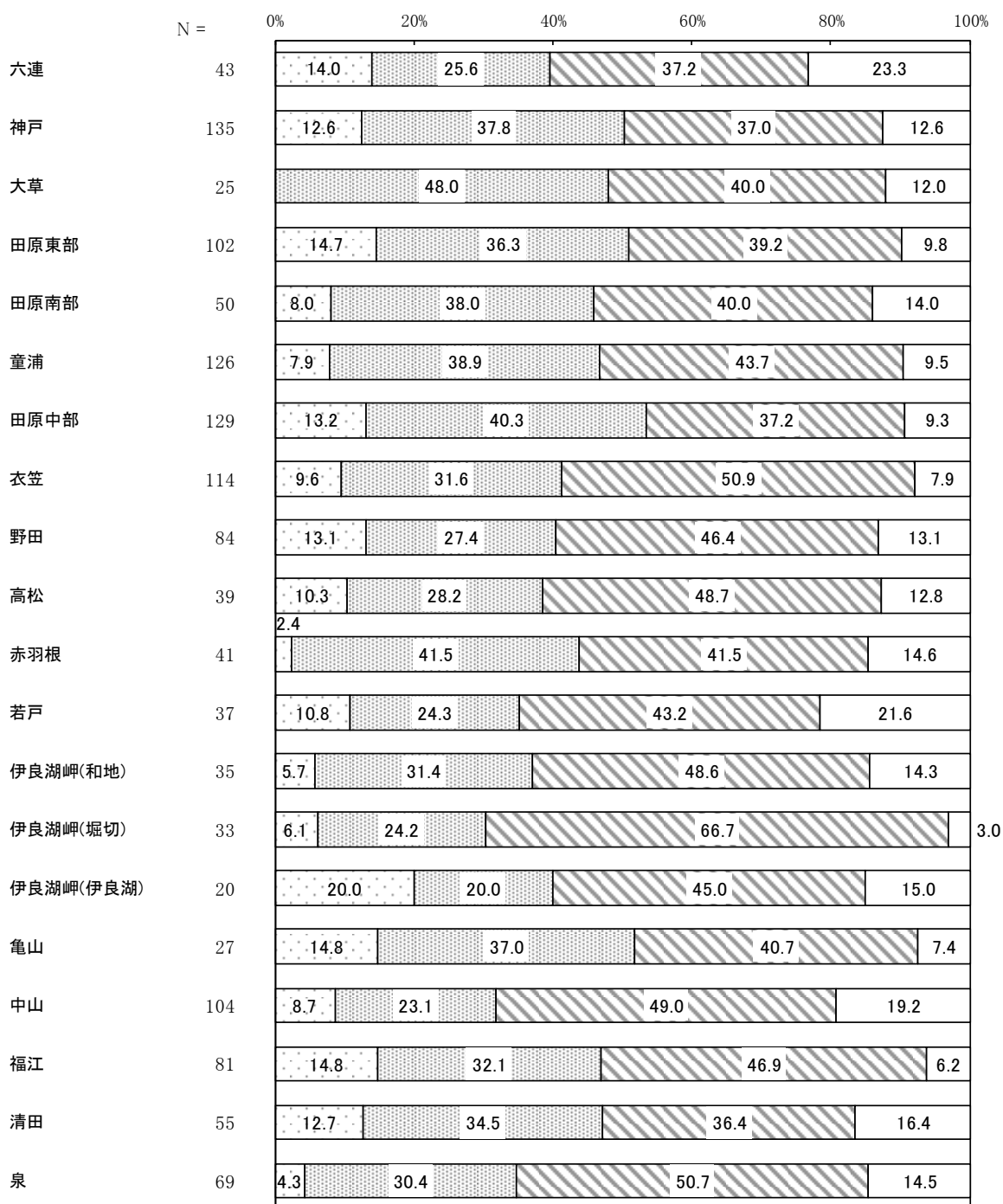


## 【地区別】

地区別でみると、《神戸》《大草》《田原中部》では「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が最も高く、《赤羽根》では「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」が同率で最も高くなっています。

それ以外の地区では「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」が最も高くなっています。

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- 施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき
- 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答

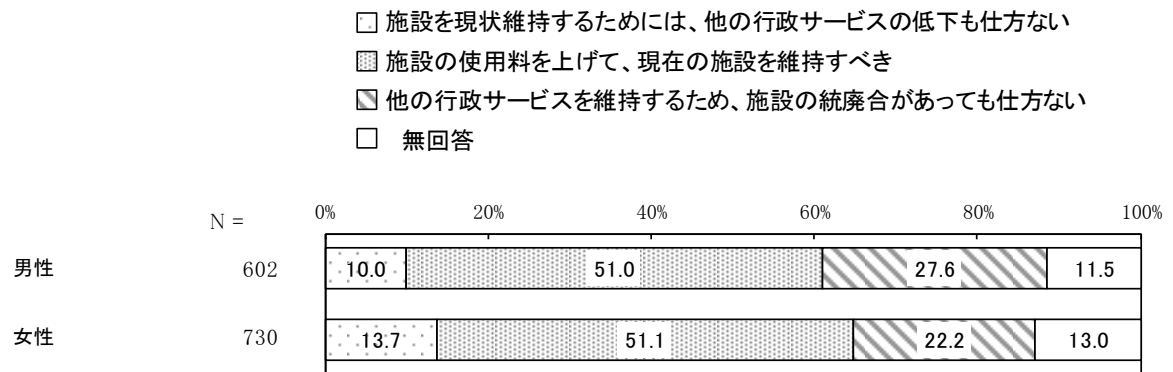




(5) スポーツ施設 [体育館、運動公園等]

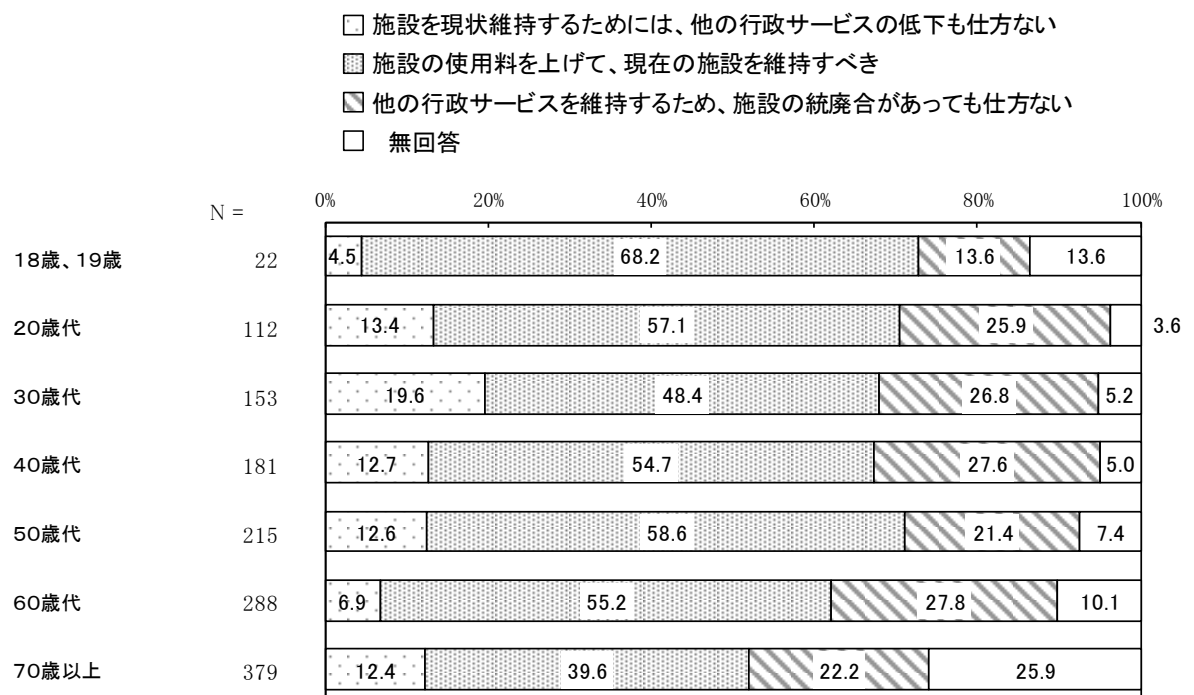
【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が最も高く、半数を超えています。



【年齢別】

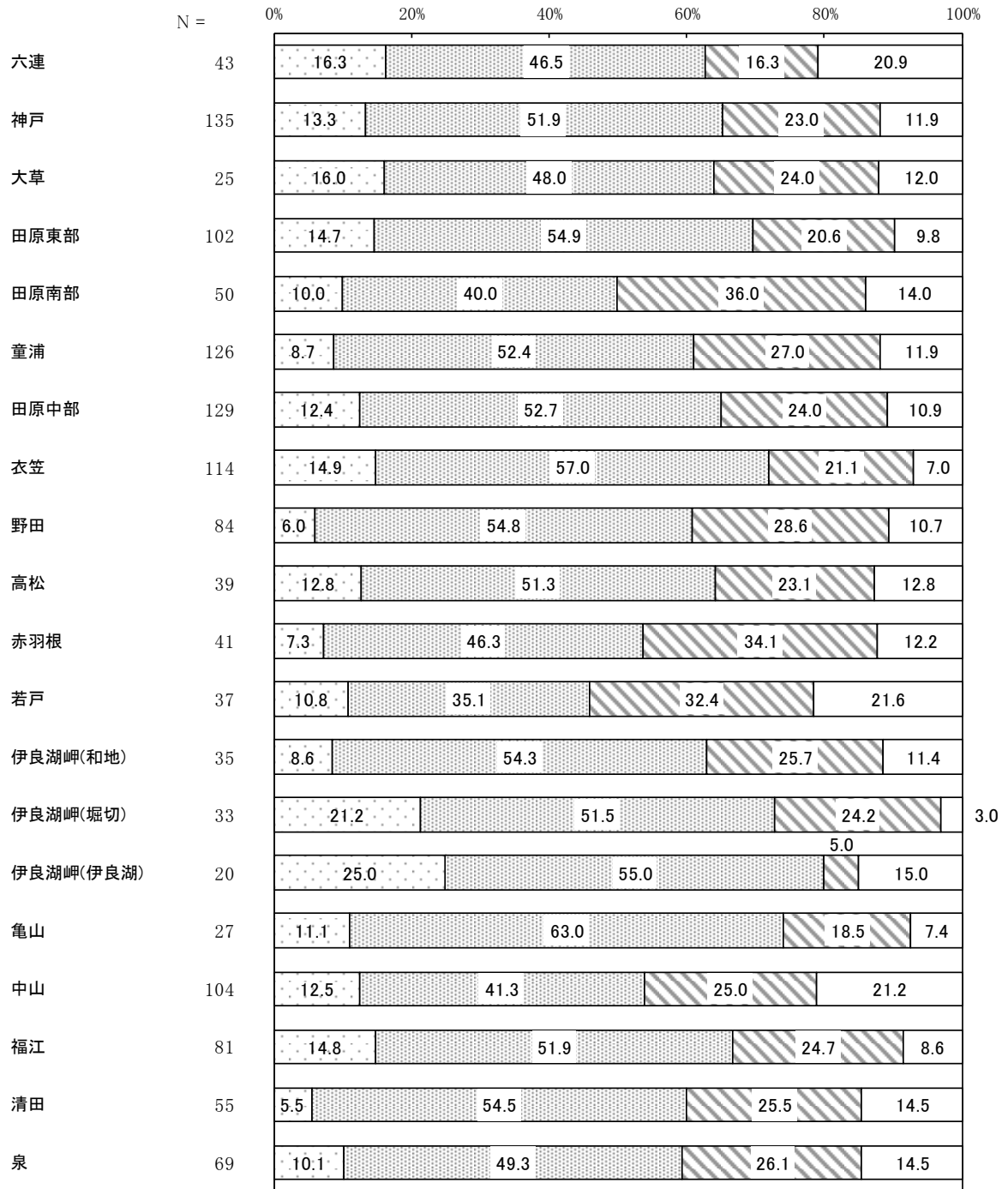
年齢別でみると、全ての年代で「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が最も高くなっています。



【地区別】

地区別でみると、全ての地区で「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が最も高くなっています。

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- 施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき
- 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答

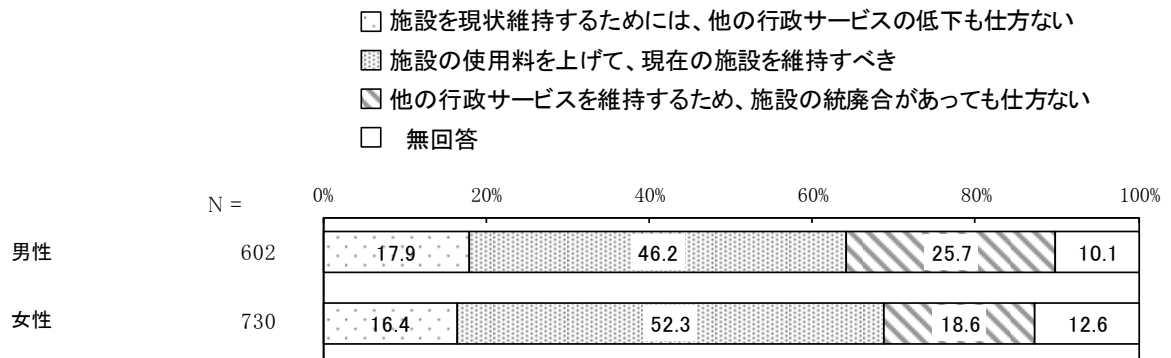


(6) 観光施設 [道の駅、展望台等]

【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が最も高く、《女性》では5割を超えています。

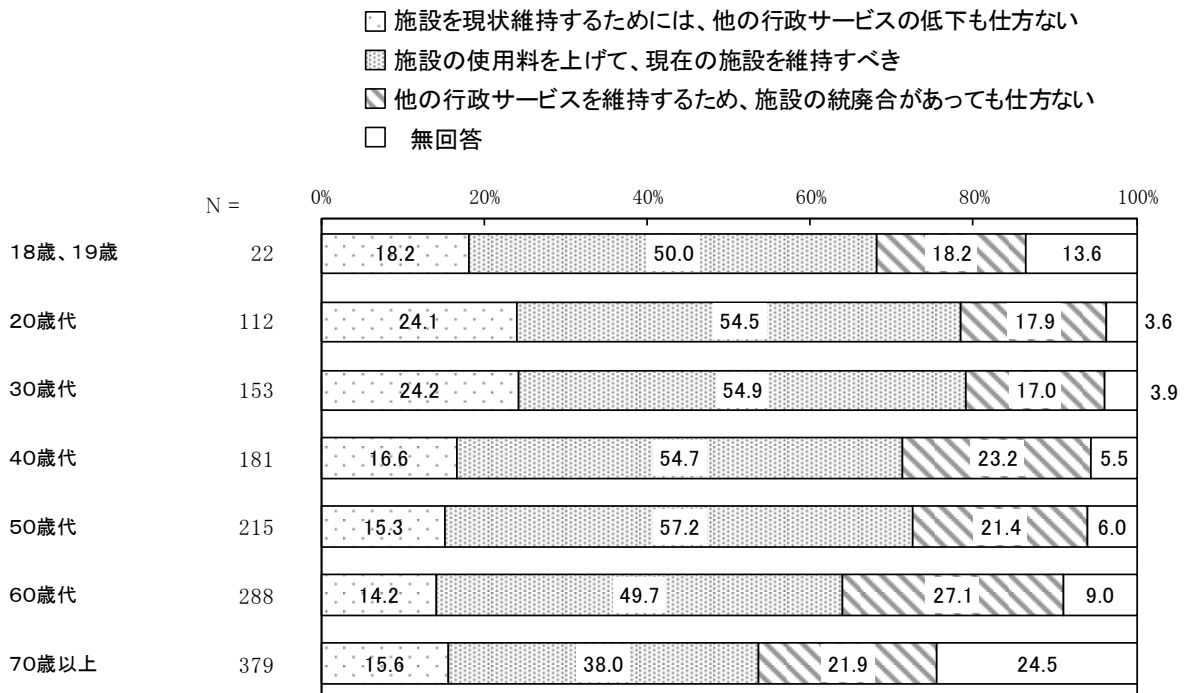
《男性》では「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」が2割を超え、《女性》を7.1ポイント上回っています。



【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代で「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が最も高く、50歳代以下で半数以上となっています。

40歳代以上では「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」が2割を超えています。

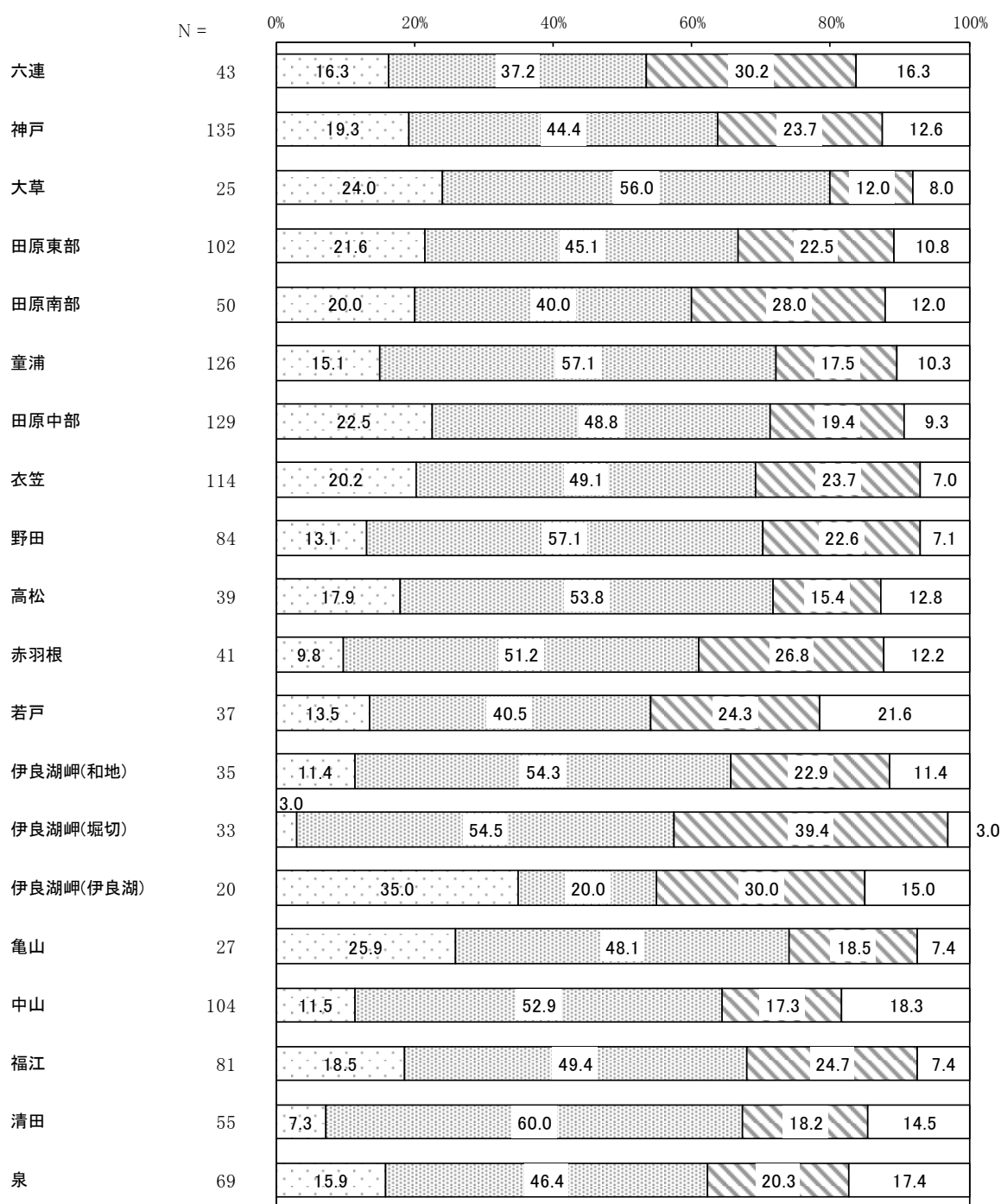


## 【地区別】

地区別でみると、《伊良湖岬（伊良湖）》を除く全ての地区で、「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が最も高く、《清田》では6割を占めています。

《伊良湖岬（伊良湖）》では「施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない」が最も高く、3割を超えています。

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- 施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき
- 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答

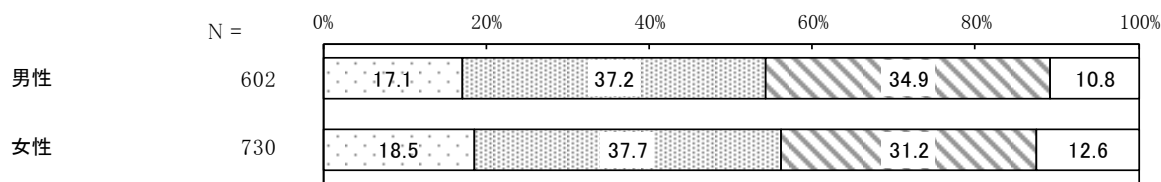


## (7) 市民館

### 【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が最も高く、4割弱を占めています。

- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- 施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき
- 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答

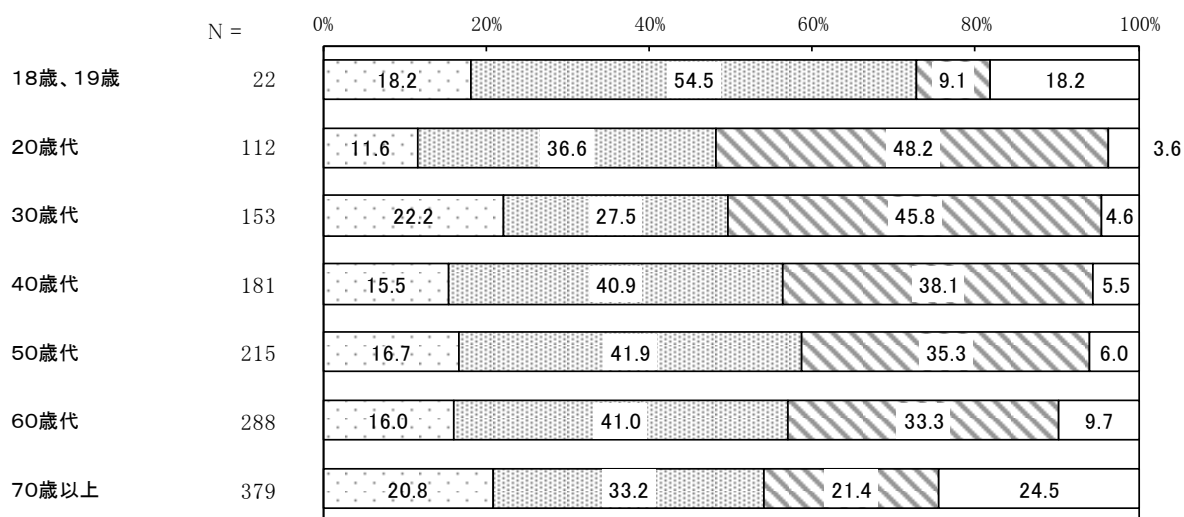


### 【年齢別】

年齢別でみると、《20歳代》《30歳代》を除く年代で、「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」が最も高くなっています。

《20歳代》《30歳代》では、「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」が最も高く、4割を超えています。

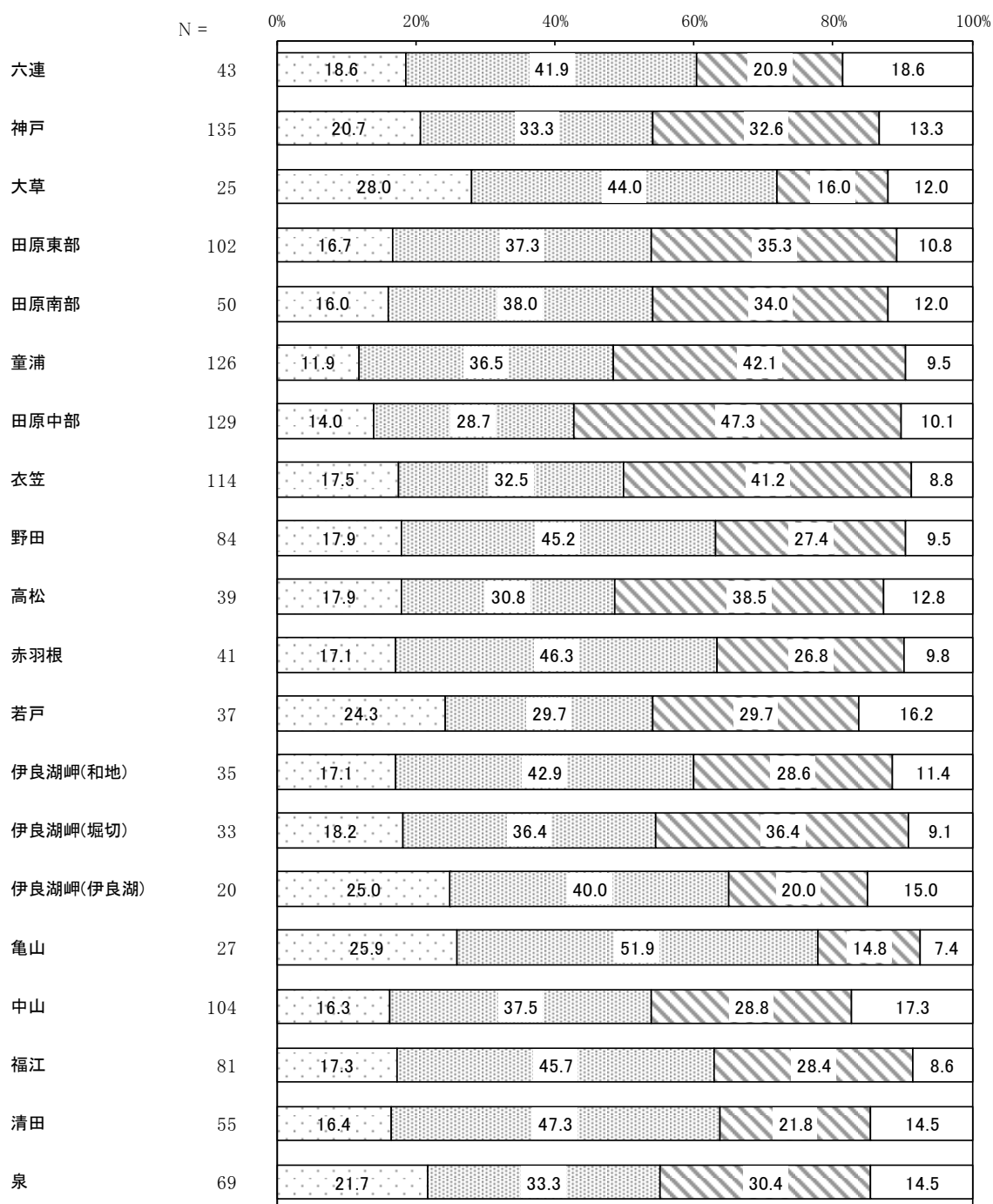
- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- 施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき
- 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答



## 【地区別】

地区別でみると、《童浦》《田原中部》《衣笠》《高松》では、「他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない」が「施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき」を上回って最も高い割合となっており、《田原中部》では5割弱を占めています。

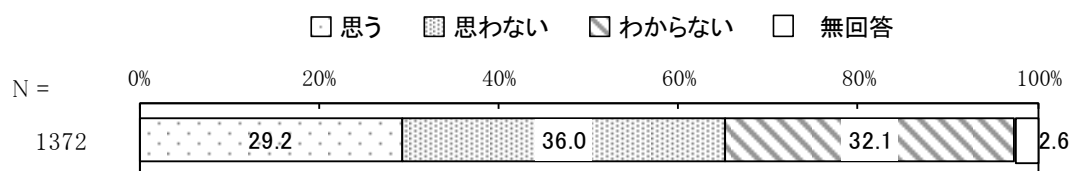
- 施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない
- 施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき
- 他の行政サービスを維持するため、施設の統廃合があっても仕方ない
- 無回答



## <サンテパークたはらについて>

問 17 サンテパークたはらは、農業をテーマにした体験型の公園として整備しましたが、農業の情報や魅力が伝わる場所となっていると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

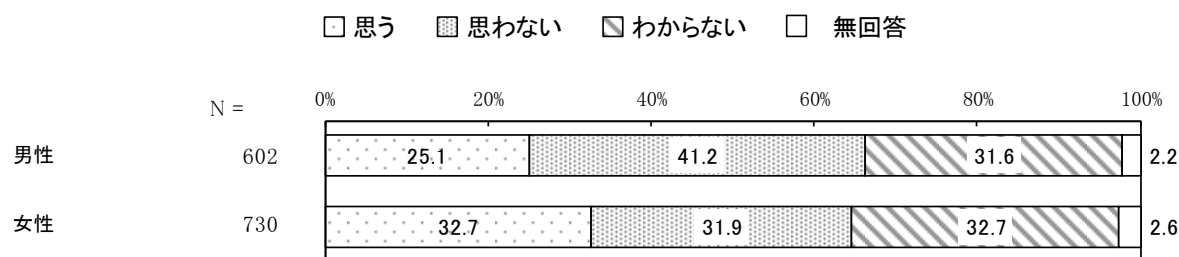
「思わない」が36.0%、「思う」が29.2%となっています。



### 【性別】

性別でみると、《男性》では「思わない」が41.2%と最も高く、《女性》を9.3ポイント上回っています。

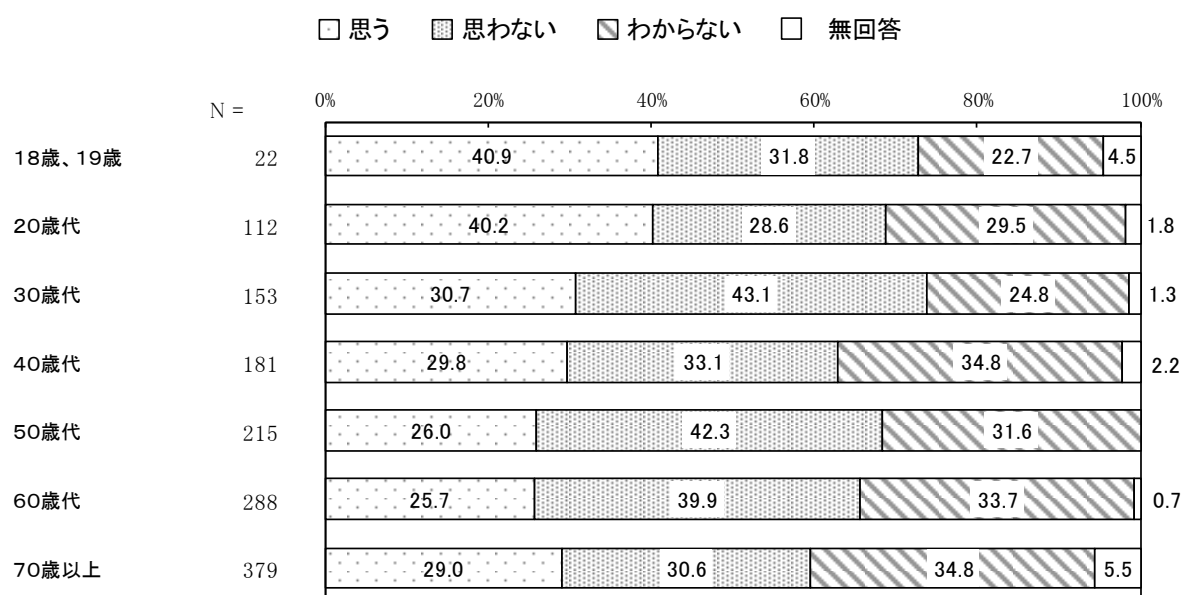
《女性》では「思う」「わからない」が同率で32.7%となっています。



### 【年齢別】

年齢別でみると、《18歳、19歳》《20歳代》で「思う」が最も高く、4割を占めています。

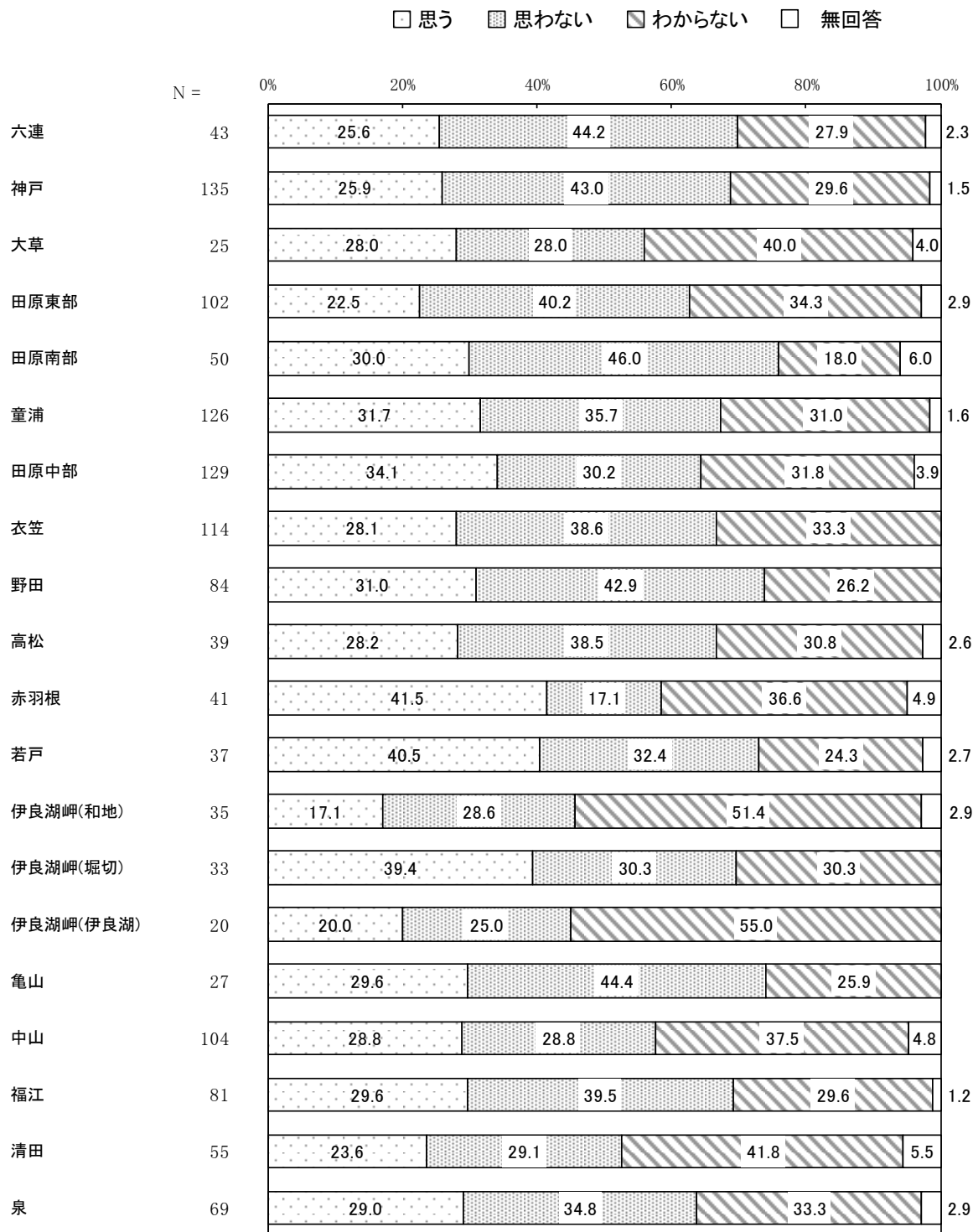
《30歳代》《50歳代》《60歳代》では「思わない」が最も高く、4割前後を占めています。



### 【地区別】

地区別でみると、《田原中部》《赤羽根》《若戸》《伊良湖岬（堀切）》では「思う」が最も高く、3割から4割を占めています。

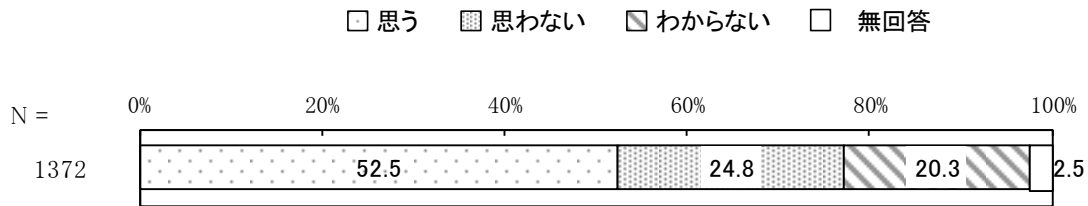
《大草》《伊良湖岬（和地）》《伊良湖岬（伊良湖）》《清田》では「わからない」が4割から5割を占め、最も高くなっています。





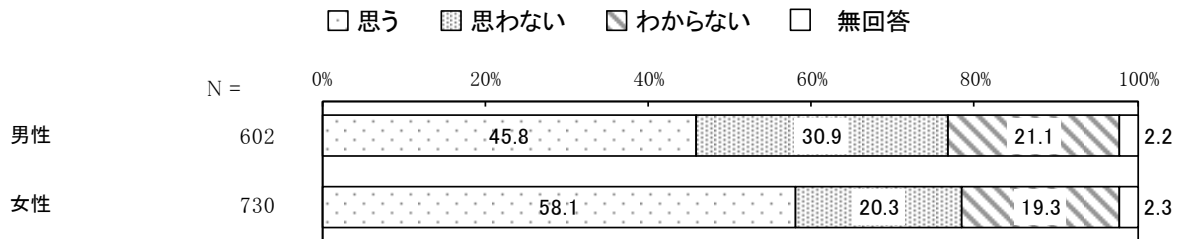
問 18 サンテパークたはらは、田原市観光の目的地になっていると思いますか。(あてはまるもの 1 つに○)

「思う」が 52.5%、「思わない」が 24.8%となっています。



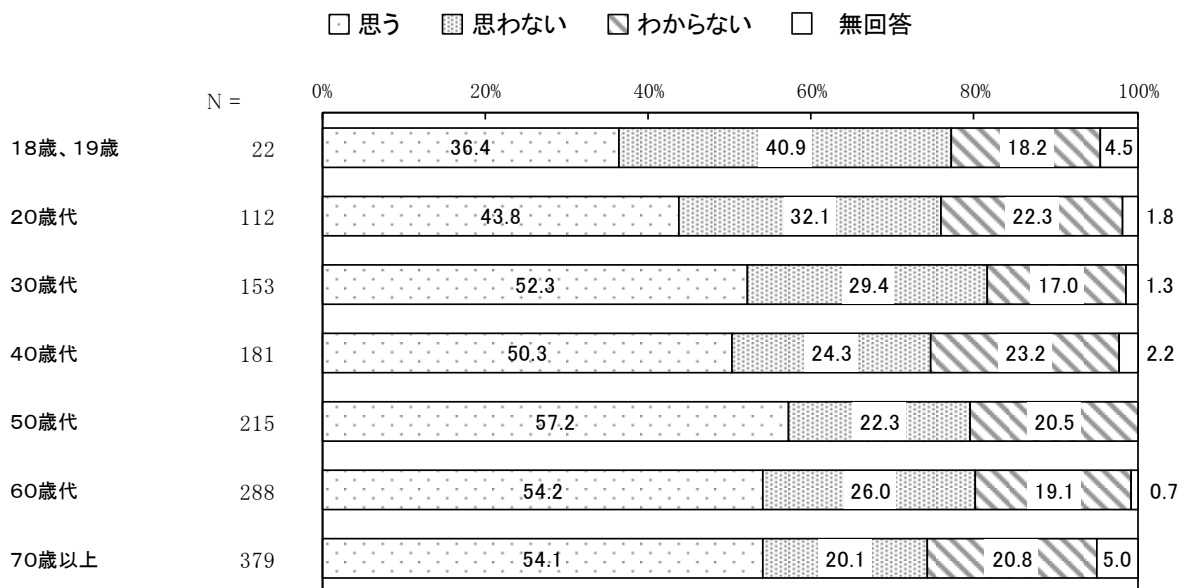
【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「思う」が最も高く、《女性》では 58.1%と《男性》を 12.3 ポイント上回っています。



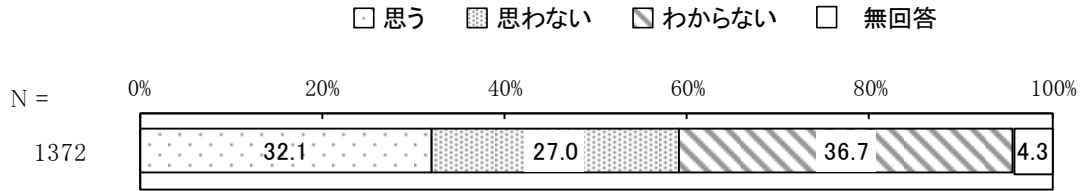
【年齢別】

年齢別でみると、《18 歳、19 歳》を除く全ての年代で「思う」が最も高く、30 歳以上で 5 割を超えています。



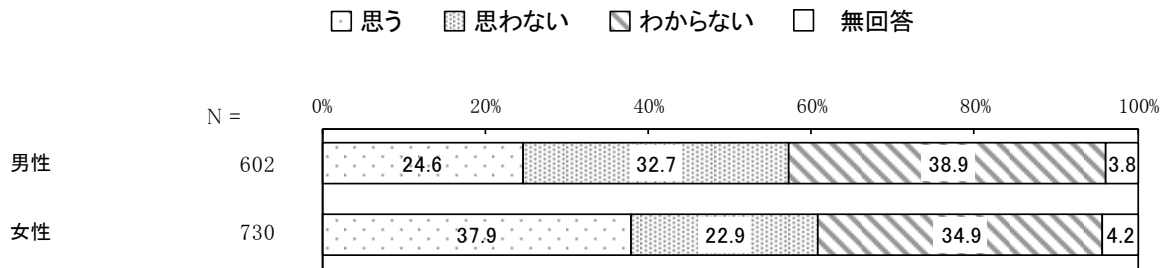
問 19 サンテパークたはらの施設内容は、魅力ある構成になっていると思いますか。(あてはまるもの 1 つに○)

「思う」が 32.1%、「思わない」が 27.0%となっています。



【性別】

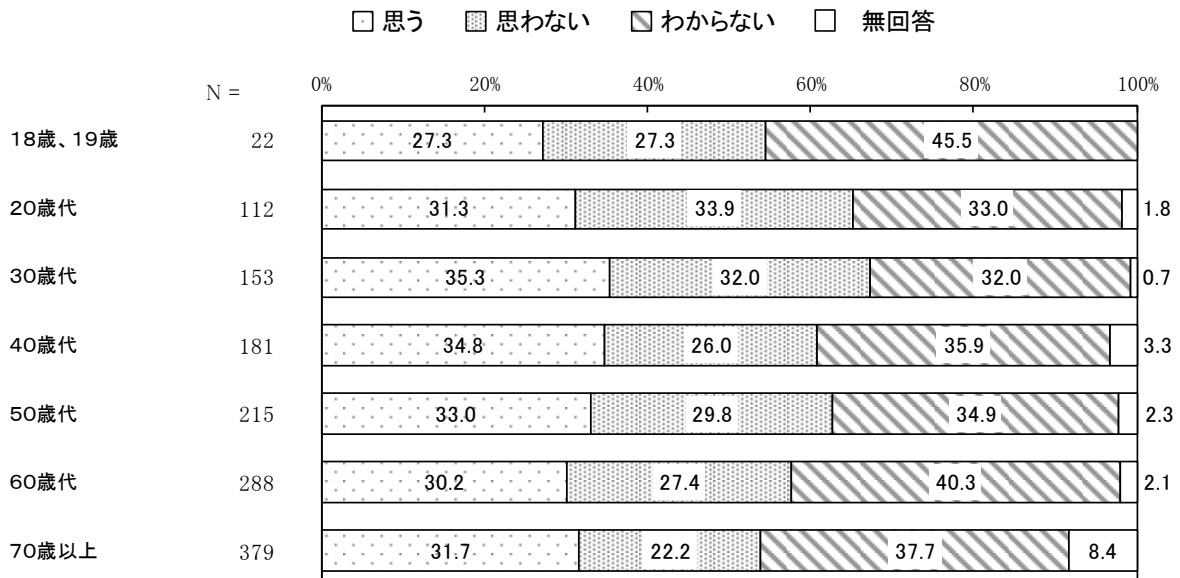
性別でみると、《男性》に比べ《女性》で「思う」の割合が 13.3 ポイント高くなっています。



【年齢別】

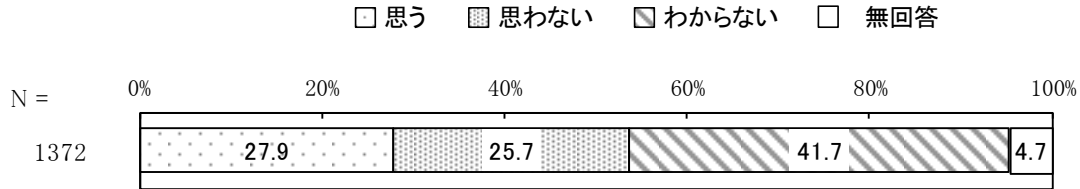
年齢別でみると、《30 歳代》では「思う」が 35.3%で最も高く、《20 歳代》では「思わない」が 33.9%で最も高くなっています。

それ以外の年代は「わからない」が最も高くなっています。



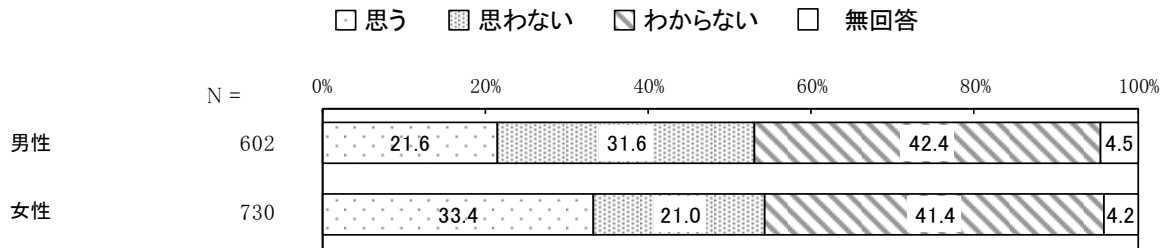
問 20 サンテパルクたはらの施設配置等の利便性は満足いくものになっていますか。(あてはまるもの1つに○)

「思う」が27.9%、「思わない」が25.7%となっています。



【性別】

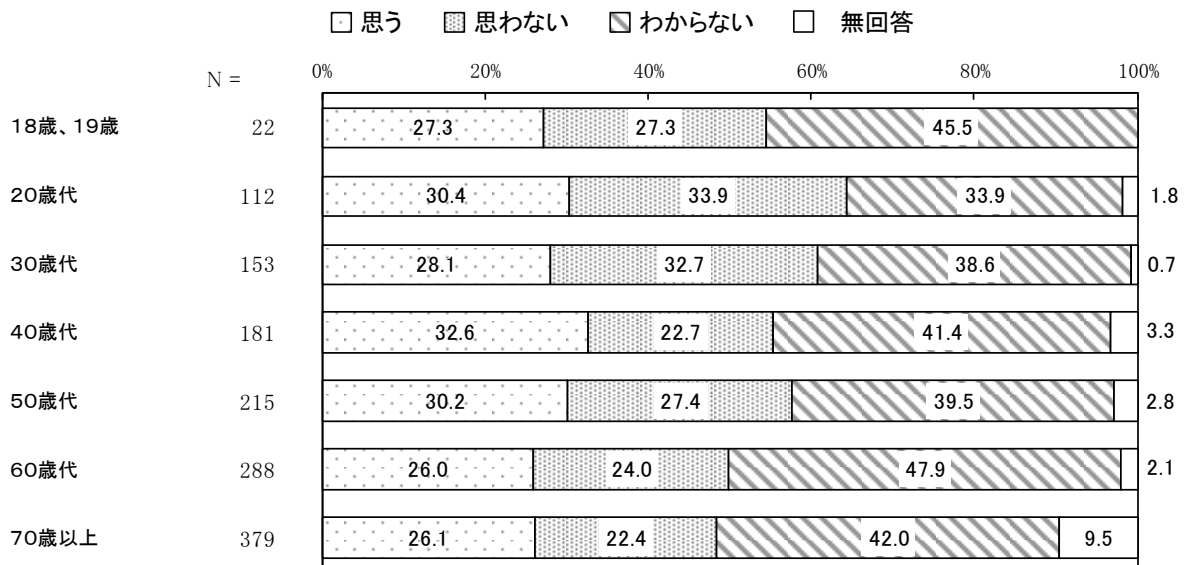
性別でみると、《男性》《女性》ともに「わからない」が最も高く、4割強となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、《20歳代》を除く全ての年代で「わからない」が最も高く、《60歳代》で5割弱となっています。

《20歳代》では「思わない」「わからない」が同率で最も高くなっています。

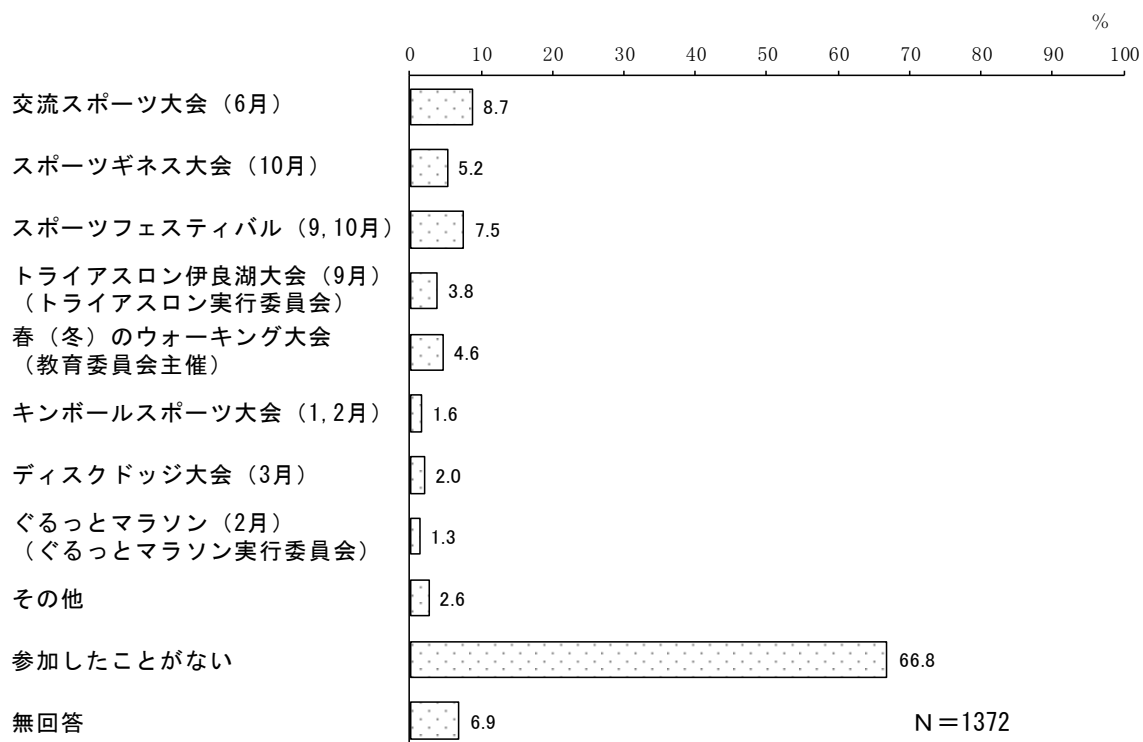


## <スポーツに関する取り組みについて>

問 22-1 田原市では年間を通じて様々なスポーツ事業を行っています。過去にあなたが参加したことがあるイベントはなんですか(〇はいくつでも可)

「参加したことがない」が 66.8%と最も高くなっています。

参加したことがあるイベントは、「交流スポーツ大会(6月)」が 8.7%で最も高くなっています。



## 【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「参加したことがない」が6割を超え最も高くなっています。

参加したことがあるイベントは、《男性》で「交流スポーツ大会（6月）」、《女性》で「スポーツフェスティバル（9、10月）」が、それぞれ最も高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	交流スポーツ大会（6月）	スポーツギネス大会（10月）	スポーツフェスティバル（9、10月）	トライアスロン伊良湖大会（9月）	春（冬）のウォーキング大会	キンボールスポーツ大会（1、2月）	デイスクドッジ大会（3月）	ぐるっとマラソン（2月）	その他	参加したことがない	無回答
男性	602	10.5	5.1	7.0	4.3	3.8	1.5	2.3	1.3	2.7	66.9	5.8
女性	730	7.4	5.6	8.1	3.4	5.3	1.6	1.8	1.4	2.5	66.8	6.8

## 【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代で「参加したことがない」が最も高く、《18歳、19歳》を除き過半数を占めています。

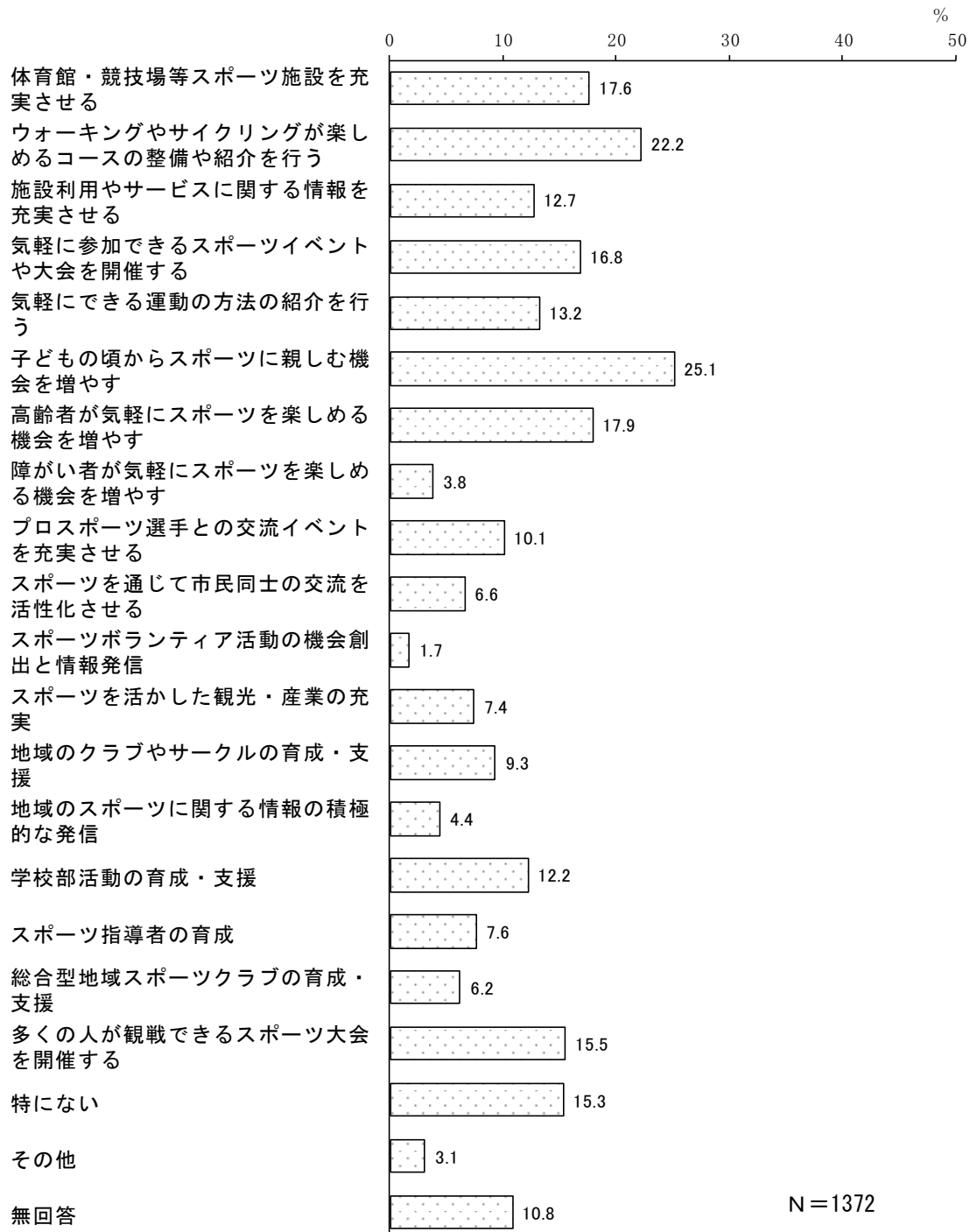
参加したことがあるイベントは、《18歳、19歳》で「スポーツギネス大会（10月）」「スポーツフェスティバル（9、10月）」が2割弱と、比較的高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	交流スポーツ大会（6月）	スポーツギネス大会（10月）	スポーツフェスティバル（9、10月）	トライアスロン伊良湖大会（9月）	春（冬）のウォーキング大会	キンボールスポーツ大会（1、2月）	デイスクドッジ大会（3月）	ぐるっとマラソン（2月）	その他	参加したことがない	無回答
18歳、19歳	22	4.5	18.2	18.2	0.0	4.5	0.0	13.6	0.0	0.0	45.5	9.1
20歳代	112	4.5	5.4	8.0	7.1	3.6	1.8	2.7	3.6	3.6	71.4	2.7
30歳代	153	7.8	5.9	5.9	5.9	1.3	1.3	2.6	2.6	2.0	70.6	1.3
40歳代	181	14.4	13.3	13.3	5.0	5.5	3.3	6.1	3.3	1.1	52.5	5.0
50歳代	215	16.7	8.4	10.2	5.1	3.3	2.8	1.4	1.4	3.3	62.8	1.9
60歳代	288	8.0	2.1	6.3	2.8	5.6	0.7	0.7	0.0	2.1	74.0	4.9
70歳以上	379	4.0	1.3	3.7	1.8	5.8	0.8	0.5	0.0	3.4	70.4	13.5

問 23 田原市を今よりもっとスポーツが盛んな街にするためには、どのようなことが必要だと思われますか。  
(あてはまるもの3つに○)

「子どもの頃からスポーツに親しむ機会を増やす」が25.1%と最も高く、次いで「ウォーキングやサイクリングが楽しめるコースの整備や紹介を行う」が22.2%、「高齢者が気軽にスポーツを楽しめる機会を増やす」が17.9%となっています。



【性別】

性別でみると、「男性」「女性」とともに「子どもの頃からスポーツに親しむ機会を増やす」が最も高く、次いで「ウォーキングやサイクリングが楽しめるコースの整備や紹介を行う」となっています。

「男性」では「体育館・競技場等スポーツ施設を充実させる」、「女性」では「高齢者が気軽にスポーツを楽しめる機会を増やす」がそれぞれ約2割で、比較的高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	体育館・競技場等スポーツ施設を充実させる	ウォーキングやサイクリングが楽しめるコースの整備や紹介を行う	施設利用やサービスに関する情報を充実させる	気軽に参加できるスポーツイベントや大会を開催する	気軽にできる運動の方法の紹介を行う	子どもの頃からスポーツに親しむ機会を増やす	高齢者が気軽にスポーツを楽しめる機会を増やす	障がい者が気軽にスポーツを楽しめる機会を増やす	プロスポーツ選手との交流イベントを充実させる	スポーツを通じて市民同士の交流を活性化させる
男性	602	20.3	22.6	9.8	15.9	9.6	23.8	15.1	2.7	12.5	7.6
女性	730	15.6	22.5	14.8	17.7	16.4	26.4	20.4	4.9	8.4	5.9

区分	スポーツボランティア活動の機会創出と情報発信	スポーツを活かした観光・産業の充実	地域のクラブやサークルの育成・支援	地域のスポーツに関する情報の積極的な発信	学校部活動の育成・支援	スポーツ指導者の育成	総合型地域スポーツクラブの育成・支援	多くの人が観戦できるスポーツ大会を開催する	特になし	その他	無回答
男性	1.8	9.3	9.8	4.5	13.1	7.6	6.3	18.1	16.1	3.8	9.0
女性	1.8	5.9	8.9	4.5	11.8	7.4	6.2	13.6	14.4	2.6	11.5

【年齢別】

年齢別でみると、《18歳、19歳》では「学校部活動の育成・支援」、《20歳代》《40歳代》では「体育館・競技場等スポーツ施設を充実させる」、《50歳代》では「ウォーキングやサイクリングが楽しめるコースの整備や紹介を行う」、《70歳以上》では「高齢者が気軽にスポーツを楽しめる機会を増やす」がそれぞれ最も高い割合となっています。

単位：%

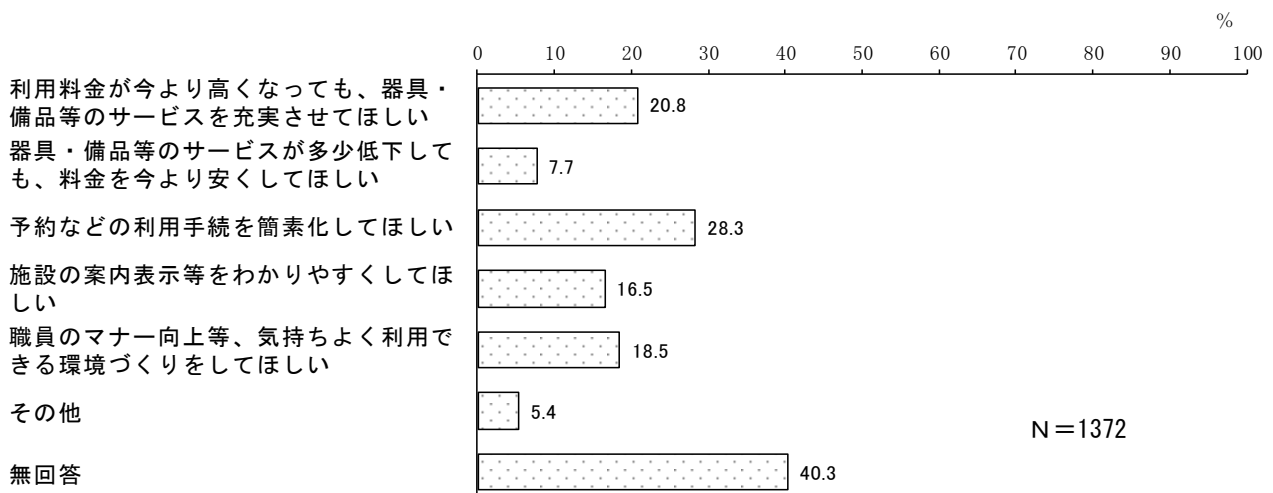
区分	有効回答数（件）	施設を充実させる	体育館・競技場等スポーツ	ウォーキングやサイクリングが楽しめるコースの整備	紹介を行う	利用できる運動の方法の紹介を行う	気軽に参加できるスポーツイベントや大会を開催する	親しむ機会を増やす	子どもの頃からスポーツに	楽しむ機会を増やす	高齢者が気軽にスポーツを楽しむ機会を増やす	障がい者が気軽にスポーツを楽しむ機会を増やす	プロスポーツ選手との交流	スポーツを通じて市民同士の交流を活性化させる
18歳、19歳	22	27.3	4.5	9.1	13.6	13.6	18.2	0.0	0.0	22.7	0.0			
20歳代	112	29.5	25.9	15.2	18.8	8.0	25.9	6.3	3.6	18.8	8.0			
30歳代	153	25.5	23.5	18.3	24.2	9.2	45.1	5.2	3.9	11.8	5.2			
40歳代	181	29.8	22.1	14.4	16.0	6.6	24.3	6.1	2.8	18.2	6.1			
50歳代	215	18.6	28.8	14.0	15.8	13.0	20.9	18.6	3.7	14.4	6.0			
60歳代	288	11.5	23.6	12.5	15.6	19.4	27.1	19.8	2.8	6.6	5.9			
70歳以上	379	9.0	17.7	8.2	14.5	15.3	18.5	31.9	5.0	2.9	8.7			

区分	スポーツ創出と情報発信	産業の充実	地域のクラブやサークルの育成・支援	地域の積極的な発信	学校部活動の育成・支援	スポーツ指導者の育成	総合型地域スポーツクラブの育成・支援	多くの人が観戦できるスポーツ大会を開催する	特にな	その他	無回答
18歳、19歳	4.5	4.5	9.1	4.5	31.8	13.6	9.1	9.1	18.2	0.0	13.6
20歳代	1.8	10.7	8.9	2.7	18.8	8.9	8.0	17.9	9.8	2.7	8.0
30歳代	2.0	7.8	12.4	3.9	16.3	4.6	6.5	17.0	10.5	3.9	5.2
40歳代	2.2	8.3	12.2	3.3	18.2	13.8	10.5	16.6	9.4	6.1	6.6
50歳代	0.5	10.7	9.3	7.4	11.2	7.0	7.0	17.2	14.9	2.3	6.0
60歳代	2.4	8.3	10.8	6.9	9.7	6.3	6.6	14.6	20.1	3.5	7.6
70歳以上	1.6	4.0	5.8	2.4	7.4	6.3	2.6	13.7	18.2	2.1	19.3



問 24 市内の公共の文化・スポーツ施設を利用する方(利用予定の方も含む)にお伺いします。  
 公共の文化・スポーツ施設に求めることはなんですか。(〇は2つまで)

「予約などの利用手続を簡素化してほしい」が 28.3%と最も高く、次いで「利用料金が今より高くなっても、器具・備品等のサービスを充実させてほしい」が 20.8%、「職員のマナー向上等、気持ちよく利用できる環境づくりをしてほしい」が 18.5%となっています。



### 【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「予約などの利用手続を簡素化してほしい」が最も高くなっています。《男性》では、「利用料金が今より高くなっても、器具・備品等のサービスを充実させてほしい」が2割を超え、《女性》を9.8ポイント上回っています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	サービスが充実してほしい	料金が高くなってもサービスが充実してほしい	予約などの利用手続を簡素化してほしい	施設案内表示等をわかりやすくしてほしい	職員のマナー向上等、環境、気づきをしてほしい	その他	無回答
男性	602	26.4	8.1	29.7	16.8	17.3	5.0	36.4
女性	730	16.6	7.4	27.0	16.7	19.3	5.8	43.2

### 【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代で「予約などの利用手続を簡素化してほしい」が最も高く（同率含む）、30歳代以下で4割を超えています。《20歳代》《40歳代》では「利用料金が今より高くなっても、器具・備品等のサービスを充実させてほしい」が約3割で、比較的高くなっています。

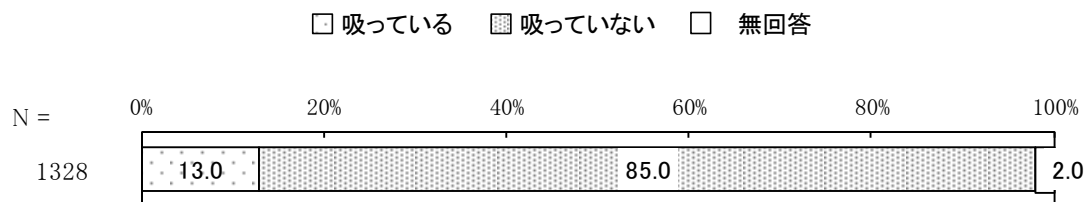
単位：%

区分	有効回答数（件）	サービスが充実してほしい	料金が高くなってもサービスが充実してほしい	予約などの利用手続を簡素化してほしい	施設案内表示等をわかりやすくしてほしい	職員のマナー向上等、環境、気づきをしてほしい	その他	無回答
18歳、19歳	22	22.7	13.6	40.9	31.8	18.2	0.0	31.8
20歳代	112	30.4	11.6	47.3	19.6	20.5	2.7	25.0
30歳代	153	20.9	13.1	44.4	20.9	23.5	0.7	22.9
40歳代	181	30.4	8.8	38.1	13.8	21.0	5.5	27.1
50歳代	215	25.6	5.6	27.4	16.3	18.6	6.5	37.2
60歳代	288	17.0	4.5	20.5	18.1	15.3	6.3	50.3
70歳以上	379	13.5	6.9	17.2	13.2	17.2	6.9	52.8

<受動喫煙について ※20歳以上の方にお聞きします。>

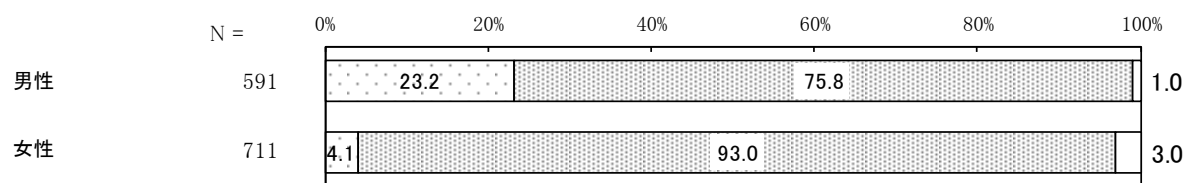
問 25 たばこを習慣的に吸っていますか(電子たばこを含む)。(あてはまるもの1つに○)

「吸っていない」が85.0%、「吸っている」が13.0%となっています。



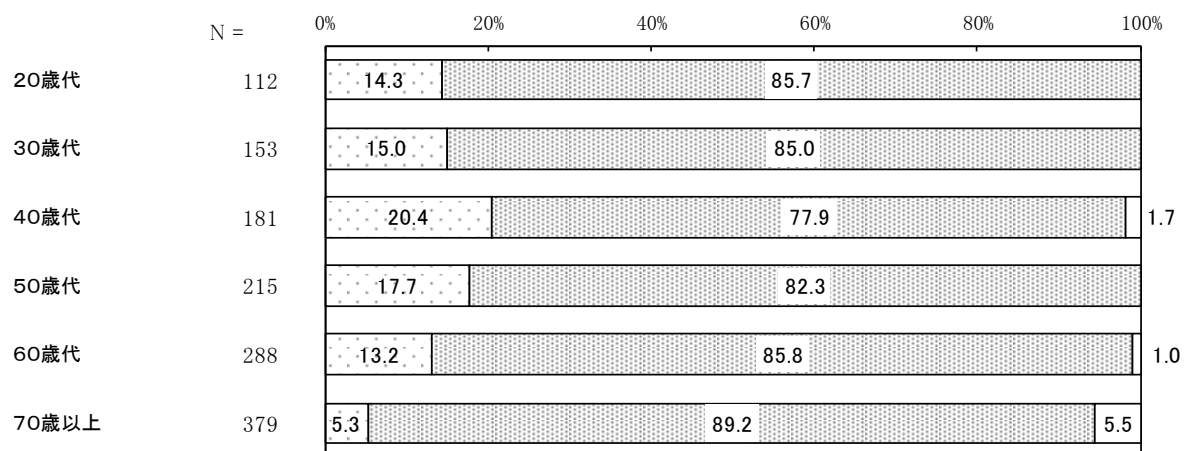
【性別】

性別で見ると、《男性》《女性》ともに「吸っていない」が7割以上を占めています。《男性》では「吸っている」が23.2%と、女性を19.1ポイント上回っています。



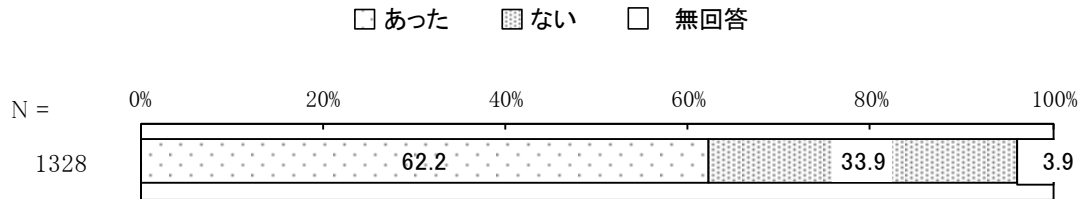
【年齢別】

年齢別で見ると、全ての年代で「吸っていない」が7割以上を占めています。《40歳代》では「吸っている」が20.4%と比較的高くなっています。



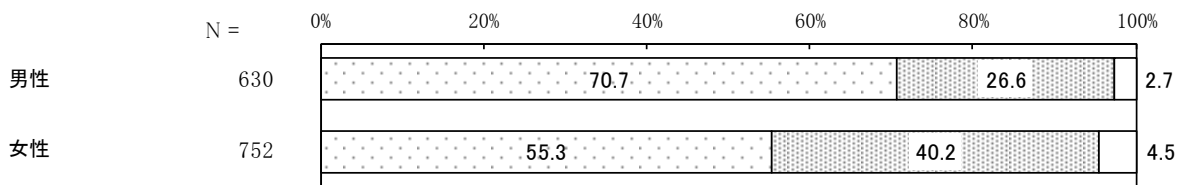
問 26 受動喫煙とは、「人が他人の喫煙によりたばこから発生した煙にさらされること」をいいます。  
 おおよそ 1 年の間に、建物や屋外で受動喫煙にあったことがありますか。(あてはまるもの 1 つに○)

「あった」が 62.2%、「ない」が 33.9%となっています。



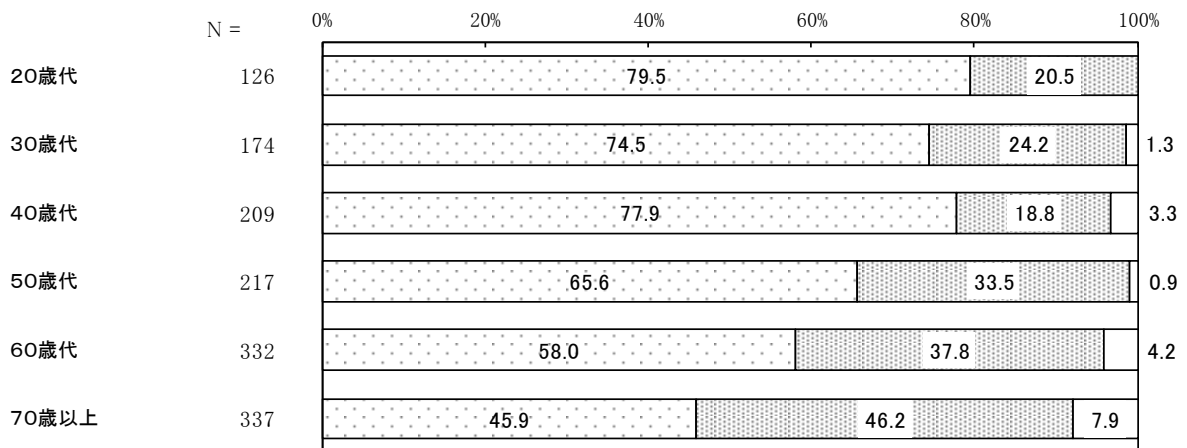
### 【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「あった」が過半数を占めています。《男性》では「あった」が 70.7%と、《女性》を 15.4 ポイント上回っています。



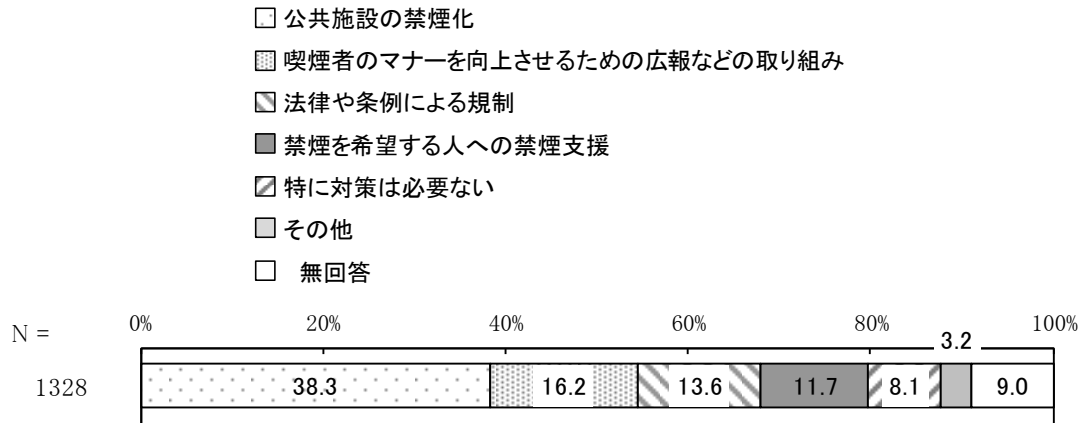
### 【年齢別】

年齢別でみると、60 歳代以下で「あった」が過半数を占め、20 歳代から 40 歳代では 7 割を超えています。



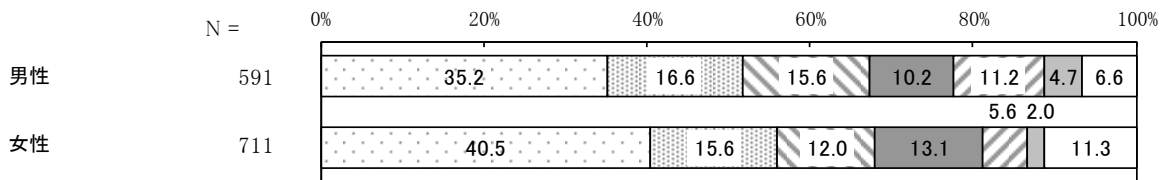
問 27 受動喫煙を防止するために行政が取り組むことが望ましいと思う対策は何ですか。  
(あてはまるもの1つに○)

「公共施設の禁煙化」が38.3%と最も高く、次いで「喫煙者のマナーを向上させるための広報などの取り組み」が16.2%、「法律や条例による規制」が13.6%となっています。



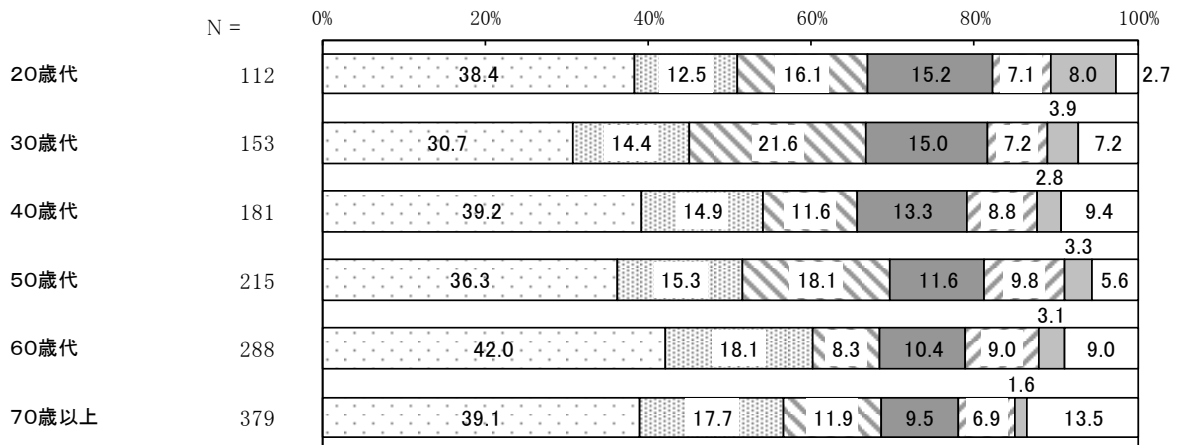
### 【性別】

性別でみると、《男性》《女性》ともに「公共施設の禁煙化」が最も高くなっています。



### 【年齢別】

年齢別でみると、全ての年代で「公共施設の禁煙化」が最も高くなっています。《30歳代》では「法律や条例による規制」が2割を超え、比較的高くなっています。



## 6. 自由意見

問 26 市政に対するご意見、ご要望がありましたらご自由にお書きください。

(1) 都市整備について

◆公共交通（49 件）

- ・公共交通機関の利便性の改善（本数・時間・料金・路線拡大）（38 件）
- ・車の免許を返納したくても交通の手段がなければ返納できないので、高齢者の交通アクセスを考えていただきたい。（11 件）

◆道路・歩道整備（45 件）

- ・広域幹線道路の整備、渥美半島縦貫道路や信号のない道路の実現、渋滞の解消等（30 件）
- ・道路の舗装、草刈り（8 件）
- ・歩道の整備（7 件）

◆まちづくり（24 件）

- ・もっと色々な店をふやしてほしい。（19 件）
- ・田原の中心部のみが整備がされ、渥美、赤羽根地域の整備が少ない。（3 件）
- ・新しく施設を作るのではなく、使っていない建物を利用するようにしてほしい。（2 件）

◆地域・過疎対策（26 件）

- ・人口を増やす政策を行って下さい。（7 件）
- ・今後も農業が発展できるような環境作りをお願いしたい。（7 件）
- ・若い人達が住みたい市にしてほしい。（6 件）
- ・空き家（家屋）の対策（5 件）
- ・昔からの考え（封建主義）が多いのは仕方がないが、新しく入ってきた人を快く迎え入れない住民が多い。他市から来た住民の意見も取り入れてみてはどうか。（1 件）

## (2) 健康福祉について

### ◆保育・子育て（39件）

- ・子ども手当など子供を産みやすい、育てやすい町になるようにしてほしい。（13件）
- ・子ども用品が揃いづらい。（10件）
- ・病院で夜間、対応できる小児科を希望する。（8件）
- ・近くに子供が遊べる公園がない。（3件）
- ・すくっとは、もっと色々な方“親子”に限定せず、子育てに関わる人、職種の方が、制約を受けずに利用できるようにしてほしい。制限が多く、利用できない人、場面があり、対応も良くなかった。（3件）
- ・学童、こども教室を保育園と同じ7：30からにしてほしい。（2件）

### ◆高齢者福祉（17件）

- ・高齢者が暮らしやすい街にしてほしい。（12件）
- ・高齢者が多くなる時代、お年寄りが寝たきりにならないよう、楽しく気軽に参加できるようなサービスをお願いしたい。（3件）
- ・田原市で障がい者や高齢者の雇用を可能とする企業の情報を公開して欲しい。（1件）
- ・高齢者の事故が多い中、田原市も安全運転支援装置等の補助金を出してほしい（1件）

### ◆医療（15件）

- ・検診制度の改善（4件）
- ・医療環境の早急な改善、医師確保に向けた取り組みの充実（5件）
- ・病院も夜だと診てもらえなく豊橋まで行かなければならない事もあるので、夜の先生を増やしてほしい。（3件）
- ・婦人科の病院や眼科が渥美の方にできてほしい。（2件）
- ・骨髄ドナーの助成制度を田原市でも導入してほしい。（1件）

### ◆障害者福祉（3件）

- ・市にサポートをしてもらっているがあまりに仕事場がない。（2件）
- ・障がい者福祉サービスをもっと充実させてほしい。（1件）

### (3) 市民環境について

#### ◆ごみ (21 件)

- ・ごみのマナーが悪すぎる (7 件)
- ・ごみの回収回数を増やして欲しい。(5 件)
- ・ごみの分別を簡単にしてほしい。(4 件)
- ・簡易な物は燃やした方が、コスト面で良いのではないか。(3 件)
- ・ごみ処理・リサイクルに力を入れてほしい。(2 件)

#### ◆環境問題 (24 件)

- ・除草をしてほしい。(10 件)
- ・堆肥の悪臭対策を。年々悪臭がひどくなっている。(8 件)
- ・畑のスプリンクラー。歩道、車道に出ない様、個々の農家が配慮してほしい。(2 件)
- ・河川の浄化等が不十分。ゴミや水質浄化等とりくむべきだと思う。(1 件)
- ・家の回りがソーラー (太陽光発電) に囲まれ、以前はなかった耳障りな音に悩まされるようになった。やぶがなくなったことで近くの浄化センターの音が大きく聴こえるようになり、以前より住みにくく感じている。(1 件)
- ・タバコの煙、屋外の焼却、野焼きの煙、工場の排気に苦しんでいる。(2 件)

#### ◆防犯・安全対策 (13 件)

- ・町の中心は全体的に街灯が少ない。(5 件)
- ・防犯カメラの設置 (2 件)
- ・子供達の安全のため、通学・下校時のパトロールを強化してほしい。(2 件)
- ・犯罪のない街づくり (1 件)
- ・交通事故の防止を強化してほしい。(2 件)
- ・サーファーの方の路上駐車が気になる。(1 件)

#### ◆生活インフラ・環境整備 (8 件)

- ・農業、漁業、観光業が盛んな場所なので自然環境の美化にも力を入れてほしい。(2 件)
- ・調整区域の解除、宅地化を広げ、誰でも家が建てられるようにして欲しい。(1 件)
- ・wi-fi の場所をもっと増やしてほしい。(1 件)
- ・飲料水は人類が生活する上で最も重要なものであることを、広報等で市民に内容を知らしめたらどうか。(1 件)
- ・農業や漁業へもインターネットが応用され、近い将来「5G 回線」が実用化されるため、積極的に導入を検討して欲しい。(1 件)
- ・汐川環境整備、畜産農家堆肥の適正処理等などの環境整備 (1 件)
- ・今後とも上・下水道事業だけは民営化することのないように。(1 件)

#### ◆ペット問題 (6 件)

- ・ペットのふんの始末 (3 件)
- ・もっと犬と行くのに適した場所があればよい。(2 件)



- ・犬猫の殺処分を無くして欲しい。郊外に行くほど捨て犬・猫が多発していて人々のマナーがひどい。(1件)

#### (4) 産業経済について

##### ◆市の活性化・魅力づくり (21件)

- ・田原市の観光に力を入れて取り組んでほしい。(8件)
- ・中心部以外は、さびれていく一方なので、市として全体の活性化をするような政策を進めてほしい。(3件)
- ・スポーツ施設がもっと欲しい。(2件)
- ・農業の活性化 (2件)
- ・様々なイベントの誘致は、これからも積極的にお願い致します。(1件)
- ・田原市が進める各種のイベント、行事等が、市民に求められている事か見直すべきではないか。(住民が求める事が年代等で常に変化してくるので、時代に沿って見直すべき) (1件)
- ・5月に博物館に行ったら大きな展示室は閉まっており、何もやってなかったので、地元の美術品愛好家の展示品でもいいからやってほしい。(1件)
- ・ここ数年、田原の勢いと言うか活気がなくなってきたように感じます。(1件)
- ・サーフタウン地域での宅地造成を積極的にすすめてほしい。居住人口を増やして町を活性化してほしい。(1件)
- ・温泉施設の計画があるそうなので、ぜひ早急に進めてほしい。(1件)

##### ◆駅前開発 (9件)

- ・ララグランのモニュメントに多額のお金を使ったと聞いたが、市民の税金をもっと有効に使っていただきたい。(4件)
- ・田原駅周辺をもっとにぎやかにしてほしい。(4件)
- ・田原駅前にだけ力を入れるのではなく、田原市全体を見てほしい。(1件)

##### ◆雇用 (4件)

- ・若者の働く場所を充実させてほしい。(2件)
- ・60歳以上の就労を増やして欲しい。(2件)

(5) 市政・行政について

◆市役所・市職員・行政サービス等（29件）

- ・健康カレンダーをまた作って欲しい。（8件）
- ・土日や休日にも対応してほしい。（4件）
- ・市政サービス等を含め職員が多すぎる。（2件）
- ・市のため、市民のために、日々考え、工夫、行動されている職員の方々に感謝しています。一方で、態度の悪い職員も目にするのが残念です。（2件）
- ・行政の仕事を住民に押しつけ過ぎている。（3件）
- ・庁舎内が静か過ぎて利用する際になんか気をを使う。（1件）
- ・市役所をお願いをしたとき明確に日にちを教えてください（1件）
- ・市役所等の職員は市民に対し親切で良くやっていると感じます。なお一層のサービスの向上に励んで下さい。（2件）
- ・職員の教育をしっかりしてほしい。市役所に行った時の対応を早くしてほしい。（2件）
- ・市の職員を採用する時、本人の能力、人格を十分考慮し、人選してほしい。（1件）
- ・市役所に行った時、声をかけないと気づいていただけない。（1件）
- ・対応の際、マスクを使用していると、会話が聞き取りにくい。（1件）
- ・人口が減少するなか、行政サービスを維持縮小することがあたりまえの時代になる。いかに、生活の質を高めつづけるのか、限られた予算のなかで考えつづける必要がある。（1件）

◆市政に関すること（34件）

- ・いつも市民のためにありがとうございます。（11件）
- ・一番大切なのは建物等の物質ではなく、住む人の意識の問題です。（4件）
- ・田原には、他地域にない、素晴らしいものがたくさんあるので、それを誇りに思い、自信をもってほしい。（3件）
- ・地域間格差を未だに感じる。何もかも田原の中心市街地に集めればよいというものではない。（3件）
- ・パフォーマンス重視でなく、地に足をつけた地道な運営をしてほしい。（2件）
- ・議員への不満（2件）
- ・これから田原市を支えていく若い人たちが住みやすい市になってほしい。（2件）
- ・田原市が何に力を入れているのか伝わってこない。田原市のカラーが見えない。（1件）
- ・多くの方が幸せを感じる田原市にしてほしい。（1件）
- ・書いても実行してもらえないから書きません。（1件）
- ・企画する人、具体化する人、享受する人、参加する（しない）人が別の方向をむいているのではないかと。市政を動かしている人も市民であることを忘れていないのでは。自分たちも参加する、要望する、楽しむことができるものにしていく。（1件）
- ・市民から無駄だと思われるような事や不必要な物は作らないでほしい。その良い、悪いは判断できにくいと思うが大きな金額の時は自治会などに賛否をとってもよいのでは。（1件）
- ・豚コレラとか殺人事件があったり田原市が新聞に出てくる印象はあまりよくないが、中学卒業まで医療費がかからなかったり、ぐるりんバスの運行もあたりして頑張っている。近隣の市町村に従うのではなく、一歩先を見た行政が行なわれると有難い。（1件）

- ・あれもこれもは無理なので、下半期、上半期、もしくは1年に1個ずつ変えていくつもりで、田原市を良くする方をお願いします。(1件)

◆税金・保険 (15件)

- ・税金を安くしてほしい。(9件)
- ・あまり無駄な所に税金を使わないでほしい。(4件)
- ・公共施設は私たちの税金で運営されています。維持、運営にかかる費用を単純に利用者に負担させるのではなく、しっかりとした予算計画を打ち出し田原市における福祉、教育、体育を充実させて頂きたい。(2件)

◆広報・行政情報発信 (10件)

- ・もっと市のPRをしてほしい。(5件)
- ・広報たはらの改善をしてほしい。(3件)
- ・今、何が問題になって、それをどう取り組んでいるのかを、わかりやすく、報告してほしい。(1件)
- ・ティーズ(ケーブルテレビ)のデータ放送を利用して、好きな時に欲しい情報が得られると良い。テレビを通じて市政の宣伝もよいかと思う。(1件)

(6) 防災について

◆災害対策（14件）

- ・防災ラジオやスピーカーが聞こえない。（3件）
- ・道路の排水が悪い所を治してほしい。（3件）
- ・海拔の低い中学校の津波対策、子どもの安全確保。（1件）
- ・いのししの害がひどいです。（1件）
- ・いざという時の避難場所が人口に対して少ない気がします。（1件）
- ・古い住宅が多く、災害時の不安が大きい。（1件）
- ・主要国道の電柱、電線が多く、災害時の避難に不安があります。避難時の優先道路を、安全に整備願います。（1件）
- ・自然災害への心配（3件）

(7) 教育について

◆学校・教育（4件）

- ・学校教育を充実して、将来を担う子供たちに対して手厚い支援を切に願う。（1件）
- ・今、これからの若者への支援をもっとして欲しい。とくに、ひきこもり、不登校など、社会へ出られない人への支援を考えてほしい。（1件）
- ・先進的な教育をとり入れてほしい。田原市は高校の選択肢も少なく、豊橋の高校へ通うとなると時間だけでなくお金もかなりかかります。通学代の補助があれば助かります。（1件）
- ・孫が小学校に行っているが近くの3つの小学校のうち一番遠い（4km～4.5km位）小学校に通学している。小学1年生が歩くにはかわいそうだが学校を自由選択に出来ないか。（1件）

(8) その他

◆その他（21件）

- ・タバコに関し、ただ禁止するだけではなく、環境を整えてほしい。（4件）
- ・交通安全の立番を減らしてほしい。年に5回もしくは4回もまわってくるのですごく負担で憂うつになりストレスにもなっている。（1件）
- ・ほうべの森キャンプ場を利用したが防火水槽又は、消火栓が有ると安心である。（1件）
- ・10月よりの施設料金の改定に伴うトラブル混乱が予想される。（1件）
- ・外国人のマナーをよくしてほしい。（1件）
- ・温泉掘削されると聞き楽しみにしています。（1件）
- ・市民とのコミュニティ活動が充実して来ており、非常に好感を持っています。（1件）
- ・男女の出会いの場を増やしてほしい。（1件）
- ・各自治会において少なくとも3年に一度くらい市長との懇親会を設けたらどうか。（1件）
- ・市役所など公共の場所に電気自動車の充電スタンドを設置して欲しい。（1件）
- ・市内に優秀な技能、技術を持っている人が多数いるので、この人達を市が取り上げてほしい。（1件）
- ・ボランティアで活動する人たちに目を向けてほしい。（1件）
- ・自然環境と都市化など矛盾点が多い。（1件）

- ・豚コレラを予防するため、豚へのワクチン接種を、他の発生している市政と協力して、県や国へ訴えていく。このままでは、養豚農家や関係者の負担が大きいため、早くなんとかしてほしい。豚コレラが、発生している地域限定でもいいので、早く豚へのワクチン接種を認可してほしい。(1件)
- ・特区による白地の開放を推進してほしい。(1件)
- ・広く意見を収集できるようなシステムができるとよい。(1件)
- ・田原市では他県からの人が多いのでそこら辺を考慮すべき。(1件)
- ・市内在住の外国人の交流等が大切ではないか。(1件)

◆アンケートについて (12件)

- ・アンケート対象についても年齢を考えて選んでほしい。(4件)
- ・このアンケート、わからない項目が多すぎる。普通としか答えようがない。(3件)
- ・市のそれぞれの市民に求めるものが明確に示されないので、答えるのに困る。具体的に示さないとよい回答は得られない。(1件)
- ・アンケートを利用する可能性があるのであまり賛成できない。(1件)
- ・障がいをもってるとアンケートがとてつかけます。(1件)
- ・アンケートをとるだけでは意味がない、実行するように。(1件)
- ・問いが多く複雑で途中でいやになった。もっと端的なアンケートにしてほしい。(1件)



### Ⅲ 市内事業者アンケート調査





### Ⅲ 市内事業者

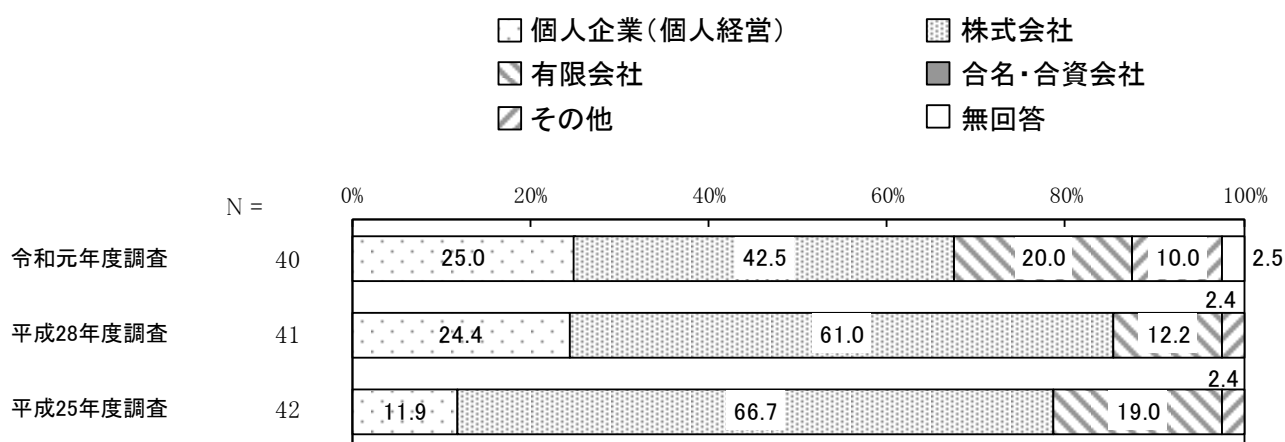
田原市内の事業者 100 社

#### 1. 回答者属性

問1 あなたの事業所についてお答えください。

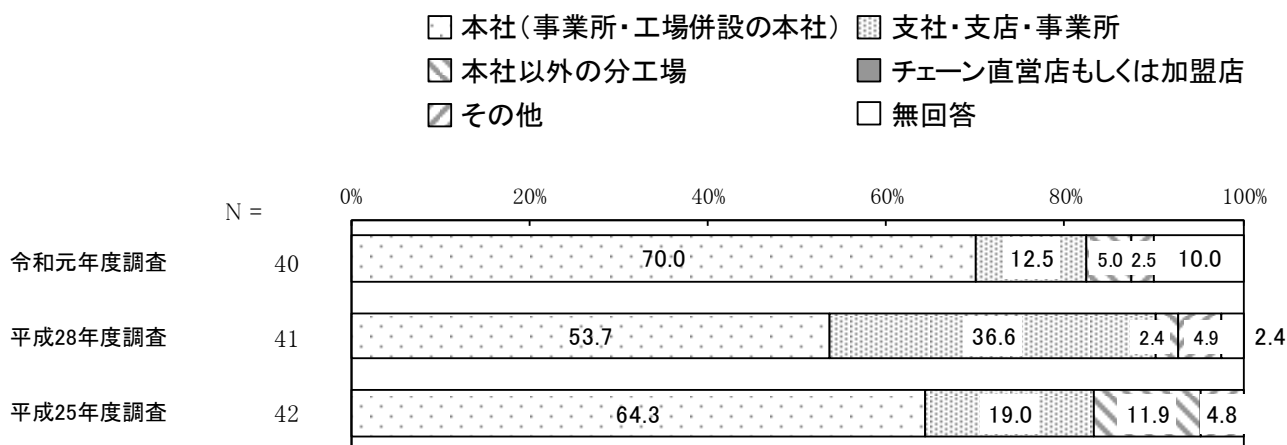
##### ① 企業形態

「株式会社」の割合が 42.5%と最も高く、次いで「個人企業（個人経営）」の割合が 25.0%、「有限会社」の割合が 20.0%となっています。



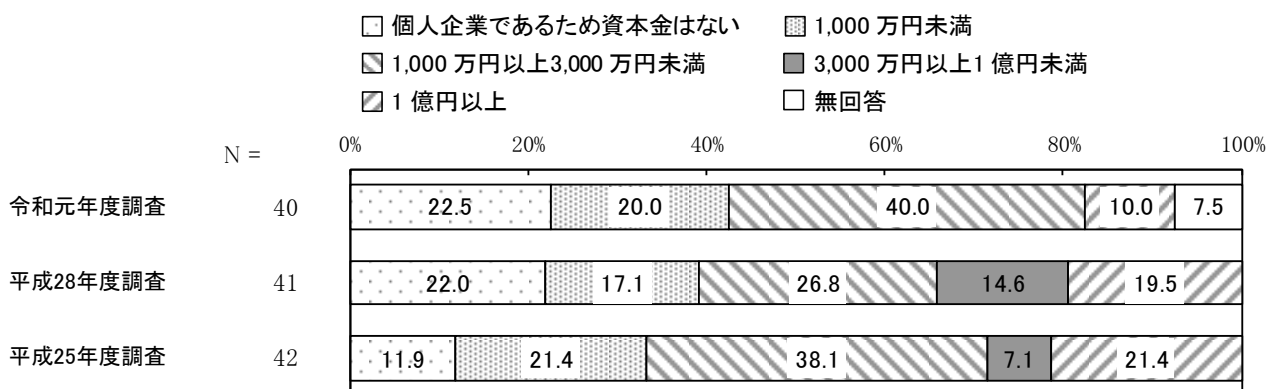
##### ② 本社・事業所区分

「本社（事業所・工場併設の本社）」の割合が 70.0%と最も高く、次いで「支社・支店・事業所」が 12.5%となっています。



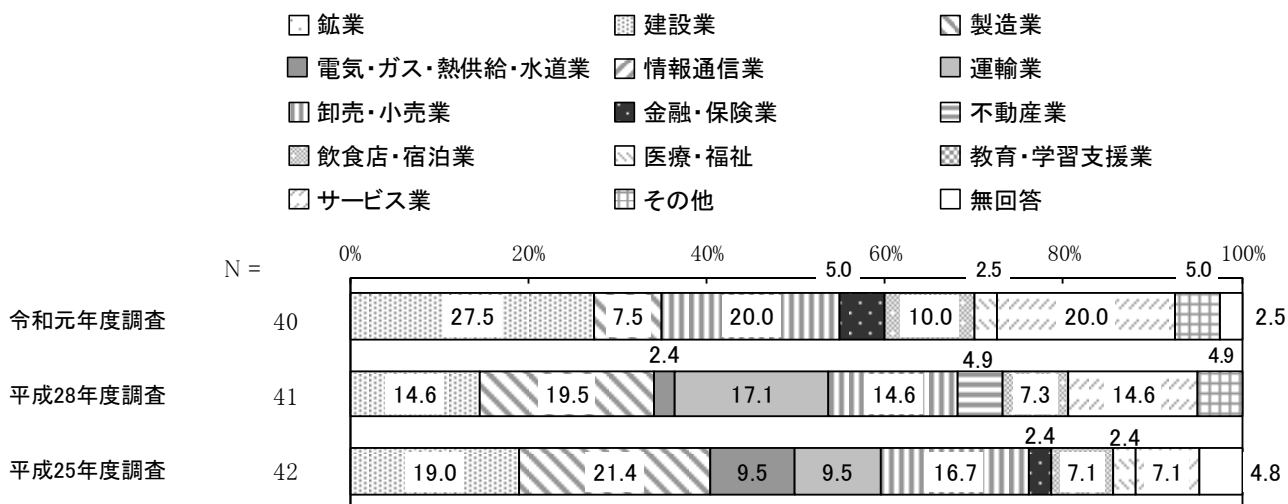
### ③ 資本金

「1,000万円以上3,000万円未満」の割合が40.0%と最も高く、次いで「個人企業であるため資本金はない」の割合が22.5%、「1,000万円未満」の割合が20.0%となっています。



### ④ 業種

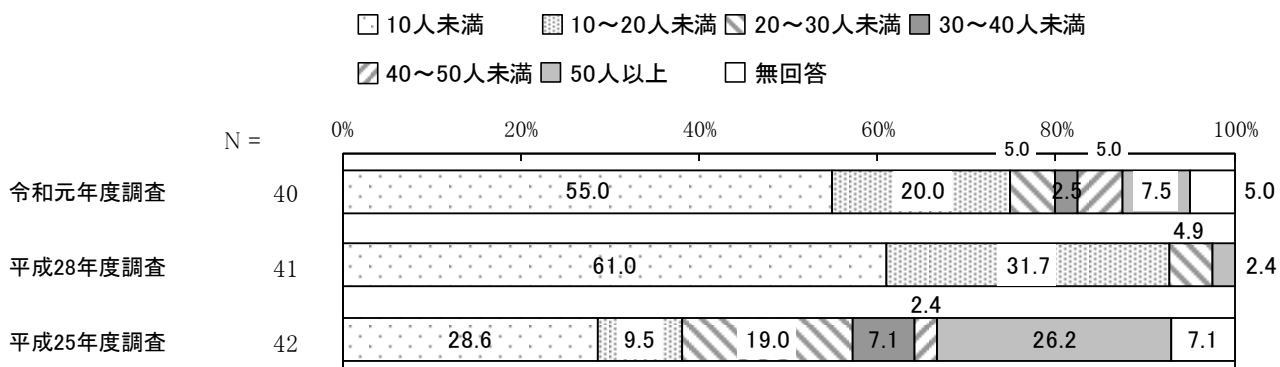
「建設業」の割合が27.5%と最も高く、次いで「卸売・小売業」「サービス業」の割合がともに20.0%となっています。



### ⑤ 従業員数

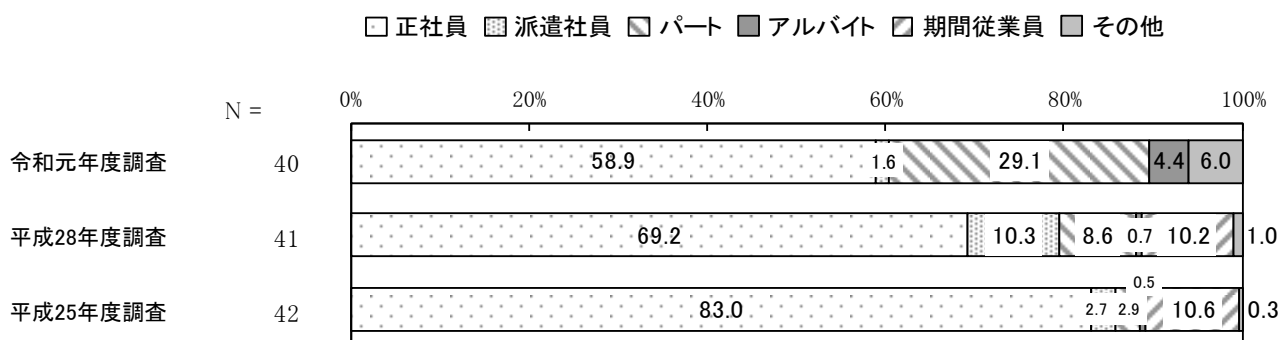
#### 【総数】

「10人未満」の割合が55.0%と最も高く、次いで「10～20人未満」の割合が20.0%となっています。



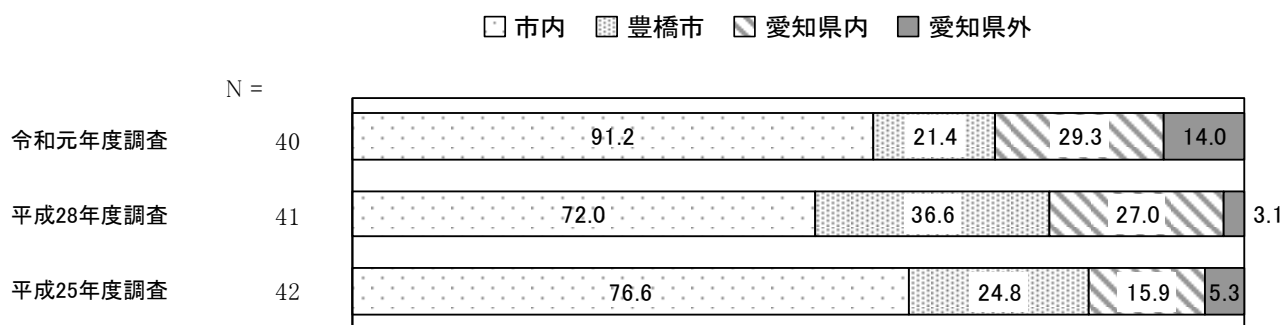
### 【従業員の内訳】

「正社員」の割合が 58.9%と最も高く、次いで「パート」の割合が 29.1%となっています。



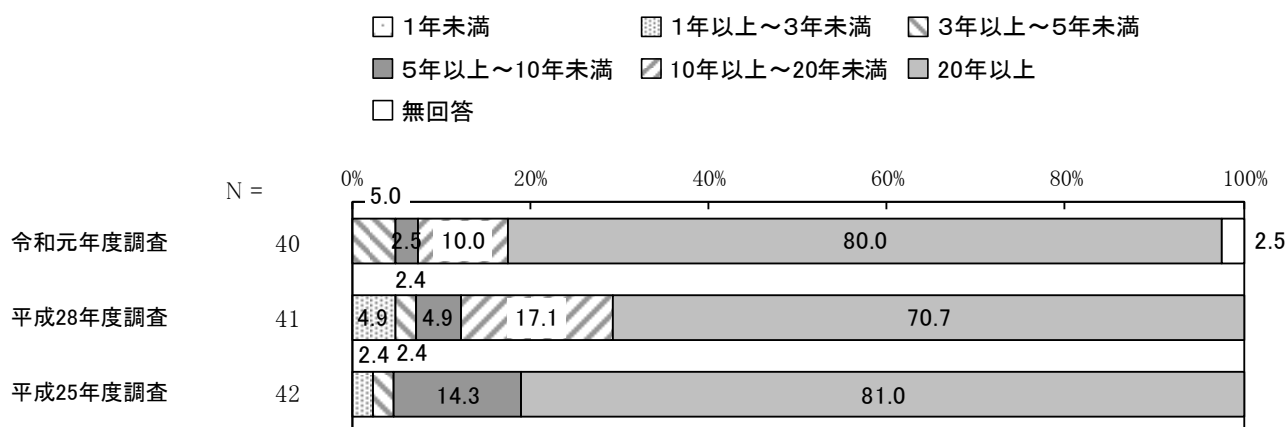
### ⑥ 事業所（工場）の従業員の居住先の概ねの比率

回答者の平均値は「市内」の割合が 91.2%と最も高く、次いで「愛知県内」の割合が 29.3%、「豊橋市」の割合が 21.4%となっています。



### ⑦ 田原市での事業年数

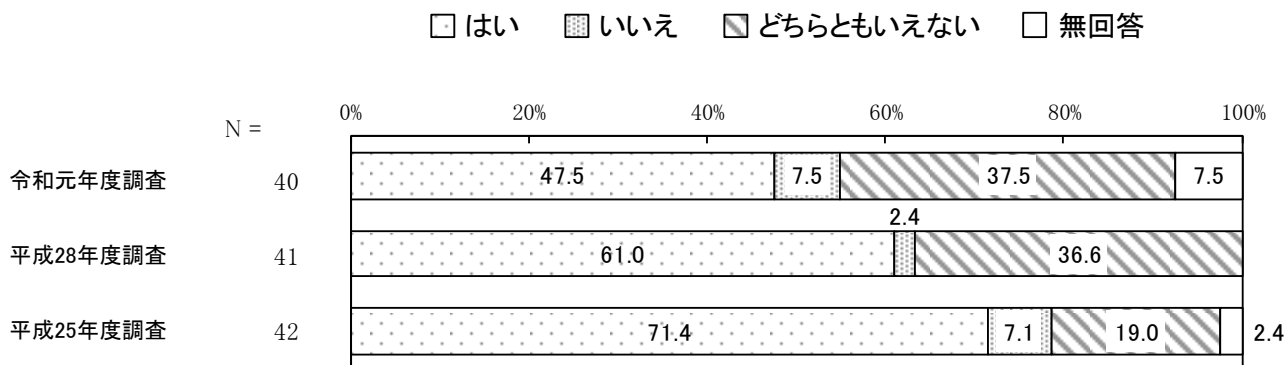
「20年以上」の割合が 80.0%と最も高く、次いで「10年以上～20年未満」の割合が 10.0%となっています。



## 2. 田原市での事業環境について

問 2 田原市は、あなたの事業所にとって事業をしやすいまちだと思いますか。(〇はひとつ)

「はい」の割合が47.5%、「どちらともいえない」の割合が37.5%となっています。  
また、平成28年度調査と比べると、「はい」の割合が13.5ポイント減少しています。



### 【業種別】

業種別でみると、《建設業》《サービス業》で「はい」の割合が高くなっています。

単位：%

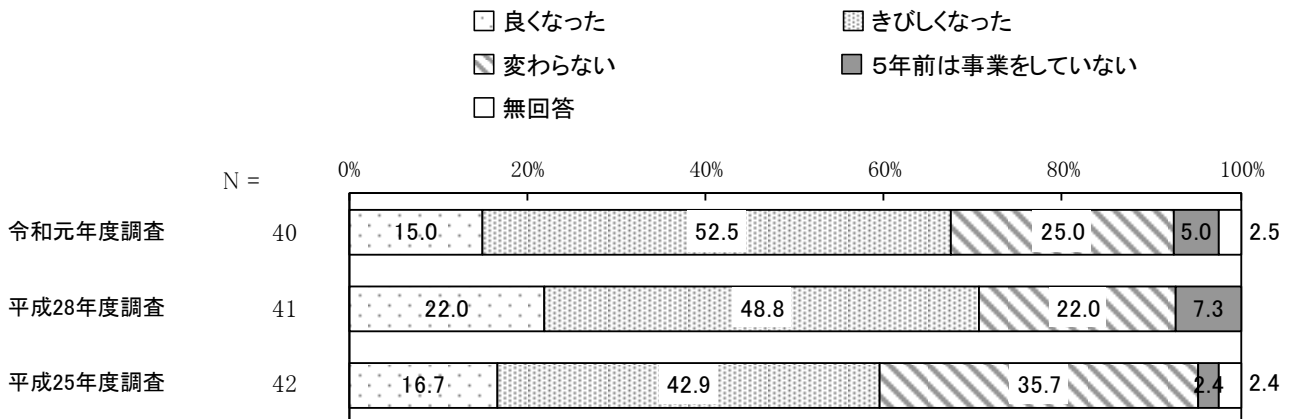
	有効回答数 (件)	はい	いいえ	どちらとも いえない	無回答
鉱業	0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	11	54.5	0.0	36.4	9.1
製造業	3	33.3	0.0	66.7	0.0
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0	0.0	0.0	0.0
情報通信業	0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売・小売業	8	25.0	25.0	37.5	12.5
金融・保険業	2	100.0	0.0	0.0	0.0
不動産業	0	0.0	0.0	0.0	0.0
飲食店・宿泊業	4	50.0	0.0	50.0	0.0
医療・福祉	1	100.0	0.0	0.0	0.0
教育・学習支援業	0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	8	62.5	0.0	37.5	0.0
その他	2	0.0	50.0	50.0	0.0

### 問 3 田原市で事業を行う環境について

(1) 田原市で事業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(〇はひとつ)

「きびしくなった」の割合が52.5%と最も高く、次いで「変わらない」が25.0%、「良くなった」が15.0%となっています。

平成28年度調査と比べると、「良くなった」の割合が7.0ポイント減少しています。



#### 【業種別】

業種別でみると、《卸売・小売業》で「きびしくなった」の割合が高くなっています。

単位：%

業種	有効回答数(件)	良くなった	きびしくなった	変わらない	5年前は事業をしていない	無回答
鉱業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
建設業	11	36.4	36.4	18.2	9.1	0.0
製造業	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
電気・ガス・熱供給・水道業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
情報通信業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
運輸業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
卸売・小売業	8	0.0	87.5	12.5	0.0	0.0
金融・保険業	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0
不動産業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
飲食店・宿泊業	4	0.0	75.0	25.0	0.0	0.0
医療・福祉	1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
教育・学習支援業	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
サービス業	8	12.5	37.5	37.5	12.5	0.0
その他	2	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0

(2) 田原市で事業を行う環境について、良くなった点、きびしくなった点などについて具体的にお聞かせください。

【良くなった点】

- ・顔見知りのお客さんがいる。
- ・地元事業者優先の官庁の考え方で市に対する事業活動は以前よりも良くなっている。
- ・事業体制が代わった事により、事業成績は案定した。
- ・市が観光に力を入れていると感じる点。
- ・近くにホテルが出来、客として、多少来る様になった。
- ・公共工事が市内業者発注となり、多くのチャンスをいただけた。この機会をとらえ、職員増をして、新規分野に挑戦した。
- ・住みやすい、生活しやすい環境
- ・同業他社事業所の減少、衰退により相対的に良くなった。

【きびしくなった点】

- ・人口減少（4件）
- ・従業員の確保が難しい
- ・経済が悪い。特に若者の給料が悪い
- ・商店の増加
- ・公共工事の減少
- ・書類が煩雑
- ・顧客の減少、通販市場の普及、価格競争の激化により環境はきびしくなっている。
- ・税収が少なくなった。
- ・田原市中心部の開発は進んでいるが伊良湖付近の整備が遅れている。
- ・近年のインターネット環境により受注機会の減少、豊橋市、近隣、他社との競合により、年々きびしさを増している。
- ・渥美地区の事業所及び人口減少
- ・コンビニの出店によりきびしくなった。
- ・固定客の減少。
- ・ハウスメーカーが力を持ちすぎて、発注単価がきびしすぎる。地元の建築会社を中心とした民需の落込みがみられる。
- ・仕事量の減少
- ・事業をするに人材が不足している。
- ・固定客は確保できているものの、高齢化社会なので顧客は減少しつつある。
- ・田原市内での同業他社、関連事業所の減少衰退は、業界全体ではきびしい環境である。
- ・団体数が少なくなった。
- ・任意団体縮小による取扱額減少。

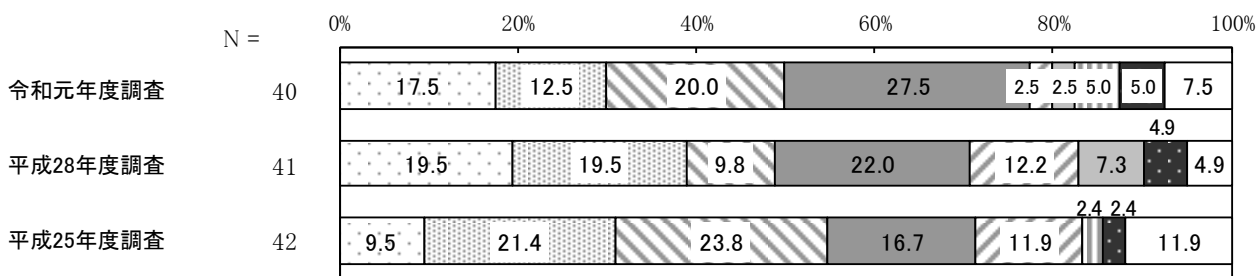
### 3. あなたの事業所の事業について

#### 問 4 あなたの事業所の直近の売上高は、5年前の売上高の何倍程度ですか。(〇はひとつ)

「約0.5倍未満」「約0.5倍～約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」を合わせた“1.0倍未満”が50.0%、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍～約1.5倍未満」「約1.5倍～2倍未満」「約2.0倍以上」を合わせた“1.0倍以上”が37.5%となっており、売上高が減少している事業所が半数を占めています。

また、平成28年度調査と比べると、“1.0倍以上”が4.0ポイント減少しています。

- 約0.5倍未満
- 約0.5倍～約0.8倍未満
- 約0.8倍～約1.0倍未満
- 約1.0倍～約1.2倍未満
- 約1.2倍～約1.5倍未満
- 約1.5倍～2倍未満
- 約2.0倍以上
- 5年前は事業をしていない
- 無回答

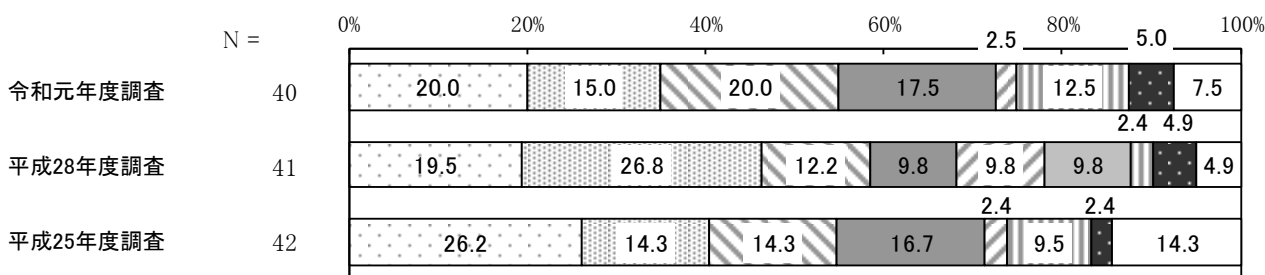


#### 問 5 あなたの事業所の直近の経常利益(所得)は、5年前の経常利益(所得)の何倍程度ですか。(〇はひとつ)

「約0.5倍未満」「約0.5倍～約0.8倍未満」「約0.8倍～約1.0倍未満」を合わせた“1.0倍未満”が55.0%、「約1.0倍～約1.2倍未満」「約1.2倍～約1.5倍未満」「約1.5倍～2倍未満」「約2.0倍以上」を合わせた“1.0倍以上”が32.5%となっており、経常利益(所得)が減少している事業所が過半数を占めています。

また、平成28年度調査と比べると、“1.0倍未満”が3.5ポイント減少しています。

- 約0.5倍未満
- 約0.5倍～約0.8倍未満
- 約0.8倍～約1.0倍未満
- 約1.0倍～約1.2倍未満
- 約1.2倍～約1.5倍未満
- 約1.5倍～2倍未満
- 約2.0倍以上
- 5年前は事業をしていない
- 無回答



問 6 あなたの事業所が、現在の事業を行う上で、経営上の問題点はどこにあるとお考えですか。  
(〇は3つまで)

「売上額の減少」「市場の成熟・縮小」がともに 37.5%で最も高く、次いで「利幅の縮小」が 30.0%、「取引先減少、業績不振」「その他」がともに 20.0%となっています。

平成 28 年度調査と比べると、「取引先減少、業績不振」が 17.6 ポイント増加、「同業者との競争激化」が 21.6 ポイント減少しています。

単位：%

項目	平成25年度 N=42	平成28年度 N=41	令和元年度 N=40
売上額の減少	54.8	46.3	37.5
利幅の縮小	47.6	26.8	30.0
物流・在庫コストの増大	4.8	14.6	10.0
人件費の増加	9.5	19.5	10.0
資金調達が困難	2.4	2.4	7.5
相続税、固定資産税等の税金対策	2.4	4.9	2.5
大手企業との競争激化	11.9	4.9	12.5
同業者との競争激化	23.8	36.6	15.0
取引先減少、業績不振	11.9	2.4	20.0
国際競争の激化	7.1	2.4	0.0
コストダウン要求の強まり	26.2	12.2	0.0
市場の成熟、縮小	19.0	29.3	37.5
自然災害(地震・津波・高潮等)の脅威	-	17.1	7.5
高速道路・高規格道路へのアクセス	-	12.2	15.0
その他	9.5	9.8	20.0
無回答	4.8	4.9	2.5



問 7 あなたの事業所が今後重視したい取り組みはどのようなものですか。(〇は3つまで)

「人材の確保・育成」が 55.0%と最も高く、次いで「マーケティングや販路・市場開拓」が 27.5%、「後継者の育成」が 22.5%となっています。

平成 28 年度と比べると、「人材の確保・育成」が 11.1 ポイント、「マーケティングや販路・市場開拓」が 10.4 ポイントそれぞれ増加し、「後継者の育成」が 11.6 ポイント減少しています。

単位：%

項目	平成25年度 N=42	平成28年度 N=41	令和元年度 N=40
新分野への進出	21.4	26.8	20.0
新技術や新商品の開発	28.6	14.6	15.0
情報化への対応	4.8	14.6	7.5
国際化への対応	7.1	0.0	0.0
経営組織の見直し	14.3	9.8	15.0
企業間ネットワークの推進	-	4.9	5.0
人材の確保・育成	57.1	43.9	55.0
マーケティングや販路・市場開拓	26.2	17.1	27.5
資金調達の円滑化	11.9	4.9	5.0
後継者の育成	28.6	34.1	22.5
事業の再構築	28.6	14.6	12.5
外部経営資源の活用	-	0.0	2.5
その他経営方針の見直し	16.7	22.0	17.5
その他	2.4	0.0	7.5
無回答	2.4	9.8	2.5

問 8 経営課題を解決するうえで必要となる市の取り組みがありましたら、具体的にご記入願います。

- ・人口減少対策（5件）
  - ・市内業者をもっと使って欲しい。（5件）
  - ・若者を増やす（3件）
  - ・農業経営者に対する支援（補助金等の経営支援、結婚支援など）
  - ・道路の流通を良くして欲しい。
  - ・他縣市からの呼び寄せになるものを造る。観光を目的としたものや、イベントの呼び込みで田原市に足を運ばせるような（田原市にしかないもの）を考えていかないと思う。
- （以上各 1 件）

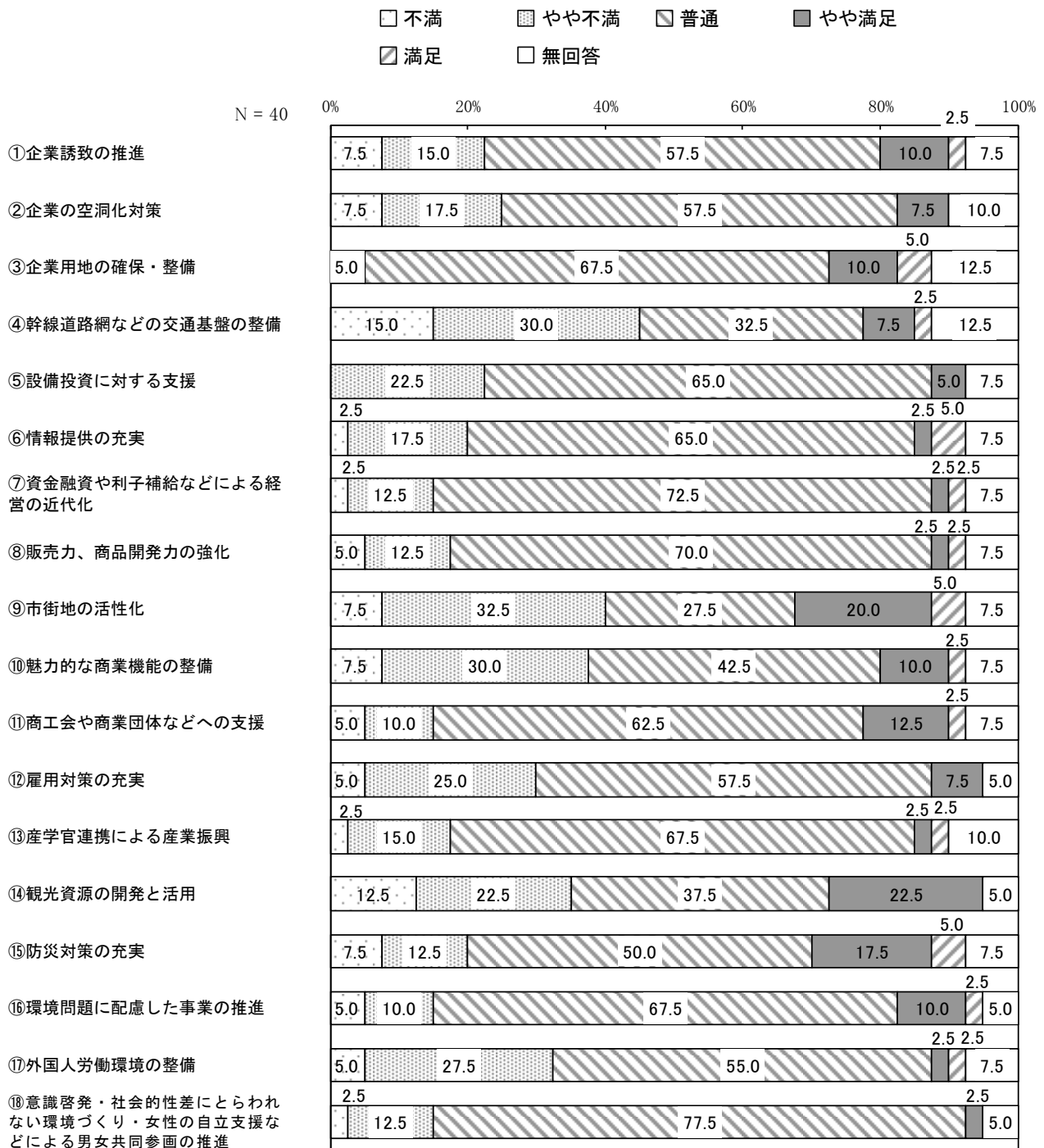
## 4. 市の施策について

問 9 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。

(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

### 【現在の評価】

「不満」と「やや不満」を合わせた“不満”(以下同じ)の割合が「④幹線道路網などの交通基盤の整備」「⑨市街地の活性化」「⑩魅力的な商業機能の整備」「⑭観光資源の開発と活用」「⑰外国人労働環境の整備」で高く、3割を超えています。



### 【経年比較—現在の評価】

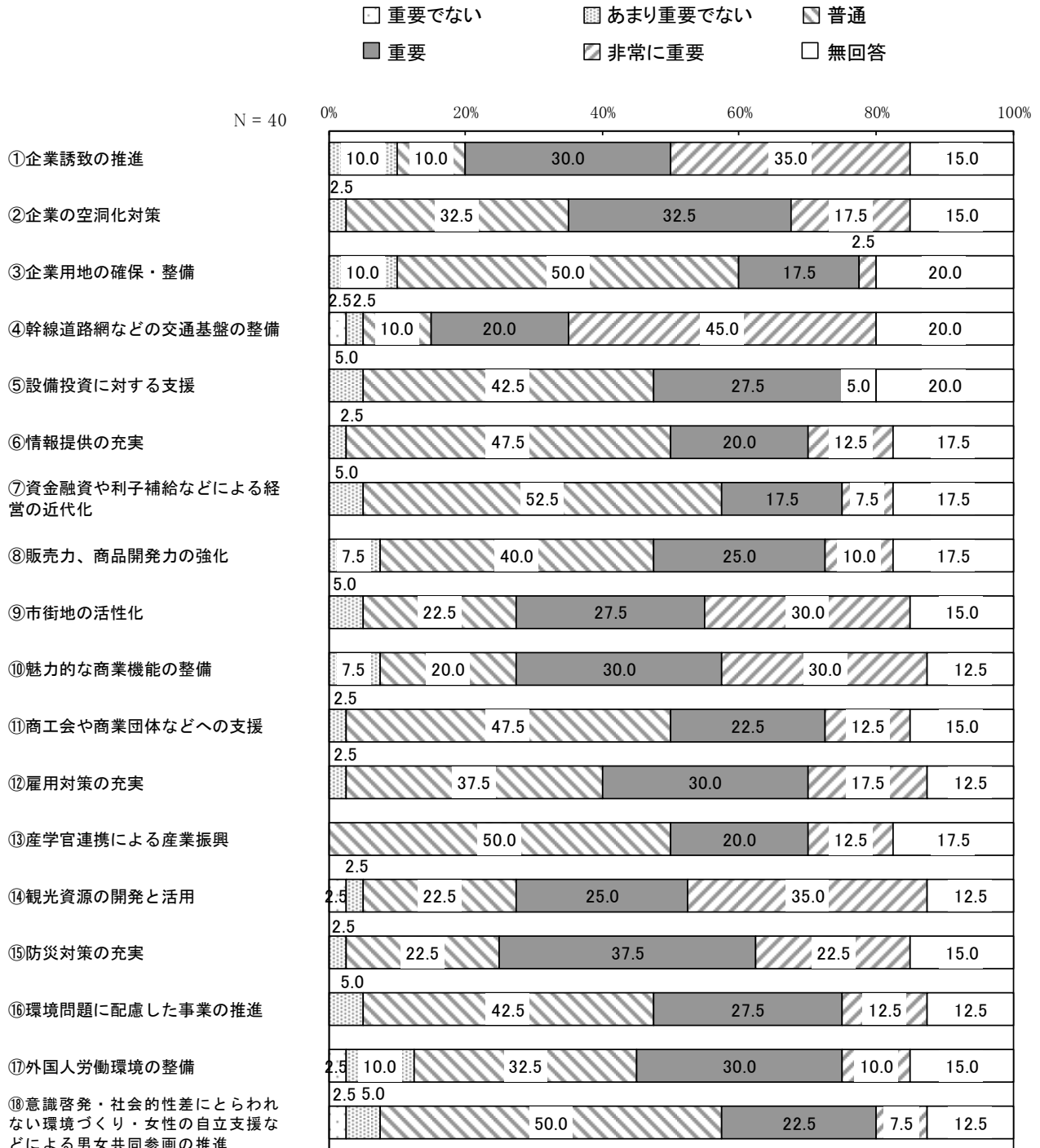
平成28年度調査と比べると、“不満”の割合は「②企業の空洞化対策」「⑦資金融資や利子補給などによる経営の近代化」「⑫雇用対策の充実」「⑭観光資源の開発と活用」「⑰外国人労働環境の整備」で、10ポイント以上増加しています。

また、「やや満足」「満足」を合わせた“満足”の割合は、「⑨市街地の活性化」「⑩魅力的な商業機能の整備」「⑪商工会や商業団体などへの支援」「⑭観光資源の開発と活用」で、10ポイント以上増加しています。

項目	調査年度	N	評価					無回答
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	
①企業誘致の推進	R1	40	7.5	15.0	57.5	10.0	2.5	7.5
	H28	41	4.9	14.6	63.4	2.4	4.9	9.8
	H25	42	7.1	4.8	31.0	31.0	19.0	7.1
②企業の空洞化対策	R1	40	7.5	17.5	57.5	7.5	0.0	10.0
	H28	41	2.4	9.8	70.7	4.9	2.4	9.8
	H25	42	11.9	28.6	40.5	4.8	7.1	7.1
③企業用地の確保・整備	R1	40	0.0	5.0	67.5	10.0	5.0	12.5
	H28	41	0.0	9.8	65.9	12.2	2.4	9.8
	H25	42	2.4	4.8	35.7	31.0	19.0	7.1
④幹線道路網などの交通基盤の整備	R1	40	15.0	30.0	32.5	7.5	2.5	12.5
	H28	41	17.1	24.4	31.7	12.2	2.4	12.2
	H25	42	26.2	26.2	14.3	26.2	2.4	4.8
⑤設備投資に対する支援	R1	40	0.0	22.5	65.0	5.0	0.0	7.5
	H28	41	9.8	12.2	61.0	7.3	0.0	9.8
	H25	42	2.4	9.5	66.7	7.1	9.5	4.8
⑥情報提供の充実	R1	40	2.5	17.5	65.0	2.5	5.0	7.5
	H28	41	9.8	9.8	58.5	7.3	4.9	9.8
	H25	42	4.8	11.9	66.7	7.1	7.1	2.4
⑦資金融資や利子補給などによる経営の近代化	R1	40	2.5	12.5	72.5	2.5	2.5	7.5
	H28	41	2.4	2.4	82.9	2.4	0.0	9.8
	H25	42	0.0	11.9	71.4	7.1	2.4	7.1
⑧販売力、商品開発力の強化	R1	40	5.0	12.5	70.0	2.5	2.5	7.5
	H28	41	7.3	12.2	70.7	0.0	0.0	9.8
	H25	42	9.5	14.3	64.3	0.0	2.4	9.5
⑨市街地の活性化	R1	40	7.5	32.5	27.5	20.0	5.0	7.5
	H28	41	4.9	29.3	48.8	4.9	0.0	12.2
	H25	42	9.5	31.0	40.5	14.3	0.0	4.8
⑩魅力的な商業機能の整備	R1	40	7.5	30.0	42.5	10.0	2.5	7.5
	H28	41	7.3	31.7	46.3	2.4	0.0	12.2
	H25	42	9.5	33.3	47.6	4.8	2.4	2.4
⑪商工会や商業団体などへの支援	R1	40	5.0	10.0	62.5	12.5	2.5	7.5
	H28	41	2.4	7.3	73.2	4.9	0.0	12.2
	H25	42	11.9	26.2	50.0	4.8	2.4	4.8
⑫雇用対策の充実	R1	40	5.0	25.0	57.5	7.5	0.0	5.0
	H28	41	2.4	9.8	73.2	2.4	0.0	12.2
	H25	42	7.1	19.0	59.5	7.1	2.4	4.8
⑬産学官連携による産業振興	R1	40	2.5	15.0	67.5	2.5	2.5	10.0
	H28	41	4.9	4.9	75.6	4.9	0.0	9.8
	H25	42	2.4	11.9	73.8	7.1	0.0	4.8
⑭観光資源の開発と活用	R1	40	12.5	22.5	37.5	22.5	0.0	5.0
	H28	41	9.8	12.2	58.5	7.3	0.0	12.2
	H25	42	14.3	26.2	35.7	16.7	2.4	4.8
⑮防災対策の充実	R1	40	7.5	12.5	50.0	17.5	5.0	7.5
	H28	41	4.9	29.3	36.6	17.1	2.4	9.8
	H25	42	9.5	7.1	40.5	33.3	7.1	2.4
⑯環境問題に配慮した事業の推進	R1	40	5.0	10.0	67.5	10.0	2.5	5.0
	H28	41	2.4	7.3	68.3	7.3	2.4	12.2
	H25	42	7.1	2.4	52.4	26.2	4.8	7.1
⑰外国人労働環境の整備	R1	40	5.0	27.5	55.0	2.5	2.5	7.5
	H28	41	2.4	4.9	80.5	2.4	0.0	9.8
	H25	42	2.4	9.5	66.7	9.5	2.4	9.5
⑱意識啓発・社会的性差にとられない環境づくり・女性の自立支援などによる男女共同参画の推進	R1	40	2.5	12.5	77.5	2.5	0.0	5.0
	H28	41	2.4	7.3	78.0	2.4	0.0	9.8
	H25	42	2.4	2.4	81.0	4.8	0.0	9.5

### 【今後の重要性】

今後の重要性については、「重要」と「非常に重要」を合わせた“重要”（以下同じ）の割合が「①企業誘致の促進」「④幹線道路網などの交通基盤の整備」「⑩魅力的な商業機能の整備」「⑭観光資源の開発と活用」「⑮防災対策の充実」で高く、6割以上となっています。

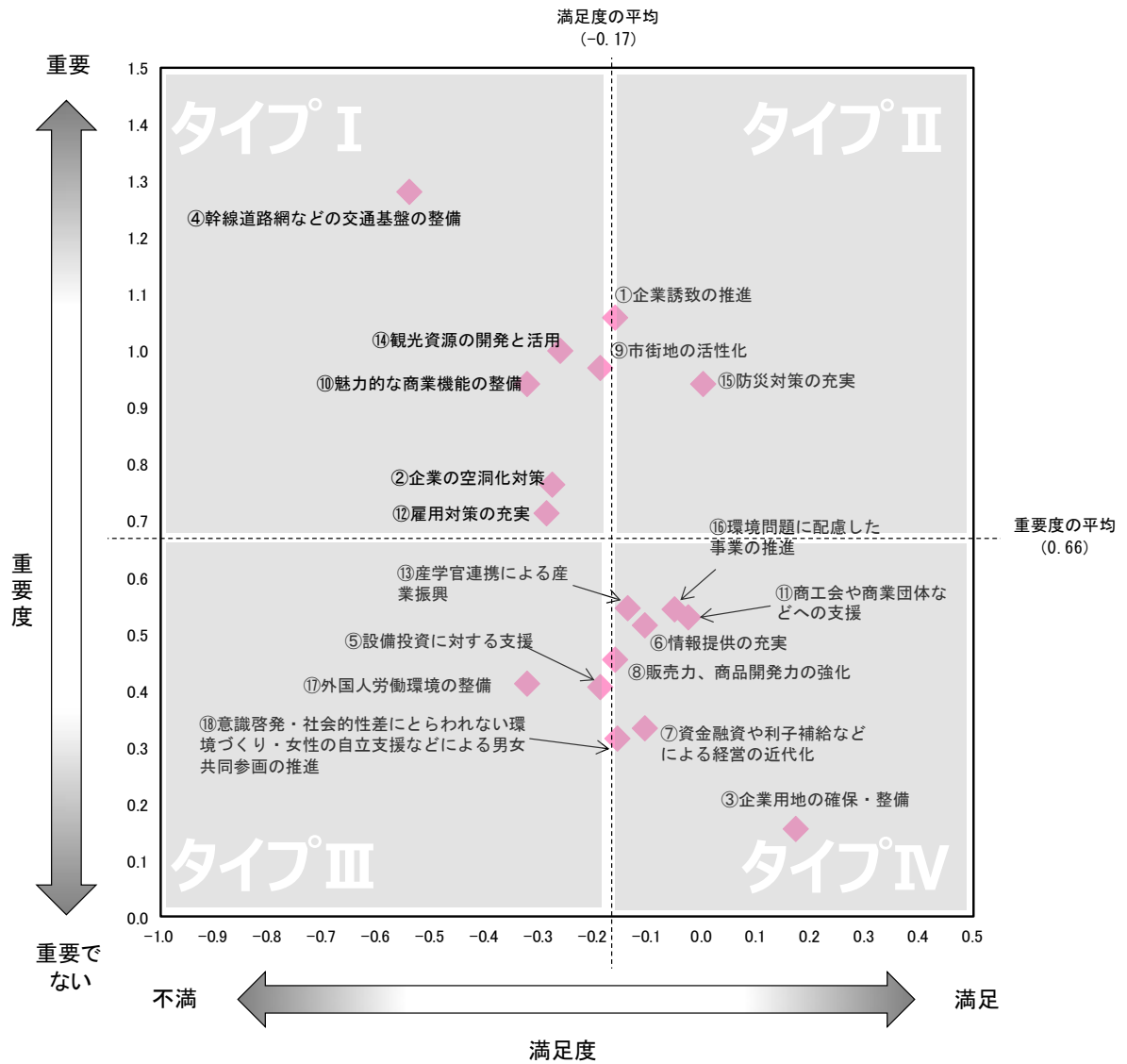


### 【経年比較—今後の重要性】

平成28年度調査と比べると、“重要”の割合は「⑭観光資源の開発と活用」「⑰外国人労働環境の整備」で、20ポイント以上増加しています。また、「③企業用地の確保・整備」で10ポイント以上減少しています。

項目	調査年度	N	評価					
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	無回答
①企業誘致の推進	R1	40	0.0	10.0	10.0	30.0	35.0	15.0
	H28	41	0.0	7.3	24.4	41.5	14.6	12.2
	H25	42	0.0	2.4	11.9	52.4	23.8	9.5
②企業の空洞化対策	R1	40	0.0	2.5	32.5	32.5	17.5	15.0
	H28	41	0.0	0.0	29.3	43.9	14.6	12.2
	H25	42	0.0	0.0	19.0	50.0	21.4	9.5
③企業用地の確保・整備	R1	40	0.0	10.0	50.0	17.5	2.5	20.0
	H28	41	2.4	0.0	51.2	31.7	2.4	12.2
	H25	42	0.0	4.8	33.3	40.5	11.9	9.5
④幹線道路網などの交通基盤の整備	R1	40	2.5	2.5	10.0	20.0	45.0	20.0
	H28	41	0.0	0.0	12.2	34.1	39.0	14.6
	H25	42	0.0	2.4	4.8	33.3	47.6	11.9
⑤設備投資に対する支援	R1	40	0.0	5.0	42.5	27.5	5.0	20.0
	H28	41	2.4	0.0	43.9	36.6	4.9	12.2
	H25	42	2.4	0.0	45.2	26.2	21.4	4.8
⑥情報提供の充実	R1	40	0.0	2.5	47.5	20.0	12.5	17.5
	H28	41	0.0	2.4	48.8	31.7	4.9	12.2
	H25	42	0.0	2.4	38.1	50.0	4.8	4.8
⑦資金融資や利子補給などによる経営の近代化	R1	40	0.0	5.0	52.5	17.5	7.5	17.5
	H28	41	0.0	0.0	75.6	12.2	0.0	12.2
	H25	42	4.8	7.1	50.0	26.2	7.1	4.8
⑧販売力、商品開発力の強化	R1	40	0.0	7.5	40.0	25.0	10.0	17.5
	H28	41	0.0	7.3	56.1	19.5	4.9	12.2
	H25	42	4.8	2.4	45.2	28.6	9.5	9.5
⑨市街地の活性化	R1	40	0.0	5.0	22.5	27.5	30.0	15.0
	H28	41	2.4	4.9	34.1	34.1	12.2	12.2
	H25	42	2.4	0.0	14.3	54.8	21.4	7.1
⑩魅力的な商業機能の整備	R1	40	0.0	7.5	20.0	30.0	30.0	12.5
	H28	41	2.4	4.9	36.6	29.3	14.6	12.2
	H25	42	0.0	0.0	28.6	54.8	14.3	2.4
⑪商工会や商業団体などへの支援	R1	40	0.0	2.5	47.5	22.5	12.5	15.0
	H28	41	0.0	4.9	63.4	9.8	9.8	12.2
	H25	42	2.4	2.4	35.7	35.7	19.0	4.8
⑫雇用対策の充実	R1	40	0.0	2.5	37.5	30.0	17.5	12.5
	H28	41	0.0	2.4	48.8	29.3	4.9	14.6
	H25	42	2.4	0.0	26.2	47.6	16.7	7.1
⑬産学官連携による産業振興	R1	40	0.0	0.0	50.0	20.0	12.5	17.5
	H28	41	0.0	2.4	61.0	9.8	12.2	14.6
	H25	42	0.0	4.8	38.1	47.6	4.8	4.8
⑭観光資源の開発と活用	R1	40	2.5	2.5	22.5	25.0	35.0	12.5
	H28	41	0.0	4.9	46.3	26.8	9.8	12.2
	H25	42	0.0	0.0	16.7	50.0	31.0	2.4
⑮防災対策の充実	R1	40	0.0	2.5	22.5	37.5	22.5	15.0
	H28	41	0.0	0.0	19.5	48.8	19.5	12.2
	H25	42	0.0	0.0	9.5	45.2	40.5	4.8
⑯環境問題に配慮した事業の推進	R1	40	0.0	5.0	42.5	27.5	12.5	12.5
	H28	41	0.0	2.4	53.7	22.0	9.8	12.2
	H25	42	2.4	2.4	21.4	52.4	14.3	7.1
⑰外国人労働環境の整備	R1	40	2.5	10.0	32.5	30.0	10.0	15.0
	H28	41	7.3	4.9	63.4	9.8	2.4	12.2
	H25	42	0.0	11.9	47.6	26.2	7.1	7.1
⑱意識啓発・社会的性差にとらわれない環境づくり・女性の自立支援などによる男女共同参画の推進	R1	40	2.5	5.0	50.0	22.5	7.5	12.5
	H28	41	2.4	7.3	61.0	14.6	2.4	12.2
	H25	42	4.8	2.4	54.8	28.6	2.4	7.1

ポートフォリオ分析による市の施策の評価については、『②企業の空洞化対策』『④幹線道路路網などの交通基盤の整備』『⑨市街地の活性化』『⑩魅力的な商業機能の整備』『⑫雇用対策の充実』『⑭観光資源の開発と活用』が、重要度が高いと同時に満足度が低く、改善が求められます。



項目	満足度	重要度
①企業誘致の推進	-0.16	1.06
②企業の空洞化対策	-0.28	0.76
③企業用地の確保・整備	0.17	0.16
④幹線道路網などの交通基盤の整備	-0.54	1.28
⑤設備投資に対する支援	-0.19	0.41
⑥情報提供の充実	-0.11	0.52
⑦資金融資や利子補給などによる経営の近代化	-0.11	0.33
⑧販売力、商品開発力の強化	-0.16	0.45
⑨市街地の活性化	-0.19	0.97
⑩魅力的な商業機能の整備	-0.32	0.94
⑪商工会や商業団体などへの支援	-0.03	0.53
⑫雇用対策の充実	-0.29	0.71
⑬産学官連携による産業振興	-0.14	0.55
⑭観光資源の開発と活用	-0.26	1.00
⑮防災対策の充実	0.00	0.94
⑯環境問題に配慮した事業の推進	-0.05	0.54
⑰外国人労働環境の整備	-0.32	0.41
⑱意識啓発・社会的性差にとらわれない環境づくり・女性の自立支援などによる男女共同参画の推進	-0.16	0.31

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

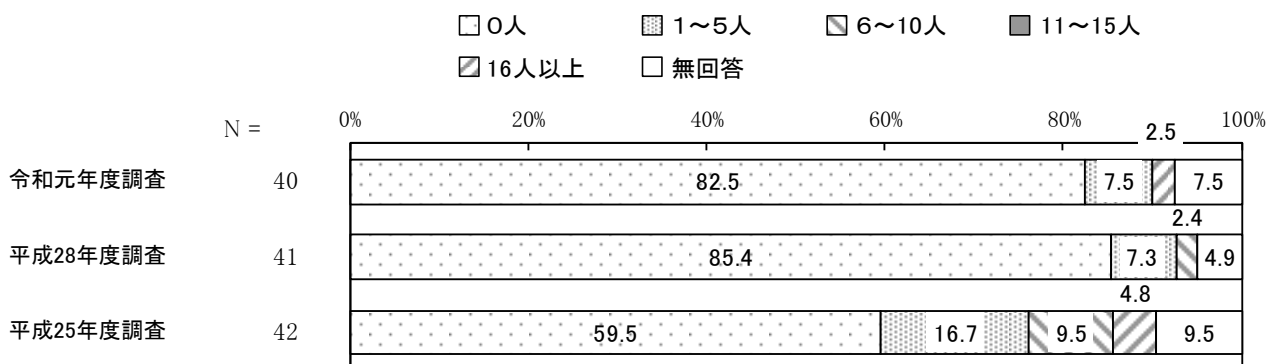
- ②企業の空洞化対策
- ④幹線道路網などの交通基盤の整備
- ⑨市街地の活性化
- ⑩魅力的な商業機能の整備
- ⑫雇用対策の充実
- ⑭観光資源の開発と活用

## 5. 従業者の雇用環境について

問 10 あなたの事業所の昨年度の新規学卒者の採用状況、今後5年間の採用見込みについてお聞かせ下さい。

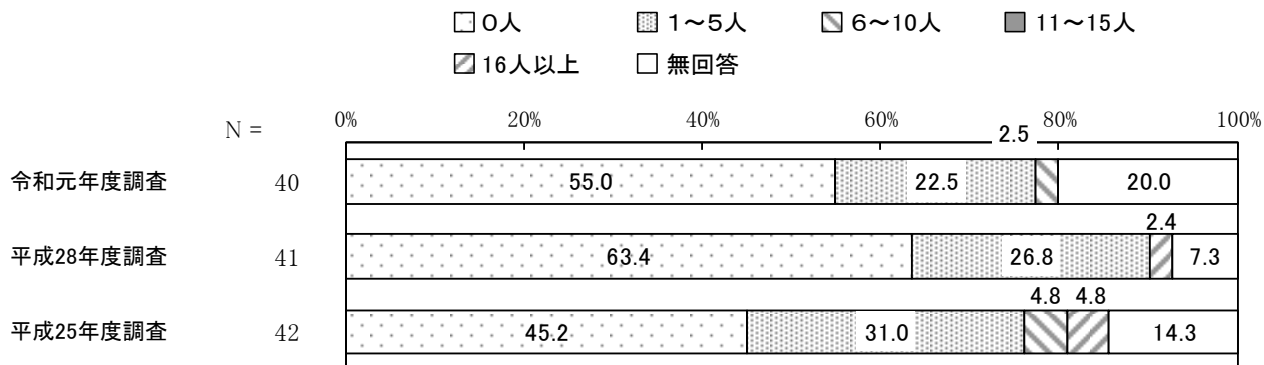
### 【昨年度の新規学卒者の採用状況】

「0人」の割合が82.5%と最も高く、次いで「1～5人」の割合が7.5%となっており、平成28年度調査とほぼ同様の割合となっています。



### 【今後5年間の採用見込み】

「0人」の割合が55.0%と最も高く、次いで「1～5人」の割合が22.5%となっています。平成28年度調査と比べると「0人」の割合が8.4ポイント減少しています。

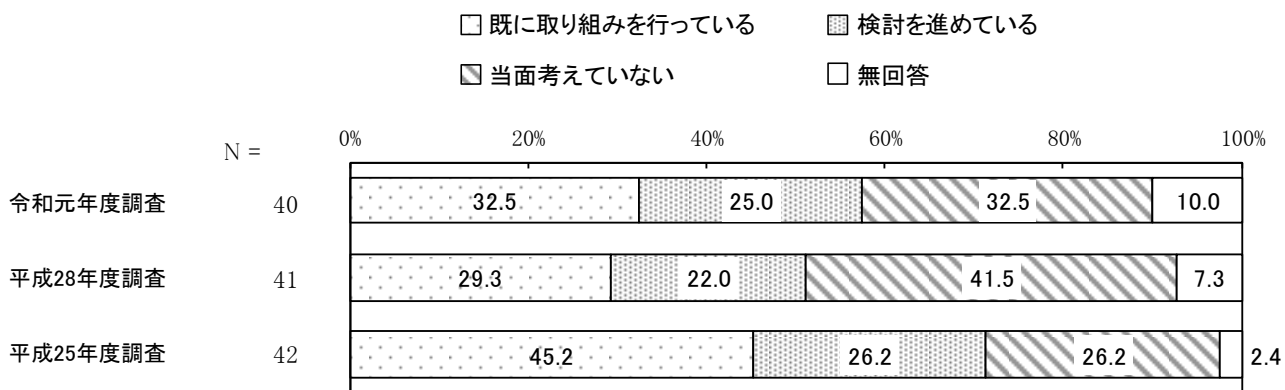




問 11 あなたの事業所では、定年制の延長についての取り組みが行われていますか。

「既に取り組みを行っている」「当面考えていない」の割合がともに 32.5%となっています。

平成 28 年度調査と比べると、「当面考えていない」の割合が 9.0 ポイント減少しています。



## 6. 従業者の市内定住対策について

問 12 従業者の方が田原市に住んでいただくためには、特にどういった対策が必要だと思いますか。  
(〇は3つまで)

「医療・福祉の充実」が 45.0%と最も高く、次いで「出産・子育て支援の充実」が 37.5%、「道路環境の充実」が 35.0%となっています。

平成 28 年度調査と比べると、「出産・子育て支援の充実」が 15.5 ポイント増加しています。

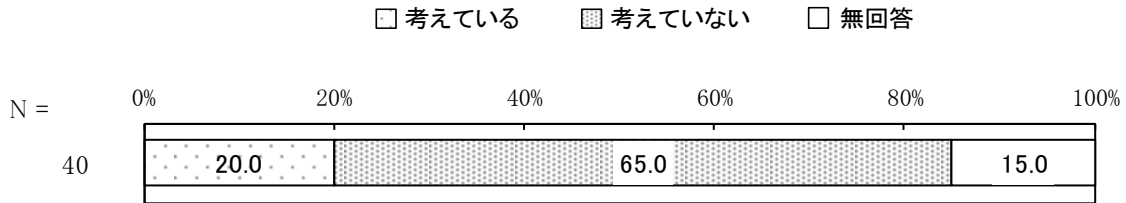
単位：%

項目	平成25年度 N=42	平成28年度 N=41	令和元年度 N=40
医療・福祉の充実	52.4	39.0	45.0
教育環境の充実	38.1	19.5	20.0
住宅対策の充実	40.5	24.4	30.0
商業・サービス機能の充実	38.1	31.7	25.0
余暇・娯楽機能の充実	7.1	14.6	17.5
公共交通機能の充実	45.2	41.5	30.0
道路環境の充実	38.1	26.8	35.0
結婚支援の充実	-	24.4	7.5
出産・子育て支援の充実	-	22.0	37.5
その他	4.8	4.9	0.0
無回答	4.8	7.3	10.0

## 7. 農業分野での事業展開について

問 13 田原市は、農業産出額日本一です。あなたの事業所において、農業分野に関連した事業展開をお考えですか。(〇はひとつ)

「考えていない」が65.0%と過半数を占めています。

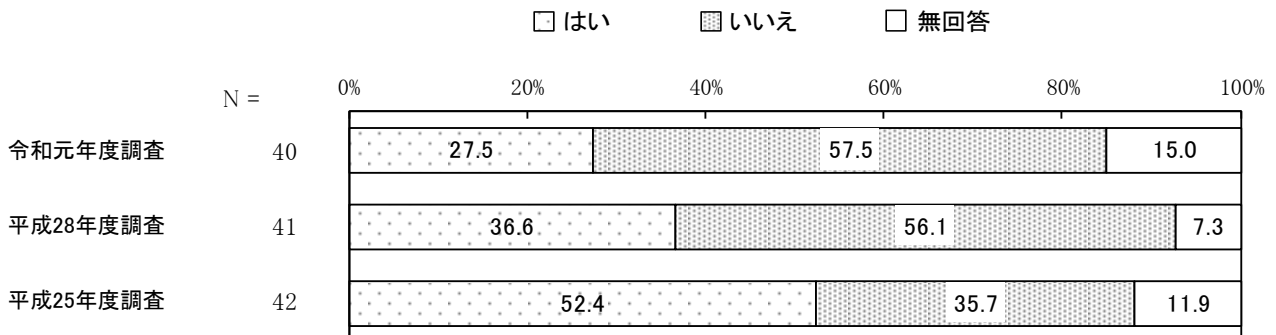


## 8. 環境共生について

問 14 環境や景観などに配慮した事業経営を行っていますか。

「いいえ」の割合が57.5%と過半数を占めています。

平成28年度調査と比べると、「はい」の割合が9.1ポイント減少しています。

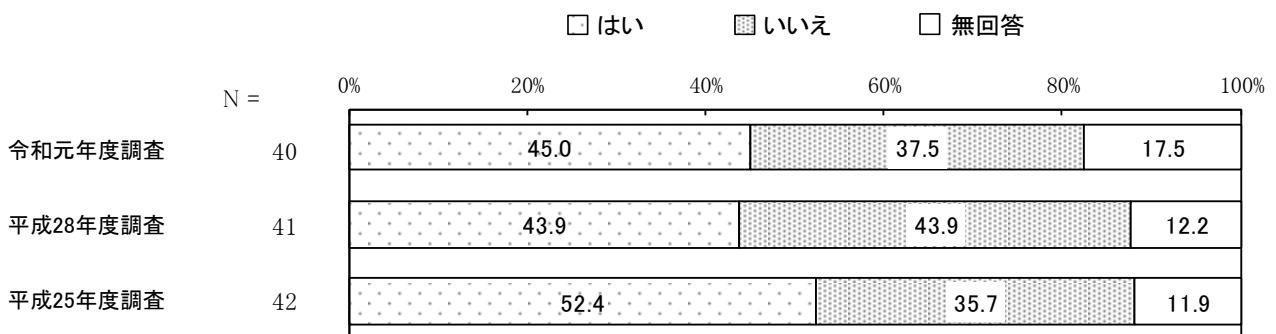


## 9. 男女共同参画について

問 15 職場での性差別をなくし、仕事と家庭生活を両立できる環境づくりに取り組んでいますか。

「はい」の割合が45.0%、「いいえ」の割合が37.5%となっています。

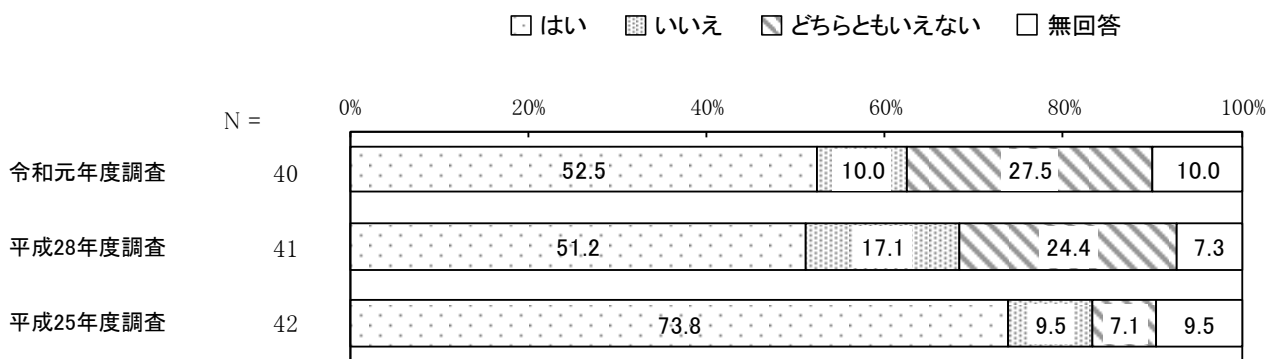
平成28年度と比べると、「いいえ」の割合が6.4ポイント減少しています。



## 10. 地域社会への貢献活動について

問 16 あなたの事業所では、地域社会へ何らかの貢献活動を行っていますか。(○はひとつ)

「はい」の割合が52.5%、「どちらともいえない」が27.5%となっています。  
平成28年度調査と比べると、「いいえ」の割合が7.1ポイント減少しています。



問 17 あなたの事業所で「現在行っている貢献活動」や「今後行っても良い貢献活動」について、あてはまるものに○をつけてください。(該当する欄に○を記入)

### 【現在行っている貢献活動】

現在行っている貢献活動については、「祭りやイベントなどへの寄付、資金の提供など」が82.5%と最も高く、次いで「祭りやイベントなどへの参加」が62.5%、「商店街活動や事業者組合などでの活動」「環境美化、環境保全活動への参加」がともに60.0%となっています。

平成28年度調査と比べると、「祭りやイベントなどへの参加」「環境美化、環境保全活動への参加」で20ポイント以上増加しています。

単位: %

項目	平成28年度 N=41	令和元年度 N=40
芸術文化活動やスポーツ活動への参加	9.8	17.5
商店街活動や事業者組合などでの活動	43.9	60.0
祭りやイベントなどへの参加	31.7	62.5
祭りやイベントなどへの寄付、資金の提供など	75.6	82.5
環境美化、環境保全活動への参加	36.6	60.0
地域まちづくり活動への参加	19.5	30.0
市民活動、ボランティア活動への参加	22.0	32.5
その他	2.4	5.0
無回答	17.1	10.0

### 【今後行っても良い貢献活動】

今後行っても良い貢献活動については、「地域まちづくり活動への参加」が 22.5%で最も高く、次いで「環境美化、環境保全活動への参加」が 20.0%となっています。

平成 28 年度調査と比べると、「祭りやイベントなどへの寄付、資金の提供など」が 11.9ポイント減少しています。

単位:%

項目	平成28年度 N=41	令和元年度 N=40
芸術文化活動やスポーツ活動への参加	14.6	17.5
商店街活動や事業者組合などでの活動	19.5	17.5
祭りやイベントなどへの参加	14.6	15.0
祭りやイベントなどへの寄付、資金の提供など	24.4	12.5
環境美化、環境保全活動への参加	12.2	20.0
地域まちづくり活動への参加	22.0	22.5
市民活動、ボランティア活動への参加	17.1	17.5
その他	0.0	0.0
無回答	51.2	60.0

問 18 あなたの事業所が行っている地域社会への貢献活動をご紹介します。また、貢献活動を行う上で、市へのご要望、ご意見等があればお書きください。

- ・ 商工会での活動（あつみ夏まつりへの参加・環境美化活動など）
  - ・ 耐震出前講座・粗税教室・建築教室
  - ・ 祭りへの花火協賛、神事への出席。イベントへの商品提供。インターンシップの受け入れ。
  - ・ 道路清掃、交通安全活動、祭りへの寄付
  - ・ 渥美地区で行われているイベントはほとんどすべて。
  - ・ 午前中（午前6時から9時頃まで）近隣の老人に店舗を開放している。
  - ・ スポンサーとして地域スポーツ活動の支援、ボランティア支援。
  - ・ 陸上教室、田原まつりへの参加と寄付、ゴミボラ活動、緑化活動への参加。
- （以上各1件）

問 19 あなたの事業所では次のような貢献活動の考え方について賛成できますか。(〇はいくつでも)

「地域社会への貢献活動は地域との関係を維持するために必要である」の割合が 75.0%と最も高く、次いで「地域社会への貢献活動は仕事につながる可能性もあるので大事にしたい」が 35.0%、「地域社会への貢献活動によって職場が活性化するので意味がある」が 32.5%となっています。

平成 28 年度調査と比べると、「地域社会への貢献活動によって職場が活性化するので意味がある」が 15.4 ポイント、「地域社会への貢献活動は地域との関係を維持するために必要である」が 11.6 ポイント増加しています。

項目	単位:%		
	平成25年度 N=42	平成28年度 N=41	令和元年度 N=40
地域社会への貢献活動は地域との関係を維持するために必要である	85.7	63.4	75.0
地域社会への貢献活動がもっと社会的に評価されるべきだ	28.6	17.1	12.5
社会的評価が向上するので、今後も地域社会への貢献活動は重要である	33.3	19.5	20.0
個々の企業にとって負担になるので、地域社会への貢献活動は勧められない	2.4	4.9	2.5
地域社会への貢献活動は仕事につながる可能性もあるので大事にしたい	23.8	31.7	35.0
地域社会への貢献活動によって職場が活性化するので意味がある	19.0	17.1	32.5
無回答	11.9	26.8	15.0

## 11. 市政に対するご意見

- ・交通網の整備・充実（商業全般・観光・雇用・教育すべてに関係するので）
- ・日本の中でも有数な、日射量の多い地域。農業にとってはその環境は有利です。その環境を活かしてさらに、農業を仕事として集って来る方々が住みやすく安心して従事できる生活環境づくりを考えてもらえたらと思います。
- ・最近では市の予算不足により、事業の縮小ばかりで、活気が失われていくような気がします。予算がないからこそ、もっと若者、市内業者、地域を巻き込んで知恵を出して新しいイベント、仕掛けづくりをしてもらいたいです。

人口減少の対策も抜本的な解決方法はなさそうですし、10年後、20年後に田原市で、事業を行えているかものすごく不安です。今の30代、40代の経営者仲間では、いつもそんな事ばかり話しています。目先の事ばかりでなく、長期的な視点で、若者に考えさせる仕組みが必要だと思います。若者が自由に意見を述べて、受け入れて、実行のあと押しをしてくれる60代、70代がいる。そんな社会の仕組みに少しでも近づくように、市役所と地域が一丸となって「みんなが幸福を実現できるまち」になるようにしてもらいたいです。自分自身も全力で渥美半島の発展に努めていきたいです。

- ・駅前再開発を核とした中心市街地活性化・温泉掘削とレイ再開発を軸とした渥美地区活性化・豊かな観光資源をベースにした赤羽根地区サーフタウン構想・東京事務所を活用したPR活動、いずれも相互関連性が強く、バランスのとれた的を射た施策と理解し、着実な前進を期待しております。この施策の成果を確かなものにするためにも渥美半島横断道路は是非とも実現していかなくてはなりません。

一方、地元で企業が少なく、働く場がなく、人口の流出、昼間人口の減少が危惧されます。サテライトオフィスが定着するなど働き方も随分変わってきました。企業の研究施設、国の研究機関などの誘致を検討いただければと思います。高等教育機関の底上げも、長期的な人口問題解決の糸口ととらえることができます。県と密接に連携協議し、普通教育改革の後押しをお願いします。

- ・国道42号沿いの公園のようなもの。メロン農家の増加。
- ・旧渥美町地区も宜しくお願いします。このままだと衰退の一途です。
- ・健康カレンダーを復活して下さい。
- ・温泉は必要ない。





## IV 市内農業者アンケート調査



# IV 市内農業者

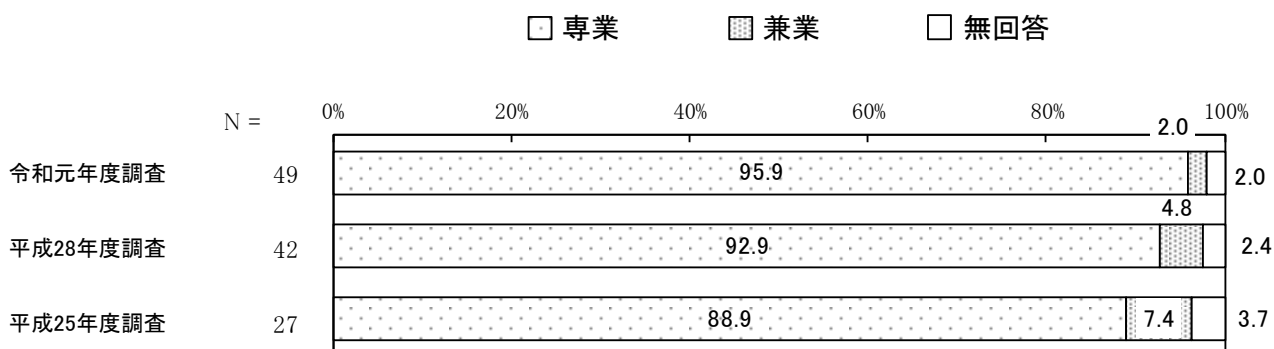
田原市の農業従事者 100 人

## 1. 回答者属性

問1 あなたの事業についてお聞きします。

### ① 専業・兼業の別

「専業」の割合が 95.9%、「兼業」の割合が 2.0%となっています。

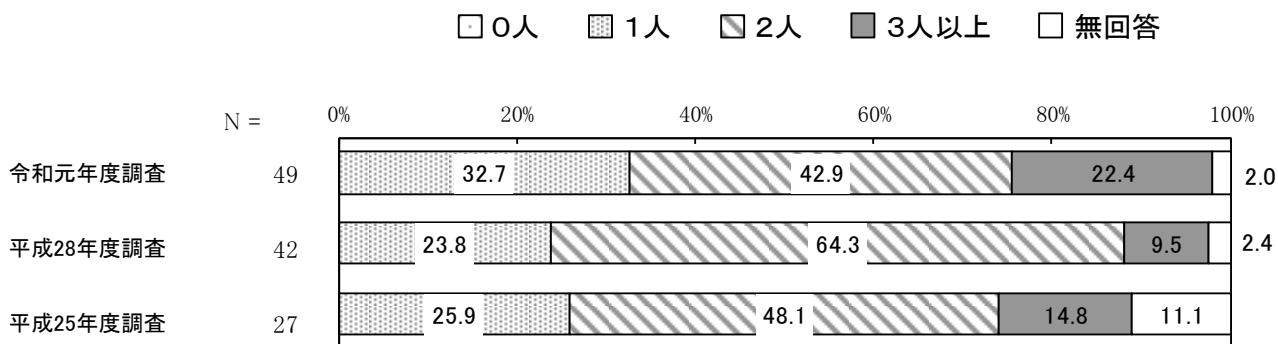


### ② 農業に従事している人数

<常時農業に従事している人>

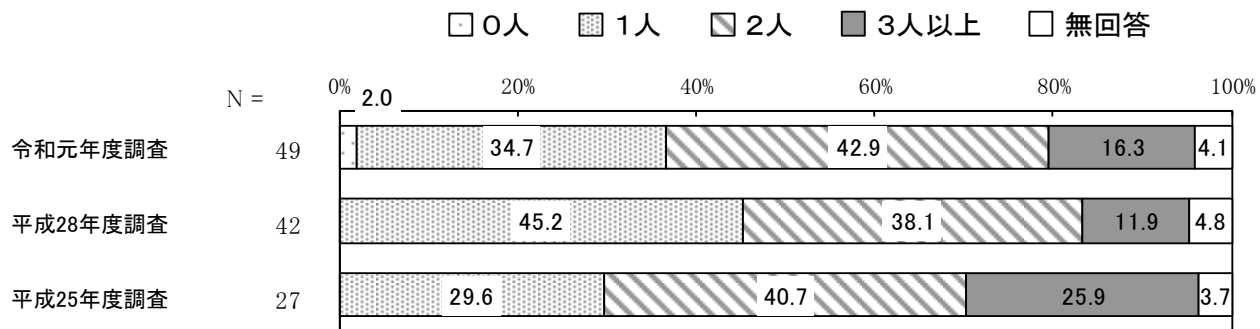
【男性】

「2人」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「1人」の割合が 32.7%となっています。



**【女性】**

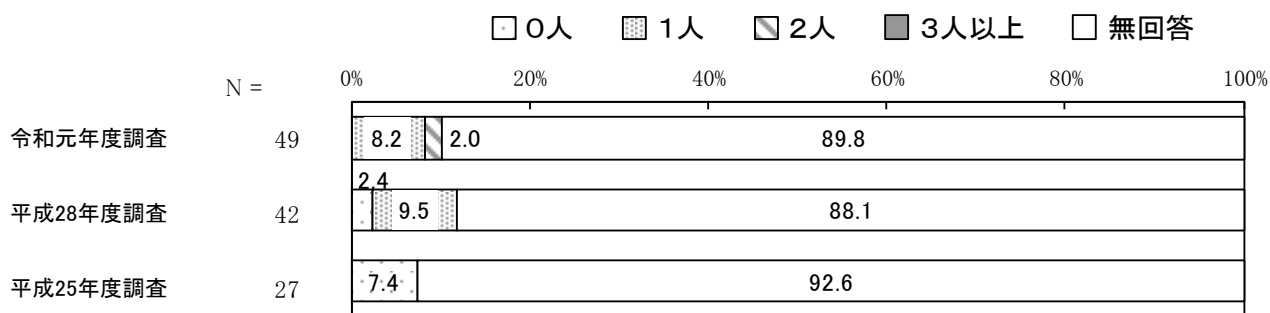
「2人」の割合が42.9%で最も高く、次いで「1人」の割合が34.7%となっています。



**<臨時に農業に従事している人>**

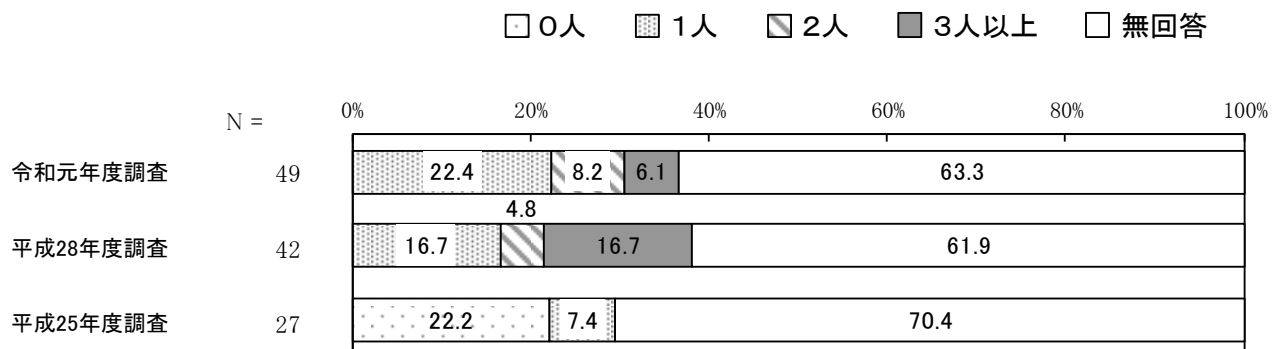
**【男性】**

「1人」の割合が8.2%、「2人」の割合が2.0%となっています。



**【女性】**

「1人」の割合が22.4%、「2人」の割合が8.2%となっています。

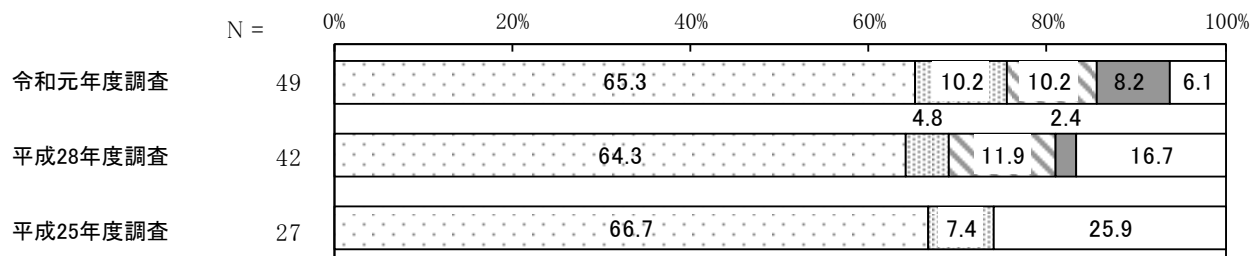


### ③ おおよその耕地面積

#### 【耕地面積】

「5ha未満」の割合が65.3%で最も高く、次いで「5～10ha未満」「10～50ha未満」がともに10.2%となっています。

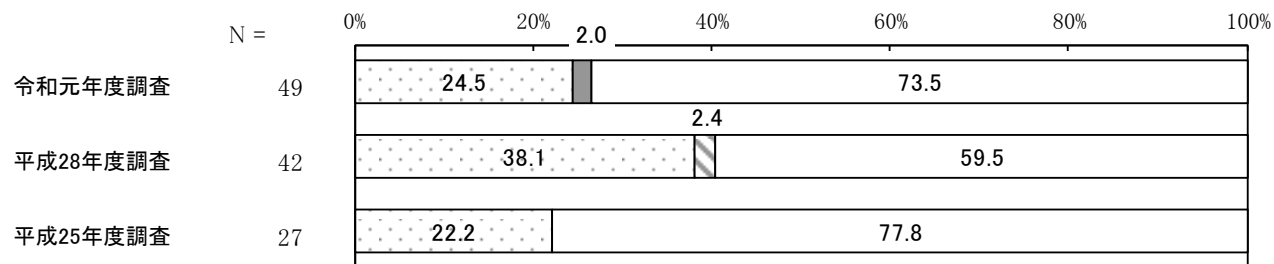
□ 5ha未満 ■ 5～10ha未満 ▨ 10～50ha未満 ■ 50ha以上 □ 無回答



#### 【不耕作地】

「5ha未満」の割合が24.5%と2割を超えています。

□ 5ha未満 ■ 5～10ha未満 ▨ 10～50ha未満 ■ 50ha以上 □ 無回答

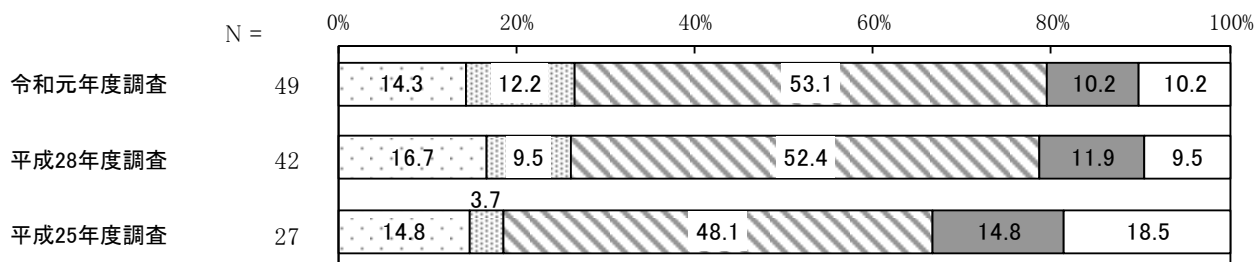
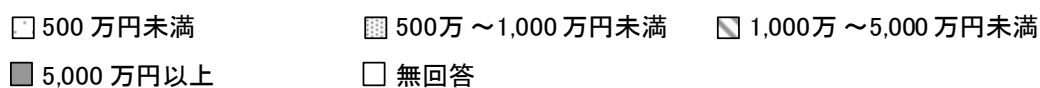


### ④ 主な農作物

No.	農作物	件数	No.	農作物	件数
1	キャベツ	23	19	草花	1
2	菊	7	20	豚	1
3	ミニトマト	7	21	イチゴ	1
4	ブロッコリー	4	22	花(トルコキキョウ)	1
5	とうもろこし	3	23	露地メロン	1
6	メロン	3	24	水田	1
7	米	3	25	野菜等	1
8	輪菊	3	26	セロリ	1
9	スプレー菊	2	27	ピンポン菊	1
10	スイートコーン	2	28	スイカ	1
11	牛乳	2	29	バレイショ	1
12	トマト	2	30	きゅうり	1
13	洋花	2	31	ハウス鉢花	1
14	百合	1	32	カブ	1
15	トマト(施設)	1	33	ネギ(青ねぎ)	1
16	洋菜	1	34	ネギ	1
17	花	1	35	ホウレン草	1
18	水稲	1		総計	85

### ⑤ おおよその農業所得

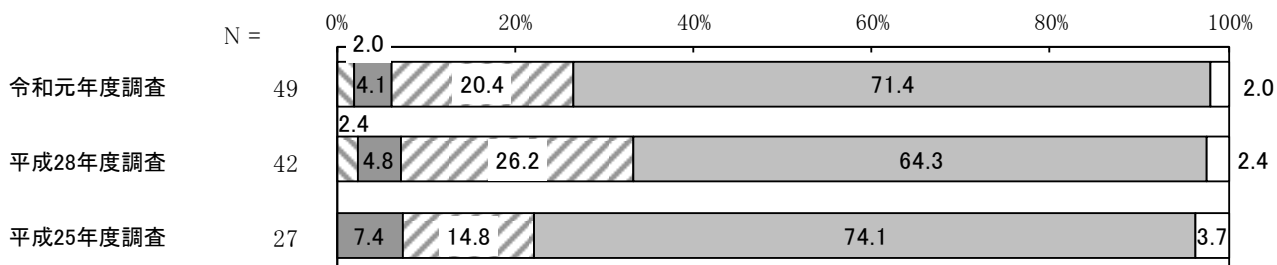
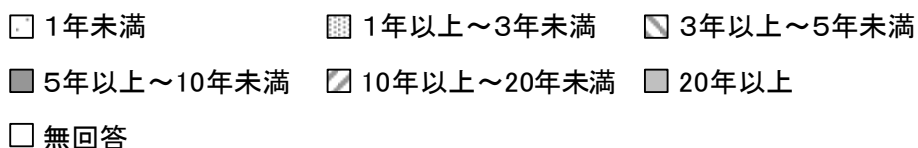
「1,000万～5,000万円未満」の割合が53.1%と最も高く、次いで「500万円未満」の割合が14.3%、「500万～1,000万円未満」の割合が12.2%となっています。



### ⑥ 田原市での就農年数

「20年以上」の割合が71.4%となっています。

平成28年度と比べると、「20年以上」の農業者が7.1ポイント増加しています。

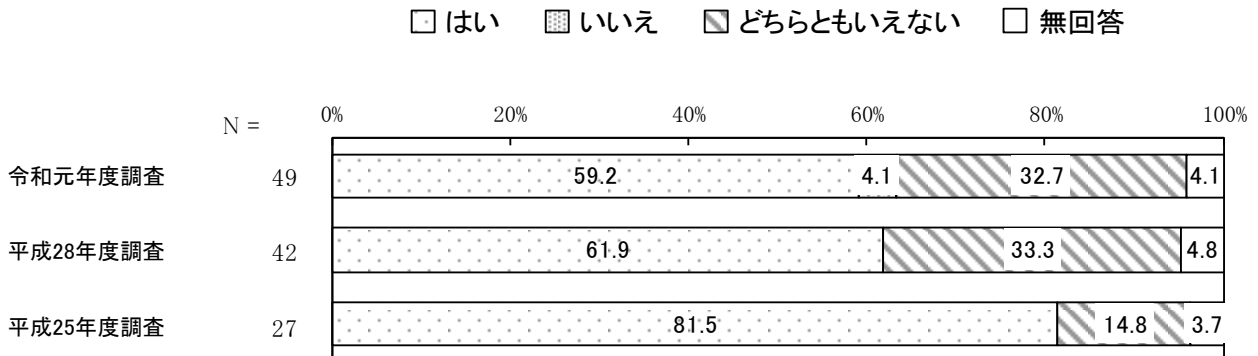


## 2. 田原市の農業全般について

### 問 2 田原市は、農業がしやすいまちだと思いますか。(〇はひとつ)

「はい」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 32.7%となっています。

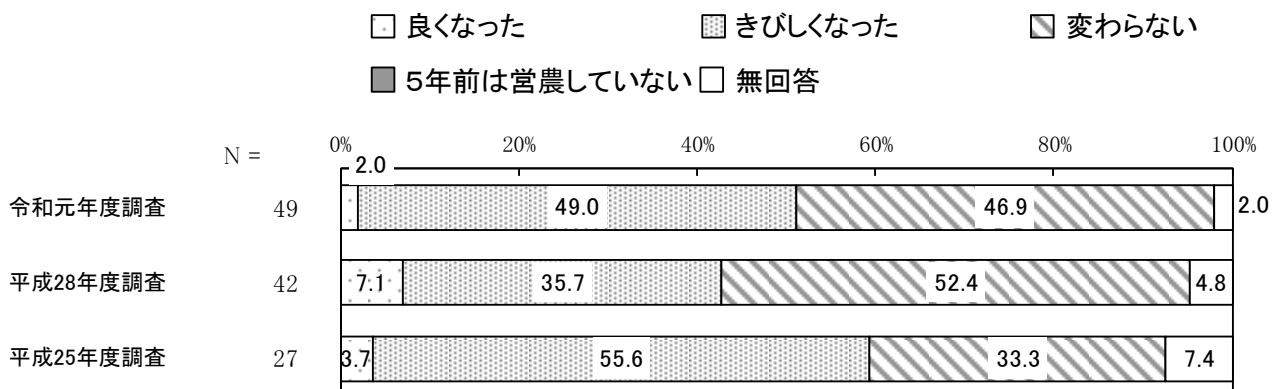
平成 28 年度調査と比べると「はい」の割合は 2.7 ポイント減少しています。



### 問 3 田原市で農業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(〇はひとつ)

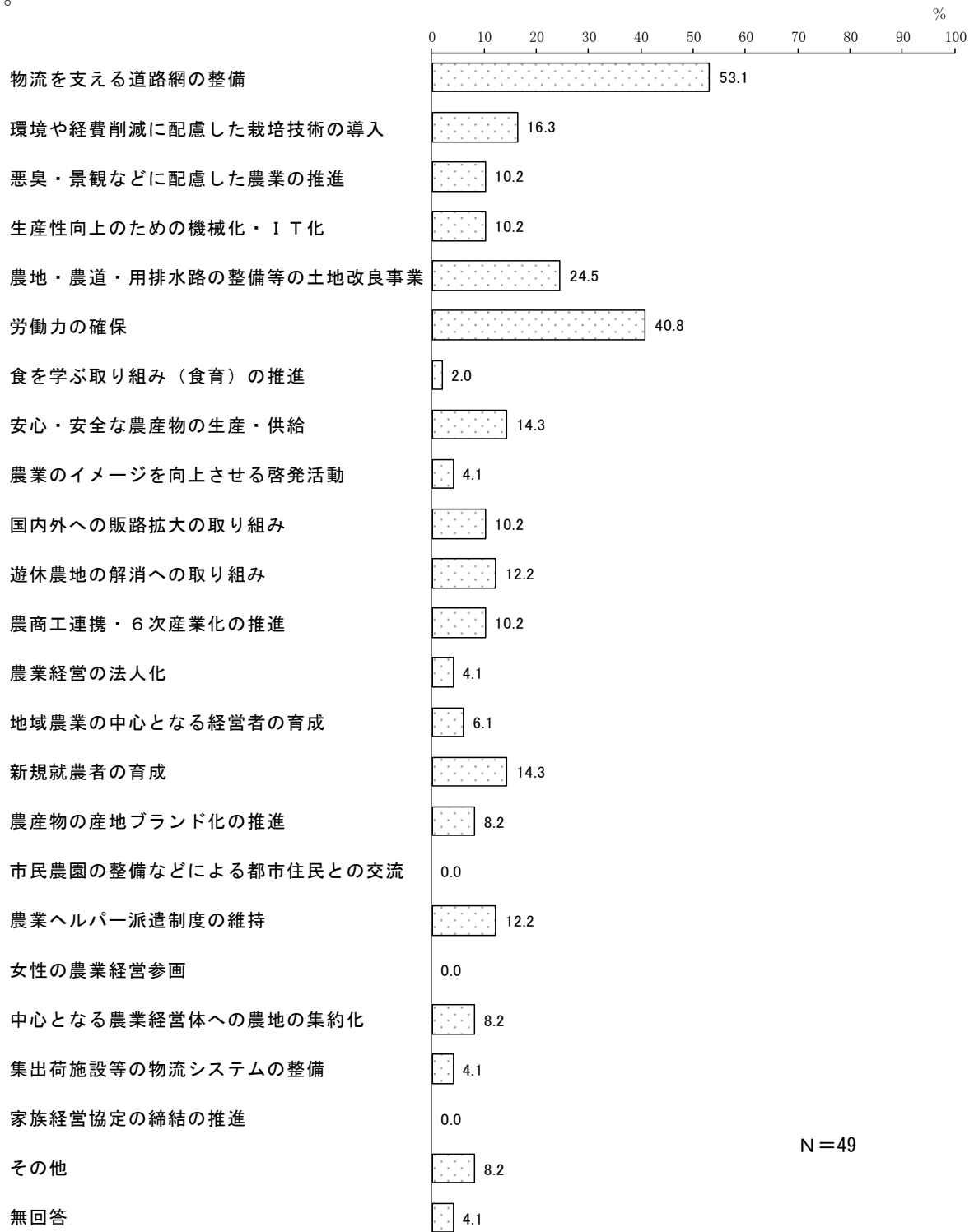
「きびしくなった」の割合が 49.0%と最も高く、次いで「変わらない」の割合が 46.9%となっています。

平成 28 年度調査と比べると、「きびしくなった」の割合が 13.3 ポイント増加しています。



問 4 あなたは、農業産出額日本一である田原市が、今後さらに農業を発展させるためには何が重要だと思いますか。(〇は3つまで)

「物流を支える道路網の整備」の割合が 53.1%と最も高く、次いで「労働力の確保」の割合が 40.8%、「農地・農道・用排水路の整備等の土地改良事業」の割合が 24.5%となっています。



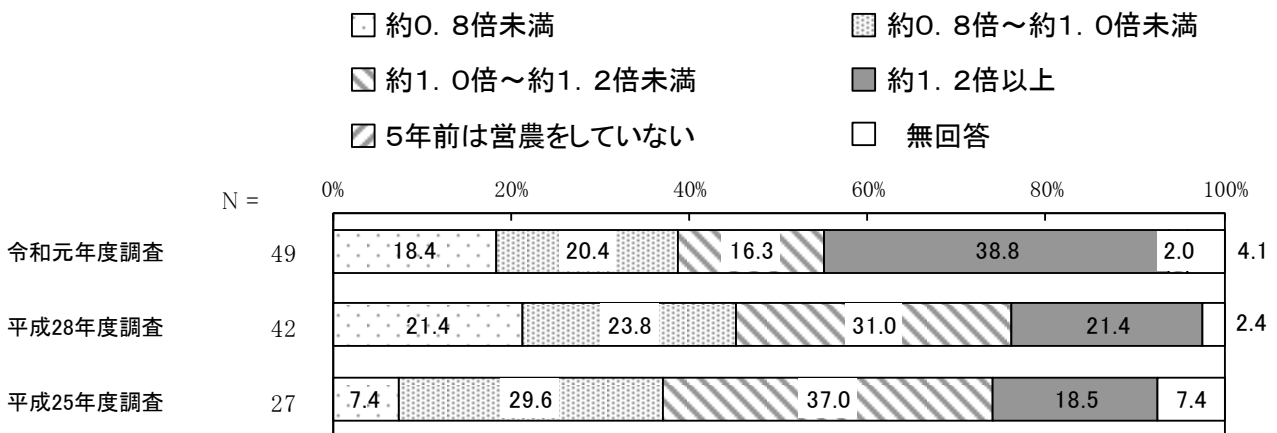


### 3. あなたの農業経営について

#### 問 5 あなたの直近の売上高は、5年前の売上高に比べ何倍程度になりましたか。(〇はひとつ)

「約 1.0 倍～約 1.2 倍未満」と「約 1.2 倍以上」を合わせた“1 倍以上”の割合が 55.1%、「約 0.8 倍未満」と「約 0.8 倍～約 1.0 倍未満」を合わせた“1 倍未満”の割合が 38.8%となっています。

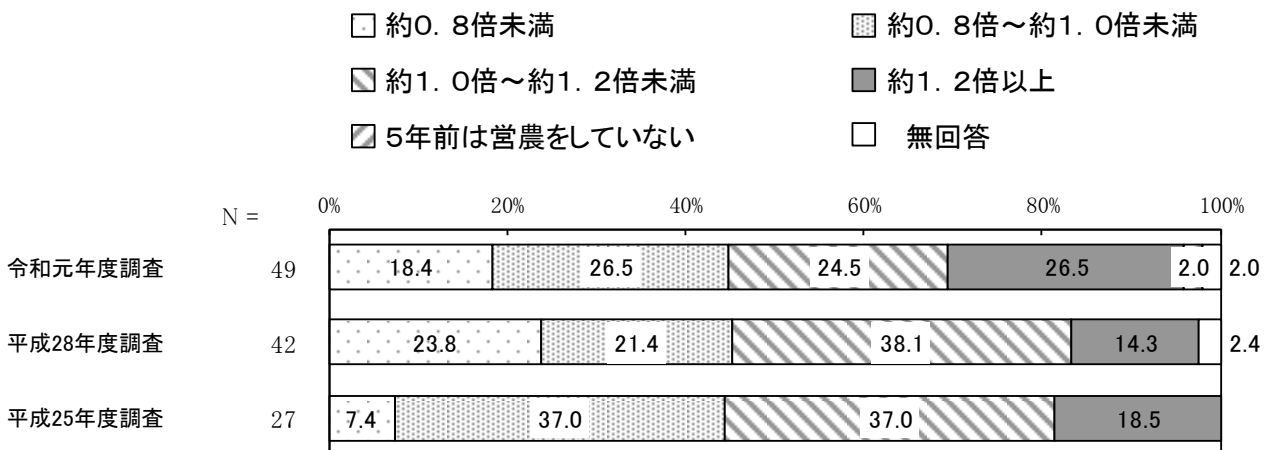
平成 28 年度調査と比べると、「約 1.2 倍以上」の割合が 17.4 ポイント増加しています。



#### 問 6 あなたの直近の所得は、5年前の所得に比べ何倍程度になりましたか。(〇はひとつ)

「約 1.0 倍～約 1.2 倍未満」と「約 1.2 倍以上」を合わせた“1 倍以上”の割合が 51.0%、「約 0.8 倍未満」と「約 0.8 倍～約 1.0 倍未満」を合わせた“1 倍未満”の割合が 44.9%となっています。

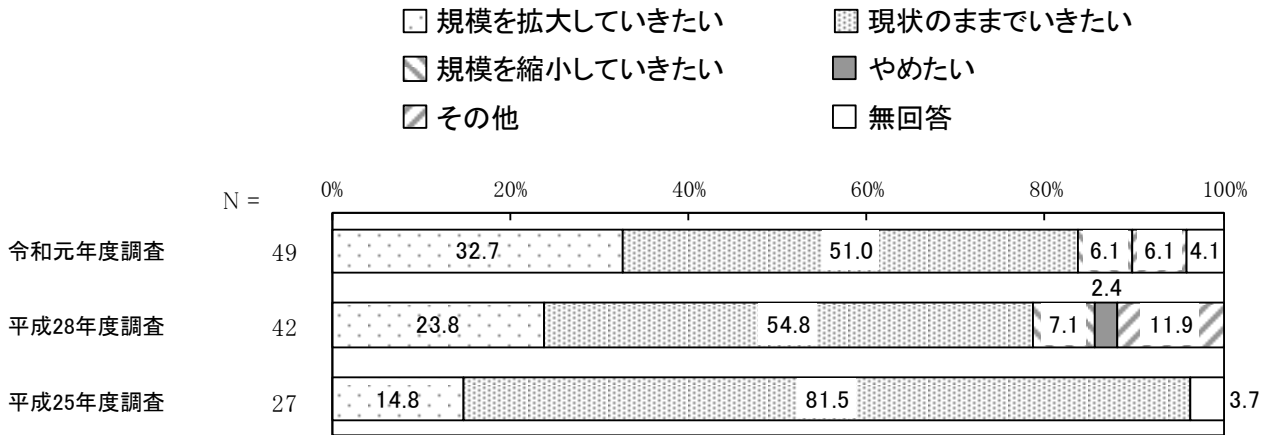
平成 28 年度調査と比べると、「約 1.2 倍以上」の割合が 12.2 ポイント増加しています。



問 7 あなたは、これから農業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。(〇はひとつ)

「現状のままでいきたい」の割合が 51.0%と最も高く、次いで「規模を拡大していきたい」の割合が 32.7%となっています。

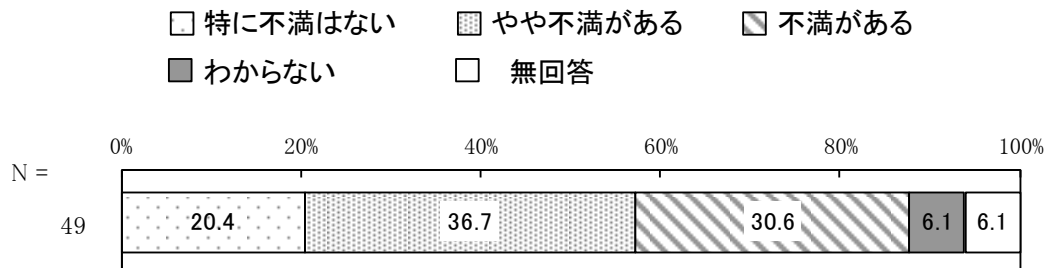
平成 28 年度調査と比べると、「規模を拡大していきたい」の割合が 8.9 ポイント増加しています。



※令和元年度調査は「やめたい」の選択肢なし

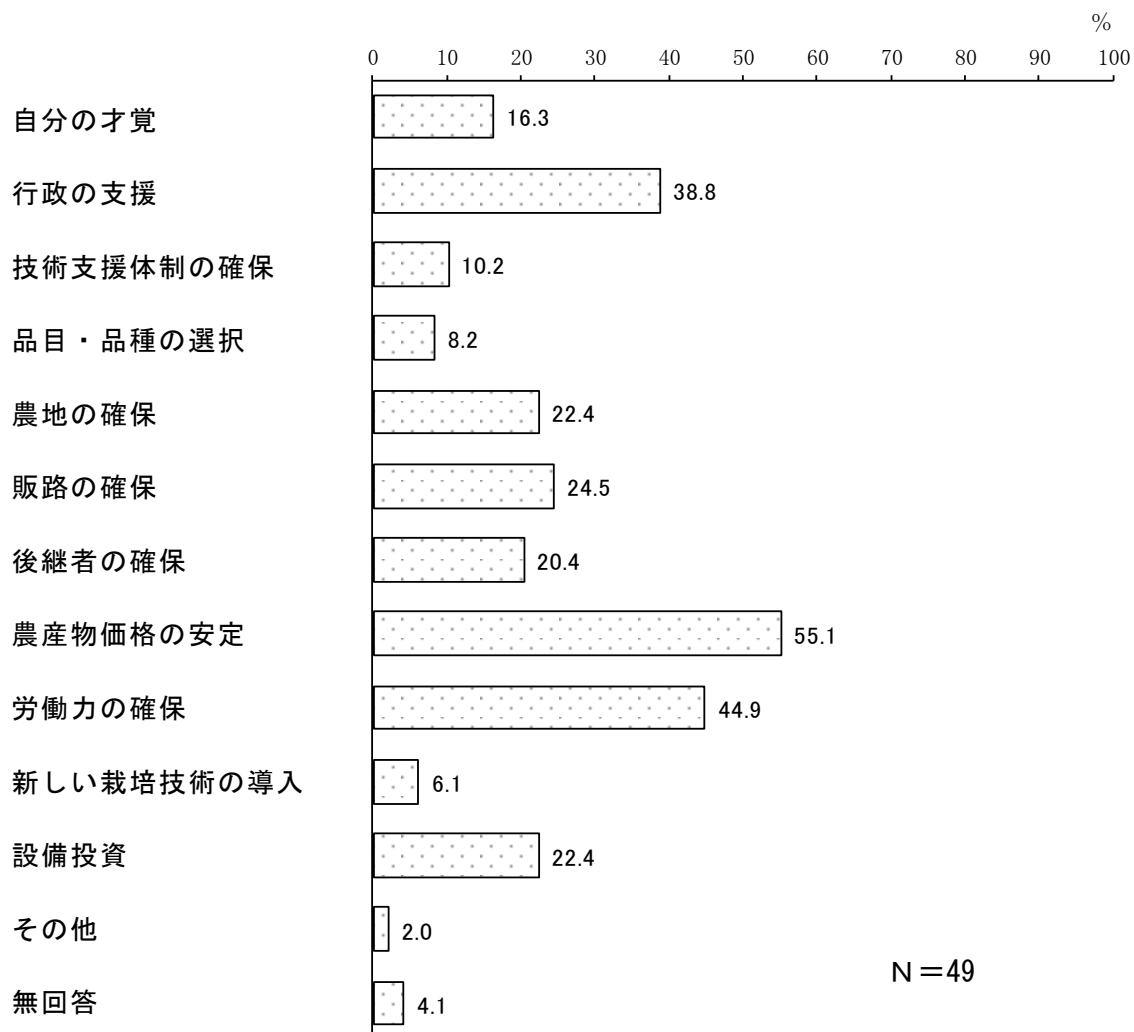
問 8 あなたは、自らの農業経営に不満がありますか。(〇はひとつ)

「やや不満がある」「不満がある」を合わせた“不満がある”の割合が 67.3%と過半数を占めています。



問 9 あなた自身の農業経営で、重要と考えられることはどれですか。(〇は3つまで)

「農産物価格の安定」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「労働力の確保」の割合が 44.9%、「行政の支援」の割合が 38.8%となっています。



## 4. 農地の保全・活用について

問 10 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。

(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

現在の評価については、「不満」「やや不満」を合わせた“不満”(以下同じ)の割合が28.6%、「やや満足」「満足」を合わせた“満足”(以下同じ)の割合が10.2%となっています。

今後の重要性については、「重要でない」「あまり重要でない」を合わせた“重要でない”(以下同じ)の割合が2.0%、「重要」「非常に重要」を合わせた“重要”(以下同じ)の割合が53.0%となっています。

### ①貸し手と借り手のマッチングによる農地の利用調整の取り組み【新規】

#### 【現在の評価】

□ 不満 □ やや不満 □ 普通 □ やや満足 □ 満足 □ 無回答

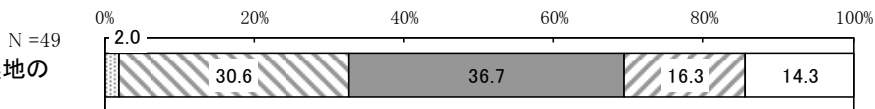
①貸し手と借り手のマッチングによる農地の利用調整の取り組み



#### 【今後の重要性】

□ 重要でない □ あまり重要でない □ 普通 □ 重要 □ 非常に重要 □ 無回答

①貸し手と借り手のマッチングによる農地の利用調整の取り組み



## 5. 農業基盤の整備について

問 11 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。

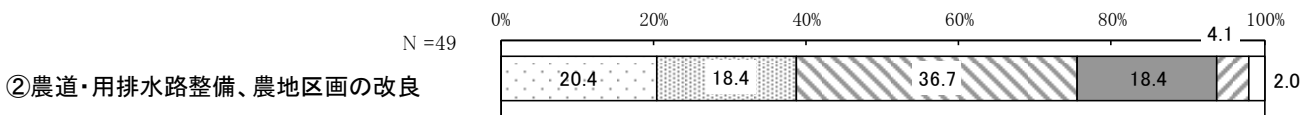
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

現在の評価については、“不満”の割合が 38.8%、“満足”の割合が 22.5%となっています。  
 今後の重要性については、“重要でない”の割合が 0.0%、“重要”の割合が 73.5%となっています。

### ②農道・用排水路整備・農地区画の改良

#### 【現在の評価】

□ 不満 □ やや不満 □ 普通 □ やや満足 □ 満足 □ 無回答

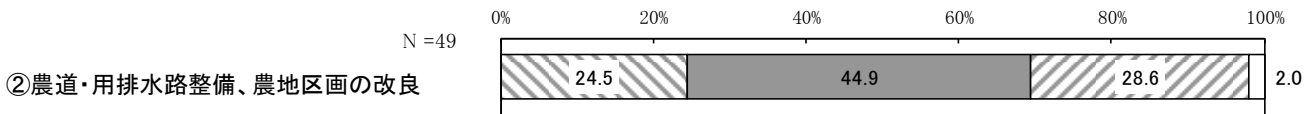


#### 【経年比較—現在の評価】

項目	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
②農道・用排水路整備、農地区画の改良	R1	49	20.4	18.4	36.7	18.4	4.1	2.0
	H28	42	23.8	23.8	33.3	11.9	4.8	2.4
	H25	27	7.4	11.1	37.0	25.9	14.8	3.7

#### 【今後の重要性】

□ 重要でない □ あまり重要でない □ 普通 □ 重要 □ 非常に重要 □ 無回答



#### 【経年比較—今後の重要性】

項目	調査年度	N	評価					
			重要でない	あまり重要でない	普通	重要	非常に重要	無回答
②農道・用排水路整備、農地区画の改良	R1	49	0.0	0.0	24.5	44.9	28.6	2.0
	H28	42	0.0	2.4	19.0	47.6	26.2	4.8
	H25	27	0.0	0.0	44.4	37.0	14.8	3.7

## 6. 交流・食育の推進について

問 12 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。

(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

現在の評価については、「③芦ヶ池農業公園（サンテパルク）の市民農園業務による都市住民との交流」、「④食育の取り組み」で、“満足”の割合がそれぞれ12.2%、8.2%、“不満”の割合がともに20.4%となっています。

今後の重要性については、「③芦ヶ池農業公園（サンテパルク）の市民農園業務による都市住民との交流」、「④食育の取り組み」で、“重要”の割合がそれぞれ42.9%、49.0%となっています。

### 【現在の評価】

□ 不満 □ やや不満 □ 普通 □ やや満足 □ 満足 □ 無回答

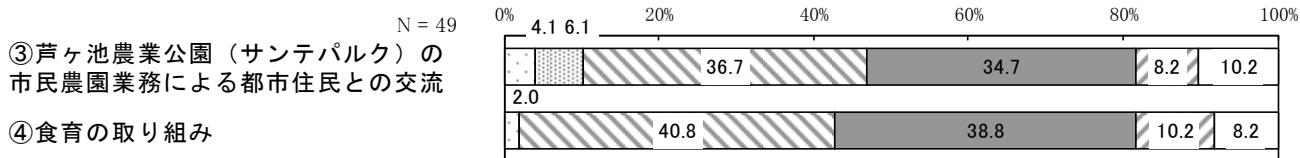


### 【経年比較—現在の評価】

項目	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
③芦ヶ池農業公園（サンテパルク）の市民農園業務による都市住民との交流	R1	49	8.2	12.2	59.2	12.2	0.0	8.2
	H28	42	7.1	11.9	73.8	0.0	0.0	7.1
	H25	27	3.7	7.4	74.1	14.8	0.0	0.0
④食育の取り組み	R1	49	6.1	14.3	65.3	8.2	0.0	6.1
	H28	42	4.8	7.1	71.4	7.1	2.4	7.1
	H25	27	3.7	11.1	77.8	7.4	0.0	0.0

### 【今後の重要性】

□ 重要でない □ あまり重要でない □ 普通 □ 重要 □ 非常に重要 □ 無回答



### 【経年比較—今後の重要性】

項目	調査年度	N	評価					
			重要ではない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	無回答
③芦ヶ池農業公園（サンテパルク）の市民農園業務による都市住民との交流	R1	49	4.1	6.1	36.7	34.7	8.2	10.2
	H28	42	4.8	11.9	50.0	21.4	4.8	7.1
	H25	27	3.7	3.7	70.4	22.2	0.0	0.0
④食育の取り組み	R1	49	2.0	0.0	40.8	38.8	10.2	8.2
	H28	42	0.0	2.4	42.9	31.0	14.3	9.5
	H25	27	3.7	3.7	55.6	33.3	3.7	0.0

## 7. 農業経営について

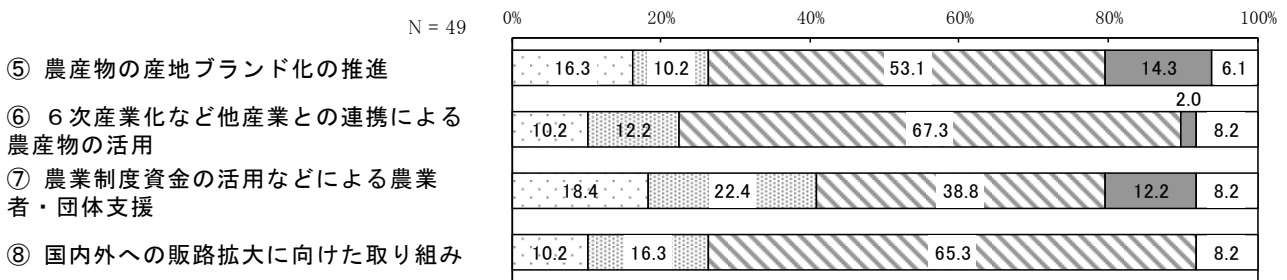
問 13 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。  
 (各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

現在の評価については、「⑦農業制度資金の活用などによる農業者・団体支援」で、“不満”の割合が40.8%と最も高くなっています。

今後の重要性については、「⑤農産物の産地ブランド化の推進」で、“重要”の割合が81.7%と最も高くなっています。

### 【現在の評価】

□ 不満 □ やや不満 □ 普通 □ やや満足 □ 満足 □ 無回答

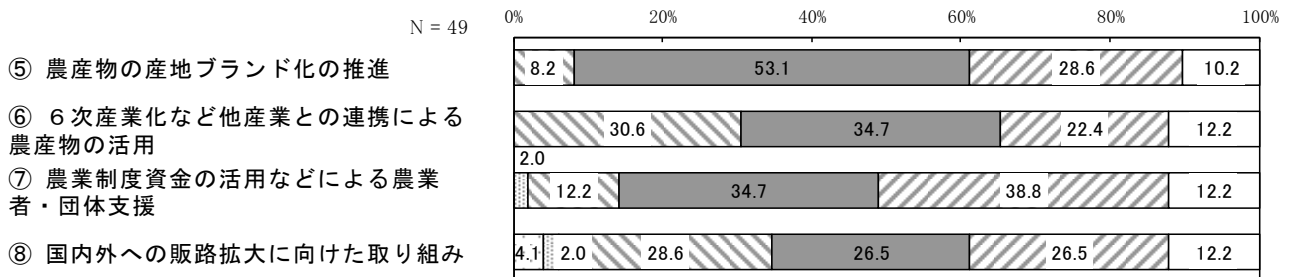


### 【経年比較—現在の評価】

項目	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
⑤農産物の産地ブランド化の推進	R1	49	16.3	10.2	53.1	14.3	0.0	6.1
	H28	42	4.8	23.8	61.9	2.4	0.0	7.1
	H25	27	3.7	11.1	63.0	18.5	0.0	3.7
⑧国内外への販路拡大に向けた取り組み	R1	49	10.2	16.3	65.3	0.0	0.0	8.2
	H28	42	9.5	23.8	54.8	4.8	0.0	7.1
	H25	27	11.1	29.6	48.1	0.0	3.7	7.4

### 【今後の重要性】

□ 重要でない □ あまり重要でない □ 普通 □ 重要 □ 非常に重要 □ 無回答



### 【経年比較—今後の重要性】

項目	調査年度	N	評価					
			重要でない	あまり重要でない	普通	重要	非常に重要	無回答
⑤農産物の産地ブランド化の推進	R1	49	0.0	0.0	8.2	53.1	28.6	10.2
	H28	42	0.0	0.0	16.7	42.9	28.6	11.9
	H25	27	3.7	0.0	22.2	37.0	33.3	3.7
⑧国内外への販路拡大に向けた取り組み	R1	49	4.1	2.0	28.6	26.5	26.5	12.2
	H28	42	0.0	2.4	19.0	31.0	35.7	11.9
	H25	27	3.7	0.0	22.2	48.1	22.2	3.7

## 8. 担い手づくりの推進について

問 14 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。

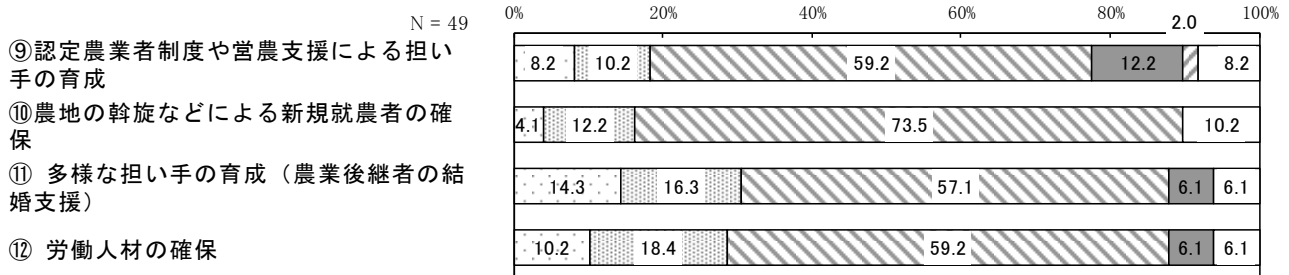
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

現在の評価については、「⑪多様な担い手の育成（農業後継者の結婚支援）」で、“不満”の割合が30.6%と最も高くなっています。

今後の重要性については、「⑫労働人材の確保」で、“重要”の割合が79.6%と最も高くなっています。

### 【現在の評価】

□ 不満 □ やや不満 □ 普通 □ やや満足 □ 満足 □ 無回答

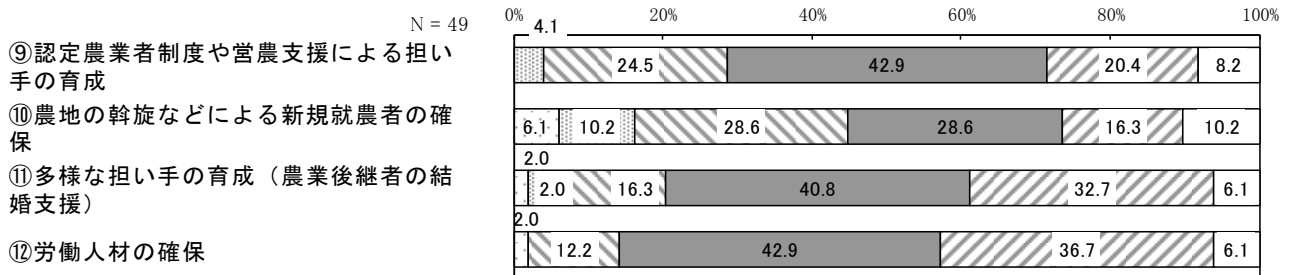


### 【経年比較—現在の評価】

項目	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
⑨認定農業者制度や営農支援による担い手の育成	R1	49	8.2	10.2	59.2	12.2	2.0	8.2
	H28	42	9.5	16.7	57.1	9.5	2.4	4.8
	H25	27	0.0	11.1	74.1	11.1	0.0	3.7
⑩農地の幹旋などによる新規就農者の確保	R1	49	4.1	12.2	73.5	0.0	0.0	10.2
	H28	42	4.8	11.9	69.0	4.8	2.4	7.1
	H25	27	0.0	7.4	77.8	11.1	0.0	3.7

### 【今後の重要性】

□ 重要でない □ あまり重要でない □ 普通 □ 重要 □ 非常に重要 □ 無回答



### 【経年比較—今後の重要性】

項目	調査年度	N	評価					
			重要でない	あまり重要でない	普通	重要	非常に重要	無回答
⑨認定農業者制度や営農支援による担い手の育成	R1	49	0.0	4.1	24.5	42.9	20.4	8.2
	H28	42	2.4	4.8	28.6	33.3	21.4	9.5
	H25	27	0.0	3.7	37.0	48.1	7.4	3.7
⑩農地の幹旋などによる新規就農者の確保	R1	49	6.1	10.2	28.6	28.6	16.3	10.2
	H28	42	2.4	2.4	38.1	35.7	9.5	11.9
	H25	27	0.0	3.7	44.4	40.7	7.4	3.7



## 9. 環境保全型農業の推進について

問 15 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。

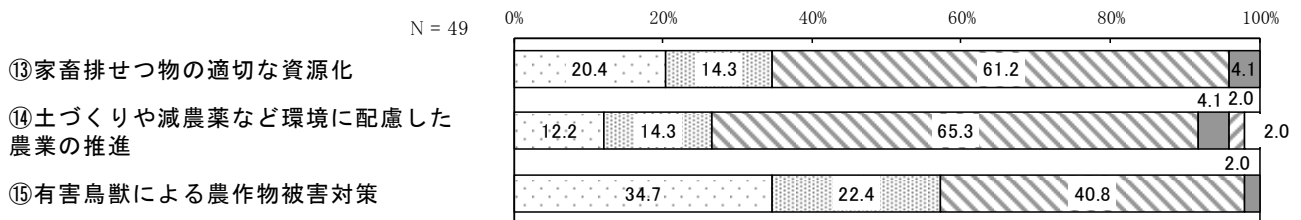
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

現在の評価については、「⑮有害鳥獣による農作物被害対策」で、“不満”の割合が57.1%と最も高くなっています。

今後の重要性についても、「⑮有害鳥獣による農作物被害対策」で、“重要”の割合が83.7%と最も高くなっています。

### 【現在の評価】

□ 不満 □ やや不満 □ 普通 □ やや満足 □ 満足 □ 無回答

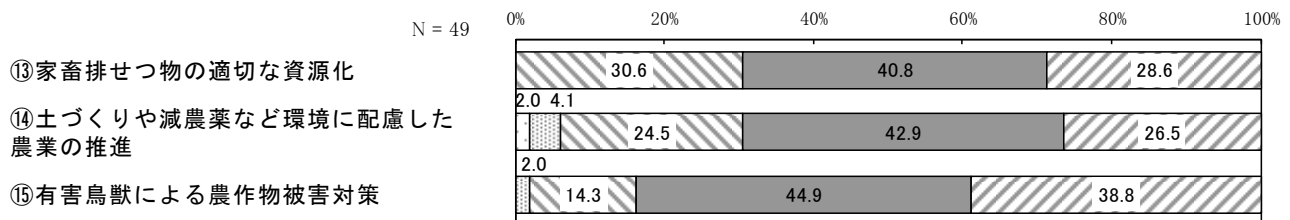


### 【経年比較—現在の評価】

項目	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
⑭土づくりや減農薬など環境に配慮した農業の推進	R1	49	12.2	14.3	65.3	4.1	2.0	2.0
	H28	42	14.3	16.7	59.5	2.4	0.0	7.1
	H25	27	18.5	3.7	66.7	3.7	0.0	7.4

### 【今後の重要性】

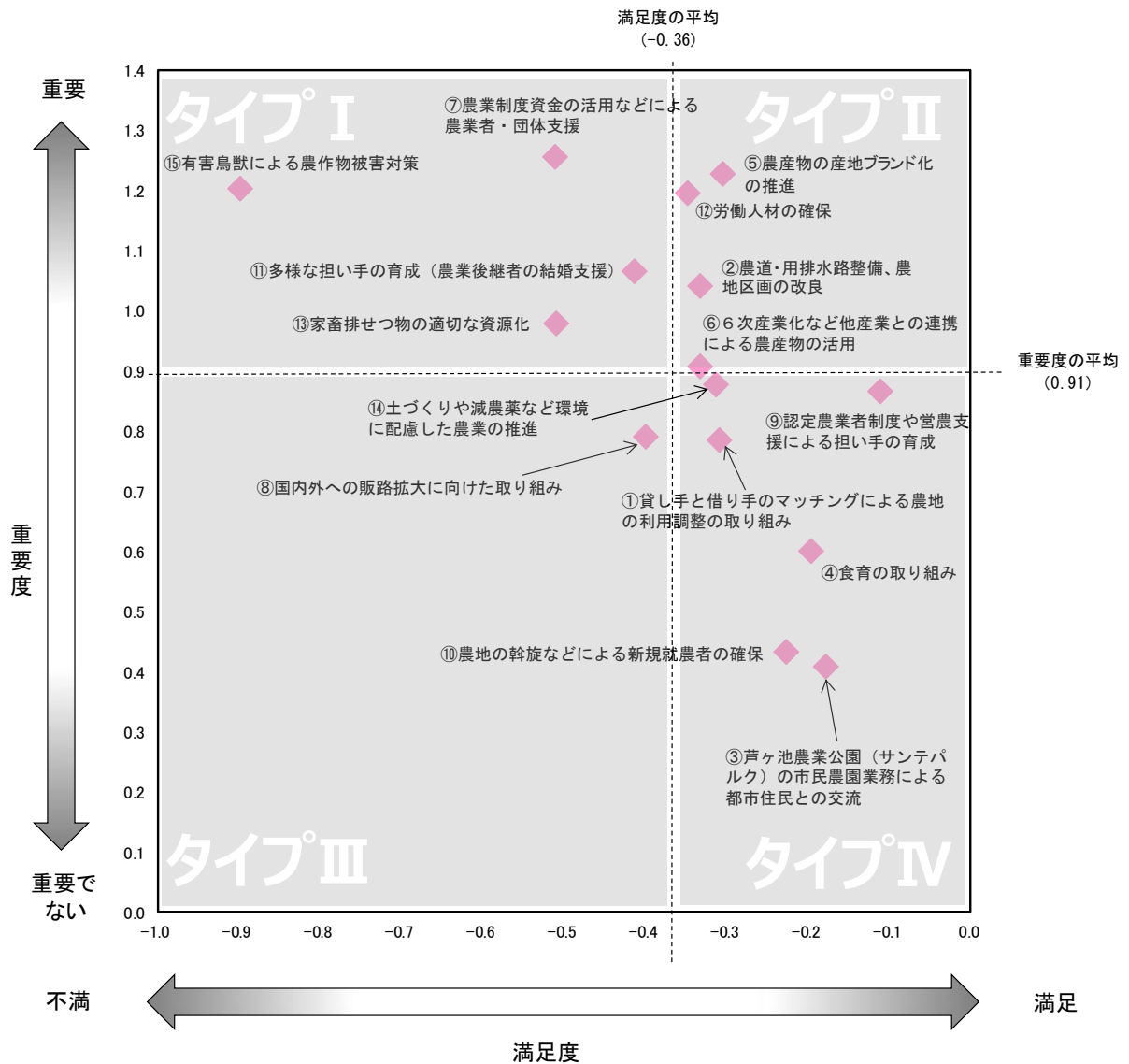
□ 重要でない □ あまり重要でない □ 普通 □ 重要 □ 非常に重要 □ 無回答



### 【経年比較—今後の重要性】

項目	調査年度	N	評価					
			重要でない	あまり重要でない	普通	重要	非常に重要	無回答
⑭土づくりや減農薬など環境に配慮した農業の推進	R1	49	2.0	4.1	24.5	42.9	26.5	0.0
	H28	42	0.0	0.0	33.3	31.0	28.6	7.1
	H25	27	0.0	3.7	22.2	51.9	22.2	0.0

ポートフォリオ分析による市の取り組みの評価については、『⑦農業制度資金の活用などによる農業者・団体支援』『⑪多様な担い手の育成（農業後継者の結婚支援）』『⑬家畜排せつ物の適切な資源化』『⑮有害鳥獣による農作物被害対策』が、重要度が高いと同時に満足度が低く、改善が求められます。



項目	満足度	重要度
①貸し手と借り手のマッチングによる農地の利用調整の取り組み	-0.31	0.79
②農道・用排水路整備、農地区画の改良	-0.33	1.04
③芦ヶ池農業公園(サンテパルク)の市民農園業務による都市住民との交流	-0.18	0.41
④食育の取り組み	-0.20	0.60
⑤農産物の産地ブランド化の推進	-0.30	1.23
⑥6次産業化など他産業との連携による農産物の活用	-0.33	0.91
⑦農業制度資金の活用などによる農業者・団体支援	-0.51	1.26
⑧国内外への販路拡大に向けた取り組み	-0.40	0.79
⑨認定農業者制度や営農支援による担い手の育成	-0.11	0.87
⑩農地の斡旋などによる新規就農者の確保	-0.23	0.43
⑪多様な担い手の育成(農業後継者の結婚支援)	-0.41	1.07
⑫労働人材の確保	-0.35	1.20
⑬家畜排せつ物の適切な資源化	-0.51	0.98
⑭土づくりや減農薬など環境に配慮した農業の推進	-0.31	0.88
⑮有害鳥獣による農作物被害対策	-0.90	1.20

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

- ⑦農業制度資金の活用などによる農業者・団体支援
- ⑪多様な担い手の育成(農業後継者の結婚支援)
- ⑬家畜排せつ物の適切な資源化
- ⑮有害鳥獣による農作物被害対策

## 10. 市政に対するご意見

- ・農業補助事業などは大規模農家では利用しやすいが、小規模農業等には手がだせない。
- ・販路拡大、拡充を図るために道路の整備をする。関西圏への流通を図る。償却資産税の軽減をする。税金の負担が大きすぎる。
- ・農道、用排水路の整備が大変遅れています。
- ・食品加工業者の誘致が必要。
- ・農業経営は大変厳しい状況にある。「子ども達を後継者に」と考えられない、考えていない人が多い。”農業産出額日本一”と市役所は田原市の目玉としているが、浮かれている状況ではない。田原市の農業は危機的である。法人化等の対策が必要。
- ・観光とうまく共存することを考えてほしい。観光と農業を分けた考えは良くないのでは。
- ・農業制度資金の充実、道路問題
- ・人口減少社会の中で物余りと労働力不足。国際競争力の低下。需給の不均衡の訂正。国外への販路の拡大。
- ・魅力のある農業、後継者が将来不安にならないよう災害時には助け合うよう補助事業の創設など、小規模農家でも使えるような仕組みをお願いします。
- ・パワーアップ事業などの補助事業でも、いつもキク農業ばかり(大規模組織)が優遇され、果菜類は優遇されない。ITなどの機械化を進め出荷量を増加しても、農作物の価格は減少にある。また、労働力を確保しても、経費が掛かり、収入が増えない。これでは、後継ぎが居ても、農業を継がせられない。
- ・輸送の為の道路の拡張(2車線)などアクセスをよくしてほしい。
- ・低所得者に対し補助金をもらいやすい体制を整えてもらいたい。もっと低所得者に対する扱いを優遇させてくれないと、規模を拡大したくても全然できない。
- ・現在就農している人が今後も農業をやって行こうと思えるような場所であって欲しい。
- ・まだのびしろのある品目等に補助金や栽培指導を行ってほしい。
- ・最近では菊の需要が減ってきており、20年後、30年後も菊の栽培で、生活できるか心配です。葬儀花、仏だん花以外のイメージやPRが必要だと思います。
- ・循環性農業をもっとしっかりした形で推進して欲しい。畜産は盛んなのに良質な完熟堆肥が作られず、畑が糞尿の捨て場になっている。野積も多く見られ、環境的には最悪。JAのエコセンターの堆肥はコストが掛り、露地では価格が高くて使えない。畜産業者にしっかりとした指導と補助をして欲しい。
- ・田んぼや畑の区画設備を早くやるべきである。現在はトラクターなど大型し、面積の小さい農地や形の悪い農地では意味がない。遊休農地が増えるだけである。
- ・他産地では手厚い補助事業や重油対策、支援体制など積極的に取り組んでいるところも多くあります。もう少し農家の声に耳を傾けて頂けたらと思います。
- ・畜産排せつ物の散布後が非常に臭い。
- ・労働力の確保とあっせんを。
- ・渥美半島縦貫道路の実現。
- ・若い農家の長男が、現在サラリーマンとして働いている家庭がほとんど、という現実の中、将来に希望が持てるような安定した所得の確保等、行政の支援をお願いします。

- ・農業への補助金を増やしてほしい。



## V 市内漁業者アンケート調査





# V 市内漁業者

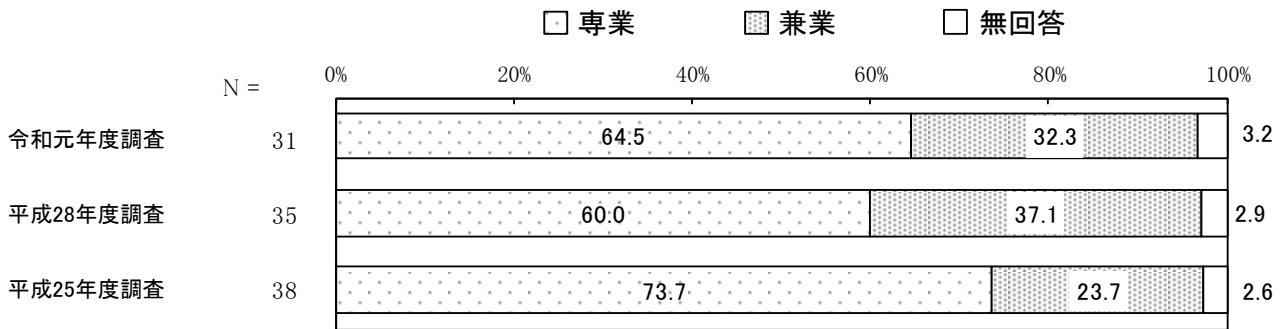
田原市の漁業従事者 100 人

## 1. 回答者属性

問1 あなたの事業についてお聞きします。

### ① 専業・兼業の別

「専業」の割合が 64.5%、「兼業」の割合が 32.3%となっています。

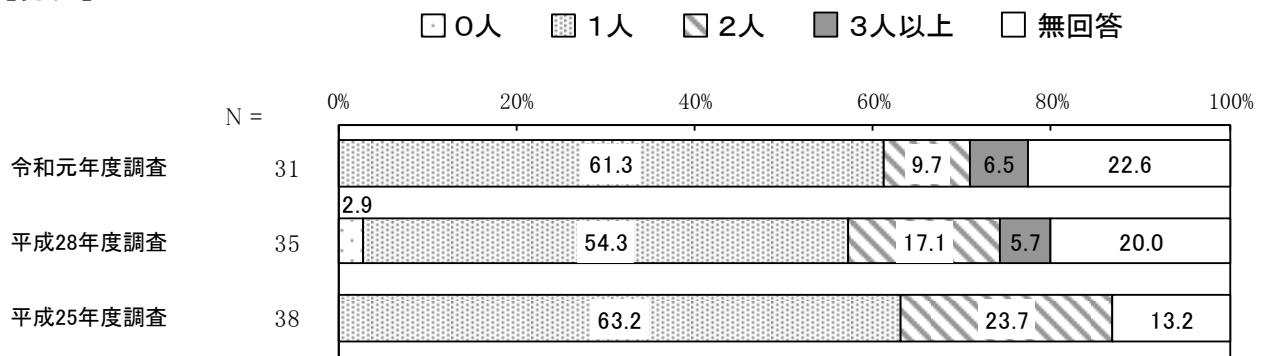


### ② 漁業に従事している人数

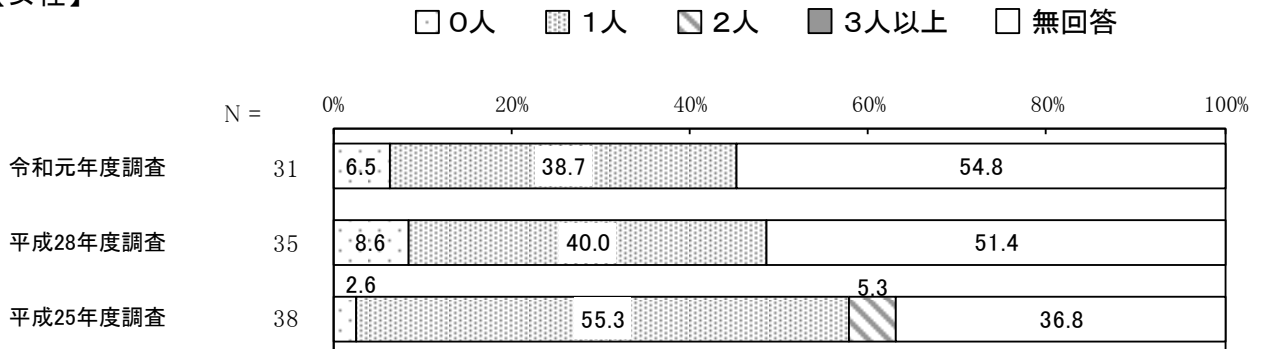
<常時漁業に従事している人>

男性では「1人」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「2人」の割合が 9.7%となっています。女性では「1人」の割合が 38.7%と最も高くなっています。

#### 【男性】



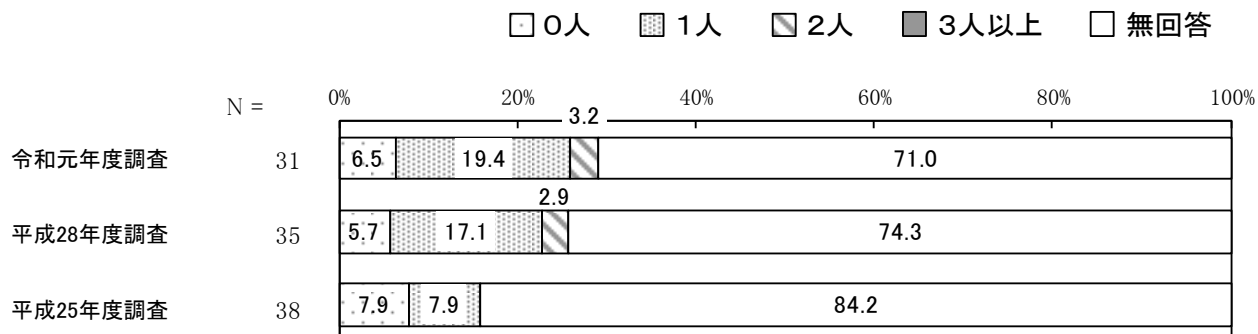
#### 【女性】



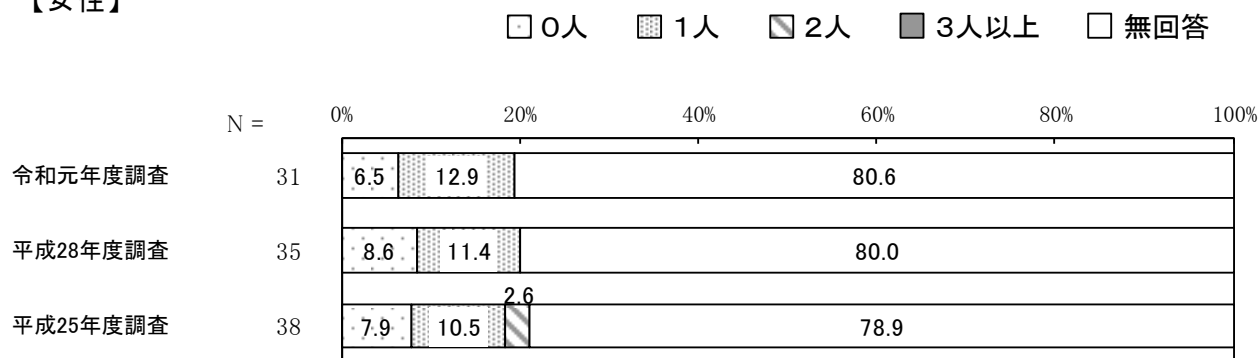
<臨時に漁業に従事している人>

男性では「1人」の割合が19.4%、女性では「1人」の割合が12.9%と最も高くなっています。

【男性】



【女性】

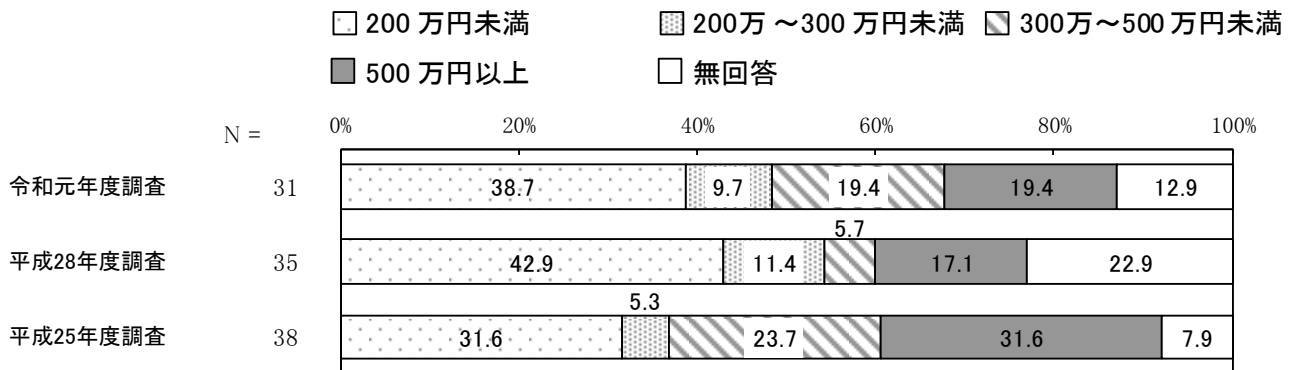


③ 主な漁獲物

No.	漁獲物	件数	No.	漁獲物	件数
1	アサリ	20	10	サワラその他	1
2	貝類	4	11	スズキ	1
3	しらす	2	12	ナガミ	1
4	アオサノリ	1	13	のり養殖	1
5	アサリの観光養殖(白谷)	1	14	海そう	1
6	イカ	1	15	黒ノリ	1
7	イセエビ	1	16	雑魚	1
8	カニ	1	17	青のり	1
9	かんば	1	18	大アサリ	1
				総計	41

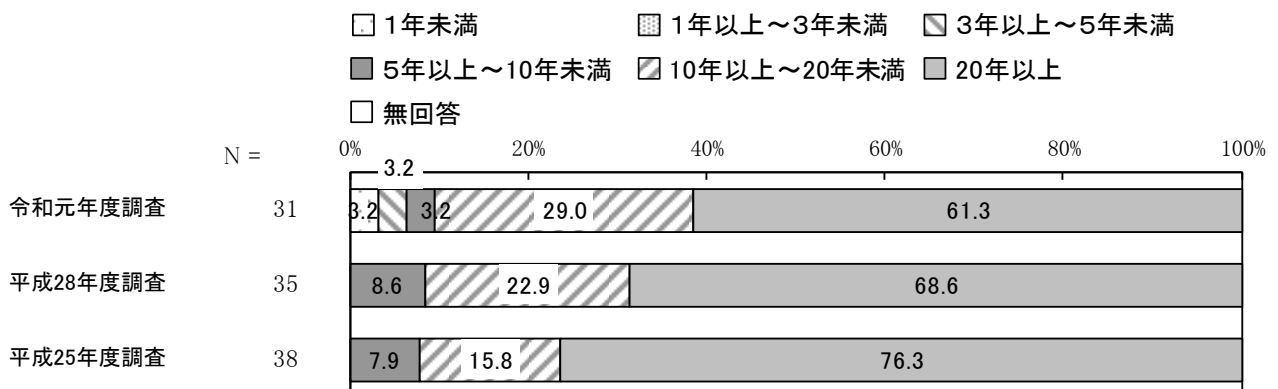
#### ④ おおよその漁業所得

「200万円未満」の割合が38.7%と最も高く、次いで「300万～500万円未満」「500万円以上」の割合がともに19.4%となっています。



#### ⑤ 田原市での就漁年数

「20年以上」の割合が61.3%と最も高く、次いで「10年以上～20年未満」の割合が29.0%となっています。

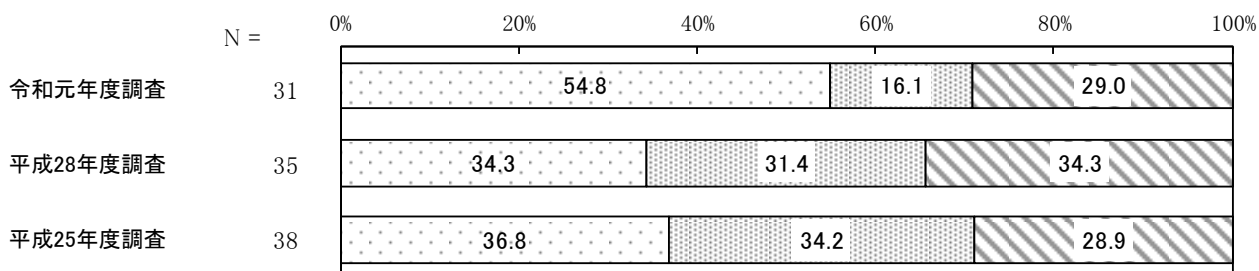


## 2. 田原市の漁業全般について

問 2 田原市は、漁業がしやすいまちだと思いますか。(〇はひとつ)

「はい」の割合が 54.8%と最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 29.0%となっています。

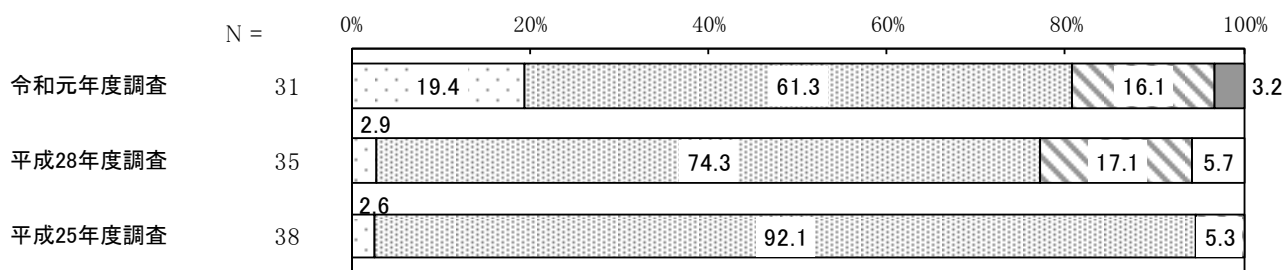
□ はい    ▨ いいえ    ▩ どちらともいえない    □ 無回答



問 3 田原市で漁業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(〇はひとつ)

「きびしくなった」の割合が 61.3%と最も高く、次いで「良くなった」の割合が 19.4%となっています。

□ 良くなった    ▨ きびしくなった  
 ▩ 変わらない    ■ 5年前は漁業をしていない  
 □ 無回答

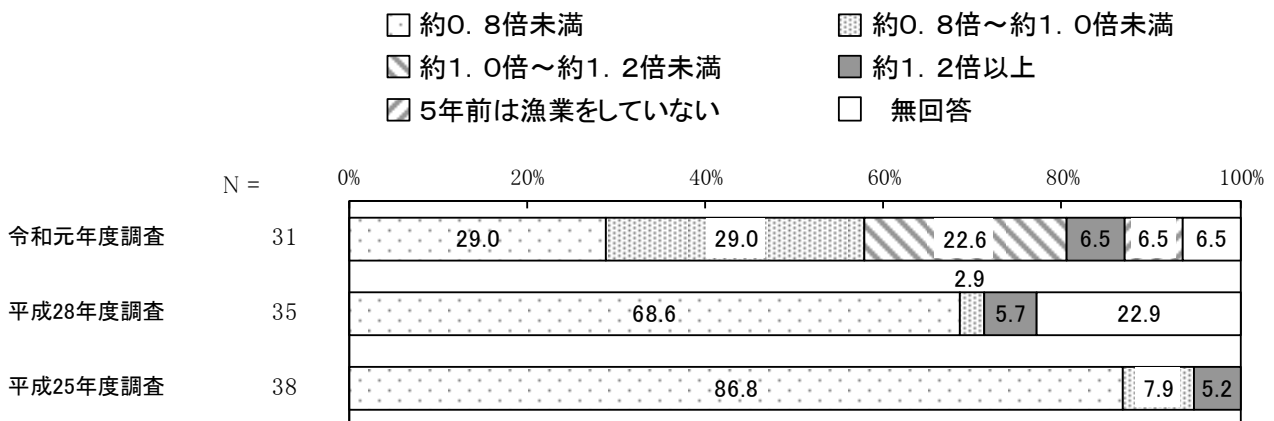


### 3. あなたの漁業経営について

#### 問 4 あなたの直近の売上高は、5年前の売上高に比べ何倍程度になりましたか。(〇はひとつ)

「約 0.8 倍未満」「約 0.8 倍～約 1.0 倍未満」を合わせた“1 倍未満”の割合は 58.0%、「約 1.0 倍～約 1.2 倍未満」「約 1.2 倍以上」を合わせた“1 倍以上”の割合は 29.1%となっています。

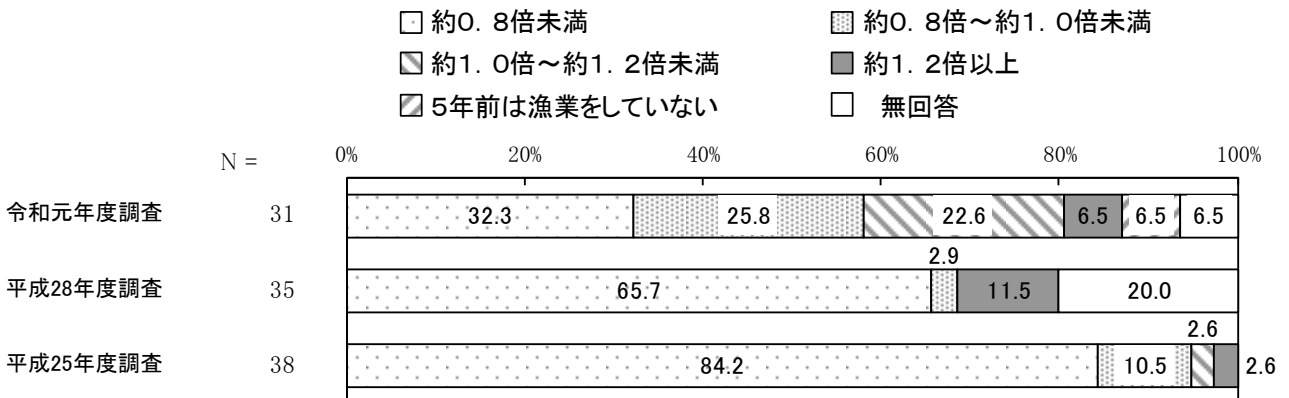
平成 28 年度調査に比べると、“1 倍未満”の割合が 13.5 ポイント減少しています。また、“1 倍以上”の割合は 23.4 ポイント増加しています。



#### 問 5 あなたの直近の経常利益(所得)は、5年前の経常利益(所得)に比べ何倍程度になりましたか。(〇はひとつ)

「約 0.8 倍未満」「約 0.8 倍～約 1.0 倍未満」を合わせた“1 倍未満”の割合は 58.1%、「約 1.0 倍～約 1.2 倍未満」「約 1.2 倍以上」を合わせた“1 倍以上”の割合は 29.1%となっています。

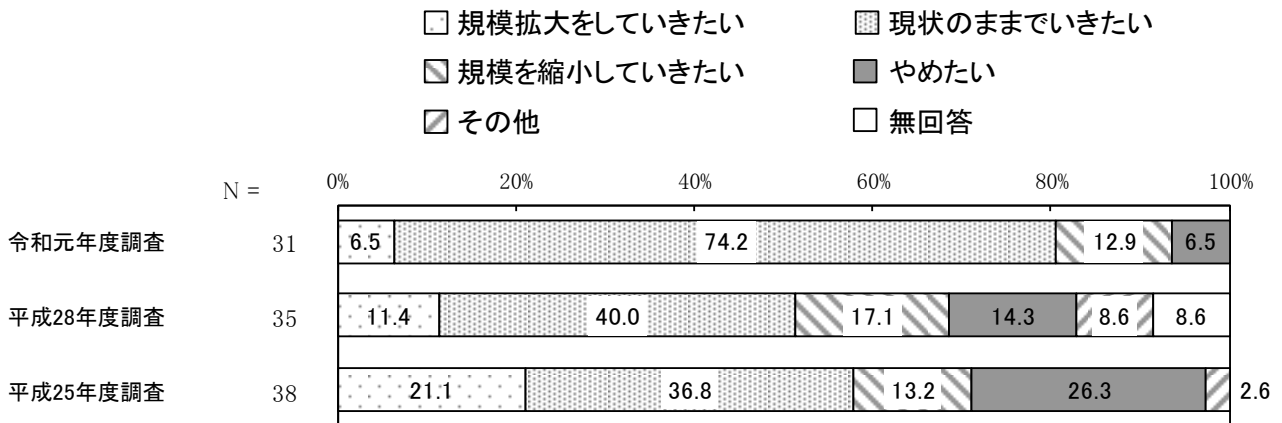
平成 28 年度調査に比べると、“1 倍未満”の割合が 10.5 ポイント減少しています。また、“1 倍以上”の割合は 17.6 ポイント増加しています。



問 6 あなたは、これから漁業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。(〇はひとつ)

「現状のままでいきたい」の割合が 74.2%と最も高く、次いで「規模を縮小していきたい」の割合が 12.9%となっています。

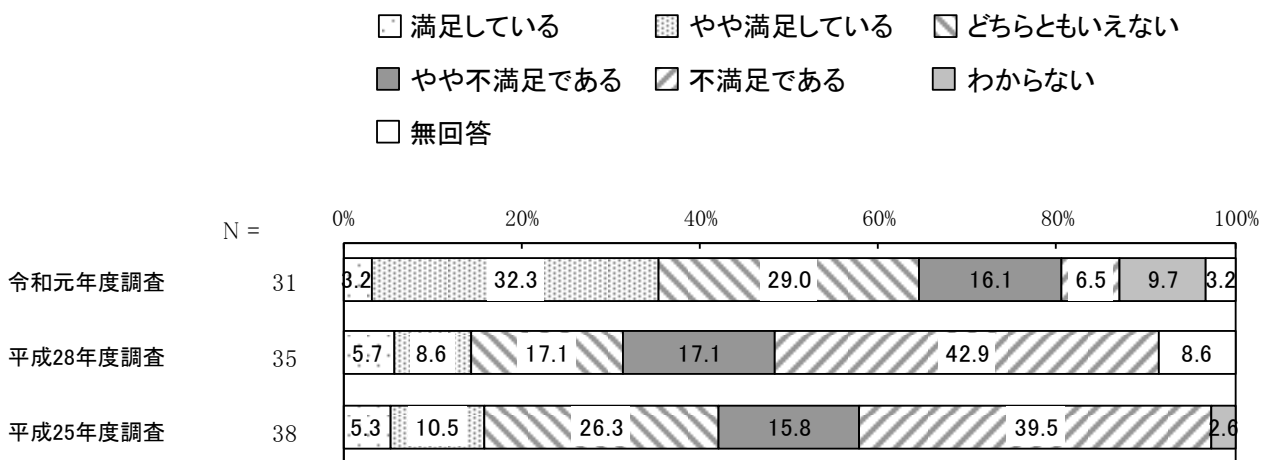
平成 28 年度調査と比べると、「現状のままでいきたい」の割合は 34.2 ポイント増加しています。



問 7 あなたは、自らの漁業経営に満足していますか。(〇はひとつ)

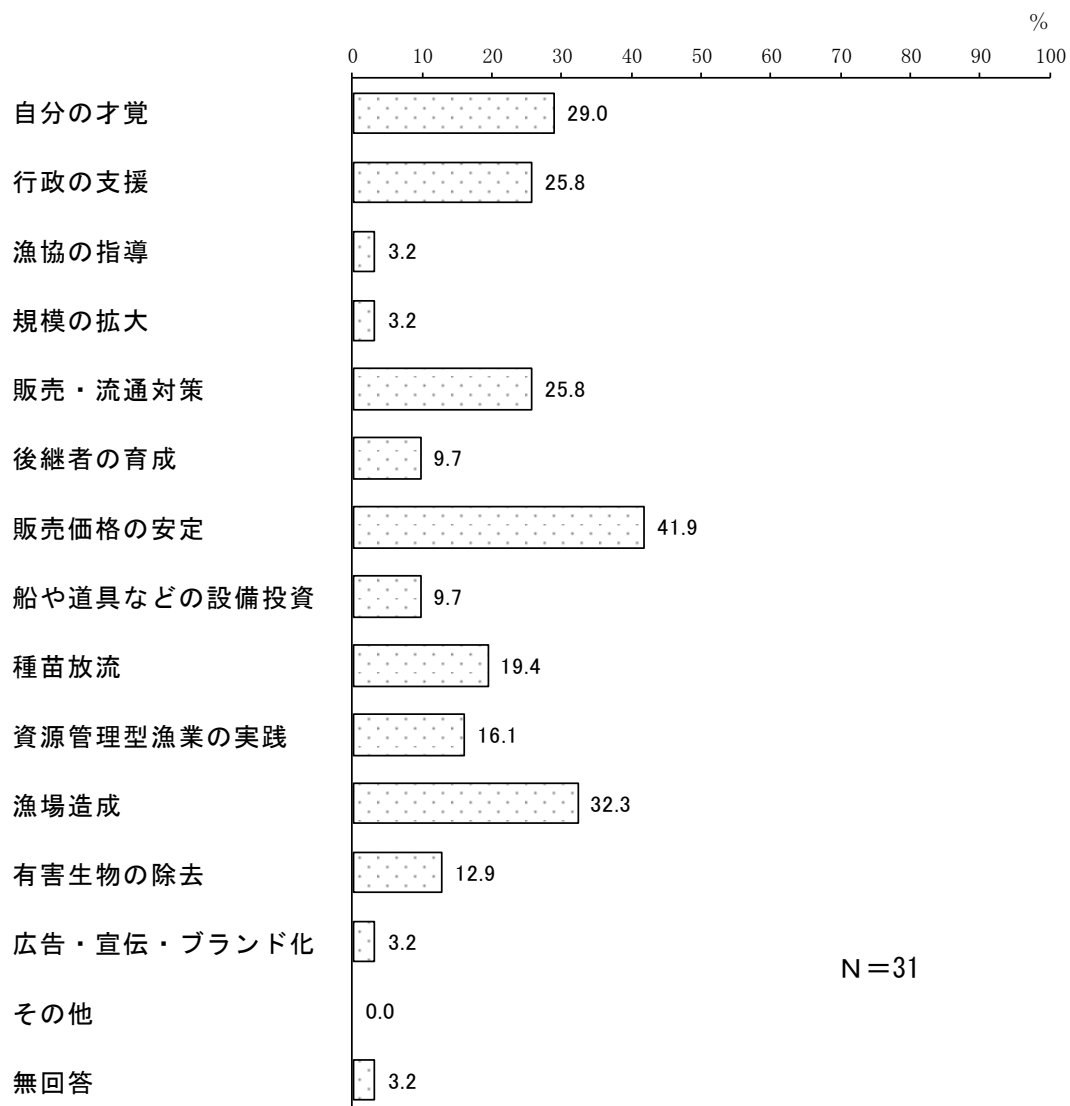
「満足している」と「やや満足している」を合わせた“満足している”の割合は 35.5%、「やや不満足である」「不満足である」を合わせた“不満足である”の割合は 22.6%となっています。

平成 28 年度調査と比べると、“満足している”の割合は 21.2 ポイント増加し、“不満足である”の割合は 37.4 ポイント減少しています。



問 8 あなた自身の漁業経営で、重要と考えられることはどれですか。(○は3つまで)

「販売価格の安定」の割合が 41.9%と最も高く、次いで「漁場造成」が 32.3%となっています。



## 4. 水産資源の確保について

問 9 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。

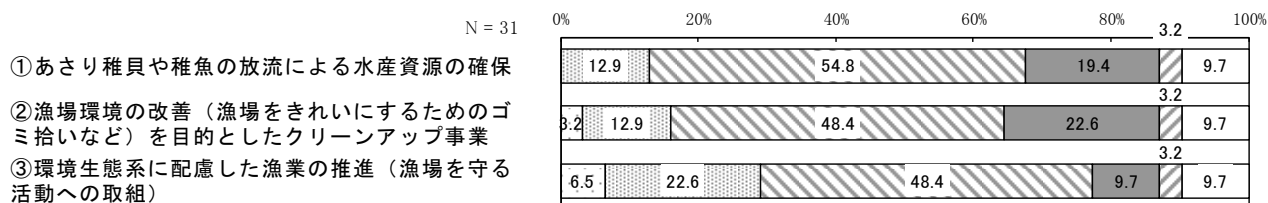
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

現在の評価については、「③環境生態系に配慮した漁業の推進(漁場を守る活動への取組)」で、「不満」「やや不満」を合わせた“不満”の割合が29.1%と最も高くなっています。

今後の重要性についても、「③環境生態系に配慮した漁業の推進(漁場を守る活動への取組)」で、「重要」「非常に重要」を合わせた“重要”の割合が67.8%と最も高くなっています。

### 【現在の評価】

□ 不満 □ やや不満 □ 普通 □ やや満足 □ 満足 □ 無回答



### 【経年変化—現在の評価】

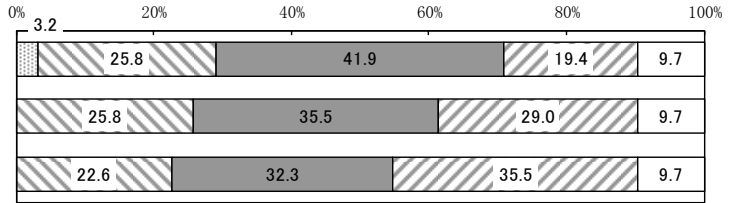
施策	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
①あさり稚貝や稚魚の放流による水産資源の確保	R1	31	0.0	12.9	54.8	19.4	3.2	9.7
	H28	35	20.0	25.7	28.6	2.9	5.7	17.1
	H25	38	31.6	28.9	21.1	10.5	5.3	2.6
②漁場環境の改善(漁場をきれいにするためのゴミ拾いなど)を目的としたクリーンアップ事業	R1	31	3.2	12.9	48.4	22.6	3.2	9.7
	H28	35	17.1	11.4	42.9	8.6	0.0	20.0
	H25	38	31.6	15.8	39.5	0.0	0.0	13.2
③環境生態系に配慮した漁場の推進(漁場を守る活動への取組)	R1	31	6.5	22.6	48.4	9.7	3.2	9.7
	H28	35	20.0	14.3	42.9	5.7	0.0	17.1
	H25	38	23.7	10.5	52.6	0.0	0.0	13.2



【今後の重要性】

□ 重要でない □ あまり重要でない □ 普通 □ 重要 □ 非常に重要 □ 無回答

- N = 31
- ①あさり稚貝や稚魚の放流による水産資源の確保
  - ②漁場環境の改善（漁場をきれいにするためのゴミ拾いなど）を目的としたクリーンアップ事業
  - ③環境生態系に配慮した漁業の推進（漁場を守る活動への取組）



【経年変化—今後の重要性】

項目	調査年度	N	評価					
			重要でない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	無回答
①あさり稚貝や稚魚の放流による水産資源の確保	R1	31	0.0	3.2	25.8	41.9	19.4	9.7
	H28	35	0.0	8.6	14.3	25.7	31.4	20.0
	H25	38	2.6	5.3	15.8	23.7	52.6	0.0
②漁場環境の改善（漁場をきれいにするためのゴミ拾いなど）を目的としたクリーンアップ事業	R1	31	0.0	0.0	25.8	35.5	29.0	9.7
	H28	35	2.9	2.9	28.6	34.3	8.6	22.9
	H25	38	0.0	2.6	18.4	28.9	36.8	13.2
③環境生態系に配慮した漁業の推進（漁場を守る活動への取組）	R1	31	0.0	0.0	22.6	32.3	35.5	9.7
	H28	35	0.0	0.0	22.9	40.0	14.3	22.9
	H25	38	0.0	5.3	26.3	28.9	28.9	10.5

問 10 あなたは環境生態系に配慮した漁業経営を行っていますか。（○はひとつ）

「はい」の割合が54.8%、「どちらともいえない」の割合が35.5%となっています。平成28年度と比べると、「はい」の割合は同程度となっています。

□ はい □ いいえ □ どちらともいえない □ 無回答



## 5. 漁業経営について

問 11 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。

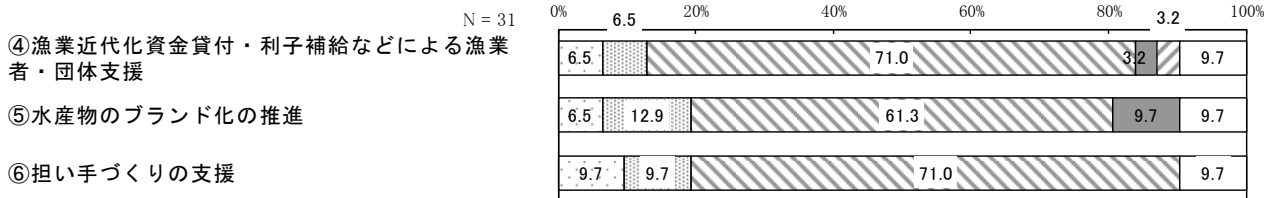
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

現在の評価については、「⑤水産物のブランド化の推進」で、「不満」「やや不満」を合わせた“不満”の割合が19.4%と最も高くなっています。

今後の重要性についても、「⑤水産物のブランド化の推進」で、「重要」「非常に重要」を合わせた“重要”の割合が61.3%と最も高くなっています。

### 【現在の評価】

□ 不満 □ やや不満 □ 普通 □ やや満足 □ 満足 □ 無回答

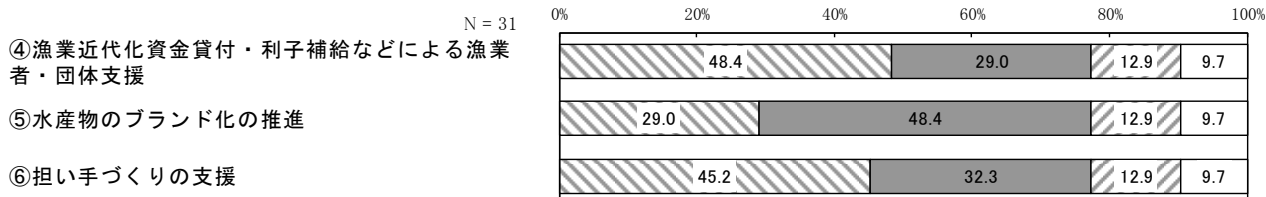


### 【経年変化—現在の評価】

項目	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
④漁業近代化資金貸付・利子補給などによる漁業者・団体支援	R1	31	6.5	6.5	71.0	3.2	3.2	9.7
	H28	35	14.3	8.6	45.7	2.9	0.0	28.6
	H25	38	10.5	21.1	44.7	7.9	0.0	15.8
⑤水産物のブランド化の推進	R1	31	6.5	12.9	61.3	9.7	0.0	9.7
	H28	35	17.1	14.3	31.4	8.6	0.0	28.6
	H25	38	21.1	23.7	31.6	13.2	0.0	10.5
⑥担い手づくりの支援	R1	31	9.7	9.7	71.0	0.0	0.0	9.7
	H28	35	11.4	20.0	34.3	5.7	0.0	28.6
	H25	38	10.5	18.4	50.0	2.6	0.0	18.4

## 【今後の重要性】

□ 重要でない □ あまり重要でない □ 普通 □ 重要 □ 非常に重要 □ 無回答



## 【経年変化—今後の重要性】

項目	調査年度	N	評価					
			重要でない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	無回答
④漁業近代化資金貸付・利子補給などによる漁業者・団体支援	R1	31	0.0	0.0	48.4	29.0	12.9	9.7
	H28	35	2.9	0.0	28.6	17.1	8.6	42.9
	H25	38	5.3	0.0	23.7	42.1	7.9	21.1
⑤水産物のブランド化の推進	R1	31	0.0	0.0	29.0	48.4	12.9	9.7
	H28	35	0.0	2.9	17.1	22.9	14.3	42.9
	H25	38	2.6	2.6	13.2	44.7	28.9	7.9
⑥担い手づくりの支援	R1	31	0.0	0.0	45.2	32.3	12.9	9.7
	H28	35	5.7	0.0	20.0	28.6	2.9	42.9
	H25	38	2.6	5.3	34.2	34.2	13.2	10.5

問 12 漁業経営を強化するためにはどのような取り組みが必要だと考えますか。理由もあればご記入ください。

- ・ 種苗の放流、安定漁獲
- ・ 漁場の拡大、許可証の拡大
- ・ 我々は後期高齢者となり、いつまで仕事を続けて行けるか不安です。漁業は、今大変です。後継者、若い人達に希望の持てる漁場を確保出来ると良いです。
- ・ 人材の育成、人材の意識の向上。既得権益による富の偏りがある。公正な競りが行われていない。入札の新規参入障壁。新しく漁業を営める環境にない。
- ・ 漁場の水路を整備してほしい。
- ・ 以前は、砂地でよい漁場だったがヘドロが堆積して漁場が悪くなった。
- ・ 現在漁業者であっても新規の漁法に対して許可されないのが希望者への対応を教えてください。(昔から刺し網漁をしていたがそのころは許可という概念が無く現在許可を持っていない)
- ・ 漁業組合の組織が固定されている。役員だけが、情報を知り、組合員はカヤの外、情報公開を推進し、役員は任期を終えたら必ず交代するべき。

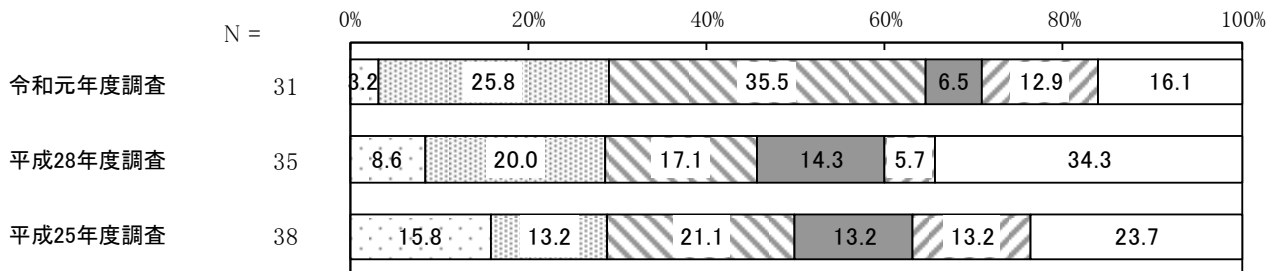
(以上各 1 件)

問 13 漁業の担い手を確保・育成するためには、何が必要だとお考えですか。(〇はひとつ)

「意欲ある漁業者への支援制度等の充実や企業的経営手法の指導」の割合が 35.5%と最も高く、次いで「漁業以外の新規参入者が就漁しやすい環境の整備」の割合が 25.8%となっています。

平成 28 年度調査に比べると「意欲ある漁業者への支援制度等の充実や企業的経営手法の指導」が 18.4 ポイント増加しています。

- 後継者やUターン者に対する支援の充実
- 漁業以外の新規参入者が就漁しやすい環境の整備
- 意欲ある漁業者への支援制度等の充実や企業的経営手法の指導
- 後継者や漁業参入希望者への技術指導
- その他
- 無回答



## 6. 水産施設の充実について

問 14 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。

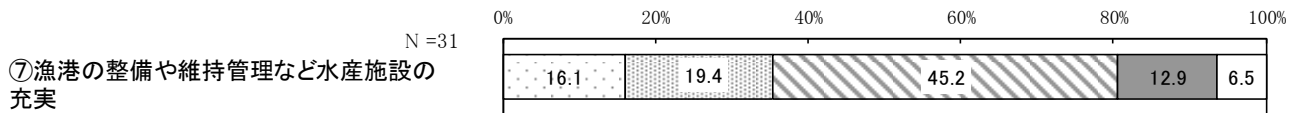
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

現在の評価については、「不満」「やや不満」を合わせた“不満”の割合が 35.5%となっています。

今後の重要性については、「重要」「非常に重要」を合わせた“重要”の割合が 67.7%となっています。

### 【現在の評価】

不満  やや不満  普通  やや満足  満足  無回答



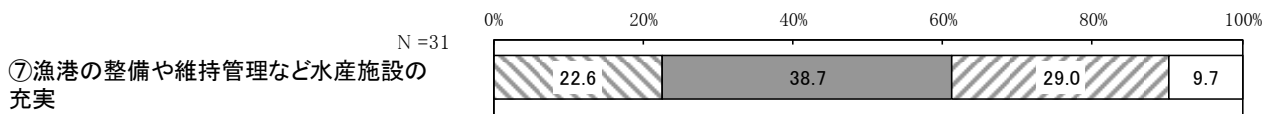
⑦漁港の整備や維持管理など水産施設の充実

### 【経年変化—現在の評価】

項目	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
⑦漁港の整備や維持管理など水産施設の充実	R1	31	16.1	19.4	45.2	12.9	0.0	6.5
	H28	35	28.6	8.6	37.1	5.7	0.0	20.0
	H25	38	15.8	26.3	39.5	7.9	5.3	5.3

### 【今後の重要性】

重要でない  あまり重要でない  普通  重要  非常に重要  無回答

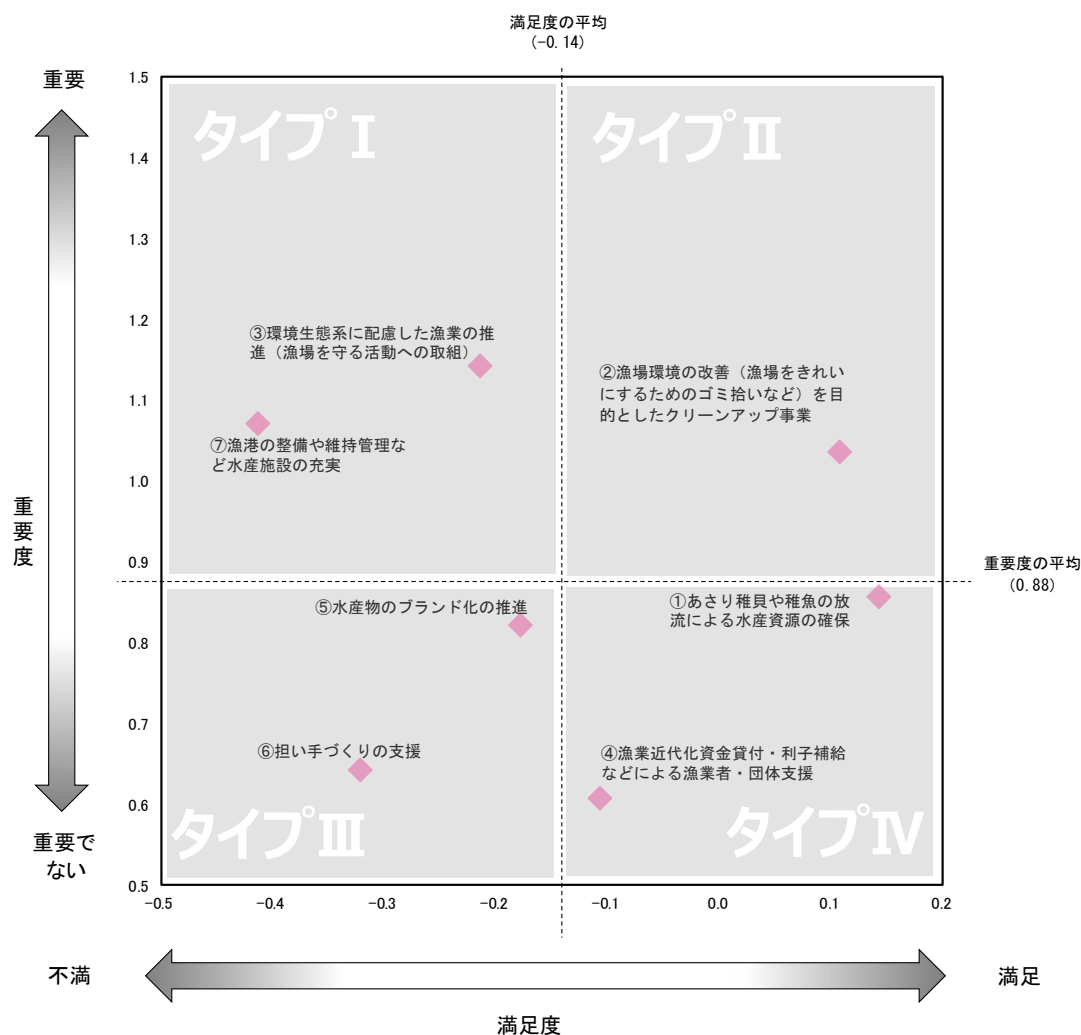


⑦漁港の整備や維持管理など水産施設の充実

### 【経年変化—今後の重要性】

項目	調査年度	N	評価					無回答
			重要でない	あまり重要ではない	普通	重要	非常に重要	
⑦漁港の整備や維持管理など水産施設の充実	R1	31	0.0	0.0	22.6	38.7	29.0	9.7
	H28	35	5.7	2.9	22.9	28.6	20.0	20.0
	H25	38	0.0	5.3	23.7	42.1	23.7	5.3

ポートフォリオ分析による市の取り組みの評価については、『③環境生態系に配慮した漁業の推進（漁場を守る活動への取組）』『⑦漁港の整備や維持管理など水産施設の充実』が、重要度が高いと同時に満足度が低く、改善が求められます。



項目	満足度	重要度
①あさり稚貝や稚魚の放流による水産資源の確保	0.14	0.86
②漁場環境の改善（漁場をきれいにするためのゴミ拾いなど）を目的としたクリーンアップ事業	0.11	1.04
③環境生態系に配慮した漁業の推進（漁場を守る活動への取組）	-0.21	1.14
④漁業近代化資金貸付・利子補給などによる漁業者・団体支援	-0.11	0.61
⑤水産物のブランド化の推進	-0.18	0.82
⑥担い手づくりの支援	-0.32	0.64
⑦漁港の整備や維持管理など水産施設の充実	-0.41	1.07

◆上図から分析判断できる最優先課題◆

- ③環境生態系に配慮した漁業の推進（漁場を守る活動への取組）  
⑦漁港の整備や維持管理など水産施設の充実

## 7. 市政に対するご意見

- ・市民の声が届く環境がない。場をふやす機会を設ける事が大切だと思います。
- ・近年各漁港から漁港の区間の水深が浅くなってきているため、船の往来も干潮時には危険である。また、航路が浅いため、沖からの養分を含んだ海水の流入がなく、また、川から流れ出た栄養値の高い水もとどまる事がなく外洋に出てしまい、結果として沿岸部の海水はやせて力の無い海になっている。

航路の確保とともに力のある海（養分を含む）にしないと漁業の未来は非常に厳しい。畑に散布する除草剤などもある程度危険な物質については規制しないと、あさり、その他海藻なども影響を与えてしまう。

- ・アサリは非常においしいが、産地偽装が行われていないか注意すべきである。
- ・釣り人、レジャー船が増え、漁業がやりにくくなった。ヘドロが堆積して魚が減った。沿岸部のヘドロ撤去が出来れば大変良い。
- ・産業廃棄物が海へ染み出て、いつか海水に有害物質が検出されるのではと日々危惧している。
- ・海を汚さないようにする。





## VI 市内団体アンケート調査



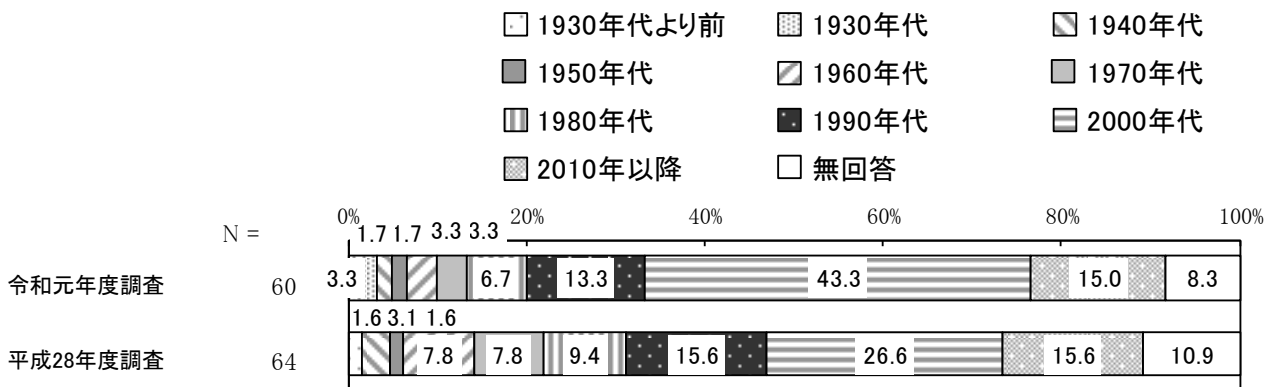
# VI 市内団体

田原市の団体 100 団体

## 1. 回答者属性

問1 あなたの団体の設立年についてお聞きします。

「2000年代」の割合が43.3%と最も高く、次いで「2010年以降」の割合が15.0%、「1990年代」の割合が13.3%となっています。



単位:%

	全	1 9 3 0 年 代 よ り 前	1 9 3 0 年 代	1 9 4 0 年 代	1 9 5 0 年 代	1 9 6 0 年 代	1 9 7 0 年 代	1 9 8 0 年 代	1 9 9 0 年 代	2 0 0 0 年 代	2 0 1 0 年 以 降	無 回 答
令和元年度調査	60	0.0	3.3	1.7	1.7	3.3	3.3	6.7	13.3	43.3	15.0	8.3
平成28年度調査	64	1.6	0.0	3.1	1.6	7.8	7.8	9.4	15.6	26.6	15.6	10.9

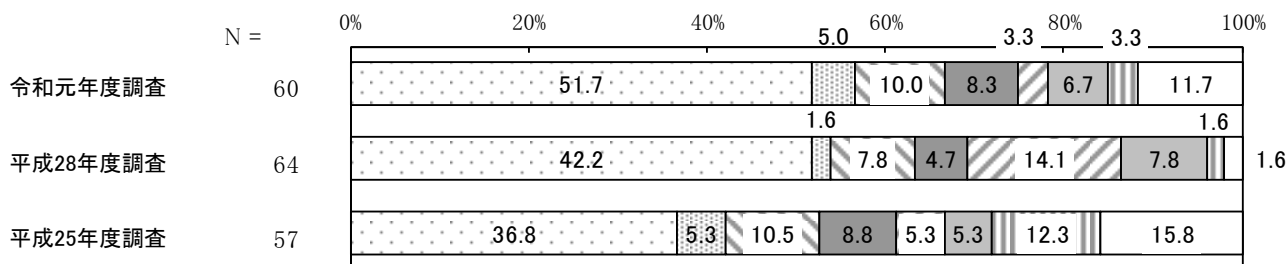
問2 あなたの団体の組織体制についておたずねします。

### (1) 構成

#### ① 理事

「0人」の割合が51.7%と最も高く、次いで「4~6人」の割合が10.0%となっています。

□ 0人    □ 1~3人    □ 4~6人    □ 7~9人    □ 10~12人  
 □ 13~15人    □ 16人以上    □ 無回答



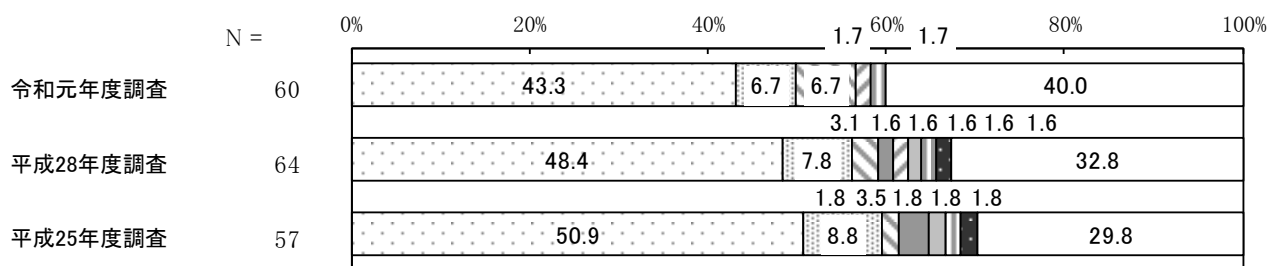
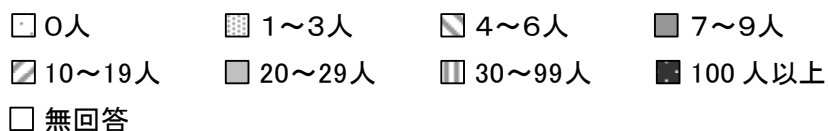
単位：%

	全 体	0 人	1 ~ 3 人	4 ~ 6 人	7 ~ 9 人	1 0 ~ 1 9 人	2 0 ~ 2 9 人	3 0 ~ 3 9 人	4 0 ~ 4 9 人	無 回 答
令和元年度調査	60	51.7	5.0	10.0	8.3	3.3	6.7	3.3	11.7	
平成28年度調査	64	42.2	1.6	7.8	4.7	14.1	7.8	1.6	1.6	
平成25年度調査	57	36.8	5.3	10.5	8.8	5.3	5.3	12.3	15.8	

## ② 運営メンバー

### 【常勤（フルタイム）】

「0人」の割合が43.3%と最も高く、次いで「1~3人」「4~6人」の割合がともに6.7%となっています。

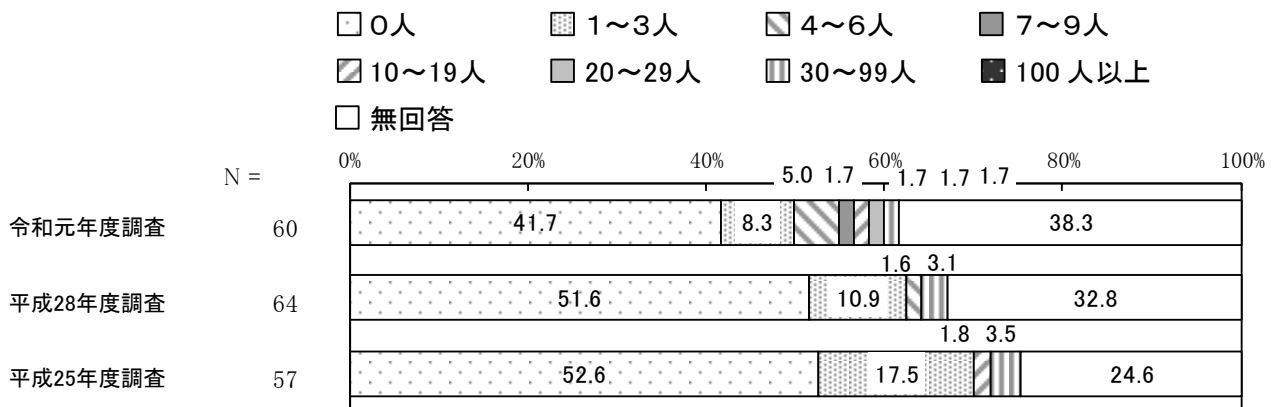


(単位：%)

	全 体	0 人	1 ~ 3 人	4 ~ 6 人	7 ~ 9 人	1 0 ~ 1 9 人	2 0 ~ 2 9 人	3 0 ~ 3 9 人	4 0 ~ 4 9 人	無 回 答
令和元年度調査	60	43.3	6.7	6.7	0.0	1.7	0.0	1.7	0.0	40.0
平成28年度調査	64	48.4	7.8	3.1	1.6	1.6	1.6	1.6	1.6	32.8
平成25年度調査	57	50.9	8.8	1.8	3.5	0.0	1.8	1.8	1.8	29.8

【非常勤（パートタイム・アルバイト）】

「0人」の割合が41.7%と最も高く、次いで「1～3人」の割合が8.3%となっています。

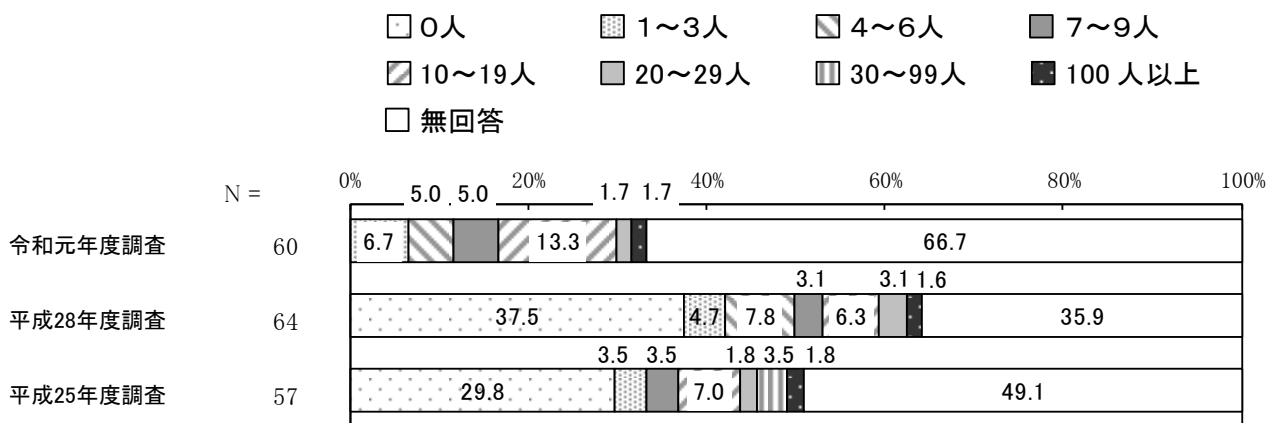


単位: %

	全 体	0 人	1 ～ 3 人	4 ～ 6 人	7 ～ 9 人	1 0 ～ 1 9 人	2 0 ～ 2 9 人	3 0 ～ 9 9 人	1 0 0 人 以 上	無 回 答
令和元年度調査	60	41.7	8.3	5.0	1.7	1.7	1.7	1.7	0.0	38.3
平成28年度調査	64	51.6	10.9	1.6	0.0	0.0	0.0	3.1	0.0	32.8
平成25年度調査	57	52.6	17.5	0.0	0.0	1.8	0.0	3.5	0.0	24.6

【その他】

「10～19人」の割合が13.3%と最も高く、次いで「1～3人」の割合が6.7%となっています。



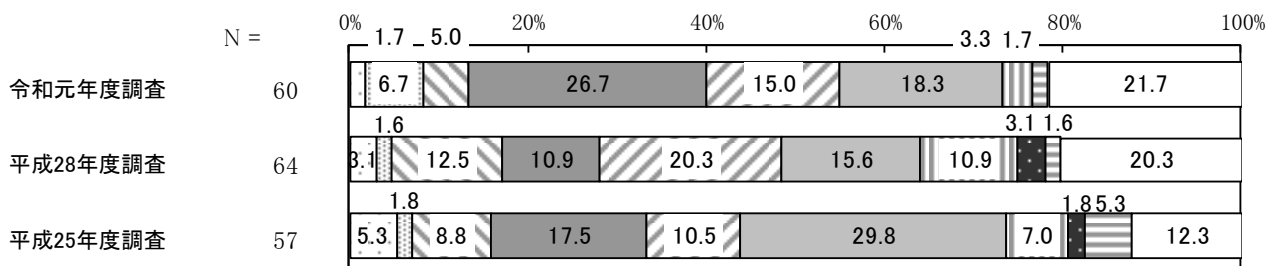
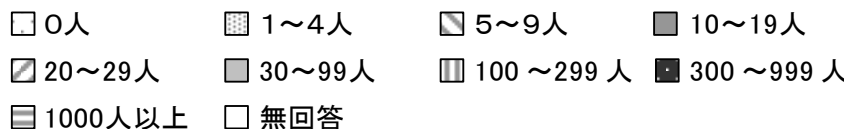
単位: %

	全 体	0 人	1 ～ 3 人	4 ～ 6 人	7 ～ 9 人	1 0 ～ 1 9 人	2 0 ～ 2 9 人	3 0 ～ 9 9 人	1 0 0 人 以 上	無 回 答
令和元年度調査	60	0.0	6.7	5.0	5.0	13.3	1.7	0.0	1.7	66.7
平成28年度調査	64	37.5	4.7	7.8	3.1	6.3	3.1	0.0	1.6	35.9
平成25年度調査	57	29.8	3.5	0.0	3.5	7.0	1.8	3.5	1.8	49.1

### ③会員・社員構成

#### 【活動する人・正会員】

「10～19人」の割合が26.7%と最も高く、次いで「30～99人」の割合が18.3%、「20～29人」の割合が15.0%となっています。

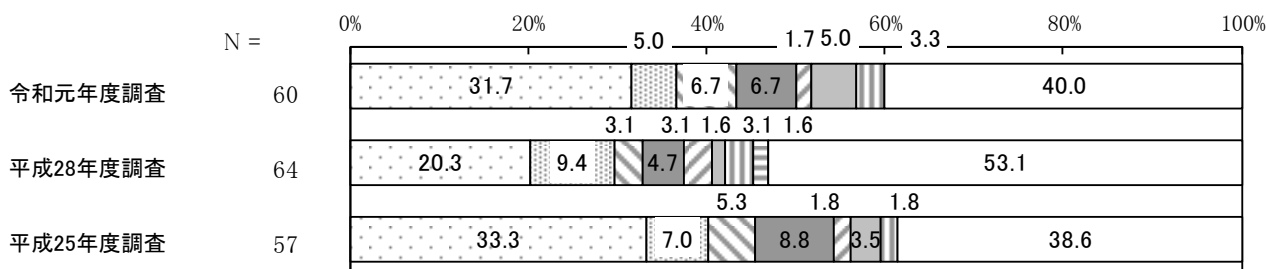
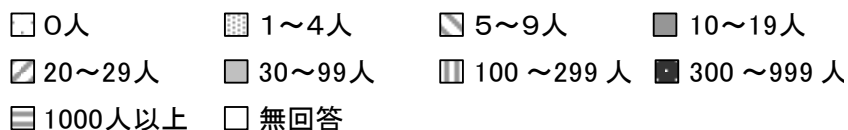


単位: %

	全 体	0 人	1 ~ 4 人	5 ~ 9 人	1 0 ~ 1 9 人	2 0 ~ 2 9 人	3 0 ~ 9 9 人	1 0 0 ~ 2 9 9 人	3 0 0 ~ 9 9 9 人	1 0 0 0 ~ 9 9 9 9 人	1 0 0 0 ~ 9 9 9 9 人	無 回 答
令和元年度調査	60	1.7	6.7	5.0	26.7	15.0	18.3	3.3	0.0	1.7	21.7	
平成28年度調査	64	3.1	1.6	12.5	10.9	20.3	15.6	10.9	3.1	1.6	20.3	
平成25年度調査	57	5.3	1.8	8.8	17.5	10.5	29.8	7.0	1.8	5.3	12.3	

#### 【支援者・賛助会員】

「0人」の割合が31.7%と最も高く、次いで「5～9人」「10～19人」の割合がともに6.7%となっています。



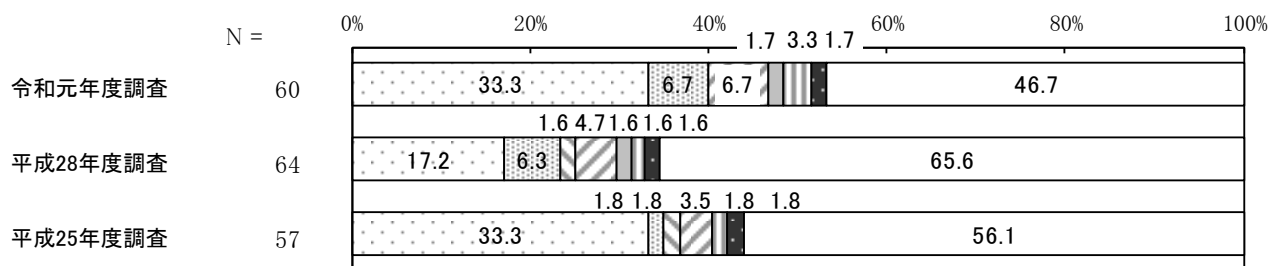
単位:%

	全 体	0 人	1 ~ 4 人	5 ~ 9 人	1 0 ~ 1 9 人	2 0 ~ 2 9 人	3 0 ~ 3 9 人	4 0 ~ 4 9 人	5 0 ~ 5 9 人	6 0 ~ 6 9 人	7 0 ~ 7 9 人	無 回 答
令和元年度調査	60	31.7	5.0	6.7	6.7	1.7	5.0	3.3	0.0	0.0	0.0	40.0
平成28年度調査	64	20.3	9.4	3.1	4.7	3.1	1.6	3.1	0.0	1.6	53.1	
平成25年度調査	57	33.3	7.0	5.3	8.8	1.8	3.5	1.8	0.0	0.0	38.6	

【その他】

「0人」の割合が33.3%と最も高く、次いで「1~3人」「10~19人」の割合がともに6.7%となっています。

- 0人    
  1~3人    
  4~6人    
  7~9人    
  10~19人  
 20~29人    
  30~99人    
  100人以上    
 無回答

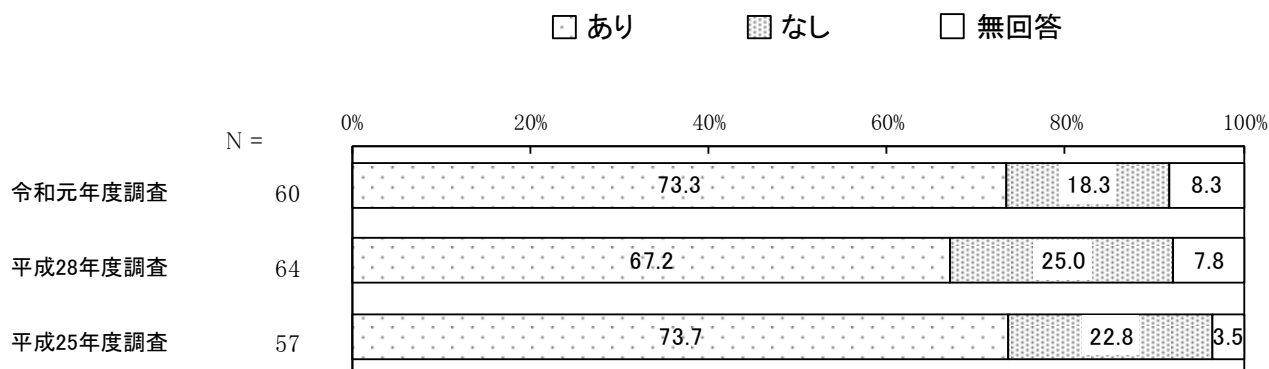


単位:%

	全 体	0 人	1 ~ 3 人	4 ~ 6 人	7 ~ 9 人	1 0 ~ 1 9 人	2 0 ~ 2 9 人	3 0 ~ 3 9 人	4 0 ~ 4 9 人	5 0 ~ 5 9 人	6 0 ~ 6 9 人	7 0 ~ 7 9 人	無 回 答
令和元年度調査	60	33.3	6.7	0.0	0.0	6.7	1.7	3.3	1.7	46.7			
平成28年度調査	64	17.2	6.3	1.6	0.0	4.7	1.6	1.6	1.6	65.6			
平成25年度調査	57	33.3	1.8	1.8	0.0	3.5	0.0	1.8	1.8	56.1			

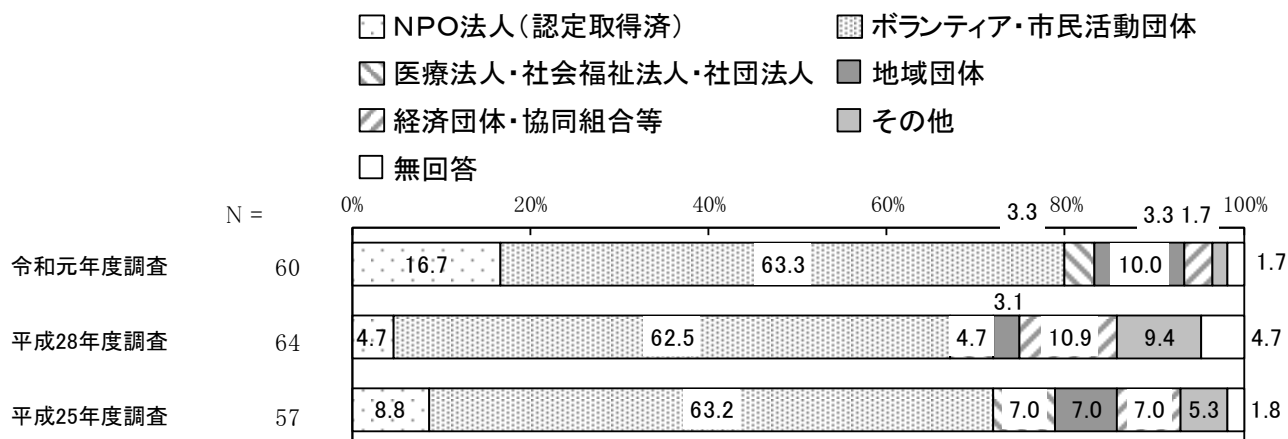
④ 規則・会則・定款

「あり」の割合が73.3%、「なし」の割合が18.3%となっています。



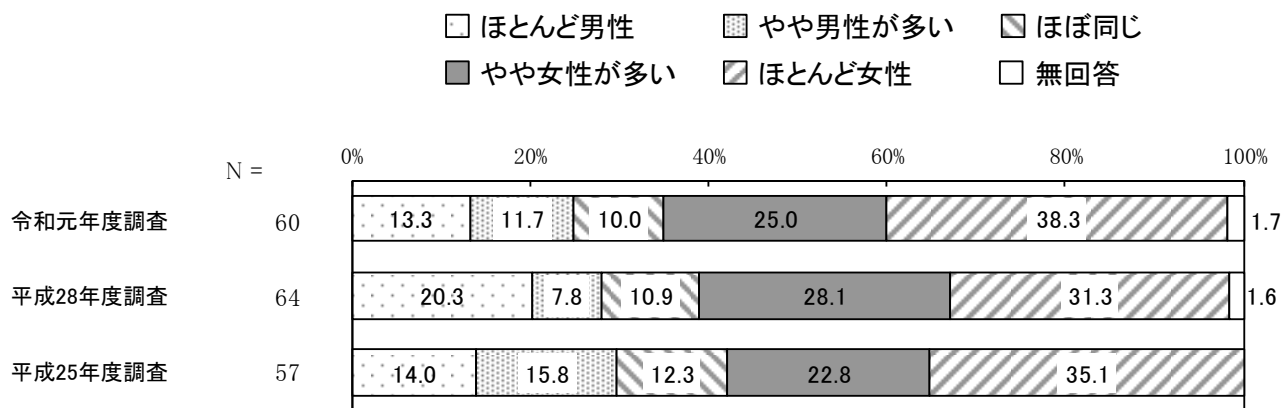
(2) あなたの団体は次のどの分類にあたりますか。

「ボランティア・市民活動団体」の割合が63.3%と最も高く、次いで「NPO法人（認定取得済）」の割合が16.7%、「地域団体」の割合が10.0%となっています。



(3) 活動する人・正会員の男女比はどれくらいですか。

「ほとんど女性」の割合が38.3%と最も高く、次いで「やや女性が多い」の割合が25.0%、「ほとんど男性」の割合が13.3%となっています。





(4) 活動する人・正会員の年齢では、どの年代が多いですか。(〇はふたつ)

「60歳以上」の割合が75.0%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が31.7%、「40歳代」の割合が10.0%となっています。

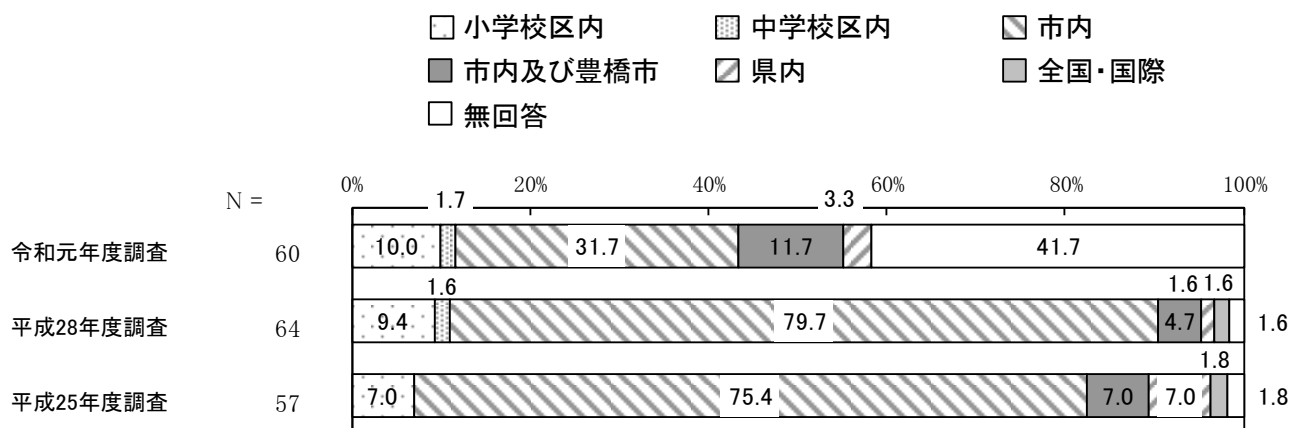
平成28年度調査と比べると、「60歳以上」で20.3ポイント増加しているのに対し、50歳以下の年代はいずれも減少しています。

単位：%

項目	平成25年度 N=57	平成28年度 N=64	令和元年度 N=60
10歳代	3.5	9.4	5.0
20歳代	7.0	6.3	1.7
30歳代	15.8	12.5	6.7
40歳代	22.8	20.3	10.0
50歳代	43.9	43.8	31.7
60歳以上	64.9	54.7	75.0
特に特徴はない	0.0	1.6	8.3
無回答	1.8	3.1	3.3

問3 活動の地域は、主にどこですか。(〇はひとつ)

「市内」の割合が31.7%と最も高く、次いで「市内及び豊橋市」の割合が11.7%、「小学校区内」の割合が10.0%となっています。



問 4 主な活動目的をお聞かせ下さい。(〇はいくつでも)

「まちづくり」の割合が 25.0%と最も高く、次いで「地域福祉」「障害者支援」がともに 23.3%となっています。

平成 28 年度調査と比べると、「里山保全」が 10.1 ポイント増加、「青少年健全育成」が 16.7 ポイント減少しています。

単位: %

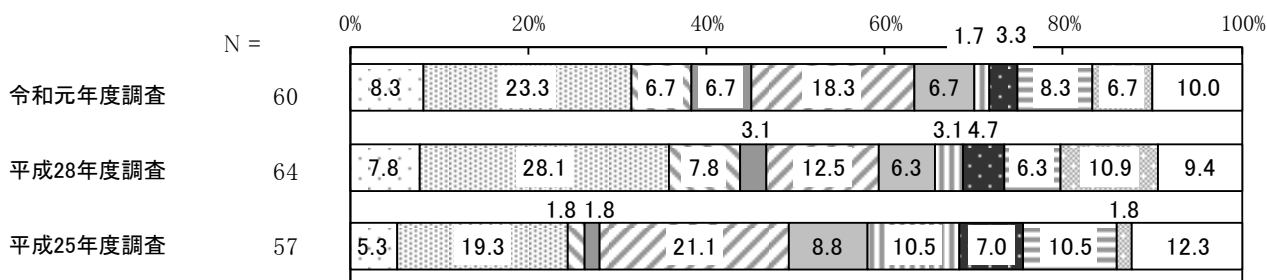
項目	平成25年度 N=57	平成28年度 N=64	令和元年度 N=60
地域コミュニティ	14.0	14.1	13.3
男女共同参画	8.8	9.4	16.7
地域防犯	1.8	7.8	0.0
交通安全	3.5	9.4	0.0
環境共生	5.3	4.7	8.3
環境保全	14.0	17.2	18.3
資源循環	3.5	1.6	3.3
健康づくり	21.1	15.6	13.3
地域福祉	28.1	23.4	23.3
児童福祉・子育て支援	29.8	25.0	16.7
障害者支援	26.3	21.9	23.3
高齢者支援	14.0	15.6	21.7
農水産業	0.0	3.1	6.7
商工業	1.8	7.8	3.3
観光	7.0	9.4	5.0
雇用・労働	3.5	4.7	0.0
消費者対策	0.0	1.6	0.0
市街地整備	1.8	1.6	1.7
居住環境整備	5.3	1.6	3.3
自然環境整備	8.8	4.7	6.7
里山保全	10.5	1.6	11.7
景観整備	7.0	3.1	5.0
学校教育	14.0	9.4	10.0
生涯学習	22.8	20.3	13.3
スポーツ	3.5	3.1	3.3
青少年健全育成	22.8	23.4	6.7
芸術文化	21.1	18.8	15.0
消防・防災	5.3	6.3	6.7
国際交流・多文化共生	10.5	9.4	13.3
災害復興支援	7.0	3.1	6.7
まちづくり		17.2	25.0
人権擁護		1.6	5.0
平和推進		6.3	1.7
その他	8.8	7.8	5.0
無回答	0.0	1.6	0.0

問 5 あなたの団体の財政についておたずねします。

(1) 年間活動費はいくらですか。

「1～10万円未満」の割合が23.3%と最も高く、次いで「30～100万円未満」の割合が18.3%となっています。

- 0円
- ▨ 1～10万円未満
- ▩ 10～20万円未満
- 20～30万円未満
- ▧ 30～100万円未満
- 100～300万円未満
- ▨ 300～600万円未満
- 600～1,000万円未満
- ▨ 1,000～1億円未満
- ▨ 1億円以上
- 無回答

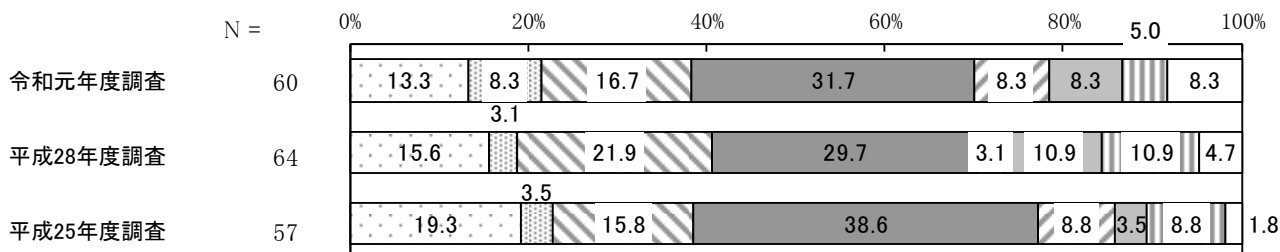


2. 団体の活動について

問 6 あなたの団体は、どれくらいの頻度で活動していますか。(〇はひとつ)

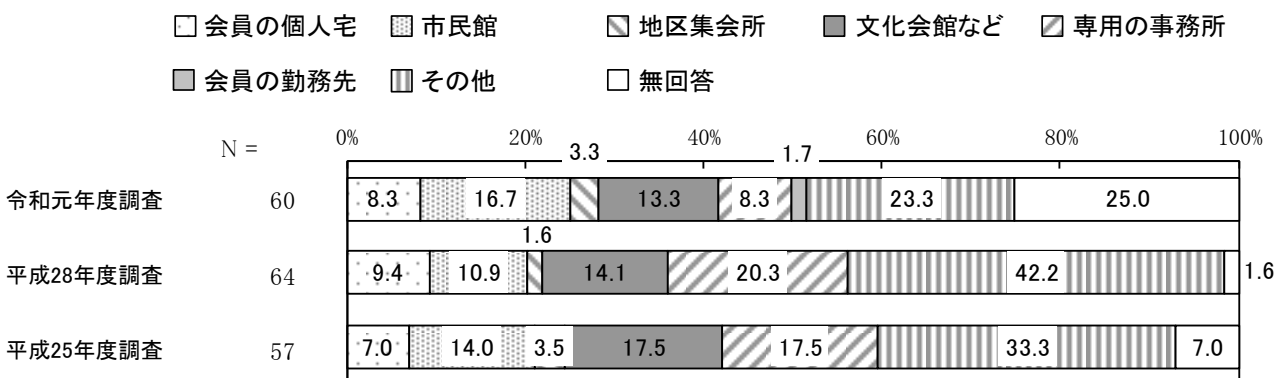
「月に1、2回程度」の割合が31.7%と最も高く、次いで「週に1、2回程度」の割合が16.7%、「週に5回以上」の割合が13.3%となっています。

- ▨ 週に5回以上
- 月に1、2回程度
- ▨ 週に1、2回程度
- ▨ 週に3、4回程度
- ▨ 2～3ヶ月に1回程度
- 年に数回程度
- ▨ その他
- 無回答



問 7 事務所、会合場所、活動拠点として主にどこを利用していますか。(〇はひとつ)

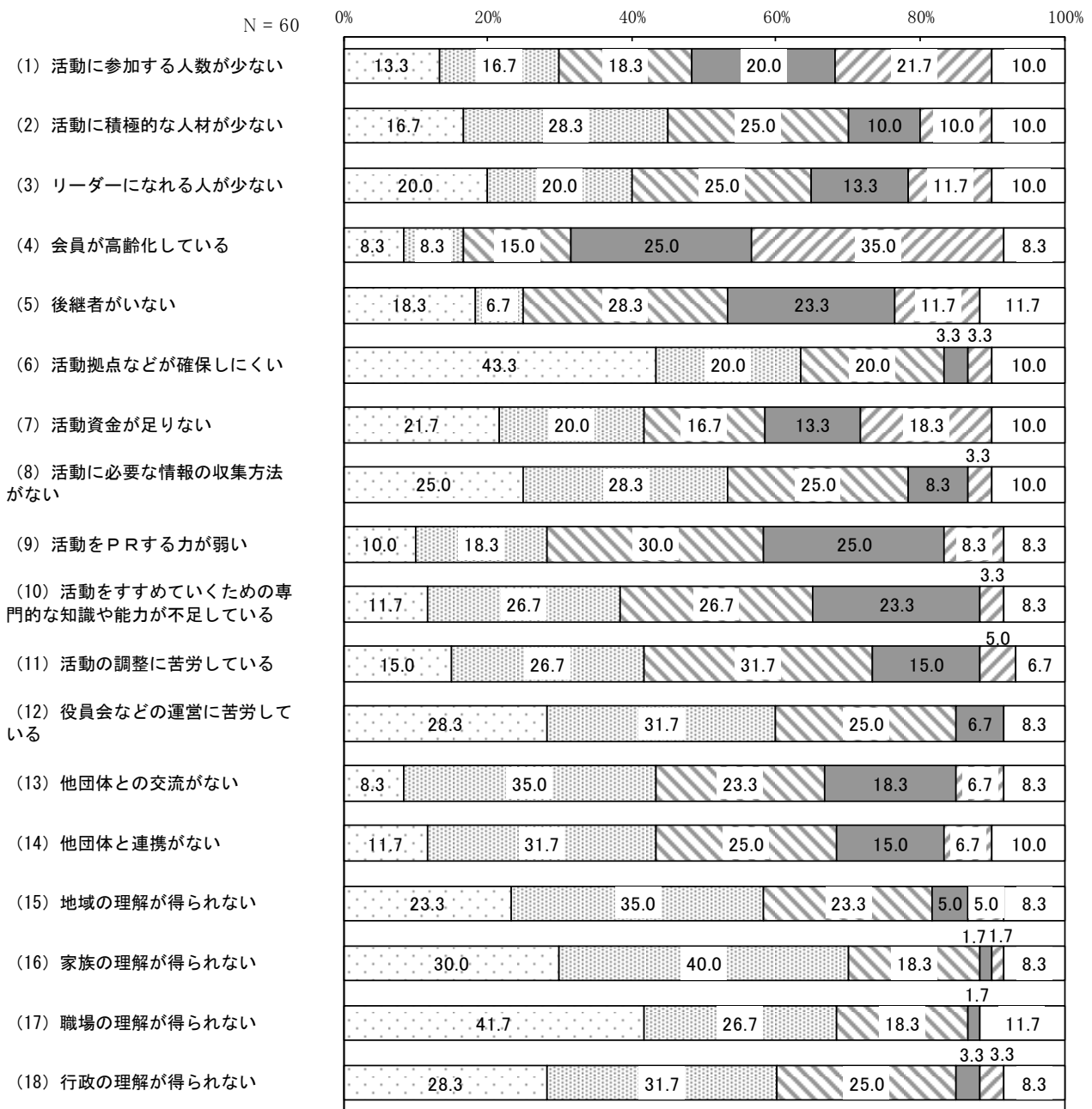
「市民館」の割合が 16.7%と最も高く、次いで「文化会館など」の割合が 13.3%となっています。



問 9 あなたの団体が活動を進めていく上で、次の問題についてどれくらいあてはまりますか。(〇はひとつ)

「あてはまる」「少し当てはまる」を合わせた“あてはまる”の割合は、「(4)会員が高齢化している」で60.0%と最も高く、次いで「(1)活動に参加する人数が少ない」で41.7%、「(5)後継者がいない」で35.0%となっています。

- あてはまらない
- あまりあてはまらない
- どちらともいえない
- 少しあてはまる
- あてはまる
- 無回答

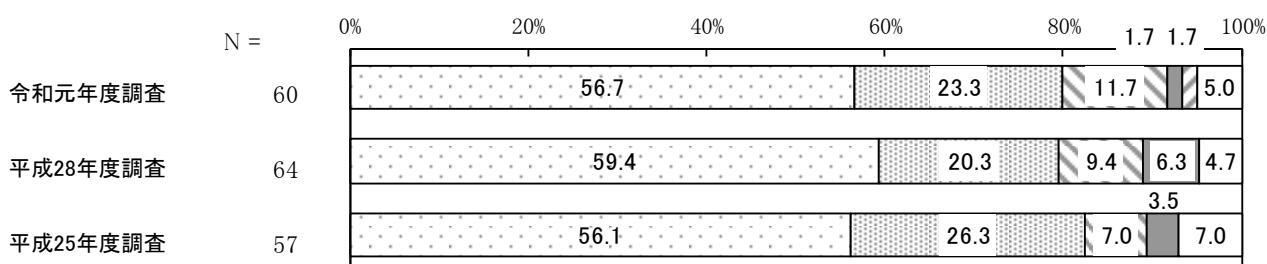


### 3. 市との連携・協力について

問 10 あなたの団体にとって市との連携・協力は重要ですか。(〇はひとつ)

「非常に重要」「どちらかといえば重要」を合わせた“重要”の割合が80.0%、「どちらかといえば重要ではない」「重要ではない」を合わせた“重要ではない”の割合が3.4%となっています。

- 非常に重要
- ▨ どちらともいえない
- ▩ 重要ではない
- ▧ どちらかといえば重要
- どちらかといえば重要ではない
- 無回答



問 11 あなたの団体が活動するにあたって、どんなことを市に協力してほしいですか。(〇はいくつでも)

「補助金による援助」の割合が 46.7%と最も高く、次いで「場所や物品、機材等の提供」「市の広報紙を使った団体の情報提供」の割合がともに 31.7%となっています。

平成 28 年度調査と比べると、「市の事業の委託」が 13.7 ポイント増加しています。

単位:%

項目	平成25年度 N=57	平成28年度 N=64	令和元年度 N=60
補助金による援助	47.4	53.1	46.7
場所や物品、機材等の提供	42.1	31.3	31.7
市の広報紙を使った団体の情報提供	36.8	43.8	31.7
他の団体の紹介、関係の調整など	7.0	7.8	6.7
リーダーの養成、技術養成の研修	15.8	12.5	15.0
市の施設の利用料割引や優先提供	29.8	17.2	23.3
市の情報の開示、共有化	15.8	12.5	11.7
市の基金による支援	8.8	14.1	11.7
市の事業の共同企画	12.3	21.9	11.7
市の事業の委託	22.8	6.3	20.0
市から県・国や企業等への働きかけ	8.8	9.4	10.0
表彰、顕彰	7.0	4.7	1.7
組織の立ち上げ、運営方法に関する支援	10.5	4.7	3.3
市職員の活動への参加	22.8	21.9	16.7
その他	1.8	3.1	10.0
無回答	10.5	10.9	10.0

問 12 市と市民活動団体の連携によるまちづくり施策として、知っているものをお答えください。  
(〇はいくつでも)

「田原市民活動支援センター」「どすごいネット（東三河市民活動情報サイト）」の割合がともに 46.7%と最も高く、次いで「パブリックコメント制度」が 41.7%となっています。  
平成 28 年度調査と比べると、「市民提案箱」が 9.9 ポイント増加しています。

単位：%

項目	平成25年度 N=57	平成28年度 N=64	令和元年度 N=60
市民協働まちづくり条例	54.4	34.4	35.0
市民協働まちづくり基金	35.1	21.9	18.3
市民協働まちづくり会議	49.1	39.1	40.0
市民協働のまちづくり方針	35.1	25.0	20.0
田原市民活動支援センター	54.4	43.8	46.7
市民協働まちづくり事業補助金	54.4	37.5	38.3
パブリックコメント制度	50.9	34.4	41.7
各種審議会委員の市民公募	33.3	20.3	26.7
市民の声メール(市ホームページ)	28.1	25.0	21.7
市民提案箱	33.3	23.4	33.3
市民提案型委託事業		28.1	23.3
社会貢献活動災害補償制度		15.6	13.3
どすごいネット(東三河市民活動情報サイト)	52.6	42.2	46.7
田原市民劇団だもんで			33.3
その他	0.0	4.7	5.0
無回答	14.0	17.2	20.0



問 13 現在、あなたの団体と市とはどのような関係にありますか。(〇はいくつでも)

「市の施設を利用して活動を行っている」の割合が 61.7%と最も高く、次いで「市の関係部署と日常的に情報交換等の話し合いを行っている」の割合が 28.3%、「市が主催する審議会、委員会、研究会に委員を出している」の割合が 25.0%となっています。

平成 28 年度調査と比べると、「市から補助金を受けている」が 15.9 ポイント、「市に対して要望や陳情を行っている」が 11.7 ポイント減少しています。

単位: %

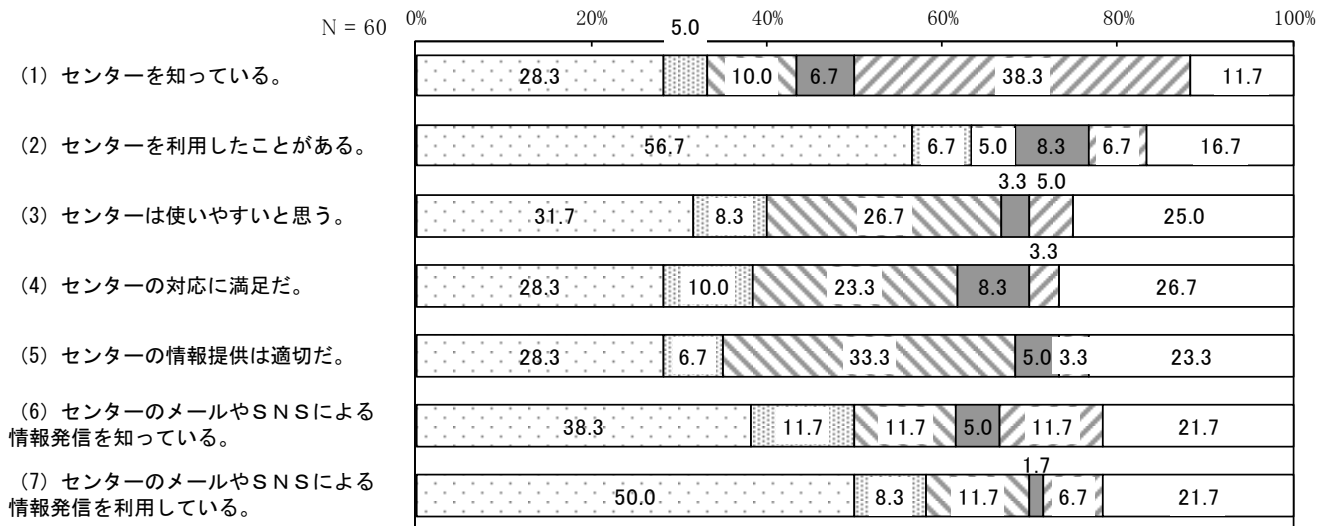
項目	平成25年度 N=57	平成28年度 N=64	令和元年度 N=60
市から補助金を受けている	29.8	35.9	20.0
市から業務委託を受けている	31.6	23.4	23.3
市が主催する審議会、委員会、研究会に委員を出している	42.1	28.1	25.0
市の関係部署と日常的に情報交換等の話し合いを行っている	33.3	32.8	28.3
市に対して要望や陳情を行っている	17.5	23.4	11.7
市に対して具体的な施策提案をしている	19.3	17.2	10.0
事務局が市の関係部署、関係施設内にある	29.8	25.0	20.0
市の施設を利用して活動を行っている	61.4	57.8	61.7
市とは特に関係を持っていない	12.3	7.8	10.0
無回答	8.8	4.7	8.3

問 14 田原市民活動支援センター(以下センターとします。)について、あてはまるものに○をつけてください。

「あてはまる」「少しあてはまる」を合わせた“あてはまる”の割合は、「センターを知っている」で45.0%と最も高く、次いで「センターのメールやSNSによる情報発信を知っている」で16.7%となっています。

「あてはまらない」「あまりあてはまらない」を合わせた“あてはまらない”の割合は、「センターを利用したことがある」で63.4%と最も高く、次いで「センターのメールやSNSによる情報発信を利用している」で58.3%となっています。

- あてはまらない
- ▨ あまりあてはまらない
- ▩ どちらともいえない
- 少しあてはまる
- ▧ あてはまる
- 無回答



問 16 市が行っている次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。

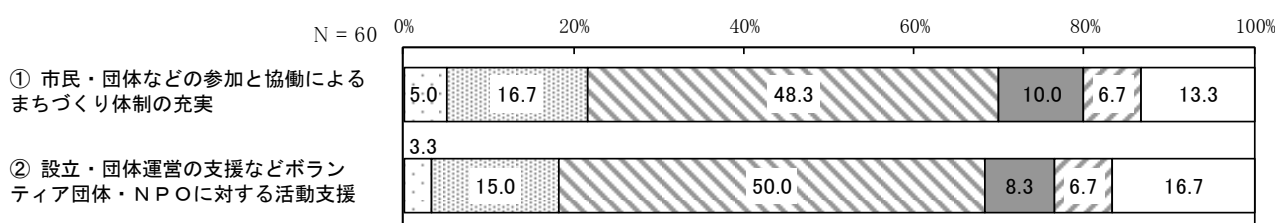
(各問に対し「評価」「重要性」に○をひとつずつ)

現在の評価については、「①市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実」で「不満」「やや不満」を合わせた“不満”の割合が高く、21.7%となっています。

今後の重要性については、「①市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実」、「②設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援」とともに、「重要」「非常に重要」を合わせた“重要”の割合が約7割となっています。

### 【現在の評価】

□ 不満 □ やや不満 □ 普通 □ やや満足 □ 満足 □ 無回答

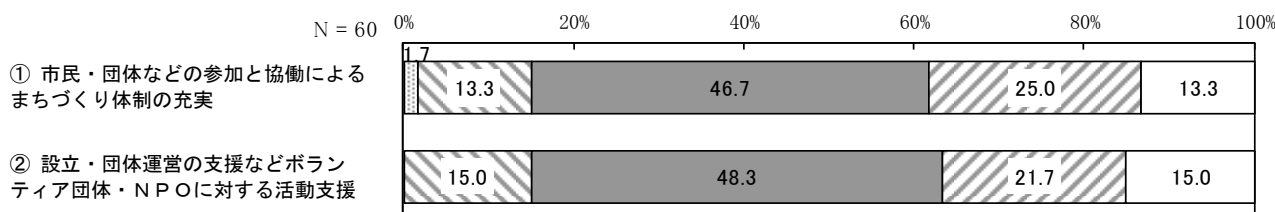


### 【経年変化—現在の評価】

項目	調査年度	N	評価					
			不満	やや不満	普通	やや満足	満足	無回答
①市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実	R1	60	5.0	16.7	48.3	10.0	6.7	13.3
	H28	64	4.7	21.9	46.9	14.1	3.1	9.4
	H25	57	5.3	21.1	52.6	12.3	1.8	7.0
②設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援	R1	60	3.3	15.0	50.0	8.3	6.7	16.7
	H28	64	3.1	17.2	50.0	9.4	6.3	14.1
	H25	57	3.5	15.8	56.1	12.3	5.3	7.0

### 【今後の重要性】

□ 重要でない □ あまり重要でない □ 普通 □ 重要 □ 非常に重要 □ 無回答



### 【経年変化—今後の重要性】

項目	調査年度	N	評価					
			重要でない	あまり重要でない	普通	重要	非常に重要	無回答
①市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実	R1	60	0.0	1.7	13.3	46.7	25.0	13.3
	H28	64	0.0	0.0	15.6	45.3	25.0	14.1
	H25	57	1.8	0.0	7.0	64.9	19.3	7.0
②設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援	R1	60	0.0	0.0	15.0	48.3	21.7	15.0
	H28	64	0.0	0.0	23.4	39.1	23.4	14.1
	H25	57	1.8	0.0	14.0	59.6	14.0	10.5

問 17 あなたの団体・グループは、市と連携・協力してどのようなことをしたいですか。自由な意見をお聞かせください。

- ・食育活動。郷土料理の伝承
- ・三河湾を取りかこむ全ての市町で同時期一斉の海岸清掃が出来ればと思う。ぜひ、田原市が三河湾を囲む市町に呼びかけを、またリーダーシップを取っていただきたい。
- ・太極拳を通じて高齢者や幼児と交流したい。
- ・大きな団体が常に有利にならないよう、行政はアンテナ高くし、公平に進めて下さい。
- ・ひきこもり若者（中年）への支援が不十分。食材・野菜の再利用を考えたい。（フードロス問題）
- ・災害対策に関する知識などを教えてほしい。
- ・きれいな海を守るための心を育てる。環境学習的な活動。愛知県の漂着ゴミゼロ運動に連動し、広報活動をすべき。
- ・健康生活支援講習を通して高齢者支援、幼児安全講習を通して子育て支援、防災に対してバッククッキングの普及、又AEDを使用して一次救命処置の実技の普及。
- ・今年からのテーマとして、未来に残そう田原市の美しい風景、写真を撮ろうと考えています。未来に残したい写真を残せば貴重な財産になると思います。
- ・企業のBCP推進を進めています。
- ・各大会のスムーズな運営、進行をお願いしたい。
- ・連携、協力は現状良いと思いますが低下させない工夫を。事務局や我々だけが満足するのではなく、お客様に喜んで、楽しんでもらえる活動が大切だと思います。
- ・リーダーの技術養成の研修を希望します。
- ・水辺公園本来の目的に沿う施設の充実、環境汚染浄化。
- ・健康寿命を伸ばすために、栄養と食生活の分野で「私たちの健康は私たちの手で」をモットーに、肥満者の減少や野菜摂取の啓発活動など協力していきたい。
- ・セミナーを開催する際、例えば不登校に関するセミナーを開く時、親御さんや支援員等そのテーマに沿った関連する方に周知して欲しい。
- ・防災ボランティアコーディネーター養成講座、フォローアップ講座の講師を担当させて頂き、講座受講者数も増えスキルもあがっています。今後も継続した事業として続くようお願いいたします。
- ・男女共同参画に関する勉強会（愛知県主催、財団主催）へ積極的に参加する人材の確保
- ・小・中学校養護教諭の声かけで、食についてやがん予防への取り組みをするにあたって、情報提供をする事があった。まだ連携するに至ってはいないので市でも必要があれば声をかけていただき連携につなげれば良いと思った。
- ・ボーイスカウト活動のPRを兼ねたデイキャンプ体験など。
- ・企画（講座）などに後援・共催のほか行政職員にも参加をして欲しい。
- ・小中高で男女混合名簿にしていくこと。
- ・人権と科学の視点をもって、性教育を行っていく。

- ・南海トラフでの災害がくる考えは身についているが家庭での防災は実施に至っていない。重要で大事な事業であるが、市民が日常的に考え、研修する場がない。

#### 4. 市政に対するご意見

- ・だんだん高齢化して活動範囲が狭くなってきたので交通手段への協力、加工施設の提供。
- ・会員が高齢化し、入会者が少なく、会員数が減少しています。シルバーサロンの指導員は有償なのでとじ込めり予防教室のスタッフも有償になれば、入会の声かけがしやすくなるのでは。
- ・一人暮らしの方が多くなっています。近所同志、仲間作りをして交流をしていければと思います。
- ・託児ボランティアに少し活動していますが、1年に一度くらいは顔合せをし、情報を交換できる場所があったらいいと思います。
- ・渥美半島の海ごみをゼロにして、美しい海岸を願います。
- ・長つづきしてほしいグループ作りをしながらお互いに助け合い、また勉強をしていきたいです
- ・まちづくり事業補助金については、3年までに区切らず継続的に使えるように考えてほしい。渥美文化会館を主に使用していますが、10月から部屋代（会場費）が値上げされるので、会運営に大きく影響を受ける事になりそうです。
- ・市民活動として活動している団体の中には、趣味的なものから社会貢献、まちづくりまで幅が広い。市としての補助金制度や、支援制度には公平・平等という考えは必要だが、差別化することも、団体の質を上げていくことにつながるのではないか。全国をみても、長期間活動をすすめていくには必ず資金の問題がでてくる。資金があれば事務局の人材も確保できる
- ・田原市赤十字奉仕団として様々な活動を行いながら市との連携、日赤との連携も良く取れるようになってきました。子育て支援課、防災対策課等からの講習会の開催依頼も受けるようになってきています。日赤活動は支部で行う研修会や講習会も多く、活動資金の中で旅費等に占める割合も多くなっています。田原市は一般市民の納付する社資（会費）が他市に比べて少ないので奉仕団の活動資金も当然少ないので、社資を募る方法を市としても協力して頂けたらと思う。私達団員もPRや活動をしっかり行う事で市民の皆様にも知ってもらえるように努力しています。
- ・市がやってもおかしくないような事業を開催する場合、施設使用料を免除して、団体の活動を活発化してはどうか。
- ・田原市内にも色々と文化芸術に優れた人がいますので、そういう人達を表に出し、田原市の文化向上に力を貸していただきたい
- ・渥美総合体育館への冷暖房設備の設置。田原市総合体育館の新築。
- ・施設等作ってやった、後は知らない、関らない、といった感じがするので、後々まで声をかけて欲しい。要望しても無駄だ、と思わせない様にして欲しい。
- ・手話言語条例の早期制定をお願いしたい。その際、当事者の意見も聞いてから制定をお願いしたい。

- ・この田原という地域柄、自家用車がないと不便という地域に住む人が多いが、高齢化が進むにつれ事故も多発しているので、交通機関がもう少し充足したらと思います。
- ・いつか渥美半島でボーイスカウト日本ジャンボリーが開催されたら、素晴らしいことだと夢見ています。
- ・データベースに載せるのみでなく、実現に向かって、生かしていく行政の力を発揮してください。既製の組織（コミュニティとか自治会とか行政とか民生 etc）の構成委員の1人1人の質の向上と行動力の充実を図り、弱者が生きやすい支援を育てて欲しい。
- ・補助金を3年で打ち切るように一律に決めているが、教育文化、福祉等の分野では、行政が行うか、市民活動団体が行うか。行政が市民活動として参加していく。
- ・市民参加型、コンサートを企画してほしい。学校統合などで、使われていないピアノがあれば、市民館などに置いてもらいたい。
- ・「市民で考える防災センター」づくりを進めてほしい。災害の体験型を含め、市民が集い、「助け合う、防災」を推進してほしい。その為の拠点をつくってほしい。ボランティアが防災について日常的に発信し、市民が災害で死なないまちづくりに関わっていきたい。

## VII 中学生アンケート調査





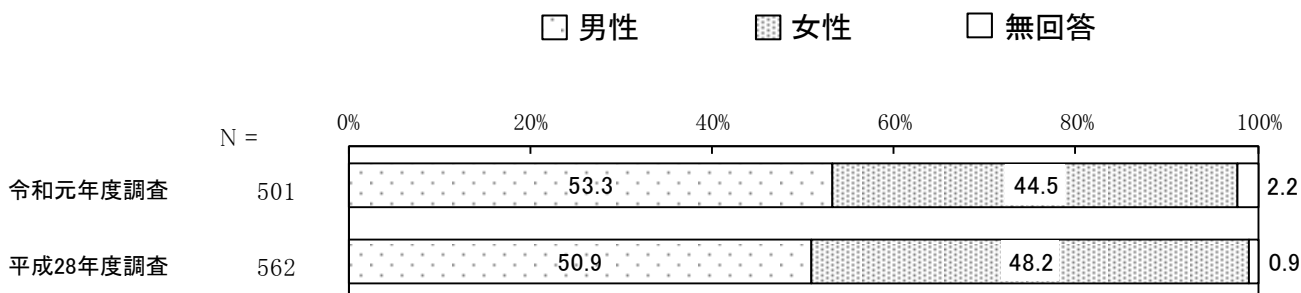
# VII 中学生

田原市内の中学2年生 515人

## 1. 回答者属性

性別

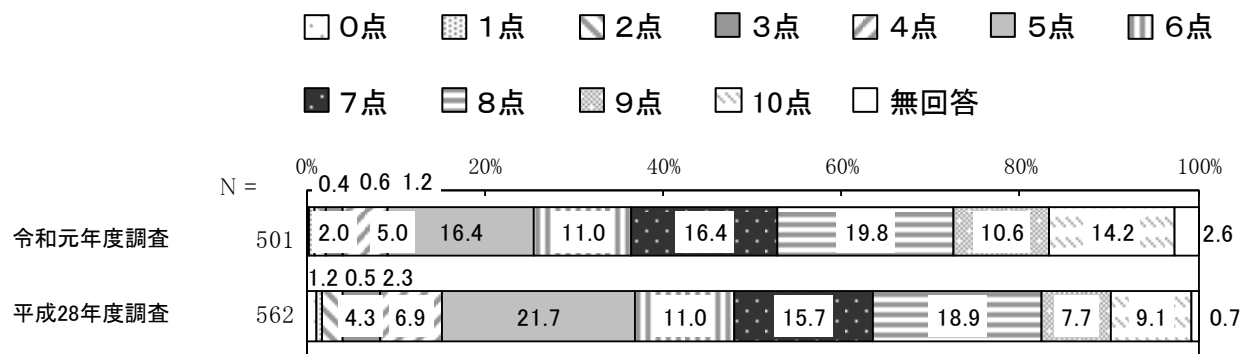
「男性」の割合が53.3%、「女性」の割合が44.5%となっています。



## 2. あなたにとっての『幸せ』について

① 今現在、あなたの『幸せ』の程度を0～10点で評価すると何点ですか？

概ね「幸せ（7点以上）」と思っている人は、61.0%となっています。平均点は7.0点で、平成28年度調査（6.5点）より0.5ポイント上昇しました。

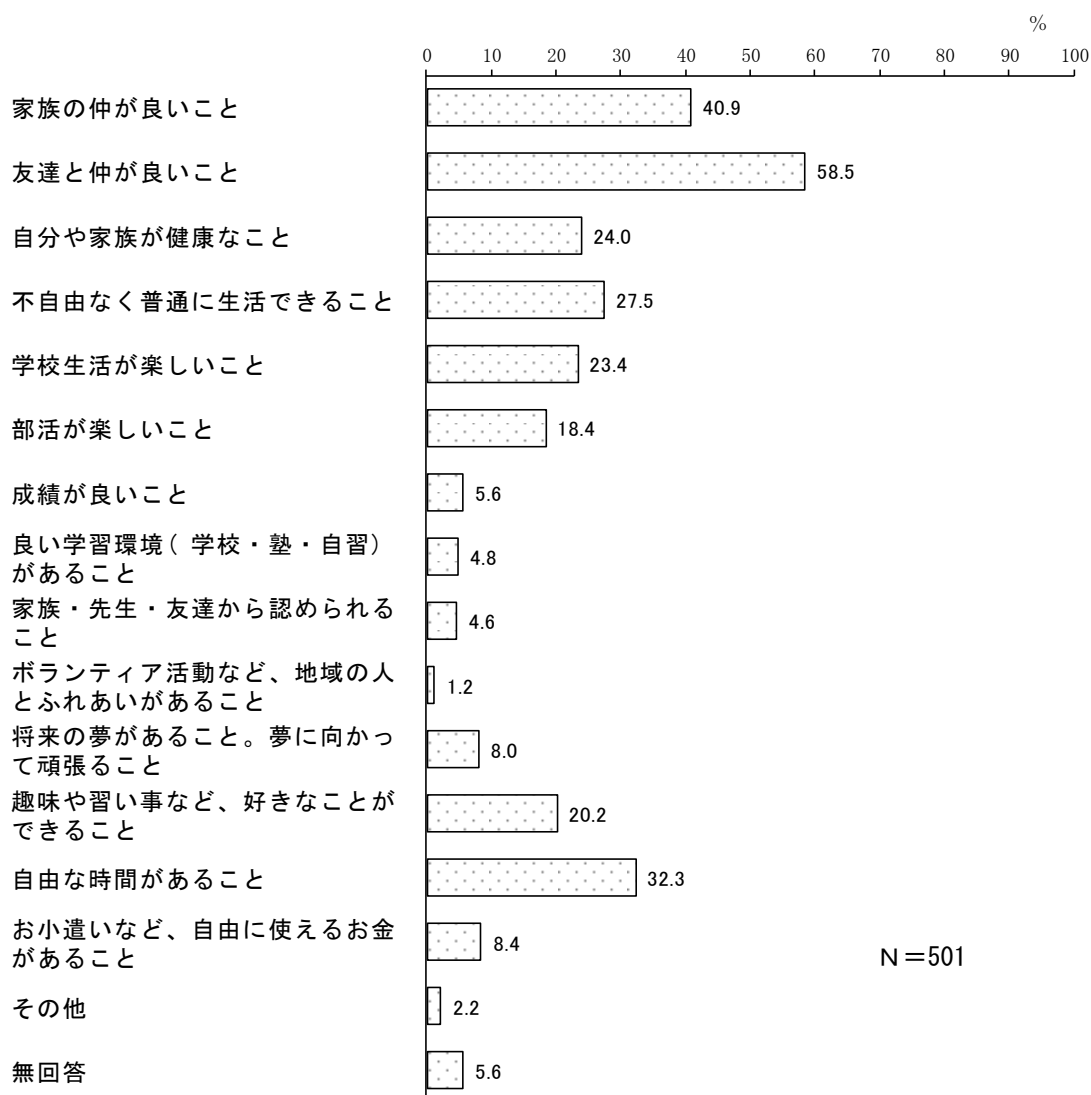


単位: %

	全体	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	無回答
令和元年度調査	501	0.4	0.6	1.2	2.0	5.0	16.4	11.0	16.4	19.8	10.6	14.2	2.6
平成28年度調査	562	1.2	0.5	2.3	4.3	6.9	21.7	11.0	15.7	18.9	7.7	9.1	0.7

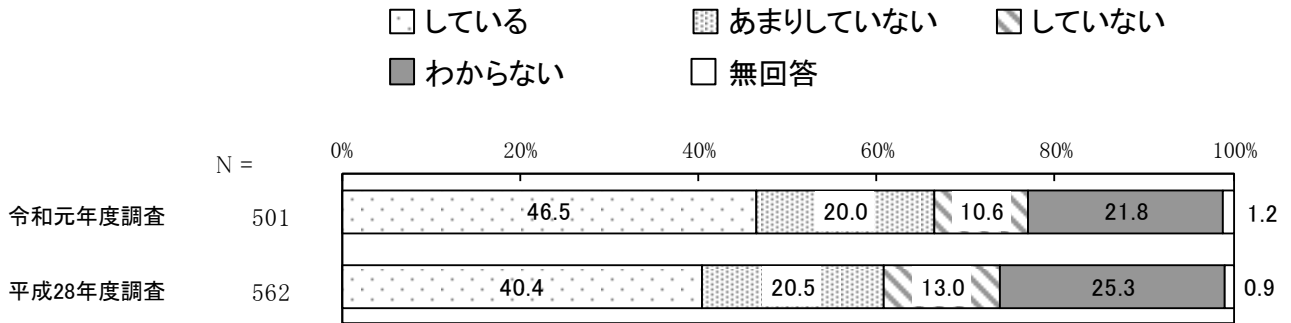
② あなた自身が『幸せ』であるために、重要だと思うことは何ですか？（○を3つまで）

「友達と仲が良いこと」の割合が58.5%と最も高く、次いで「家族の仲が良いこと」の割合が40.9%、「自由な時間があること」の割合が32.3%となっています。



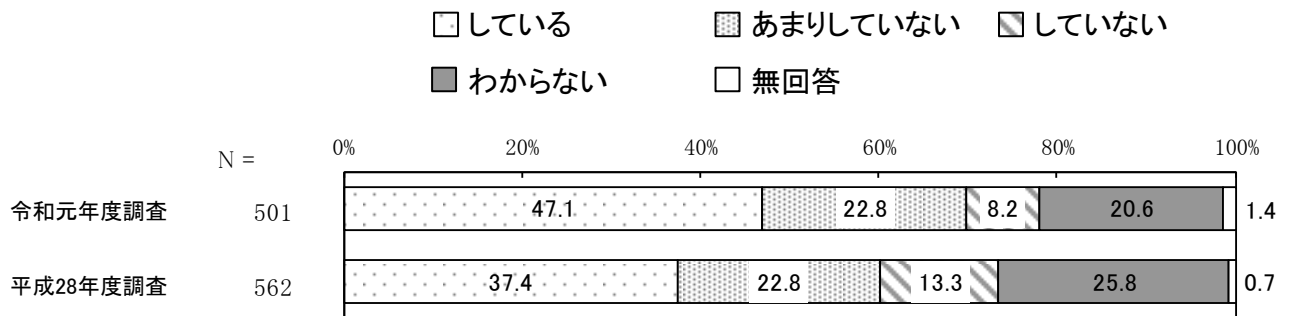
③ あなたは普段から自分が『幸せ』になるために何かしていますか？

「している」の割合は46.5%、「あまりしていない」「していない」を合わせた“していない”の割合は30.6%となっています。



④ あなたは普段の生活のなかで、自分の周りの人に『幸せ』を感じてもらうために何かしていますか？

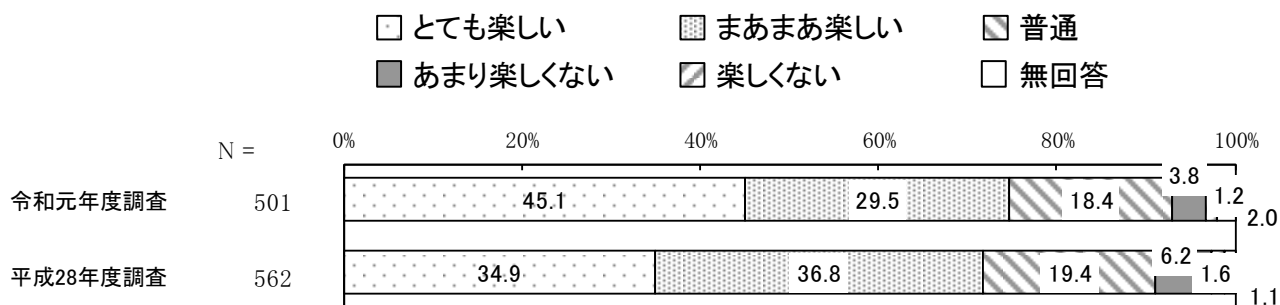
「している」の割合は47.1%、「あまりしていない」「していない」を合わせた“していない”の割合は31.0%となっています。



### 3. あなたの学校生活について

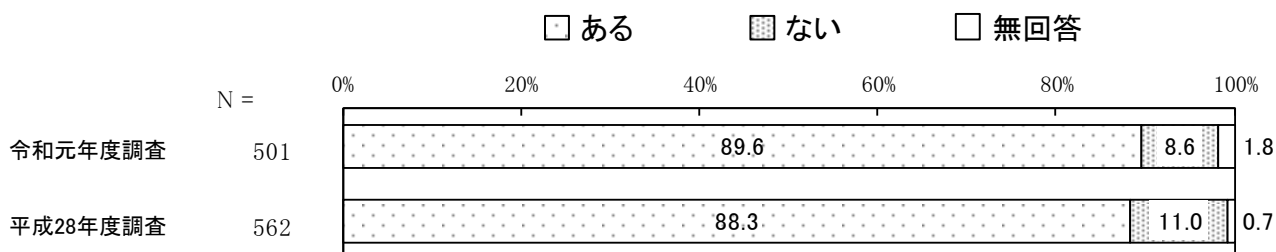
#### ① あなたは学校生活や部活動が楽しいですか？

「とても楽しい」「まあまあ楽しい」を合わせた“楽しい”の割合は74.6%、「あまり楽しくない」「楽しくない」を合わせた“楽しくない”の割合は5.0%となっています。



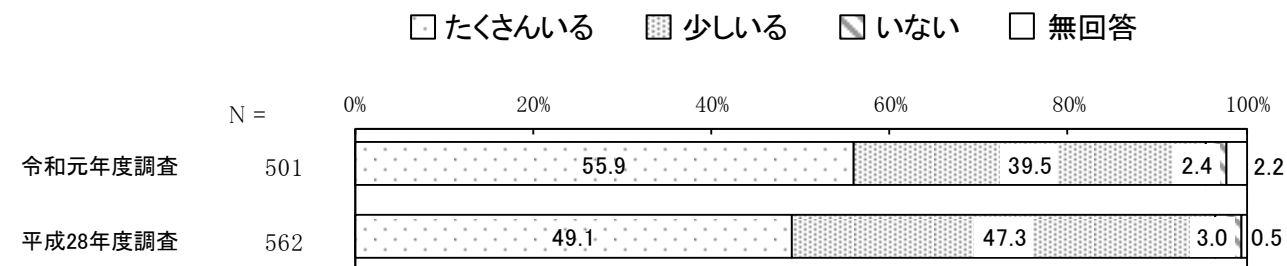
#### ② あなたは普段の授業で「わかった」という実感がありますか？

「ある」の割合は89.6%、「ない」の割合は8.6%となっています。



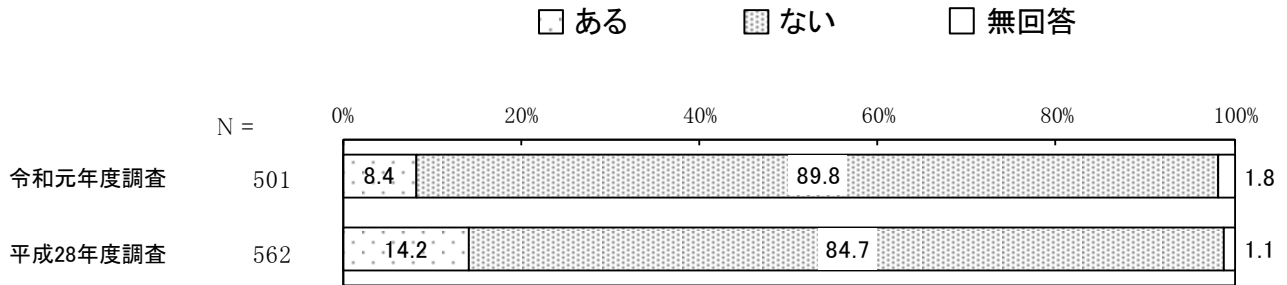
#### ③ あなたには信頼できる友達がありますか？

「たくさんいる」の割合が55.9%と最も高く、次いで「少しいる」の割合が39.5%となっています。



④ あなたは過去1年間の間にいじめを受けて悩んだ経験がありますか？

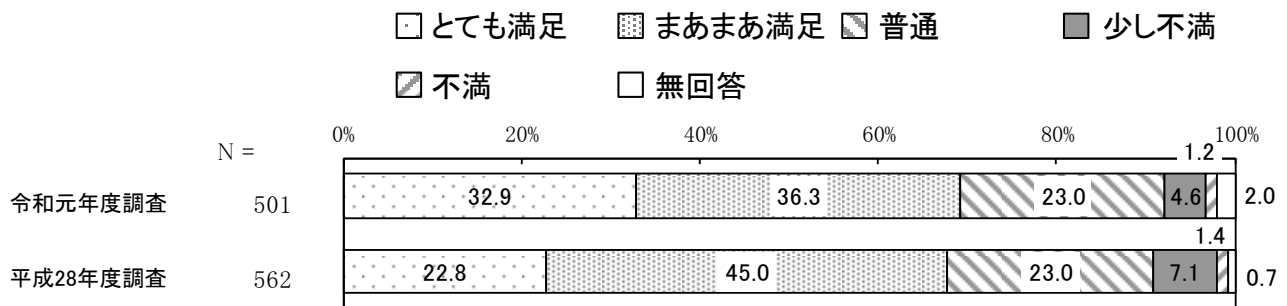
「ある」の割合が8.4%、「ない」の割合が89.8%となっています。



#### 4. あなたの普段の生活・家族との関係について

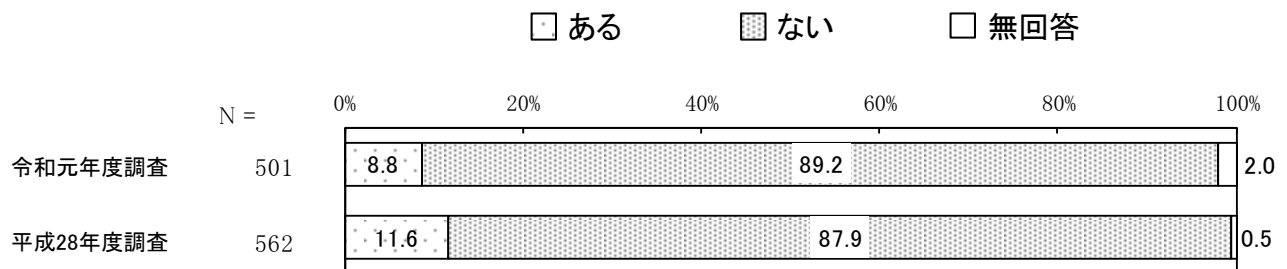
① あなたは普段の生活全般に満足していますか？

「とても満足」「まあまあ満足」を合わせた“満足”の割合は69.2%、「少し不満」「不満」を合わせた“不満”の割合は5.8%となっています。



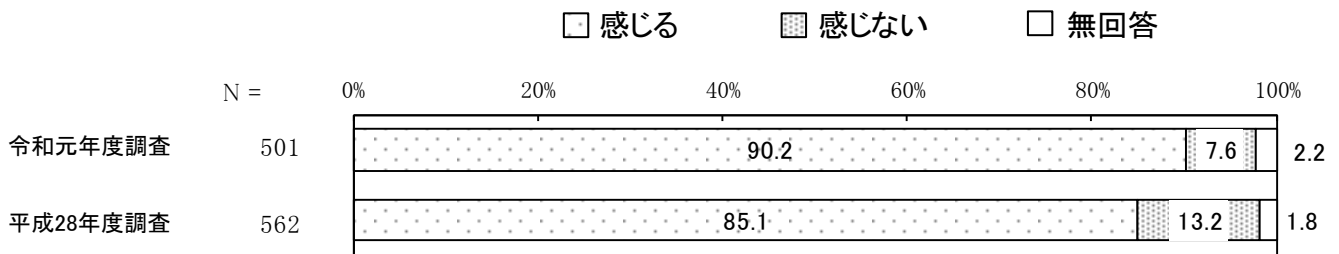
② あなたは家族との関係で悩みがありますか？

「ある」の割合が8.8%、「ない」の割合が89.2%となっています。



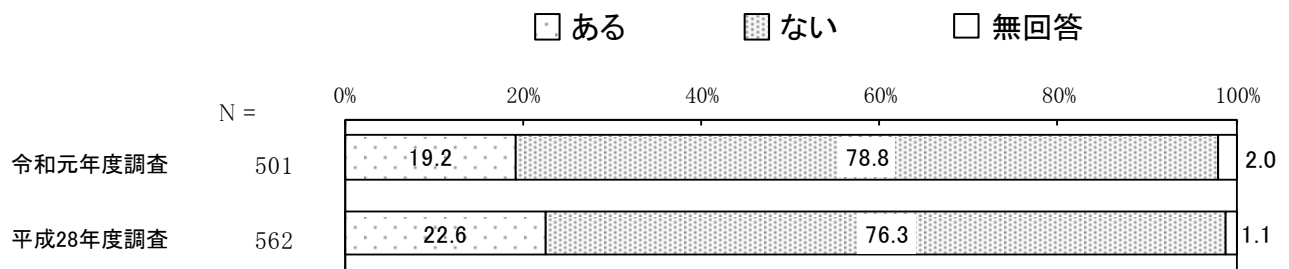
③ あなたは親や家族から大切にされていると感じていますか？

「感じる」の割合が90.2%、「感じない」の割合が7.6%となっています。



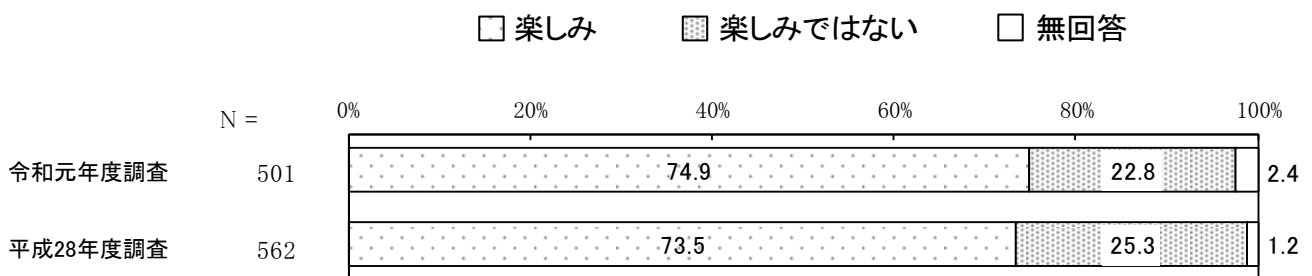
④ あなたは自分や家族のことで心配や不安がありますか？

「ある」の割合が19.2%、「ない」の割合が78.8%となっています。



⑤ あなたは自分の10年後の将来が楽しみですか？

「楽しみ」の割合が74.9%、「楽しみではない」の割合が22.8%となっています。



## 5. 自由意見

- ・ 楽しく過ごせること (120 件)
- ・ 友達といること (100 件)
- ・ 自由 (73 件)
- ・ 家族がいること (64 件)
- ・ 不自由のない普通の生活 (49 件)
- ・ 健康 (40 件)
- ・ 趣味 (31 件)
- ・ おいしいご飯を食べること (26 件)
- ・ 生きていること (23 件)
- ・ 部活 (22 件)
- ・ 他人を認める・認められる・信頼する・される (22 件)
- ・ 平和 (14 件)
- ・ お金 (8 件)
- ・ 勉強ができる (5 件)
- ・ その他 (59 件)

# 付録 調査票

## 田原市市民意識調査

### アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は市政にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

「田原市市民意識調査」は、改定版第1次田原市総合計画で定めた「みんなが幸福を実現できるまち」の理念のもと、将来都市像「うらおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指し、市民の皆様から、「幸福感」や「まちの住みよさ」、「各施策の満足度・重要度」に関するご意見をお伺いし、市政へ反映するための基礎資料として活用するもので、3年に一度実施しています。

この調査は、田原市にお住まいの18歳以上の方の中から無作為に3,500人の方を選ばせていただきました。ご回答の内容は、全て統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ございません。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年7月

田原市長 山下 政良

### ご記入にあたって

○このアンケート調査は、できるだけ封筒の宛名のご本人様がお答えいただくようお願いいたします。なお、ご本人様が記入できない場合は、ご本人様とご相談のうえご家族の方が記入していただけると幸いです。

○設問への回答について、特に記載のない場合は、該当する項目を選んで、番号に○印を付けてください。

○ご記入いただいた調査票は、7月24日(水)までに同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、ポストに投函してください。

○このアンケートについて、ご不明な点がありましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 企画部企画課 (担当:佐々木・大福・三ツ矢) 電話 0531-23-3507 (直通)

## 1 あなたのことについて

問1 あなたの自身の令和元年7月1日現在の状況についてうかがいます。  
(あてはまるものを1つに○)

(1) あなたの性別	1 男性	2 女性	
(2) あなたの年齢	1 18歳、19歳 4 40歳代 7 70歳以上	2 20歳代 5 50歳代	3 30歳代 6 60歳代
(3) あなたの職種など	1 会社経営者・役員 2 自営業(農林漁業) 3 自営業(商工業自営など) 4 自由業(医師・弁護士・会計士・税理士・作家・画家など) 5 自由業の手伝い 6 会社員・公務員・団体職員 7 パート・アルバイト 8 専業主婦従事者(主婦など) 9 学生 10 無職(年金生活含む) 11 その他( )		
(4) お住まいの小学校区	1 六通 4 田原東部 7 田原中部 10 高松 13 伊良湖畔(和地) 16 龜山 19 清田	2 神戸 5 田原南部 8 衣笠 11 赤羽楼 14 伊良湖畔(郷切) 17 中山 20 泉	3 大草 6 龍浦 9 野田 12 若戸 15 伊良湖畔(伊良湖) 18 橋江
※不明の場合はお住まいの町名をご記入ください 校区が分からない場合町名を記入( )			
(5) お住まいの住宅の種類	1 一戸建特設 3 一戸建借家 5 社宅・寮・官公舎 7 その他( )	2 分譲マンション 4 民間賃貸住宅(マンション・アパート) 6 公団・公営住宅	
(6) 田原市での居住年数	1 1年未満 3 3年以上～5年未満 5 10年以上～20年未満	2 1年以上～3年未満 4 5年以上～10年未満 6 20年以上	

- 1 -

## 2 あなたの幸福感について

問2 現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになりますか。(いずれかの数字を1つだけ○)

とても 幸 せ	10点	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0点	とても 不 幸
------------	-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	------------

問3 現在、あなたは社会貢献・生涯学習活動に対する自分自身の取り組み状況に満足していますか。(いずれかの数字を1つだけ○)

満 足	やや満足	普通	やや不満足	不 満
5	4	3	2	1

問4 あなたの状況について伺います。

(下表の欄に、項目ごとに評価し、該当する数字を1つだけ○)

状 況	良 い	お お わ ね 良 い	普 通	少 し 悪 い	悪 い
<記入例> (1) ○○○○	5	4	3	2	1
(1) 自分や家族の健康状況	5	4	3	2	1
(2) 地域での人間関係 (隣近所・地域住民・地域コミュニティ)	5	4	3	2	1
(3) 安心・安全に暮らせる環境 (交通安全、防災対策、自然災害への備え)	5	4	3	2	1

- 2 -

問5 あなたは、あなた自身の「幸せ」や、あなたの周囲の人などの「幸せ」を高めることについて、どの程度意識し、どの程度取り組みを行なっていますか。  
(下表の欄に、項目ごとに評価し、該当する数字を1つだけ○)

質 問 事 項	し て い る	や や し て い る	あ ま り し て い ない	し て い な い	わ か ら な い
(1) あなたは、普段から自分にとっての「幸せ」とは何かを考えることを意識していますか。	5	4	3	2	1
(2) あなたは、普段から自分が「幸せ」になるための努力をしていますか。	5	4	3	2	1
(3) あなたは、普段から自分だけでなく周囲が「幸せ」になるよう意識していますか。	5	4	3	2	1
(4) あなたは、あなたが行なう仕事や活動、香菱の生活などを通じて、周囲を「幸せ」にする取り組みを行なっていますか。 例えば… 家族の笑顔を増やすことで、家族を幸せにしている 美味しい野菜を作って、消費者を幸せにしている など	5	4	3	2	1

- 3 -



3 田原市の住みやすさについて

問6 田原市は住みよくなりましたか。(あてはまるもの1つに○)

1 住みやすい	2 どちらかといえば住みやすい
3 どちらかといえば住みにくい	4 住みにくい

問7 ここ数年の間に、住みごころに変化がありましたか。(あてはまるもの1つに○)

1 以前より住みやすくなった	2 特に変化はない
3 以前より住みにくくなった	

問8 田原市が優れていると感じることは何ですか。(あてはまるもの3つに○)

1 海・山などの自然環境	2 街並みなどの都市景観
3 農業の発達	4 工業の発達
5 買い物などの生活の利便性	6 雇用機会の充実
7 各種公共施設の整備状況	8 交通の利便性
9 住宅確保のしやすさ	10 住環境の快適さ
11 余暇を楽しむ機会や場所	12 歴史や文化
13 学校など教育環境	14 医療・福祉の充実
15 環境共生への取り組み	16 消防・防災の充実
17 子育てのしやすさ	18 人の温かさ
19 隣近所の助け合い	20 その他( )

問9 田原市に欠けていると感じることは何ですか。(あてはまるもの3つに○)

1 海・山などの自然環境	2 街並みなどの都市景観
3 農業の発達	4 工業の発達
5 買い物などの生活の利便性	6 雇用機会の充実
7 各種公共施設の整備状況	8 交通の利便性
9 住宅確保のしやすさ	10 住環境の快適さ
11 余暇を楽しむ機会や場所	12 歴史や文化
13 学校など教育環境	14 医療・福祉の充実
15 環境共生への取り組み	16 消防・防災の充実
17 子育てのしやすさ	18 人の温かさ
19 隣近所の助け合い	20 その他( )

問10 あなたは、友人や知人などが訪ねてきたとき、田原市のどこを案内してあげたいですか。(あてはまるもの3つに○)

1 伊良湖碑・志路ヶ浜周辺	2 伊良湖海水浴場
3 一色の磯・太平洋ロングビーチ	4 セントファール・はなとき通り商店街
5 白谷浜公園	6 仁崎海水浴場・キャンプ場
7 汐川干渉	8 初立池公園
9 赤羽根文化広場・文化の森	10 サンテパルクたはら
11 羅王山展望台・権現の森	12 滝頭公園
13 緑が浜公園	14 池ノ原公園・つばき公園
15 田原市博物館・田原城跡周辺	16 田原まつり会館
17 藤七原・黒河・柿のシデコブシ	18 吉胡貝塚・シェルマよしご
19 菜の花館	20 道の駅伊良湖タリスタルポルト
21 道の駅田原めっくんはうす	22 道の駅あばねロケーション・ロコパーク
23 風力発電	24 臨海工業地帯
25 図書館	26 親子交流館(すくっと)
27 LaLaGran(ララグラン)	
28 その他( )	

4 各分野での市の取り組みについて

問11 あなたは、現状の田原市の取り組みに対しどの程度満足していますか。  
 (下表の「満足度」の欄に、項目ごとに評価し、該当する番号に○をつけてください。  
 また、それぞれの取り組みについて、重要度はどの程度だと思いますか。  
 (下表の「重要度」の欄に、項目ごとに評価し、該当する番号に○をつけてください。)

施策	満足度				重要度					
	満足	やや満足	普通	やや不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない		
<記入例> (1)○○○○ ×××の推進、△△△の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
市民福祉分野について										
(1) 参加と協働の推進 地域コミュニティ、NPO・ボランティア団体などと連携・役割分担による協働のまちづくりの推進 男女が良きパートナーとして共に活動できる環境づくりの推進(男女共同参画)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(2) 地域防災・交通安全の推進 地域防災パトロールの推進 地区防犯パトの設置補助・維持管理 交通指導員の配置・交通安全施設(防犯・防犯意識の醸成)に関する啓発活動	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(3) 環境共生まちづくり 節電や省エネルギーに関する意識啓発 再生可能エネルギーの導入促進による環境負荷の少ない地域づくり	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(4) 環境保全の推進 大気、水質、騒音、振動や悪臭防止等の環境保全に向けた取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(5) 衛生対策の推進 食中毒・ペット火傷等の発生防止 食中毒予防や狂犬病予防接種率向上対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(6) 資源循環の推進 ごみの減量化・資源化促進の取り組み 廃プラスチック・資源化促進の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
産業経済分野について										
(7) 産業づくりの推進 健康づくりに向けた取り組み 乳幼児健診等母子健康の推進 予防接種等感染症予防への取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

施策	満足度			重要度						
	満足	やや満足	不満	非常に重要	重要	重要ではない				
(8) 医療の充実 ・休日や平日夜間の医療体制の充実 ・医師確保に向けた取り組み ・公的機関への支援 ・国民健康保険の運営や福祉医療の給付	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(9) 地域福祉の充実 ・福祉センターの運営 ・地域福祉活動の推進 ・福祉施設や児童遊園地等の取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(10) 児童福祉の充実 ・保育園の運営 ・耐震化や機能拡充等保育施設の環境整備 ・児童手当の支給 ・児童館・児童クラブの運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(11) 障がい者福祉の充実 ・障害者手当の支給 ・生活保護費給付等の給付等各種支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(12) 高齢者福祉の充実 ・介護保険の運営 ・介護予防の推進 ・高齢者福祉タクシー・バス料金の助成 ・高齢者施設の充実 ・老人クラブ運動等の支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(13) 社会福祉の充実 ・国民年金制度の普及・啓発等 ・生活保護費の支給・生活保護費者の自立促進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
産業経済分野について										
(14) 農業の振興 ・農地の保全・活用への取り組み ・農業センターの運営 ・サンテパルクの運営 ・農産物のブランド化に向けた取り組み ・環境保全型農業の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(15) 水産業の振興 ・養殖・養魚の振興による水産資源の確保 ・水産物のPR・ブランド化の支援 ・漁港の管理	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(16) 工業の振興 ・企業経営者等若手立地企業へのサポート活動 ・三河湾の振興に向けた利用促進の取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(17) 商業の振興 ・小売業の活性化支援 ・商業士会等の連携 ・まちなか賑わいづくり、商工会活動の支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

施策	満足度				重要度					
	満足	やや満足	普通	やや不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない		
(18) 観光の振興 ・観光振興 ・各種観光施設の運営・整備 ・観光イベント開催支援 ・観光ビューローへの支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(19) 労働環境・消費生活の充実 ・勤労者支援、雇用促進に向けた取り組み ・消費者トラブルの予防啓発や相談支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
都市整備分野について										
(20) 交通基盤の整備 ・広域幹線道路、幹線道路、橋梁等の整備 ・道路ネットワークの改良 ・道路橋梁や河川・湖沼等の維持管理 ・三河田原駅周辺の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(21) 公共交通の整備 ・地方バス路線支援 ・公共交通の充実に向けた取り組み ・田原市コミュニティバスの運行	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(22) 港湾・河川・湖沼の整備 ・魚種・鳥獣等の整備・管理 ・河川・湖沼等の整備・管理 ・海岸施設の保全	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(23) 市街地の整備 ・市街地整備の取り組み ・駅前・歩道橋・緑地地区のまちづくりの推進 ・土地区画整理事業の支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(24) 地域・住環境の整備 ・農村集落の整備・農林地域の整備促進 ・居住環境の整備 ・市営住宅の管理、滞在促進、バリアフリー化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(25) 上下水道の整備 ・水道施設の整備・管理運営 ・公共下水道、農業集落排水・し尿処理施設の整備・管理運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(26) 自然環境の保全 ・農山の保全 ・森林被害防止、有害鳥獣・有害植物、特異野生動物の駆除	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(27) 緑と景観の保全 ・良好な街並み景観の形成 ・緑化推進、緑化センターの運営 ・公園、緑地の整備・管理	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

施策	満足度				重要度					
	満足	やや満足	普通	やや不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない		
教育文化分野について										
(28) 学校教育の充実 ・教育環境向上に向けた取り組み ・小中学校整備、管理運営や給食センターの運営 ・中学生の海外交流 ・田原福祉専門学校への支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(29) 生涯学習の充実 ・市民館、図書館の運営 ・江北国際活動センター運営 ・生涯学習推進等の開催	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(30) スポーツの振興 ・スポーツ施設の充実 ・スポーツ組織・人材の充実 ・スポーツ施設の整備・充実 ・スポーツによる地域活性化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(31) 青少年健全育成 ・青少年健全育成活動の推進 ・子ども会活動の支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(32) 芸術文化の振興 ・田原文化広場・赤羽根・瀬美文化会館の運営 ・文化ホール等々の実施、池ノ原会館の運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(33) 文化財の継承 ・文化財の調査・活用 ・文化の継承 ・博物館、首領貝塚公園の運営、瀬美郷土資料館の管理	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
消防防災分野について										
(34) 消防・救急体制の充実 ・消防活動、救急活動、消防団の活動支援 ・消防車両、消防栓、防火水栓等設置・管理 ・救命救急等の開催	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(35) 防災・減災体制の充実 ・災害対策の取り組み ・自主防災活動支援、防災設備等整備・管理、建築物耐震化補助	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

施策	満足度				重要度					
	満足	やや満足	普通	やや不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない		
行政サービス分野について										
(36) 情報化の推進 ・姉妹・友好都市との国際交流 ・多文化共生に向けた環境整備 ・電子サービスの提供支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(37) 情報体制の充実 ・広報等発行 ・ホームページの管理 ・インターネットの取り組み ・地域情報化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(38) 広域連携の推進 ・三河各市町村との連携 ・広域の取り組み ・郡町村、阿知野との交流 ・大学等との連携	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(39) 水資源の確保 ・較森ダム整備促進に向けた取り組み ・較森町との交流、グリーンフェスティバルの運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
(40) 行財政運営 ・窓口サービス ・行政改革 ・経費削減 ・職員管理 ・財政運営 ・庁舎・財産等管理 ・議会運営	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問12 問11の(1)～(40)の施策のうち、あなたが特に重要だと思う施策の番号を3つご記入ください。

<記入例>			
8			

## 5 個別の取組についておたずねします

### ■市の行政サービスについて

問13 あなたは、市政に関する情報を主に何から得ていますか。(あてはまるもの3つに○)

1 広報たはら	2 田原市ホームページ
3 タイムズ (ケーブルテレビ)	4 議会だより
5 新聞 (地方紙)	6 各種パンフレット
7 図書館 (資料コーナー)	8 その他 ( )
9 情報は得ていない	

問14 以下の行政サービスについて、是非利用したいと思うサービスは何ですか。

(あてはまるものすべてに○)

1 24時間365日、市の行政サービスに関する質問に回答してくれる
2 各種行政サービスごと開発されたアプリケーション (例:ごみ分別アプリ「さんあーる」)
3 行政サービス等の利用でポイントが貯まり、市内でポイントが利用できるサービス
4 特になし
5 その他 ( )

### ■市内の公共施設について

問15 あなたは、過去1年間に以下の公共施設を利用されましたか。

(1～8の施設全てについてあてはまるもの1つに○)

	定期的に利用した	1回または数回利用した	利用しなかった
1 保婦・福祉施設 [母子交流館 (すくっと)、福祉センター、デイサービスセンター、児童センター等]	1	2	3
2 ゴミ処理施設 [資源化センター等]	1	2	3
3 衛生施設 [畜舎、ペット火葬場等]	1	2	3
4 文化施設 [図書館、文化会館等]	1	2	3
5 文化財施設 [博物館、民俗資料館等]	1	2	3
6 スポーツ施設 [体育館、運動公園等]	1	2	3
7 観光施設 [道の駅、展望台等]	1	2	3
8 市民館	1	2	3

問 16 公共施設の老朽化により多額の修繕費用や修繕費用が必要となっています。また、少子高齢化による税収減も予想され、全ての施設を維持することが難しくなります。あなたは、この問題に対し、今後どのように取り組むべきだと思いますか。(1～8の施設名についてあてはまるもの1つに○)

	施設を現状維持するためには、他の行政サービスの低下も仕方ない	施設の使用料を上げて、現在の施設を維持すべき	他の行政サービスを維持するため、施設の稼働率があっても仕方ない
1 保健・福祉施設【親子交流館(すくっと)、福祉センター、デイサービスセンター、児童センター等】	1	2	3
2 ゴミ処理施設【資源化センター等】	1	2	3
3 文化施設【図書館、文化会館等】	1	2	3
4 文化財施設【博物館、民俗資料館等】	1	2	3
5 スポーツ施設【体育館、運動公園等】	1	2	3
6 観光施設【道の駅、展望台等】	1	2	3
7 市民館	1	2	3

■サンテバルクたはらについて

サンテバルクたはらは、魅力ある産業・農村を創造するための拠点として、①都市と農村との交流の場をつくる、②地域農業者の技術・情報・研修の場をつくる、③新たな地域産業・地域農産物を振興する、④やすらぎのある種族的な農村環境をつくる、の4つの目的を持って、平成7年4月に開園した施設です。

開園以来、年々来園者が増加し、平成27年度には来園者が50万人を超えましたが、最近、来園者も横ばいの状態が続いています。そのため、更なる集客、交流人口の増加を目指すため、施設のリニューアルを検討しています。

問 17 サンテバルクたはらは、農業をテーマにした体験型の公園として整備しましたが、農業の情報や魅力が伝わる場所となっていると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1 思う                      2 思わない                      3 わからない

問 18 サンテバルクたはらは、田原市観光の目的地になっていると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1 思う                      2 思わない                      3 わからない

問 19 サンテバルクたはらの施設内容は、魅力ある構成になっていると思いますか。

- 12 -

問 23 田原市を今よりもっとスポーツが盛んな街にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるもの3つに○)

- 1 体育館・競技場等スポーツ施設を充実させる
- 2 ウォーキングやサイクリングが楽しめるコースの整備や紹介を行う
- 3 施設利用やサービスに関する情報を充実させる
- 4 気軽に参加できるスポーツイベントや大会を開催する
- 5 気軽にできる運動の方法の紹介を行う
- 6 子どもの頃からスポーツに親しむ機会を増やす
- 7 高齢者が気軽にスポーツを楽しむ機会を増やす
- 8 障がい者が気軽にスポーツを楽しめる機会を増やす
- 9 プロスポーツ選手との交流イベントを充実させる
- 10 スポーツを通じて市民間士の交流を活性化させる
- 11 スポーツボランティア活動の機会創出と情報発信
- 12 スポーツを活かした観光・産業の充実
- 13 地域のクラブやサークルの育成・支援
- 14 地域のスポーツに関する情報の積極的な発信
- 15 学校部活動の育成・支援
- 16 スポーツ指導者の育成
- 17 総合型地域スポーツクラブの育成・支援
- 18 多くの人が観戦できるスポーツ大会を開催する
- 19 特になし
- 20 その他 ( )

問 24 市内の公共の文化・スポーツ施設を利用する方(利用予定の方も含む)にお伺いします。公共の文化・スポーツ施設に求めることはなんですか。(○は2つまで)

- 1 利用料金が今より高くなっても、器具・備品等のサービスを充実させてほしい
- 2 器具・備品等のサービスが多少低下しても、料金を今より安くしてほしい
- 3 予約などの利用手続を簡便化してほしい
- 4 施設の案内表示等をわかりやすくしてほしい
- 5 職員のマナー向上等、気持ちよく利用できる環境づくりをしてほしい
- 6 その他 ( )

(あてはまるもの1つに○)

1 思う                      2 思わない                      3 わからない

問 20 サンテバルクたはらの施設配置等の利便性は満足いくものになっていると思いますか。(あてはまるもの1つに○)

1 思う                      2 思わない                      3 わからない

問 21 問 19 で「2. 思わない」、問 20 で「2. 思わない」を選んだ方にお聞きします。どのような部分で魅力ある構成になっていない、施設配置等の利便性が満足いくものになっていないとお考えですか。(自由記述)

■スポーツに関する取組について

問 22-1 田原市では年間を通じて様々なスポーツ事業を行っています。過去にあなたが参加したことがあれば何件でもご記入ください。(○はいくつでも可)

- 1 交流スポーツ大会 (6月)
- 2 スポーツキネクス大会 (10月)
- 3 スポーツフェスティバル (9,10月)
- 4 トライアスロン伊良湖大会 (9月)  
(トライアスロン実行委員会)
- 5 春(冬)のウォーキング大会 (教育委員会主催)
- 6 キンポールスポーツ大会 (1,2月)
- 7 ディスクドッジ大会 (3月)
- 8 ぐるっとマラソン (2月) (ぐるっとマラソン実行委員会)
- 9 その他 ( )
- 10 参加したことがない

問 22-2 「10. 参加したことがない」を選んだ方にお聞きします。どのようなスポーツ事業(イベント等)なら参加したいですか。(自由記述)

- 13 -

■受動喫煙について ※20歳以上の方にお聞きします。

問 25 たばこを習慣的に吸っていますか(電子たばこを含む)。(あてはまるもの1つに○)

1 吸っている                      2 吸っていない

問 26 受動喫煙とは、「人が他人の喫煙によりたばこから発生した煙にさらされること」をいいます。およそ1年の間に、建物や屋外で受動喫煙にあったことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

1 あった                      2 ない

問 27 受動喫煙を防止するために行政が取り組むことが望ましいと思う対策は何ですか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 公共施設の禁煙化
- 2 喫煙者のマナーを向上させるための広報などの取組
- 3 法律や条例による規制
- 4 禁煙を希望する人への禁煙支援
- 5 特に対策は必要ない
- 6 その他 ( )

6 市政に対するご意見

問 28 市政に対するご意見、ご要望がありましたらご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

- 14 -

- 15 -

## 田原市市民意識調査(市内事業者アンケート)

### アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は、市政につきましても多大なご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

田原市では市政へ市民意向を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しております。

この調査は、改定版第1次田原市総合計画で定めた「みんなが幸福を実現できるまち」の理念のもと、将来都市像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指すための基礎資料として、田原市に事業所を有する事業者の皆様からご意見をお伺いするものです。

調査原については、個別に公表することなく、また、回答者を特定するような調査結果の利用は一切ありませんので、あなた(あるいは、あなたから見た事業所)のご意見をお聞かせください。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひ調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年7月

田原市長 山下 政良

### ご記入にあたって

- 質問は、選択式(○をつけるもの)と記述式から構成されています。それぞれの質問の指示に従ってご回答ください。
- 各項目について、率直に思ったことをお答えください。
- ご記入いただきました調査票は、7月24日(水)までに同封の返信用封筒に入れて、投函していただきますようお願いいたします。
- このアンケートについてご不明な点がございましたら下記へお問い合わせください。

田原市税務 企画部企画課 (担当:佐々木、大嶋、三ツ矢) 電話 0531-23-3507 (直通)

## 1 あなたの事業所について

問1 あなたの事業所についてお答えください。

企業形態 (○は1つ)	1 個人企業(個人経営) 2 株式会社 3 有限会社 4 合名・合資会社 5 その他( )
本社・事業所区分 (○は1つ)	1 本社(事業所・工場併設の本社) 2 支社・支店・事業所 3 本社以外の分工場 4 チェーン直営店もしくは加盟店 5 その他( )
資本金 (○は1つ)	1 個人企業であるため資本金はない 2 1,000万円未満 3 1,000万円以上3,000万円未満 4 3,000万円以上1億円未満 5 1億円以上
業種 (○は1つ)	1 鉱業 2 建設業 3 製造業 4 電気・ガス・熱供給・水道業 5 情報通信業 6 運輸業 7 卸売・小売業 8 金融・保険業 9 不動産業 10 飲食店・宿泊業 11 医療・福祉 12 教育・学習支援業 13 サービス業 14 その他( )
従業員数 (H31.4.1時点)	総数( 人)うち田原市在住( 人) 内訳 正社員( 人) 派遣社員( 人) パート( 人) アルバイト( 人) 期間従業員( 人) その他( 人)
あなたの事業所(工場)の従業員が居住先の県別の比率 (各項目に数値を記入)	1 市内( )% 2 豊橋市( )% 3 愛知県内( )% ※田原市、豊橋市を除く 4 愛知県外( )%
田原市での事業年数 (○は1つ)	1 1年未満 2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満 4 5年以上～10年未満 5 10年以上～20年未満 6 20年以上

-1-

## 2 田原市の事業環境について

問2 田原市は、あなたの事業所にとって事業をしやすいまちだと思いますか。(○はひとつ)

1 はい	2 いいえ	3 どちらともいえない
------	-------	-------------

問3 田原市で事業を行う環境について

(1) 田原市で事業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(○はひとつ)

1 良くなった	2 きびしくなった
3 変わらない	4 5年前は事業をしていない

(2) 田原市で事業を行う環境について、良くなった点、きびしくなった点などについて、具体的にお聞かせください。

.....

.....

.....

## 3 あなたの事業所の事業について

問4 あなたの事業所の直近の売上高は、5年前の売上高の何倍程度ですか。(○はひとつ)

1 約0.5倍未満	2 約0.5倍～約0.8倍未満
3 約0.8倍～約1.0倍未満	4 約1.0倍～約1.2倍未満
5 約1.2倍～約1.5倍未満	6 約1.5倍～2倍未満
7 約2.0倍以上	8 5年前は事業をしていない

-2-

問5 あなたの事業所の直近の経常利益(所得)は、5年前の経常利益(所得)の何倍程度ですか。(○はひとつ)

1 約0.5倍未満	2 約0.5倍～約0.8倍未満
3 約0.8倍～約1.0倍未満	4 約1.0倍～約1.2倍未満
5 約1.2倍～約1.5倍未満	6 約1.5倍～2倍未満
7 約2.0倍以上	8 5年前は事業をしていない

問6 あなたの事業所が、現在の事業を行う上で、経営上の問題点はどこにあるとお考えですか。(○は3つまで)

1 売上額の減少	2 利幅の縮小
3 物流・在庫コストの増大	4 人件費の増加
5 資金調達が困難	6 相続税・固定資産税等の税金対策
7 大手企業との競争激化	8 同業者との競争激化
9 取引先減少・業績不振	10 国際競争の激化
11 コストダウン要求の強まり	12 市場の成熟・縮小
13 自然災害(地震・津波・高潮等)の脅威	
14 高速道路・高規格道路へのアクセス	
15 その他( )	

問7 あなたの事業所が今後重視したい取り組みはどのようなものですか。(○は3つまで)

1 新分野への進出	2 新技術や新商品の開発
3 情報化への対応	4 国際化への対応
5 経営組織の見直し	6 企業間ネットワークの構築
7 人材の確保・育成	8 マーケティングや販路・市場開拓
9 資金調達の円滑化	10 後継者の育成
11 事業の再構築	12 外部経営資源の活用
13 その他経営方針の見直し	14 その他( )

-3-

問8 経営課題を解決するうえで必要となる市の取り組みがありましたら、具体的にご記入願います。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**4 市の施策について**

問9 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

	現在の評価				今後の重要性					
	満足	やや満足	やや不満	不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない	
①企業誘致の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
②企業の空洞化対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
③企業用地の確保・整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
④幹線道路網などの交通基盤の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤設備投資に対する支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥情報提供の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑦資金融資や利子補給などによる経営の近代化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑧販売力、商品開発力の強化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑨市街地の活性化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑩魅力的な商業施設の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑪商工会や商業団体などへの支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑫雇用対策の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑬若手若年層による産業振興	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑭観光資源の開発と活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑮防災対策の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑯環境問題に配慮した事業の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑰外国人労働環境の整備	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑱若年層・社会的弱者にとらわれない環境づくり・女性の自立支援などによる男女共同参画の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

**5 従業員の雇用環境について**

問10 あなたの事業所の昨年度の新規学卒者の採用状況、今後5年間の採用見込みについてお聞かせ下さい。

1 平成30年度の新規学卒採用者 (        )人

2 令和元年度以降5年間の採用見込み (        )人

問11 あなたの事業所では、定年制の延長についての取り組みが行われていますか。

1 既に取り組みを行っている      2 検討を進めている

3 当面考えていない

**6 従業員の市内定住対策について**

問12 従業員の方が田原市に住んでいただくためには、特にどういった対策が必要だと思いますか。(○は3つまで)

1 医療・福祉の充実                  2 教育環境の充実

3 住宅対策の充実                    4 商業・サービス機能の充実

5 余暇・娯楽機能の充実            6 公共交通機能の充実

7 道路環境の充実                    8 結婚支援の充実

9 出産・子育て支援の充実

10 その他(                                  )

**7 農業分野での事業展開について**

問13 田原市は、農業祭出願日本一です。あなたの事業所において、農業分野に関連した事業展開をお考えですか。(○はひとつ)

1 考えている                              2 考えていない

「1 考えている」と答えた方にお聞きます。どんな事業をお考えですか。

.....

.....

.....

.....

.....

**8 環境共生について**

問14 環境や景観などに配慮した事業経営を行っていますか。

1 はい                                      2 いいえ

「1 はい」と答えた方にお聞きます。どんなことに配慮していますか。

.....

.....

.....

.....

**9 男女共同参画について**

問 16 職場での性差別をなくし、仕事と家庭生活を両立できる環境づくりに取り組んでいますか。

1 はい	2 いいえ
------	-------

「1 はい」と答えた方にお聞きます。どんなことに配慮していますか。

.....

.....

「2 いいえ」と答えた方にお聞きます。取り組みを行っていない理由がありましたら、ご記入願います。

.....

.....

**10 地域社会への貢献活動について**

問 16 あなたの事業所では、地域社会へ何らかの貢献活動を行っていますか。  
(○はひとつ)

1 はい	2 いいえ	3 どちらともいえない
------	-------	-------------

問 17 あなたの事業所で「現在行っている貢献活動」や「今後行っても良い貢献活動」について、あてはまるものに○をつけてください。(該当する欄に○を記入)

	現在行っている	今後行っても良い
① 芸術文化活動やスポーツ活動への参加		
② 商店街活動や事業者組合などの活動		
③ 祭りやイベントなどへの参加		
④ 祭りやイベントなどへの寄付、資金の提供など		
⑤ 環境美化、環境保全活動への参加		
⑥ 地域まちづくり活動への参加		
⑦ 市民活動、ボランティア活動への参加		
⑧ その他( )		

問 18 あなたの事業所が行っている地域社会への貢献活動をご紹介ください。また、貢献活動を行う上で、市へのご要望、ご意見等があればお書きください。

.....

.....

.....

.....

問 19 あなたの事業所では次のような貢献活動の考え方について賛成できますか。(○はいくつでも)

1 地域社会への貢献活動は地域との関係を維持するために必要である。
2 地域社会への貢献活動がもっと社会的に評価されるべきだ。
3 社会的評価が向上するので、今後も地域社会への貢献活動は重要である。
4 個々の企業にとって負担になるので、地域社会への貢献活動は勧められない。
5 地域社会への貢献活動は仕事につながる可能性もあるので大事にしたい。
6 地域社会への貢献活動によって職場が活性化するので意味がある。

**12 市政に対するご意見**

問 20 市が実施する施策や事業について、ご意見やご要望、ご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。



**4 農地の保全・活用について**

問10 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。  
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

	現在の評価				今後の重要性					
	満足	やや満足	普通	やや不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない	
<記入例> ① ○○○○	○	4	3	2	1	5	4	3	2	1
①貸し手と借り手のマッチングによる農地の利用調整の取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

**5 農業基盤の整備について**

問11 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。  
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

	現在の評価				今後の重要性					
	満足	やや満足	普通	やや不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない	
②農道・用排水路整備、農地区画の改良	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

**8 担い手づくりの推進について**

問14 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。  
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

	現在の評価				今後の重要性					
	満足	やや満足	普通	やや不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない	
⑧認定農業者制度や若農支援による担い手の育成	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑨農地の継承などによる新規就農者の確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑩多様な担い手の育成（農家後継者の結婚支援）	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑪労働人材の確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

**6 交流・食育の推進について**

問12 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。  
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

	現在の評価				今後の重要性					
	満足	やや満足	普通	やや不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない	
⑫丹ヶ池農業公園（サンテパルク）の市民農園業務による都市住民との交流	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑬食育の取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

**7 農業経営について**

問13 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。  
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

	現在の評価				今後の重要性					
	満足	やや満足	普通	やや不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない	
⑭農産物の産地ブランド化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑯6次産業化など他産業との連携による農産物の活用	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑰農業制度資金の活用などによる農業者・団体支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑱国内外への販路拡大に向けた取り組み	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

**9 環境保全型農業の推進について**

問15 市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。  
(各問に対し「評価」、「重要性」の項目に○をひとつずつ付ける)

	現在の評価				今後の重要性					
	満足	やや満足	普通	やや不満	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない	
⑲家畜排せつ物の適切な資源化	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑳土づくりや減農薬など環境に配慮した農業の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
㉑有害鳥獣による農作物被害対策	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

**10 市政に対するご意見**

問16 今後田原市の農業はどうあるべきか。また、普段お考えになっていること、何でも結構ですので、ご意見やご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。



## 田原市市民意識調査（漁業者アンケート）

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は、市政につきまして多大なご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

田原市では市民の皆様意向を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しています。

この調査は、改定版第1次田原市総合計画で定めた「みんなが幸福を実現できるまち」の理念のもと、将来都市像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指すための基礎資料として、市内の漁業者の皆様から漁業に関する市の施策の満足度などをお伺いするものです。

回答者を特定するような形で調査結果の利用は一切ありませんので、ご意見をお気軽に聞かせください。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひ調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年7月

田原市長 山下 政良

### ご記入にあたって

- 質問は、選択式(○をつけるもの)と記述式から構成されています。それぞれの質問の指示に従ってご回答ください。
- 各項目について、率直に思ったことをお答えください。
- ご記入いただきました調査票は、7月24日(水)までに同封の返信用封筒に入れて、投函していただきますようお願いいたします。
- このアンケートについてご不明な点がありましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 企画総企画課（担当:佐々木、大塚、三ツ夫） 電話 0531-23-3507（直通）

## 2 田原市の漁業全般について

問2 田原市は、漁業がしやすいまちだと思いますか。(○はひとつ)

- 1 はい 2 いいえ 3 どちらともいえない

問3 田原市で漁業を行う環境は、5年前と比べて全体的にどうなったとお考えですか。(○はひとつ)

- 1 良くなった 2 きびしくなった  
3 変わらない 4 5年前は漁業をしていない

## 3 あなたの漁業経営について

問4 あなたの直近の売上高は、5年前の売上高に比べ何倍程度になりましたか。(○はひとつ)

- 1 約0.8倍未満 2 約0.8倍～約1.0倍未満  
3 約1.0倍～約1.2倍未満 4 約1.2倍以上  
5 5年前は漁業をしていない

問5 あなたの直近の経常利益(所得)は、5年前の経常利益(所得)に比べ何倍程度になりましたか。(○はひとつ)

- 1 約0.8倍未満 2 約0.8倍～約1.0倍未満  
3 約1.0倍～約1.2倍未満 4 約1.2倍以上  
5 5年前は漁業をしていない

## 1 あなたの事業について

問1 あなたの事業についてお伺いします。

専業・兼業の別 (○はひとつ)	1 専業 2 兼業
漁業に従事している人数 (回答者を含んだ数)	1 常時漁業に従事している (男性 人 女性 人) 2 臨時に漁業に従事する (男性 人 女性 人)
主な漁獲物	① _____ ② _____ ③ _____
おおよその漁業所得 (H30.1.1～H30.12.31)	( ) 万円
田原市での就漁年数 (○はひとつ)	1 1年未満 2 1年以上～3年未満 3 3年以上～5年未満 4 5年以上～10年未満 5 10年以上～20年未満 6 20年以上

問6 あなたは、これからの漁業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。(○はひとつ)

- 1 規模拡大していきたい 2 現状のままでいきたい  
3 規模を縮小していきたい 4 やめたい  
5 その他(具体的に: )

問7 あなたは、ご自分の漁業経営に満足していますか。(○はひとつ)

- 1 満足している 2 やや満足している  
3 どちらともいえない 4 やや不満足である  
5 不満足である 6 わからない

問8 あなたの漁業経営で、重要と考えることはどれですか。(○は3つまで)

- 1 自分の才覚 2 行政の支援  
3 漁船の指導 4 規模の拡大  
5 販売・流通対策 6 後継者の育成  
7 販売価格の安定 8 船や道具などの設備投資  
9 種苗放流 10 資源管理型漁業の実践  
11 漁場造成 12 有害生物の除去  
13 広告・宣伝・ブランド化  
14 その他( )

**4 水産資源の確保について**

問9 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。  
 (各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○をひとつずつ)

	現在の評価				今後の重要性							
	満足	やや満足	普通	やや不満足	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない				
<記入例>		○	4	3	3	1	5	○	4	3	2	1
① ① 〇〇〇〇		○	4	3	3	1	5	○	4	3	2	1
① あまり稚魚や稚魚の放流による水産資源の確保	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		
② 漁獲環境の改善(漁獲をきれいにするためのゴミ拾いなど)を目的としたクリーンアップ事業	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		
③ 環境生態系に配慮した漁業の推進(漁獲を守る活動への取組)	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1		

問10 あなたは環境生態系に配慮した漁業経営を行っていますか。(○はひとつ)

1 はい	2 いいえ	3 どちらともいえない
------	-------	-------------

問13 漁業の担い手を確保・育成するためには、何が重要だとお考えですか。  
 (○はひとつ)

1 後継者やU・I・Jターナー者に対する支援の充実
2 漁業以外の新規参入者が就漁しやすい環境の整備
3 意欲ある漁業者への支援制度等の充実や企業的经营手法の指導
4 後継者や漁業参入希望者への技術指導
5 その他(具体的に: )

**6 水産施設の充実について**

問14 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。  
 (各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○をひとつずつ)

	現在の評価				今後の重要性					
	満足	やや満足	普通	やや不満足	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない		
① 漁港の整備や維持管理など水産施設の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

**5 漁業経営について**

問11 田原市が実施している次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。  
 (各問に対し「現在の評価」、「今後の重要性」の項目に○をひとつずつ)

	現在の評価				今後の重要性					
	満足	やや満足	普通	やや不満足	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない		
④ 漁業近代化資金貸付・利子補給などによる漁業者・団体支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑤ 水産物のブランド化の推進	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
⑥ 担い手づくりの支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問12 漁業経営を強化するためにどのような取り組みが必要だと考えますか。理由もあればご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

**7 市政に対するご意見**

問15 今後田原市の漁業はどうあるべきか。また、普段お考えになっていることなど、何でも結構ですので、市政に対するご意見やご提言などがあれば、ご自由にお書きください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。

# 田原市市民意識調査(市内団体アンケート)

アンケート調査へのご協力をお願い

日頃は、市政につきまして多大なご理解とご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。

田原市では市政へ市民の皆様のご意見を反映するため、3年に一度、市民意識調査を実施しております。

この調査は、改定版第1次田原市総合計画で定めた「みんなが幸福を実現できるまち」の理念のもと、将来都市像「うるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指すための基礎資料として、各種団体のご意見をお伺いするものです。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ぜひ調査にご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年7月

田原市長 山下 政良

## ご記入にあたって

○質問は、選択式(○をつけるもの)と記述式から構成されています。それぞれの質問の指示に従ってご回答ください。

○各項目について、率直に思ったことをご答えください。

○ご記入いただきました調査票は、7月24日(水)までに同封の返信用封筒に入れて、投函していただきますようお願いいたします。

○このアンケートについてご不明な点がありましたら下記へお問い合わせください。

田原市役所 企画部企画課 (担当:佐々木、大塚、三ツ夫) 電話 0531-29-3507 (直通)

- 1 -

(4) 活動する人・正会員の年齢では、どの年代が多いですか。(○はひとつ)

1 10歳代	2 20歳代	3 30歳代	4 40歳代
5 50歳代	6 60歳以上	7 特に特徴はない	

問3 活動の地域は、主にどこですか。(○はひとつ)

1 小学校区内	2 中学校区内	3 市内
4 市内及び隣接市	5 県内	6 全国・国際

問4 主な活動目的をお聞かせ下さい。(○はいくつでも)

1 地域コミュニティ	2 男女共同参画	3 地域防犯
4 交通安全	5 環境共生	6 環境保全
7 資源循環	8 健康づくり	9 地域福祉
10 児童福祉・子育て支援	11 障害者支援	12 高齢者支援
13 農水産業	14 商工業	15 観光
16 雇用・労働	17 消費者対策	18 市街地整備
19 居住環境整備	20 自然環境整備	21 国土保全
22 景観整備	23 学校教育	24 生涯学習
25 スポーツ	26 青少年健全育成	27 芸術文化
28 消防・防災	29 国際交流・多文化共生	30 災害復興支援
31 まちづくり	32 人材擁護	33 平和推進
34 その他( )		

問5 あなたの団体の財政についておたずねします。

(1) 年間活動費はいくらですか。( )万円程度

- 4 -

## 1 団体の概要について

問1 あなたの団体の設立年についておたずねします。

設立年: 明治・大正・昭和・平成・令和 年 月

問2 あなたの団体の組織体制についておたずねします。

(1) 下の一覧表の該当する欄に、数字(いない場合には「0(ゼロ)」と記入。④については、どちらかに○をつけてください。)をご記入ください。

① 理事	人
② 運営メンバー	
・常勤(フルタイム)※	人
・非常勤(パートタイム・アルバイト)	人
・その他(具体的に: )	人
③ 会員・社員構成	
・活動する人・正会員	人・会員
・支援者・賛助会員	人・会員
・その他(具体的に: )	人・会員
④ 規程・会則・定款	(あり・なし)

※おおよそ30時間以上働いていることを常勤の目安とします

(2) あなたの団体は次のどの分類にあたりますか。

1 NPO法人(認定取得済)	2 ボランティア・市民活動団体
3 医療法人・社会福祉法人・社団法人	4 地域団体
5 経済団体・協同組合等	6 その他( )

(3) 活動する人・正会員の男女比はどれくらいですか。(○はひとつ)

1 ほとんど男性	2 やや男性が多い	3 ほぼ同じ
4 やや女性が多い	5 ほとんど女性	

- 2 -

## 2 団体の活動について

問6 あなたの団体は、どれくらいの頻度で活動していますか。(○はひとつ)

1 週に5回以上	2 週に3、4回程度
3 週に1、2回程度	4 月に1、2回程度
5 2~3ヶ月に1回程度	6 年に数回程度
7 その他(具体的に: )	

問7 事務所、会場場所、活動拠点として主にどこを利用していますか。(○はひとつ)

1 会員の個人宅	2 市民館
3 地区集会所	4 文化会館など
5 専用の事務所	6 会員の勤務先
7 その他(具体的に: )	

問8 あなたの団体がやっている事業(活動)についてお聞かせ下さい。代表的な事業(活動)について、事業名、事業内容及び事業費についてご記入ください。

事業名	
活動場所	
参加・対象人数	人
事業内容	
活動の周知方法	
活動の現況課題	
事業費	円

- 5 -

問9 あなたの団体が活動を進めていく上で、次の問題についてどれくらいあてはまりますか。(○はひとつ)

	あてはまる	少しあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
(1) 活動に参加する人数が少ない	5	4	3	2	1
(2) 活動に積極的な人材が少ない	5	4	3	2	1
(3) リーダーになれる人が少ない	5	4	3	2	1
(4) 会員が高齢化している	5	4	3	2	1
(5) 後継者がいない	5	4	3	2	1
(6) 活動拠点などが確保しにくい	5	4	3	2	1
(7) 活動資金が足りない	5	4	3	2	1
(8) 活動に必要な情報の収集方法がない	5	4	3	2	1
(9) 活動をPRする力が弱い	5	4	3	2	1
(10) 活動をすすめていくための専門的な知識や能力が不足している	5	4	3	2	1
(11) 活動の調整に苦労している	5	4	3	2	1
(12) 役員会などの運営に苦労している	5	4	3	2	1
(13) 他団体との交流がない	5	4	3	2	1
(14) 他団体と連携がない	5	4	3	2	1
(15) 地域が理解が得られない	5	4	3	2	1
(16) 家族が理解が得られない	5	4	3	2	1
(17) 職場が理解が得られない	5	4	3	2	1
(18) 行政が理解が得られない	5	4	3	2	1

3 市との連携・協力について

問10 あなたの団体にとって市との連携・協力は重要ですか。(○はひとつ)

1 非常に重要	2 どちらかといえば重要
3 どちらともいえない	4 どちらかと言えば重要ではない
5 重要ではない	

問11 あなたの団体が活動するにあたって、どんなことを市に協力してほしいですか。(○はいくつでも)

1 補助金による援助	2 場所や物品、機材等の提供
3 市の広報紙を使った団体の情報提供	4 他の団体の紹介、関係の構築など
5 リーダーの養成、技術養成の研修	6 市の施設の利用料割引や優先提供
7 市の情報の開示、共有化	8 市の基金による支援
9 市の事業の共同企画	10 市の事業の委託
11 市から県・国や企業等への働きかけ	12 表彰、顕彰
13 組織の立ち上げ、運営方法に関する支援	14 市職員の活動への参加
15 その他(具体的に)	

問12 市と市民活動団体の連携によるまちづくり施策として、知っているものをお答えください。(○はいくつでも)

1 市民協働まちづくり条例	2 市民協働まちづくり基金
3 市民協働まちづくり会議	4 市民協働のまちづくり方針
5 田原市民活動支援センター	6 市民協働まちづくり事業補助金
7 パブリックコメント制度	8 各種審議会委員の市民公募
9 市民の声メール(市ホームページ)	10 市民提案箱
11 市民提案型委託事業	12 社会貢献活動災害補償制度
13 どすこいネット(東三河市民活動情報サイト)	
14 田原市民協働だもん de	
15 その他( )	

問13 現在、あなたの団体と市とはどのような関係にありますか。(○はいくつでも)

1 市から補助金を受けている
2 市から業務委託を受けている
3 市が主催する審議会、委員会、研究会に委員を出している
4 市の関係部署と日常的に情報交換等の話し合いを行っている
5 市に対して要望や陳情を行っている
6 市に対して具体的な施策提案をしている
7 事務局が市の関係部署、関係施設内にある
8 市の施設を利用して活動を行っている
9 市とは特に関係を持っていない

問15 田原市民活動支援センター(以下センターとします。)について、あてはまるものに○をつけてください。

	あてはまる	少しあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	あてはまらない
(1) センターを知っている。	5	4	3	2	1
(2) センターを利用したことがある。	5	4	3	2	1
(3) センターは使いやすいと思う。	5	4	3	2	1
(4) センターの対応に満足だ。	5	4	3	2	1
(5) センターの情報提供は適切だ。	5	4	3	2	1
(6) センターのメールやSNSによる情報発信を知っている。	5	4	3	2	1
(7) センターのメールやSNSによる情報発信を利用している。	5	4	3	2	1

問16 田原市民活動支援センターに欲しいもしくは必要だと思う機能があれば、下記に記入してください。(自由記述)

問17 市が行っている次の取り組みについて、あなたの評価をお聞かせください。(各問に対し「評価」「重要性」に○をひとつずつ)

項目	現在の評価					今後の重要性				
	満足	やや満足	やや不満足	不満足	非常に重要	重要	普通	あまり重要でない	重要でない	
① 市民・団体などの参加と協働によるまちづくり体制の充実	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
② 設立・団体運営の支援などボランティア団体・NPOに対する活動支援	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

問18 あなたの団体・グループは、市と連携・協力してどのようなことをしたいですか。自由なご意見をお聞かせください。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

4 市政に対するご意見

問19 その他、普段お考えになっていること、団体の将来の展望、市に対するご意見やご要望、ご提言などがあれば、ご自由にお書き下さい。

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---

ご協力ありがとうございました。

[ 市民の『幸せ』に関するアンケート（中学生） ]

このアンケートは、田原市が目指すまちづくり「みんなが幸福を実現できるまち」に向けた取り組みの基礎調査として、市内の全中学2年生を対象に実施する『幸せ』に関するアンケート調査です。  
自分の考えや感覚に一番近いと思う番号に○を付けて下さい。

アンケートにご協力をお願いします。



Q1 あなたにとっての『幸せ』について

① 今現在、あなたの『幸せ』の程度を0～10点で評価すると何点ですか？

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

😊 すごく不幸 ←-----→ とても幸せ 😊

● 点数の理由は？ ( )

② あなた自身が『幸せ』であるために、重要だと思うことは何ですか？ (○を3つまで)

- |                   |                             |
|-------------------|-----------------------------|
| ① 家族の仲が良いこと       | ⑤ 良い学習環境(学校・塾・自習)があること      |
| ② 友達と仲が良いこと       | ⑥ 家族・先生・友達から認められること         |
| ③ 自分や家族が健康なこと     | ⑦ ボランティア活動など、地域の人とふれあいがあること |
| ④ 不自由なく普通に生活できること | ⑧ 将来の夢があること。夢に向かって頑張ること     |
| ⑨ 学校生活が楽しいこと      | ⑨ 趣味や習い事など、好きなことができること      |
| ⑩ 部活が楽しいこと        | ⑩ 自由な時間があること                |
| ⑪ 成績が良いこと         | ⑪ お小遣いなど、自由に使えるお金があること      |
| ⑫ その他( )          |                             |

③ あなたは普段から自分が『幸せ』になるために何かしていますか？

(将来の夢のために習い事を頑張っている、家族とたくさん会話をするようにしている、など)

1. している 2. あまりしていない 4. していない 5. わからない

● 何をしている？ ( )

④ あなたは普段の生活のなかで、自分の周りの人に『幸せ』を感じてもらうために何かしていますか？ (家の手伝いを進んでやっている、いつもみんなに笑顔で挨拶している、など)

1. している 2. あまりしていない 4. していない 5. わからない

● 何をしている？ ( )

Q2 あなたの学校生活について

① あなたは学校生活や部活動が楽しいですか？

1. とても楽しい 2. まあまあ楽しい 3. 普通 4. あまり楽しくない 5. 楽しくない

② あなたは普段の授業で「わかった」という実感がありますか？

1. ある 2. ない

③ あなたには信頼できる友達がありますか？

1. たくさんいる 2. 少しいる 3. いない

④ あなたは過去1年間の間にいじめを受けて悩んだ経験がありますか？

1. ある 2. ない

Q3 あなたの普段の生活・家族との関係について

① あなたは普段の生活全般に満足していますか？

1. とても満足 2. まあまあ満足 3. 普通 4. 少し不満 5. 不満

② あなたは家族との関係で悩みがありますか？

1. ある 2. ない

③ あなたは親や家族から大切にされていると感じていますか？

1. 感じる 2. 感じない

④ あなたは自分や家族のことで心配や不安がありますか？

1. ある 2. ない

⑤ あなたは自分の10年後の将来を楽しみますか？

1. 楽しみ 2. 楽しみではない

Q4 あなた自身について教えてください。

性別	1. 男性	2. 女性
自由意見 あなたにとっての幸せとは何ですか？		

ご協力ありがとうございました！



## 田原市市民意識調査報告書

発行年月 令和元年 12 月

発行 愛知県田原市 企画部企画課  
〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場 30 番地 1  
TEL : (0531) 22-1111 (代表)  
FAX : (0531) 23-0669  
E-mail : kikaku@city.tahara.aichi.jp